

平成24年度 春期スクーリングの手引の変更・訂正

教務課（試験係）

平成24年度『春期スクーリングの手引』に以下のとおり、変更・訂正がありましたのでお知らせいたします。

1 変更講座について

『部報』2月号同封の「平成24年度スクーリング開講科目予定表」で告知していた下記の科目は、次のとおり変更になりました。

掲載頁	科目名	変更後	変更前
	中小企業論	夜間スクーリング（秋期）	夜間スクーリング（春期）
84 104 120	会計学	夜間スクーリング（春期）	夜間スクーリング（秋期）

2 訂正事項

掲載頁	項目	変更後	変更前
表紙	辞退手続締切日 東京第3期	5/30（水）	5/30（火）
巻末	受講届 第3期東京用	平成24年度 東京スクーリング（春期）受講届	平成24年度 東京スクーリング（秋期）受講届

3 担当教員の変更

（1）夜間スクーリング（春期）

掲載頁	講座名	変更後	変更前	備考
85 104 120	「発達と学習」	<u>担当者：佐々木心彩 師</u> <u>曜日：木曜日</u>	<u>担当者：吉田宏之 師</u> <u>曜日：金曜日</u>	シラバスは『部報』4月号に掲載予定です。

（2）東京スクーリング（春期）第3期

掲載頁	講座名	変更後	変更前	備考
72 75 116	「考古学入門」	<u>担当者：山本孝文 師</u>	<u>担当者：小泉龍人 師</u>	シラバスが次ページのとおり変更となります。

◆ 考古学はどんな学問か

〔 考 古 学 入 門 〕

開講単位： 2単位

担当者： 山本 孝文

◆ 学習目標

歴史学を学ぶにあたっての一手段であり、また独立分野として位置付けられることもある考古学の研究領域や研究方法の基礎を理解し、学問としての考古学の役割を学ぶ。文献史学との違いを認識し、歴史研究の多様な方法を学ぶ。なお、同じ担当者による同一科目を履修済みの者の再履修は認めない。

◆ 授業方法

実際の研究・調査例や方法を紹介するとともに、日本を中心とした世界各地の具体的な資料を提示しながら授業を行なう。授業は講義形式とし、画像資料を多く用いて説明する。出席カードにより質問を受け付け、質問内容を講義に反映する。

◆ 準備学習

受講生各自が居住する地域（都道府県や市町村）や近隣地域にどのような遺跡や考古資料展示施設（博物館や資料館など）があるのか調べておく。また、実際に訪れてみると授業の理解の幅が広がる。

◆ 授業計画〔1日目・3日目：各300分，2日目：390分，4日目：360分〕

1日目（土）	考古学の研究対象と目的 一何を明らかにするのか 「遺跡学」としての考古学 一何が残されているのか
2日目（日）	考古学と発掘調査 一どのようにして資料を集めるか 考古学における資料論 一何を作り、使ったのか
3日目（土）	考古学による時代区分 一何を基準にした時代か 考古学における年代論1 一新旧の順序を決める
4日目（日）	考古学における年代論2 一モノの年代を決める 考古学における年代論3 一モノの年代を測る 試験

◆ 教科書

使用しない。

◆ 参考書

授業中に随時紹介する。

◆ 成績評価基準

試験 70%，質問・課題 20%，受講姿勢など 10%

◆ E-Mail：

平成24年度 春期スクーリングの手引

東京スクーリング

- 第1期 4月29日～5月 1日
 第2期 5月 2日～5月 4日 通信教育部1号館ほか
 第3期 6月9・10・16・17日

地方スクーリング

- 第1期 5月26日～5月28日 名古屋・神戸
 第2期 6月 2日～6月 4日 札幌・福岡

夜間スクーリング

- 5月21日～7月13日 通信教育部1号館ほか

スクーリング受講手続日程

		東京 第1・2期	地方 第1・2期	東京第3期	夜間
①	受講届提出締切日	3/15(木)	4/18(水)	4/18(水)	4/18(水)
窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】 郵送の場合【締切日消印有効】					
②	辞退手続締切日	4/19(木)	5/16(水)	5/30(火)	5/14(月)
窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】 郵送の場合【締切日消印有効】					
③	受講料振込締切日	4/26(木)	5/21(月)	6/ 6(水)	5/18(金)
銀行窓口にて【締切日厳守】					
※	結果通知発送(予定)	5月下旬	7月中旬	7月中旬	8月中旬

スクーリング併用試験方式を利用される方は上記①の前に、以下の㉓、㉔も手続きしてください。

㉓	履修登録締切日	3/ 1(木)	4/ 4(水)	4/ 4(水)	4/ 4(水)
窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】 郵送の場合【必着】					
㉔	レポート提出締切日	3/15(木)	4/18(水)	4/18(水)	4/18(水)
窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】 郵送の場合【必着】					



目次

はじめに	2
I 受講手続の流れ	3
II 受講講座の選定	4
1 受講講座の選択	4
2 受講の制限について	4
III 受講手続	6
1 講座を申し込む	6
①「受講届」による申込み	6
② 在学生専用サポート（Web 報）による申込み	8
2 受講届を提出する	9
3 受講講座の変更・追加	10
4 受講許可通知を確認する	11
5 講座振り分け及び受講不許可について	11
6 受講料等の納入	12
7 申込講座を辞退する	14
8 使用教材の購入	14
IV 受講及びスクーリング結果について	17
1 講座の受講	17
2 試験の受験	17
3 スクーリング結果の確認	18
V 開講日程・開講講座・会場・シラバス	20
1 期・東京	20
2 期・東京	38
1 期・名古屋	56
1 期・神戸	60
2 期・札幌	64
2 期・福岡	68
3 期・東京	72
夜間（春期）	84

VI	開講講座表	108
	1 開講講座表 東京（第1・2期） 地方（第1・2期） 東京（第3期） 夜間	108
	2 開講講座表の見方	121
VII	学生生活	122
	「千代田区生活環境条例」について	122
	受講にあたっての諸注意	122
	緊急時の避難行動の指針について	123
	「休暇依頼状（勸奨状）」と「出席証明書」の発行	124
	「学割証」の発行について（長距離区間乗車時の学生割引制度）	124
	通学定期券の購入（通学証明書の発行について）	126
	東京スクーリング（春期）期間中の滞在先届	127
	東京スクーリング（春期）宿泊施設の利用案内	127
VIII	胸部X線検査について	133
IX	カリキュラムについて	134

巻末付録

スクーリング手続 チェックシート

教材購入願（丸沼書店用）

教材購入願（通信教育教材購入用）

追加科目履修届

学割証交付願

滞在先届

休暇依頼状申込書

<受講申込辞退願>平成24年度東京スクーリング（春期）第1・2期

<受講申込辞退願>平成24年度地方スクーリング（春期）第1・2期

<受講申込辞退願>平成24年度東京スクーリング（春期）第3期

<受講申込辞退願>平成24年度夜間スクーリング（春期）

<受講届>東京スクーリング（春期）第1・2期

<受講届>地方スクーリング（春期）第1・2期

<受講届>東京スクーリング（春期）第3期

<受講届>夜間スクーリング（春期）

はじめに

面接授業（スクーリング）とは、教員による直接の講義・演習・実技を受講することをいいます。その目的は、教材による在宅学習では十分に学習効果を上げることが困難な科目の一面を補い、教育効果を高めることにあります。このような主旨・目的から、スクーリングは卒業のための必修となっています。

本学の通信教育部では、学生に多くの受講機会が得られるよう、多種多様なスクーリングを開講しています。この『手引』は、その実施要領などをとりまとめて掲載しています。

スクーリングを受講希望する場合には、手続きの前にこの『手引』をよく読み、その指示に従って受講してください。

【受講の調整について】

スクーリングには、十分な教育効果を得るための適正な受講者数の基準が設定されています。受講申込者数が、適正受講者数でない場合、大学側で受講の調整を行うことがあります。

調整にあたっては、「受講機会の均等」の観点から、各申込者の受講調整履歴、スクーリング受講状況、単位修得状況、在学年数等を総合的に判断し、対象者を確定しますので、あらかじめご了承ください。

なお、講座の適正人数は、おおよそ下表の人数を目安としますが、講座の特性、スクーリングの形態、スクーリング会場の試験時定員数、パソコン台数及び受講学生の履修要件等により、下表によらない場合もあります。

講 座	受講者数の上限	受講者数の下限
外国語科目講座	65名	5名
演習講座	30名	5名
上記以外の講座	100名	10名

〔調整方法等〕

- ❶ 希望した講座が受講者数の上限を超えた場合、同時期に開講されている同じ科目の講座に振り分けることがあります。
- ❷ 超過人数の状況により新たに講座を増設（分割）して開講する場合があります。
- ❸ 上記❶・❷の方法で対応できない場合、調整対象者は当該講座の受講ができません。
- ❹ 受講申込者数が下限に満たない場合、開講を取りやめることがあります。
- ❺ 「受講許可講座」及び「講師」の決定は、受講許可通知書にて通知します。したがって、受講許可講座以外の講座の受講は、認められません。また、一度決定した受講許可講座の追加・変更はできません。

I 受講手続の流れ

ここでは、皆さんがしなければならない手続の流れをまとめています。まず、この流れを掴み、受講手続を行ってください。なお、この手引を読みすすめるにあたって、手引のほかに「学習要覧」も必要となりますのでご用意ください。

項目	手続内容
手引入手 受講科目選択	・手引を読み、受講講座を決定する。
受講講座 科目の単位修得方式決定	・受講講座・科目の単位修得方法を決定する。 各修得方法の詳しい内容は学習要覧「単位修得方式」の頁参照。



スクーリング併用方式希望者のみ	履修登録	・未登録科目を登録する。 スクーリング併用試験方式で受講する科目で、履修登録が済んでいない科目は、表紙記載の締切日までに履修届又は追加科目履修届で登録する。 【履修届は毎年度始めに1枚届きます（前期生は「部報」3月号、後期生は「部報」9月号に同封）。追加科目履修届は手引巻末付録にとじこまれています。】
	レポート提出	・レポートを提出する。 スクーリング併用試験方式で受講する科目でレポート未提出のものは表紙記載の締切日までに教務課必着で提出する。



受講したい講座を申し込む	・受講講座・科目を手引巻末の受講届に記入し、教務課へ提出する。 または、在学生専用サポート（Web報）から申込み手続を行う。 表紙記載の締切日にご注意ください。
--------------	----------------------------------------------------------------------------------------



スクーリング受講許可通知書の確認	・会計課から送付された「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」を受け取り次第、許可された講座を確認する。 内容に疑問があれば教務課へ問い合わせる。
申込講座の辞退 【申込講座の取消を行う場合のみ】	・申込講座（全講座・一部の講座とも）を受講しない場合、表紙記載の締切日までに辞退手続をする。詳しくは「申込講座を辞退する」の頁参照。
受講料の納入	・許可通知書の内容に疑問がなければ、表紙記載の締切日までに受講料を振り込む。
使用教材の入手	・シラバスを参照し、申込講座の教材をそろえる。



授業開始	・通信教育部1号館1階掲示板にて講堂表を確認した後、それぞれの講堂で受講する。
------	-----------------------------------------



試験結果確認	・教務課から送付された通知又は在学生専用サポート（Web報）で、受講した講座の成績を確認する。 発送日程は表紙記載。
--------	---------------------------------------------------------------

Ⅱ 受講講座の選定

1 受講講座の選択

東京・地方スクーリングともに各期から1講座、夜間スクーリングでは月曜日から金曜日までの各曜日から1講座ずつ(最多5講座)、申し込みできます。各自、学習要覧を参照し、自分がとらなければならない科目を把握し、学習計画を立てた上で受講申込をしてください。

2 受講の制限について

すべての方がすべての講座を申し込めるものではありません。自分の学年・学科専攻、カリキュラム、その他の理由により申し込めない講座があります。以下、それぞれの受講制限を掲載しますので、必ずそれぞれの制限に該当しないか確認の上、申込みしてください。

① 学年・学科専攻による受講可能講座の制限について

(1) 1 学年生

『学習要覧』『授業科目一覧』の表中で「面接担当学年」欄に「1」と記載されている総合教育科目・外国語科目・各自が指定配本されている専門教育科目が受講可能です。

このスクーリングでは「開講講座表」の「担当学年」が「1年」とある講座です。また、科目によっては特定の学科しか申し込めない科目もあります。『学習要覧』又は「開講講座表」の「制限・注意」をよく参照してください。

(2) 2 学年生

『学習要覧』『授業科目一覧』の表中で「面接担当学年」欄に「1」「2」と記載されている科目が受講可能です。

このスクーリングでは「開講講座表」の「担当学年」が「1年」又は「2年」とある講座です。また、科目によっては特定の学科しか申し込めない科目もあります。『学習要覧』又は「開講講座表」の「注意」をよく参照してください。

(3) 3・4 学年生

このスクーリングでは学年による受講の制限はありませんが、科目によっては特定の学科しか申し込めない科目もあります。『学習要覧』又は「開講講座表」の「制限・注意」をよく参照してください。

(4) 科目履修生

入学時に申請登録した科目に該当する講座のみ受講できます。

なお、科目履修生はスクーリング併用試験方式での申込みはできないので注意してください。

② カリキュラムによる受講可能講座の制限について

自分に適用されているカリキュラムによっては、受講できない講座があります。自分のカリキュラムが分からない方は「Ⅷ カリキュラムについて」の頁を参照してください。

③ その他の理由による受講可能講座の制限について

以下のいずれかに該当する場合、その講座は受講できません。

(1) 既に所定単位を修得している科目及び単位修得方式確定の科目の講座

(2) 同一講師かつ同一科目で、さらに授業内容も全く同じ講座

次のア～ウのすべてに該当する講座は申込できません。

ア 科目名が同じである(講座名でなく科目名です)

イ 担当講師が同じである

ウ 講義内容が全く同じである

講義内容を参照し、授業のねらい等が全く同じ場合は申込みできません。

(3) 受講希望者が適正人員・収容定員を超えた場合

一部の講座については申込希望者が講座の適正人員を超えることが予想されます。この場合大学側で受講の調整を行います。

調整により、一部の科目で受講申込講座と異なる講座で許可する場合や、受講を認めないことがあります。

そのため、**必ず受講許可通知書にて、受講許可講座・講師名を確認し、許可された講座を受講してください。**

受講許可講座と異なる講座の受講は、認められません。

注 意 事 項

【所定単位とスクーリングについて】

所定単位とは、その科目を修得するために必要な単位数のことです。

スクーリングでは、開講単位数を1単位または2単位で開講しています。そのため、多くの講座は、所定単位の半分の開講単位数になります。したがって、**スクーリングのみの受講の場合は、ある科目をスクーリングで1回受講・合格しても1科目分の修得単位としては認められないため、所定単位を充足したことにはならず、成績証明書、教員免許状申請用学力に関する証明書等にも表示されません。**

大部分の科目において『学習要覧』にある科目の所定単位とスクーリングの単位は異なります。所定単位と各スクーリングでの開講単位を十分確認してください。

Ⅲ 受講手続

平成 24 年度からの変更点

平成 24 年度から、「受講届」(はがき)と「在学生専用サポート (Web 報)」の両方で申込みがあった場合は、「在学生専用サポート (Web 報)」の内容を有効とします。

1 講座を申し込む

① 「受講届」による申込み

スクーリングを受講するためには、この手引巻末にある「受講届」の提出が必要となります。受講届は「開講講座表」を参照しながら作成してください。

「受講届」記入欄の説明 (記入例参照)

(1) 開催地コード

開催地のコード番号です。

(2) 講座コードについて

開講講座のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「講座コード」欄を参照してください。

(3) 講座名について

開講される講座の名称です。この講座名を「開講講座表」を参照の上、記入してください。間違えて「充当科目名」を記入しないよう注意してください。

(4) 充当科目コードについて

開講講座の単位修得により充当できる科目のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「充当科目コード」欄、及び後掲の「注意事項」を参照してください。

(5) 受講希望方式

スクーリング併用方式による受講希望の有無を意思表示する欄です。スクーリング併用方式による受講を希望する場合についてのみ、次のとおり講座毎に申し込みを行ってください。

履修方法	記入方法
スクーリング併用試験方式を希望する。	「併用」と記入
スクーリング併用試験方式を希望しない。	無記入 (空欄のまま)

※科目履修生は、スクーリング併用試験方式での受講はできません。

(6) 学生証番号・氏名・電話番号

電話番号は記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください。

※注意事項

「英語」「体育実技」「法学特殊講義」「各演習科目」のコード記入方法

例えば、「英語」という講座は、「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英語Ⅲ」「英語Ⅳ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語Ⅰ～Ⅳ」のどの科目に充当させるかは、各自の履修状況・履修計画によって異なります。したがって、英語をスクーリングで受講する際には、「受講届」に

□ 内を必ず御記入ください 平成24年 月 日作成

平成24年度東京スクーリング (春期) 受講届 (30)
第1・2期 東京用

期	開催地 コード	講座 コード	講座名	充当科目コード	受講希望 方式	
1	7 9	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
2	7 9					

※併用試験方式を希望する場合は、この欄に「併用」と明記してください。↑
なお、希望しない場合は、空欄のまま提出してください。

上記のとおり相違ありません。

学生証番号							
フリガナ							
氏名	(6)						
自宅電話番号							
緊急時電話番号							

※提出締切日 平成24年3月15日(木)【締切日までの消印有効】
※本票は東京スクーリング(春期)第1・2期用の受講届です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
※書き損じた場合は修正テープ修正液で訂正してください。
※本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

記載する充当科目コードによって「英語Ⅰ～Ⅳ」のうちどの科目を受講しようとしているのか、各自が大学に申告しなくてはなりません。

スクーリングの「受講届」では2桁の講座コードと4桁の充当科目コード、受講講座（科目）を登録することになっています。コードは「開講講座表」の講座コード欄、充当科目コード欄に記載されています。

「英語」の場合、「開講講座表」の充当科目コード欄に4つのコードが並んでいます。各自の履修計画に合致する科目（「英語Ⅰ～Ⅳ」のいずれか）のコードを、その中から1つ選ばなくてはなりません。

《記入例》（英語Ⅲの英語Ⅲを選んだ場合）

講座コード	開講講座名	充当科目コード	科目名（充当科目名）
14	英語 A	0041	英語Ⅰ
		0042	英語Ⅱ
		0043	英語Ⅲ
		0044	英語Ⅳ
15	英語 B	0041	英語Ⅰ
		0042	英語Ⅱ
		0043	英語Ⅲ
		0044	英語Ⅳ
16	英語 C	0041	英語Ⅰ
		0042	英語Ⅱ
		0043	英語Ⅲ
		0044	英語Ⅳ

(2) (1) (4) (3)

- (1) 希望する講座を選択……「英語 C」を選択
- (2) 「英語 C」を選択したことによって講座コード「16」と記入
- (3) その講座でどの科目を充当したいのか選択する……「英語Ⅲ」を選択
- (4) 「英語Ⅲ」を選択したことによって充当科目コードは「0043」となる
- (5) 受講届に記入の際は、講座コードに「16」、充当科目コードに「0043」と記入します。また講座名は「英語 C」と記入します。

※ 「…演習」という講座も同様で、例えば「英語学演習」の場合、「英語学演習Ⅰ」「英語学演習Ⅱ」「英語学演習Ⅲ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語学演習Ⅰ～Ⅲ」のどの科目に充当させるかを「受講届」に記載する充当科目コードによって各自が大学に申告しなくてはなりません。

注 意 事 項

記入上の注意

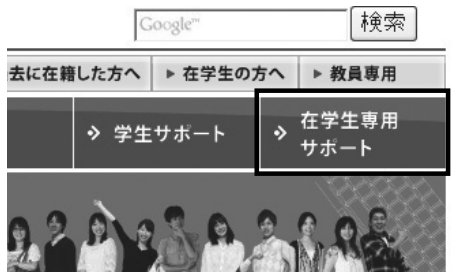

- (1) 黒のボールペンを使用し、楷書で正確に記入してください。
- (2) 受講届提出締切後の追加、変更はできません。
- (3) 記入誤り、記入漏れによる追加変更は一切いたしません。
- (4) 下記の場合、大学の判断により事務的な処理を行い講座の決定をいたしますので希望講座を受講できない可能性があります。
 - ・乱雑な記入
 - ・記入誤り、記入漏れ
 - ・記入した講座コード、講座名、充当科目コードの不一致

② 在学生専用サポート (Web 報) による申込み

●申込みの前に

1	申込みには、ID とパスワードが必要です。 ID = 学生証番号 初期パスワード=自分の西暦生年月日 (半角数字 8 桁)	
2	申込みには、パソコンのメールアドレスの登録が必要です。 登録していない場合は、「在学生専用サポート (以下「Web 報」) にある「個人情報の設定」で登録してから手続をしてください。	<p style="text-align: center;">● 個人情報の設定</p> パスワードなどの登録内容の変更をしたい方はこちら。 ※ログインが必要です。

●申込方法

1	通信教育部ホームページ (URL : http://www.cd.nihon-u.ac.jp/index.html) の「Web 報」をクリックしてください。									
2	「スクーリング申し込み」でスクーリングごとに申込みができる期間が表示されていますので、申込期間の確認をしてください。 申込 ボタンをクリックしてください。									
【本手引き対象スクーリングの Web 報による申込期間】										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">東京 (春期) 第 1・2 期</td> <td style="text-align: center;">2012 年 3 月 3 日 10:00 ~ 2012 年 3 月 15 日 24:00</td> </tr> <tr> <td>夜間 (春期)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方 (春期) 第 1・2 期</td> <td style="text-align: center;">2012 年 4 月 6 日 10:00 ~ 2012 年 4 月 18 日 24:00</td> </tr> <tr> <td>東京 (春期) 第 3 期</td> <td></td> </tr> </table>			東京 (春期) 第 1・2 期	2012 年 3 月 3 日 10:00 ~ 2012 年 3 月 15 日 24:00	夜間 (春期)		地方 (春期) 第 1・2 期	2012 年 4 月 6 日 10:00 ~ 2012 年 4 月 18 日 24:00	東京 (春期) 第 3 期	
東京 (春期) 第 1・2 期	2012 年 3 月 3 日 10:00 ~ 2012 年 3 月 15 日 24:00									
夜間 (春期)										
地方 (春期) 第 1・2 期	2012 年 4 月 6 日 10:00 ~ 2012 年 4 月 18 日 24:00									
東京 (春期) 第 3 期										
3	申込みの流れの説明が表示されますので、手順・注意事項を確認してから、画面下の 次へすすむ ボタンをクリックしてください。	【画面下】 下の画面コピーを必ず保存しておいてください。申込 <div style="border: 1px solid black; width: 100px; margin: 10px auto; padding: 5px; text-align: center;"> 次へすすむ </div>								

【ログインしていない場合】

ログイン ID・パスワードを入力する画面が表示されますので、入力してください (すでにログイン済みの場合は表示されません)。

こちらは、ログインが必要なページです。
ID、パスワードを入力してください。

ログインID:
※学生証番号を半角数字で入力

パスワード:
※初期パスワードに入力

[パスワードを忘れた場合はこちら](#)

4	申込みを受け付けているスクーリングが表示されますので、 申込 ボタンをクリックし、後は画面の指示に従って、手続を完了してください。	【受付中のスクーリング】 希望のスクーリング開催地を選択してください。 申し込み内容の確認、変更を行う場合は、確認ボタンを押してください。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>コード</th> <th>スクーリング種別</th> <th>開催地</th> <th>操作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2012</td> <td>30</td> <td>東京スクーリング(春期)第1・2期</td> <td>東京</td> <td style="text-align: center;"><input type="button" value="申込"/></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;"><input type="button" value="戻る"/></p>	年度	コード	スクーリング種別	開催地	操作	2012	30	東京スクーリング(春期)第1・2期	東京	<input type="button" value="申込"/>
年度	コード	スクーリング種別	開催地	操作								
2012	30	東京スクーリング(春期)第1・2期	東京	<input type="button" value="申込"/>								

●受付完了

申込受付が完了すると、登録されているパソコンのメールアドレスに受付メールが配信されます。配信されない場合は、申込確認画面で確認してください。

●申込確認

申込期間に限り、「Web報」で確認することができます。

1	申込方法の1～3の手順で、受付中のスクーリングの画面まで進んでください。											
2	申込みをしたスクーリングの「確認」ボタンをクリックして、内容を確認してください。	<p>受付中のスクーリング</p> <p>希望のスクーリング・開催地を選択してください。 申し込み内容の確認、変更・削除する場合は、確認ボタンを押してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>コード</th> <th>スクーリング種別</th> <th>開催地</th> <th>操作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2012</td> <td>30</td> <td>東京スクーリング(春期)第1・2期</td> <td>東京</td> <td><input type="button" value="確認"/></td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="button" value="戻る"/></p>	年度	コード	スクーリング種別	開催地	操作	2012	30	東京スクーリング(春期)第1・2期	東京	<input type="button" value="確認"/>
年度	コード	スクーリング種別	開催地	操作								
2012	30	東京スクーリング(春期)第1・2期	東京	<input type="button" value="確認"/>								

●申込内容の変更・取りやめ

申込期間に限り、「Web報」で変更・取りやめをすることができます。

<p>申込内容を変更する場合には、一旦、申込内容を削除する必要があります。</p> <p><input type="button" value="変更する"/> ボタンをクリックして、内容を削除してから、再度申込みを行ってください。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>スクーリング名</th> <th>開催地</th> <th>コード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2012</td> <td>東京スクーリング(春期)第1・2期</td> <td>東京</td> <td>79</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>講座</th> <th>充当科目</th> <th>併用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>*****</td> <td>*****</td> <td>**</td> </tr> </tbody> </table> <p>確認を終了して、在学生専用サポートのトップ画面に戻る <input type="button" value="確認終了"/></p> <p>申し込み内容を変更するので、一旦全て削除して、申し込み画面のトップに戻る <input type="button" value="変更する"/></p>	年度	スクーリング名	開催地	コード	2012	東京スクーリング(春期)第1・2期	東京	79	講座	充当科目	併用	*****	*****	**
年度	スクーリング名	開催地	コード												
2012	東京スクーリング(春期)第1・2期	東京	79												
講座	充当科目	併用													
*****	*****	**													

注意) 申込期限の経過したスクーリングは、受付できません。

申込みの際には、各『スクーリングの手引』が必要です。

※ホームページ上では、充当科目コードの代わりに充当科目名を選択します。

※受講届(はがき)と「Web報」の両方から申込みがあった場合は、「Web報」の申込内容を有効とします。(平成24年度から変更いたしますのでご注意ください)

2 受講届を提出する

受講届の記入が終わったら、受講届を教務課あてに提出しなければなりません。提出方法は以下の2つがあります。

① 教務課窓口へ直接提出

教務課カウンターに提出ポストを設置しますので、そちらに投函してください。【締切日は事務取扱時間までとします。】

② 郵送で提出する

受講届に切手貼付の上、郵送してください。【提出締切日までの消印有効】

※ 郵送提出における注意事項

天災や郵便の遅延・未着そのほかの事故については、いかなる配慮も行いません。

受講届が教務課に届かなかった場合、受講ができなくなりますので、特定記録郵便・簡易書留・書留を強くお勧めします。

特定記録郵便の場合、大学受領の記録が残らない取扱いとなりますので、「受講許可通知証」が届くまで、郵送した際の受領証を必ず大切に保管ください。紛失の場合、郵便追跡確認ができなくなります。

また、レポート等、他の書類と一緒に送付するとその間にはさまってしまい、事故の原因になります。受講届は単体で送付してください。

3 受講講座の変更・追加

① 受講講座変更届用紙

受講講座の変更・追加をする場合は、市販の便箋を使用し、下記の記入例を参考に変更届を作成してください。

※変更・追加のために、複数の「受講届」用紙を使用した場合や他のスクーリングの「受講届」を使用した場合は、正しい申込みが判別不能となり、申込みが「無効」となりますので、決して使用しないでください。

② 記入事項

変更・追加する事項の記入を行うほかに変更前の申込講座の「スクーリング名称」、「開催期」「講座コード」「講座名」「充当科目コード」「併用申込」の有無を明記してください。また、自己の所属学部・学科（専攻）・学生証番号・氏名・会場コードも忘れずに記入してください。

③ 提出先・提出方法

受講届提出と同様です。

④ 提出期間

市販の便箋等を使用し受講届と同じ期間内に提出してください。別途の日程はありません。

※受講届提出期間内に到着した場合のみ有効となります。

《記入例》

〈市販の便箋等〉

①東京スクーリング（春期）第1・2期の場合

平成〇年〇月〇日					
日本大学通信教育部教務課長 殿					
平成 24 年度東京スクーリング（春期）受講講座変更届					
標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ東京スクーリング（春期）における受講講座を下記のとおり変更したく、書面をもってお願いいたします。					
記					
（当初の受講講座）					
開催地	講座	講座名	充当科目	受講希望方式	
コード	コード		コード		
1 期	79	A2 英語 A	0043	併用	
2 期	79	BG 英米文学演習 G	0486	-	
（変更後の受講講座）					
開催地	講座	講座名	充当科目	受講希望方式	
コード	コード		コード		
1 期	79	A2 英語 A	0042	併用	
2 期	79	BC イギリス文学史 I	0411	併用	
上記のとおり相違ありません					
文理学部史学専攻 学生証番号：24123999 氏名：日大 太郎					

②夜間スクーリング（春期）の場合

平成〇年〇月〇日					
日本大学通信教育部教務課長 殿					
平成 24 年度夜間スクーリング（春期）受講講座変更届					
標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ夜間スクーリング（春期）における受講講座を下記のとおり変更したく、書面をもってお願いいたします。					
記					
（当初の受講講座）					
曜日	講座	講座名	充当科目	受講希望方式	
	コード		コード		
水	C1	心理学	0035	併用	
金	E1	歴史学	0015	-	
（変更後の受講講座）					
曜日	講座	講座名	充当科目	受講希望方式	
	コード		コード		
水	C2	英語 H	0043	併用	
木	D1	英語 J	0044	併用	
上記のとおり相違ありません					
法学部法律学科 学生証番号：11123999 氏名：日大 太郎					

4 受講許可通知書を確認する

申込み内容に基づき大学が受講資格審査を行い、その結果を「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」により送付します。

なお、「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」の発送は、下記の日程で、予定しています。発送予定日から5日経過しても通知が届かない場合は、至急、会計課（電話 03-5275-8925）に連絡してください。

〈受講許可通知書発送予定〉

	在学生	24年度新入生（4月生）
東京スクーリング（春期）第1・2期	4月9日（月）	4月19日（木）
夜間スクーリング（春期）	5月7日（月）	5月14日（月）
地方スクーリング（春期）第1・2期	5月8日（火）	5月16日（水）
東京スクーリング（春期）第3期		5月30日（水）

「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」が届いたら、以下に示す要領によって、大学から許可された内容を必ず確認してください。

① 充当科目コードの確認

必ず充当科目コード・単位を確認してください。

「充当科目コード」、及び「単位」欄に表記された内容が、申込み内容と同一であることを確認してください。

「英語」や「演習」などのように「Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ…」の区別のあるものや、科目の名称が類似している科目がありますので、十分注意してください。

スクーリング併用試験方式で申込みの科目であっても、単位数はスクーリング開講単位で表示されています。

② 講座コード・講座名・時間割の確認

必ず講座コード・講座名・時間割を確認してください。

「講座コード」欄に表記された内容が、申込み内容と同一であることを確認してください。受講申込者数により講座が分割されている場合があります。

③ スクーリング併用試験方式の確認

併用試験の許可・不許可について後掲の表のとおり表示されていますので確認してください。なお、併用試験の申込みがなされなかった科目についても不許可の表示となっています。

「併用試験」欄表示	許可・不許可	備 考
○	許 可	
	不許可	スクーリングの受講は可能

※ 受講許可後に改めてスクーリング併用試験の申込みをすることはできません。

5 講座振り分け及び受講不許可について

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、以下の①から③のいずれかで対応させていただきます。

① 超過した人数分の学生を受講不許可にする

※希望した講座が受講できないこととなります。また、新たに代わりの講座を申し込むこともできません。あらかじめご了承ください。

② 超過した人数分の学生を他講師担当の同一科目講座へ振り分ける

③ 新たに他講師担当の同一科目講座を増設し、超過した人数分の学生をその講座へ振り分ける

※ ②③の場合、振り分けられた講座を受講することになります。担当講師、授業内容は振り分けられた講座の内容に変更されますのでご注意ください。

振り分けられた講座を受講したくない場合には、「7 申込講座を辞退する」の項を参照し、辞退手続を行ってください。②③についても受講辞退後、新たに代替りの講座を申し込むことはできません。あらかじめご了承ください。

6 受講料等の納入

申込講座の辞退がない場合、受講料等を期限までに納入してください。

① 受講料

スクーリング名	受講料
東京スクーリング（春期） 夜間スクーリング（春期）	1講座 10,000円×受講講座数
地方スクーリング（春期）	1講座 13,000円×受講講座数

② 納入期限

スクーリング名	納入期限
東京スクーリング（春期）第1・2期	4月26日（木）
夜間スクーリング（春期）	5月18日（金）
地方スクーリング（春期）第1・2期	5月21日（月）
東京スクーリング（春期）第3期	6月6日（水）

銀行窓口 ※当日取扱時間まで

③ 納入方法

必ず大学から送付される「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」を使用し銀行窓口から振り込んでください。「(A) スクーリング受講許可通知書兼領収書」と「(B) スクーリング受講料等振込依頼書」は、切り離さずに銀行窓口へ持参してください。

注 意 事 項

① 納入に際しての注意事項

- (1) 銀行窓口のみの取扱いとなります。会計課窓口及び郵送での納入はできません。
- (2) 自動振込機（ATM）及びネットバンキングからの納入は受け付けません。銀行係員が勧めても使用しないでください。
- (3) 「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」に記載された事項を訂正したものは受け付けません。
- (4) 三井住友銀行本・支店窓口からの振込手数料は、無料となります。

② その他の注意事項

- (1) 発送予定日から5日経過しても「スクーリング受講許可通知書兼スクーリング受講料等振込依頼書」が届かない場合は、至急会計課に連絡してください。また、期日までに納入できない事情が発生した場合は、至急教務課に連絡してください。
- (2) 「(A) スクーリング受講許可通知書兼領収書（銀行領収印の押印されているもの）」は、受講時、試験時、通学証明書等の申請・発行を受ける際、学生証とともに必要になります。受講期間中は常に携帯してください。
- (3) 受講料等を納入したのちに、受講申込辞退の意思表示があったとしても、受講料等の返還は行いません。

7 申込講座を辞退する

この手続は、受講許可通知を受け取った後、やむを得ない理由等により申込み講座の全部又は一部の受講ができなくなった場合、その講座の辞退を行う手続です。

ただし、この辞退手続はスクーリング受講料等納入前であることが条件となります。スクーリング受講料等納入後に受講辞退の意思表示があったとしても受講料等は返還しません。

講座の辞退を行う場合には以下により手続を行ってください。

① 【手続書類】

【全部講座を辞退する場合】

スクーリング受講通知書に記載されているすべての講座を辞退する場合、以下の(1)(2)を同封の上、教務課試験係まで提出してください。

【一部の講座を辞退する場合】

スクーリング受講通知書に記載されている講座の一部を辞退する場合、以下の(1)(2)(3)を同封の上、教務課試験係まで提出してください。

この場合、受講したい講座のみ記載された「受講許可通知書」等を大学より改めて送付します。

なお、受講料納入期限は別途指示します（日程上、納入期限まで余裕がありませんのであらかじめご了承ください）。

- (1) 「受講申込辞退願」【巻末付録】
- (2) 受講許可通知時送付書類（2連用紙、次のA Bの書類）
 - (A) スクーリング受講許可通知書兼領収書
 - (B) スクーリング受講料等振込依頼書
- (3) 350円分郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号、住所、氏名を明記）

② 【手続期限】 いかなる場合でも期限後は手続できません。

スクーリング名	日 程	
東京スクーリング（春期）第1・2期	4月19日（木）	《事務取扱時間内必着》
夜間スクーリング（春期）	5月14日（月）	
地方スクーリング（春期）第1・2期	5月16日（水）	
東京スクーリング（春期）第3期	5月30日（水）	

③ 【提出先】 通信教育部教務課試験係

事務時間内であれば窓口での提出もできます。

※ この手続は他の講座への変更・追加申込みではありませんので注意してください。

※ 辞退手続は1回しかできません。

8 使用教材の購入

スクーリングは集中講義形式の授業ですので予習なしでの受講は学習効果が期待できません。受講許可通知書を受け取った後、本手引のシラバス（教科書、参考書）で使用教材が、『通信教育教材』か『市販教材（市販本）』かを確認の上、以下の要領で教材を購入してください（教科書等の価格・送料はシラバスに記載されています）。

教材購入方法の見分け方は、後掲の「③教材購入方法の見分け方」を参照してください。

注 意 事 項

「指定配本」、「履修届」、「追加科目履修届」で既に入手済みの通信教育教材は、所持する教材を使用してください。

なお、使用教材として通信教育教材が指定されている場合において、教材改訂の関係で、**使用教材が「新教材」か「旧教材」か指定されていますので所持する教材の確認をしてください。**また、教材購入後の変更・取消及び費用の返還はできませんので注意してください。

① 使用教材が『通信教育教材』の場合

通材印が付されている教材は、本誌巻末綴込の「教材購入願」用紙を使用し購入してください。既に今回の使用教材を入手している場合は、改めて「教材購入願」によって購入する必要はありません。教材の送付先は、すべて大学に登録されている各自の住所への発送となります。教材が手元に届くまでは手続完了後、約1週間を要しますので、「受講許可通知書」を確認した後、速やかに手続を行ってください。

なお、平成24年度改訂教材（新教材）の入手については、次の事項に留意してください。

入手方法	注意事項
教材の購入	『部報』4月号（3月27日（火）発送予定）に「平成24年度教材販売価格一覧」を掲載します。 新教材の価格を確認のうえ、購入手続をしてください。
履修登録（「履修届」、「追加科目履修届」）による配本	3月6日（火）以降申請の履修登録から新教材を配本します。 3月5日（月）以前の履修登録申請は、旧教材の配本となりますので注意してください。

※平成24年度改訂教材（新教材）の詳細については、『部報』3月号で確認してください。

通信教育教材について不明な点は、研究事務課（電話03-5275-8890）に問い合わせてください。

② 使用教材が『市販教材（市販本）』の場合

『市販教材（市販本）』は、一般書店で購入してください。住居地周辺の書店で購入できない場合は、

丸沼印のついている本については、丸沼書店で購入できます。

（書店名）（株）丸沼書店

（所在地）〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-8-12

（電話）（03）3261-4540

（FAX）（03）3261-0118

（営業時間）9：00～20：00（日曜日は休み）

（購入方法）直接店頭（裏表紙記載の案内図を参照）で購入のほか以下（1）～（3）の方法で通信販売も可能です。

（1）代金引換払（手数料250円が別途かかります）

本誌巻末の「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、上記宛に郵送又はFAXをしてください。

（2）郵便為替（前納）

本誌巻末の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額分の定額小為替又は郵便為替を同封して上記へ郵送してください。

（3）現金書留（前納）

本誌巻末の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額を同封して上記へ郵送してください。

不明な点は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

市販教材の価格・送料は手引作成時の金額です。改訂等により金額が変わる場合があります。予めご了承ください。

Ⅳ 受講及びスクーリング結果について

1 講座の受講

- ① 東京会場でのスクーリングは通信教育部 1号館・3号館及び近隣の本学校舎を予定しています。講堂は、講義初日に通信教育部 1号館の入口に掲示してお知らせします。また、ホームページにおいても講義の2～3日前にお知らせします。
- ② スクーリングは出席が重視されます。遅刻、欠席のないように準備してください。
- ③ スクーリング受講の際は「学生証」「(A) スクーリング受講許可通知書兼領収書」(銀行出納印の押印されているもの)を携帯してください。
- ④ スクーリング試験を受験できなかったり、不合格になった場合でも、追・再試験は実施しません。

2 試験の受験

試験は最終日の最終時限に実施されます。特に大学が指定する科目や担当講師から特別の指示のあった科目の試験は、教室・時間を別に定めて実施します。試験の実施に関する指示は掲示、または授業中に告知します。

その他注意事項を次ページに挙げますので参照してください。

「スクーリング試験」受験上の注意

- 1 「学生証」及び「スクーリング受講通知書兼領収書」(取扱銀行領収印のあるもの)を机上通路側の監督者が見易いところに置くこと。受講手続及び受講料納入がない場合、受験できない。
- 2 「学生証」を忘れた場合又は未更新の場合は、事前に教務課(講師室)に申し出て指示を受けること。
- 3 携帯電話等持参している場合は、電源を切ること。また、時計・電卓としての使用も禁止する。
- 4 持ち込みを許可されたもの以外は机の上に置かないこと。
- 5 解答用紙は、1人1枚とし、再交付はしない。
- 6 解答用紙の下段、太線枠内※印の事項については、必ずペン又はボールペンで記入すること。当該事項について記載がない場合又は誤記等は採点の対象にならない場合がある。
- 7 試験開始後20分以上遅刻した者は受験することができない。
- 8 途中退場は、試験監督者の指示がある場合に限り、試験開始30分後から認める。解答用紙を試験監督者に提出して退場すること。なお、用紙の持ち帰りは一切認めない。
- 9 試験場では、試験監督者の指示に従うこと。
- 10 不正行為(不正とみなされる行為含む)は絶対行わないこと。不正行為を行った場合は、学則により処分(停学・退学等)される。

※ 試験中の参照物等の貸し借りは不正行為とみなす。

3 スクーリング結果の確認

スクーリングの結果は、教務課より平成24年度授業料（前期生のみ）及びスクーリング受講料を納入した学生に郵送で通知します。

電話・郵便による問合せには一切応じることができません。また、「スクーリング結果通知」の再発行はいたしません。天災による郵便の遅延・未着や、その他の事故に対していかなる配慮も行いませんので、「スクーリング結果通知」を紛失した場合などは「在学生専用サポート（Web報）」で確認、又は「単位照合票」の交付を受け、確認してください。

スクーリング名	結果発表時期
東京スクーリング（春期）第1・2期	5月下旬
地方スクーリング（春期）第1・2期 東京スクーリング（春期）第3期	7月中旬
夜間スクーリング（春期）	8月中旬

① 結果の表示

結果は、「合格」、「不合格」、「未受講」で発表します。

受講許可のない講座を受験した場合には「無効」とし、単位は修得できません。

② 単位数

結果が「合格」の場合、1単位あるいは2単位のスクーリング単位を修得したことになります。「シラバス」に表示されている単位数が、それぞれの科目（講座）のスクーリング単位です。

スクーリング併用試験方式で受講が許可されている場合、提出されたレポートが全て合格した時点でそれぞれ、科目の所定単位の修得が認められますが、スクーリング単位はあくまで「シラバス」に記載された単位数の修得となります。そのため「スクーリング結果通知書」には併用試験方式による受講の表示があっても、単位数欄は、所定単位ではなく、スクーリング単位が表示されません。

V 開講日程・開講講座・会場・シラバス

1期・東京

1 開講日程

日	程	授業時間	備考
4月29日	日	9:30～18:30	※時間内に昼休みを設けます。
4月30日	月	9:00～18:30	
5月1日	火	9:00～16:00 <試験も含む>	

2 開講講座 ※以下の30講座中1講座を選択してください

講座名	担当者名	備考
政治学	関根二三夫	
英語 A	石川 勝	
英語 B	小田井勝彦	
英語 C	上島 美佳	
東洋史入門	綿貫 哲郎	
国際法	渡部 茂己	
商法	根田 正樹	
民事訴訟法	松本 幸一	
法学特殊講義 I・II	山岡 永知	
西洋政治史	渡邊容一郎	
漢文学 I	丸山 茂	
国文学演習	阿部 好臣	
英米文学特殊講義	岩城 久哲	
英語音声学	森 晴代	
異文化間 コミュニケーション概論 A	曾根 進	
英語学演習 A	久井田直之	
英語学演習 B	秋葉 倫史	
英米文学演習 C	太田美智子	
英米文学演習 D	堀切 大史	
西洋思想史 II	瀧田 寧	
倫理学特殊講義	上 憲治	

講座名	担当者名	備考
日本史特講 I	鈴木 哲	
財政学総論	野田 裕康	
保険総論	蟻川 滋	
現代教職論	杉森 知也	
かな書法	山本まり子	
法学通論	遠藤 清臣	
国語科教育法 II	品川 利幸	
英語科教育法 I	佐藤 恵一	
生涯学習論	上原 義正	

3 会場

名称	日本大学通信教育部 1号館及び 本学周辺校舎	【その他注意事項】 ① 自家用車・バイクでの通学を禁止します ② 指定された場所以外での喫煙を禁止します。 ③ 各自、ゴミは持ち帰ってください。 ④ その他、会場の使用上の注意を守ってください。
所在地	通信教育部 東京都千代田区三崎町2-2-3 (本館)	
交通案内	水道橋駅より徒歩5分 神保町駅より徒歩7分	

4 案内図は最終ページ参照

5 講義内容は次ページより

掲載順は「開講講座表」のとおりです。

なお、手引に掲載されている教科書・参考書の価格はあくまで手引作成時のものであり、出版社の都合で予告なしに変更される場合があります。

詳しくは書店にお問い合わせください。

◆政治を基礎から学びましょう。

〔政治学〕

開講単位：2単位 担当者：関根 二三夫

◆**学習目標** 基礎教育としての講義を行います。議会及び大統領もしくは内閣の動きを見ますと、政治が難しいことのように感じられます。しかし、そこで制定され執行される法律や予算は、国家や社会や個人の発展に寄与するものです。この講義においては、政治がわれわれの生活に大きな影響を及ぼすと同時に、身近な現象であることを学びます。

◆**授業方法** 講義形式で行います。講義においては、受講生の政治に関する問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が、如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。受講に際しては、予習や復習が必要になります。

◆**準備学習** 政治学は、社会科学のカテゴリーに入り、人間社会を対象にする学問です。社会を構成する人々はそれぞれ考え方が異なりますので、同じ原因が示されても異なった結果が生じるのが通例です。政治学の学問としての課題もそこにあり、現実の社会を理解し、社会における問題を解決して、あるべき社会を築く必要があります。学習の準備として、メディアの記事などに関心を持ち、問題点を把握することが必要になります。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	政治学の変遷、政治の概念、政治の本質、政治権力（概念・構造・支配の手段）、国家（成立の要素・分類）、議会政治（沿革・原理） ※政治学は長い歴史を有していること、現実の政治やあるべき政治とは何か、政治の世界における力関係や影響力、国家を成立させる要素とは何か、議会政治の歴史や原理を学びます。
2日目	議会の構成、立法部と行政部（議院内閣制・大統領制）、選挙制度の原則、選挙区、選挙区の画定、代表選出の形態、政党（概念・特徴） ※一院制や二院制、立法部と行政部との関係、選挙の仕組みを支える原則、選挙区やその作成の基本的考え方、代表を選出する形態、政党とは如何なるものか、また、その特徴などを学びます。
3日目	政党（発展過程・形態・機能・問題点）、圧力団体（概念・特徴・活動・問題点）、コミュニケーション（機能・類型・方向性）とリーダーシップ ※政党がどのように発展してきたか、また、その動きや問題点などを考え、圧力団体とは如何なるものか、その特徴や活動、問題点を学びます。さらに、組織や集団において重要なコミュニケーションやリーダーシップについて考えます。

◆**教科書** 選材『政治学 0023』通信教育教材（教材コード000279）1,800円（送料込）◆**参考書** 丸沼『教養政治学』岩井奉信、黒川貢三郎、関根二三夫他、南窓社、3,045円（税込）（送料390円）◆**成績評価基準** 試験70%、平常点30%。

※試験同様、質問や小テストへの解答等の平常点も重視しますので、受講に際しては、欠席をしないように注意してください。

◆**E-Mail** :

◆実用的な英語力の育成

〔英語 A〕

開講単位：1単位 担当者：石川 勝

◆**学習目標** 文法などの基本事項をおさらいしながらより実用的な英語力を身に着けることを目標とする。特に長文読解とリスニングに重点を置く。

◆**授業方法** テキストを中心に授業を行うが、必要に応じてプリントを使用する。授業中は指名して訳を言ってもらうので予習は必須である。

◆**準備学習** 各 UNIT の Passage をあらかじめ全訳しておくこと。予習していない場合は単位を認めない。◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイダンス Unit1 と Unit2 のリスニングと和訳
2日目	Unit3 と Unit4 のリスニングと和訳 小テスト
3日目	Unit5 のリスニングと和訳 小テスト

◆**教科書** 丸沼『Global Ways (Introductory)』桐原書店 1,995円（税込）（送料340円）◆**参考書** 特に必要ない。◆**成績評価基準** 皆出席と予習が基本条件である。そのうえで2回行う小テストの結果で評価する。◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆英国の今を知りたい! ①

〔英語 B〕

開講単位：1単位 担当者：小田井 勝彦

- ◆**学習目標** イギリスは、日本と同様に島国であり、長い伝統を持つ国です。ヨーロッパの中では、日本人にとって一番親近感が持てる国かもしれません。この授業では、下記のテキストを使用し、現代のイギリスの政治、経済、教育、文化について考察し、英語読解力を養成します。
- ◆**授業方法** 受講者に1文ずつ英文を日本語に訳してもらったのち、文構造の解説、内容の解説を教員が行なっていきます。各章末の練習問題も行ないます。
- ◆**準備学習** 英文を日本語に訳してきて下さい。また、練習問題（Vocabulary Focus, Reading Comprehension, Structure Practice）も考えてきて下さい。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイダンス（授業の進め方、成績評価などについて） Chapter 1 The United Kingdom? Chapter 2 Tea
2日目	Chapter 3 Social Class Chapter 4 Schools and Education Chapter 5 University students and higher education
3日目	Chapter 6 Women in Society テスト

- ◆**教科書** 丸沼『英国の<いま>を知りたい』ティム・ナイト、鶴見書店、2012年 1,785円（税込）（送料340円）
- ◆**参考書** 各自、学習用英和辞典（電子辞書可）を用意して下さい。
- ◆**成績評価基準** テスト 60%
平常点 40%（授業内の発表、授業態度など） ※毎回出席することを前提としています。
- ◆**E-Mail** :

◆Jane Austen の *Sense and Sensibility* を読む

〔英語 C〕

開講単位：1単位 担当者：上島 美佳

- ◆**学習目標** 英国十九世紀初頭の作家ジェイン・オースティンの *Sense and Sensibility* を読みます。3日間の集中講義で読み切れる分量のテキストを使用しますが必要に応じて原文を用い、内容の理解を深めます。
また、作品をDVDで鑑賞することによって、当時の生活、社会を理解することに役立てます。
※平成23年度夏期スクーリングと同じ内容ですので、昨年度受講された方は再受講できません。
- ◆**授業方法** 演習形式で行います。分担を決め、音読・和訳をしてもらいます。必要に応じて、解説を加えます。
辞書は必ず各自で用意してください。
受講者の様子を見ながら進行します。
- ◆**準備学習** 事前に郵送されたプリントについては、訳しておいてください。（1日目に使いますので、持参してください。）
テキストはこちらで当日配布いたします。
- ◆**授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕**

1日目	・ガイダンス ・テキスト購読・発表 ・解説
2日目	・テキスト購読・発表 ・解説 ・DVD鑑賞
3日目	・テキスト購読・発表・解説 ・まとめ ・試験

- ◆**教科書** 事前資料送付 事前及び当日にプリントを配布いたします。
- ◆**参考書** 英和辞書（電子辞書可）を必ず持参して下さい。
- ◆**成績評価基準** 授業の取り組み・発表・試験により、総合的に評価します。
- ◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆清朝史研究へのアプローチ

〔東洋史入門〕

開講単位：2単位 担当者：綿貫 哲郎

◆**学習目標** 現代中国の領土・民族を理解する上で清朝（1636-1912年）の理解は欠かせない。このような清朝はどのように研究されてきたのだろうか。東洋史学の立場から清朝史の先行研究を学び、論文作成のための基礎知識（概説書・工具書・入門書や研究施設・図書館などを紹介）を理解することを目標とする。

◆**授業方法** 以下の授業計画（予定）に沿って、講義及び実習形式でおこなう。講義の理解を深めるため、視覚教材を適宜併用する。必要に応じて、授業時間内外でレポートを課する予定である。

◆**準備学習** 予習よりむしろ復習に重点をおいてもらいたい。授業で紹介する内容をもとに自分自身が卒業論文を作成するための研究方法を確立してもらいたい。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイダンス（本講義の主題・目的）、清朝史へのアプローチ（1）。 ※清朝史がどのように研究されてきたのか、明治時代以降の日本における東洋史学史を概観し、近代日本の黎明期におけるナショナリズムとの関係や歴史的背景、また戦前までの研究者の業績などを学ぶ。
2日目	清朝史へのアプローチ（2）。 ※「満洲人皇帝」「最後の中華王朝」「モンゴルの後継者としての中央ユーラシア帝国」などをキーワードに、研究方法（作成のための工具書・ネット環境、先行研究の整理、テーマの設定）について、主に戦後以降の研究者の業績より学ぶ。
3日目	清朝史へのアプローチ（3）、まとめ、最終試験。 ※2日目と同じく研究方法について、近年の研究者の業績より学ぶ。最終試験の確認をする。

◆**教科書** なし。〔当日資料配布〕当日プリント資料を配付する。

◆**参考書** 授業中に適宜指示する。

◆**成績評価基準** 最終試験（60%）、平常点〔授業態度・レポートなど〕（40%）。全日程出席することを前提として評価する。

◆**E-Mail** :

◆国際社会の特質と国際法：国際人権法を中心に

〔国際法〕

開講単位：2単位 担当者：渡部 茂己

◆**学習目標** 国際法は国際社会を規律する法規範である。国際社会と国内社会は人間社会という点で共通しつつ、当然ながら国際社会に特有の状況も存在する。国際社会において、法はどのようにして定立され、実施され、執行されるのか、その基本構造を理解する。実定国際法の代表例として「国際人権法」をとりあげて学ぶ。

◆**授業方法** パワーポイントやDVDも活用しながら、当日の授業内に配布するレジュメや資料プリントに基づいてきわめて平易に解説する。質疑等を歓迎する。

◆**準備学習** 通信教育教材の『国際法』を事前にひと通り目を通しておくことが望ましい。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	<input type="checkbox"/> 国際社会の特質と国際法の基本構造 <input type="checkbox"/> 国際法概念と理念および法源 ※広義での国際法は古代以来の歴史があることと、かつ、現代国際社会の特質のなかでの今日の国際法が有する基本的特徴を理解する。
2日目	<input type="checkbox"/> 人権保障と国連システム <input type="checkbox"/> 個別的な人権保護のための諸条約：その1－女性の権利 ※実定国際法の一分野としての国際人権法の特徴を理解する。 ※さまざまな具体的権利保護のための条約のうち、女性差別撤廃条約を学習する。
3日目	<input type="checkbox"/> 子どもの権利条約の概要 <input type="checkbox"/> 難民条約、その他の国際人権諸条約の概要 ※具体的な国際人権法の諸分野についてその内容を理解する。

◆**教科書** 丸沼『国際人権法』渡部茂己編、国際書院 2,940円（税込）（送料390円）。

◆**参考書** 教材（平成24年度新教材）『国際法 0124』通信教育教材（教材コード000462）※価格未定（価格は『部報』4月号に掲載）〈この教材は市販の『国際法』渡部茂己・喜多義人（弘文堂）と同一です〉

◆**成績評価基準** 平常点（50%）、論述試験（参考書・ノート等の参照可）（50%）。スクーリングは、毎回出席することを前提として評価します。

◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

□企業取引と法

〔商法〕

開講単位：2単位 担当者：根田 正樹

◆**学習目標** わが国は、一面企業を中心とした社会といえます。この企業は商品やサービスを他の企業や消費者に提供することによってなっています。こうした企業の行う取引について規制しているのが「企業法としての商法」です。この授業では、商法の概要を勉強した後、企業取引に関わる諸問題について、実際に即して勉強したいと考えています。

◆**授業方法** シラバスに従った講義形式となりますが、できるだけ具体的事例を挙げながら、受講者の皆さんと一緒に考える勉強にしたいと思います。

◆**準備学習** 通信教育のテキスト『商法』の第1編および第2編を事前に2,3回読んでスクーリングに臨んでください。不明な部分、理解できないところは飛ばして最後まで読んでください。その際、六法のある商法などの条文も読んでみてください。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	企業法としての商法の概要と規制原理および企業の物的設備、人的設備を内容とします。物的設備については、商業登記制度、商号、会計帳簿などを対象とします。人的設備については、営業活動の補助者である商業使用人や代理商などを対象とします。
2日目	企業取引の基礎および企業取引の諸類型と法規制を内容とします。具体的には、企業取引の基礎として契約の基本を学習したうえで、企業取引のいくつかの類型（売買取引など）について検討します。
3日目	企業取引の最終段階ともいふべき支払決済について学習します。具体的には、総論ともいふべき決済方法の多様化や約束手形の法律関係について検討します。授業の終わった後、試験を行います。

◆**教科書** **通材**（平成24年度新教材）『商法 0140』 通信教育教材（教材コード000451）※価格未定（価格は『部報』4月号に掲載）
なお、小型の六法（平成24年版）を必ず持参して下さい。

◆**参考書** 必要に応じて資料を配布する予定です。

◆**成績評価基準** 受講状況（20%） 試験（80%）

◆**E-Mail** :

□民事訴訟法の基礎を学ぶ

〔民事訴訟法〕

開講単位：2単位 担当者：松本 幸一

◆**学習目標** 私人間の生活関係から生じた利害を対立解決する究極の紛争解決制度が民事裁判制度です。その基礎を理解してもらうことが目標です。

◆**授業方法** 教科書に合わせて、民事裁判手続の大まかな過程とその構造を支える基本原理を理解してもらえるよう講義します。

◆**準備学習** 一般社会における私人間の身近なトラブルの解決手段には、どのような種類があるでしょうか。民事裁判（訴訟）は、司法制度としてなぜ必要なのでしょう。授業計画の項目を事前に学習しておくことが大切です。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	「訴えなければ裁判なし（処分権主義）」当事者、訴えの3類型、訴訟要件、訴え提起の効果
2日目	争点及び証拠の整理、裁判審理の諸原則、主要事実・間接事実の主張・立証活動、弁論主義、裁判審理での自白、証明と証拠調べ手続、文書提出命令とイン・カメラ手続、客観的証明責任と当事者の証明責任の負担、証明責任の分配の原則
3日目	当事者の行為による訴訟終了、判決による訴訟終了、判決の効力一既判力、多数当事者の裁判、裁判に対する不服申立。（試験）

◆**教科書** 未定のため決定後、受講許可通知書同封文書にてお知らせいたします。

◆**参考書** **丸沼**『ポケット六法 平成24年版』 有斐閣 1,890円（税込）（送料390円）

◆**成績評価基準** 出席点60%、試験40%

◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

□アメリカ法概論

〔法学特殊講義Ⅰ・Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：山岡 永知

◆**学習目標** アメリカ法の概論を講義し、イギリス法との関係を歴史的に考察し、更に、アメリカ法及び、アメリカの司法制度について理解を深める。

◆**授業方法** 講義ばかりではなく、受講生によるディスカッションもしながら授業を進める。

◆**準備学習** テキストを良く熟読し、授業に使用される判例を予め研究すること。

◆**授業計画** (1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分)

1日目	1. 授業内容の説明 2. 連邦政府の誕生 3. 連邦制度下における司法審査 判例 (1) Marbury v. Madison, (2) Fletcher v. Peck, (3) Martin v. Hunter's Lessee 4. 統治構造：判例 (4) Reynolds v. Sim, (5) United States v. Nixon
2日目	5. 連邦と州の法律関係：判例 (7) McCulloch v. Maryland 6. 州際通商条項に関する立法問題 判例 (10) Gibbon v. Ogden, (11) Southern Pacific Co. v. State of Arizona (12) Garcia v. San Antonio Metropolitan Transit Authority, 旧 (36). Wickard v. Filburn 旧 (37). Katzenbach v. McClun, 旧 (38). City of Burbank v. Lockheed Air Terminal, Inc. 7. 司法制度 連邦と州の裁判所、及び、裁判管轄権 判例 (81) Pennoyer v. Neff, (82) International Shoe Co. v. Washington, (83) Shaffer v. Heitner
3日目	8. 他州判決の承認と執行 判例 (85) Williams v. North Carolina, 旧 (44) Sherrer v. Sherrer 9. 連邦裁判所において適用される法律 判例 (13). Swift v. Tyson, (14) Erie Railroad Co. v. Tompkins, (15) Hanna v. Plumer 10. 準拠法の決定 判例 (84) Babcock v. Jackson 11. アメリカの法学教育

◆**教科書** 丸沼『アメリカ法 総論』山岡永知著、敬文堂 2,625円(税込)(送料390円)

◆**参考書** 丸沼 対訳『アメリカ合衆国憲法』北脇・山岡編・訳 国際書院 1,575円(税込)(送料340円)

◆**成績評価基準** 平常点とテスト

◆**E-Mail** :

□その時、政治が動いた(イギリス篇)

〔西洋政治史〕

開講単位：2単位 担当者：渡邊 容一郎

◆**学習目標** 「日本の政党政治は、どうして結果を出せないのか?」「日本の政治家のリーダーシップが弱いのはなぜか?」こうした素朴な疑問に答えるため、本年度は、政党政治の母国イギリスの近現代政治史を取り上げる。現代日本政治の現状と課題を把握するため西洋政治史を学ぶ、という考えに立脚するものである。

◆**授業方法** 基本的には毎回、講義形式で授業を進めていくが、できるだけ対話形式の授業も取り入れたいと考えている。板書しながら授業を行うので、受講者は必ずノートを持参すること。必要に応じてレジュメや資料、年表を配付する。

◆**準備学習** 受講者は、指定されたテキストをあらかじめ読んでおくことが求められる。授業の予習については、初日の授業時にその詳細を指事する。また、自分なりの疑問点があれば、必ず授業時に教員に質問できるように整理しておくことが望ましい。

◆**授業計画** (1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分)

1日目	I イギリスに近代的統治システムの基礎が確立していく過程を学びます。 ガイダンス(講義計画、試験実施方法などについて)、日本の政党と政治 イギリスの宗教改革と絶対王政：その特質と意義 イギリス革命(ピューリタン革命・王政復古・名誉革命)の特質と意義 名誉革命体制の特質と課題
2日目	II イギリス型の近代的統治システムへと移行していく過程を学びます。 名誉革命体制の展開 議院内閣制の起源と発達 政党制の確立、選挙権の拡大と政党の組織化、小選挙区制の定着 労働党の誕生とその意味
3日目	III これまでの学習を踏まえて、イギリス政治における政党の意義について学びます。 20世紀におけるイギリス政党政治の展開 現在のイギリス政党政治とその課題 自習(試験対策) 試験

◆**教科書** 丸沼『イギリス・オポジションの研究』渡邊 容一郎 時潮社 2,940円(税込)(送料340円)

◆**参考書** 指定しない。

◆**成績評価基準** 特別な事情がない限り毎回出席していることを前提として、最終日論述試験の成績(100%)で評価する。

◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆中国古典の魅力

〔漢文学Ⅰ〕

開講単位：2単位 担当者：丸山 茂

- ◆**学習目標** 中国古典の思想・歴史・文学の中から厳選した名作を紹介しながら、その時代に生きた文人たちを通じて中国文化の一端に触れる。
- ◆**授業方法** 「中国古典の特色」「辞書・参考書の活用法」を概説したのち、発表形式で原文を訓読・解釈する。随時、DVD等の視聴覚教材を用いて「中国文化」を紹介する。
- ◆**準備学習** できるだけ早い時期に『社会人のための漢詩漢文小百科』を入手し、事前に内容全体を把握したうえで、中国古典の名作を参考資料の中から探して多読しておくこと。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	午前 授業の進め方、工具書の使い方、漢字の特色 午後 詩の読み方、唐代の文化（DVDなどの視聴覚教材を用いて概説する）、唐詩を読む（春の詩を中心に絶句と律詩の名作を講読する）
2日目	午前 散文の読み方 午後 『論語』を読む（学問に関する箇所を中心に孔子の向上心を重視する姿を学ぶ）、『莊子』を読む（読書に関する箇所を中心に）
3日目	午前 「まとめ」と筆記試験（出題範囲は授業中に紹介した中国古典） 午後 午前実施した試験答案をもとに復習する

- ◆**教科書** **通材**『漢文学Ⅰ 0371』通信教育教材（教材コード 000435）1,800円（送料込）
丸沼『社会人のための漢詩漢文小百科』田部井文雄（主編）大修館 1,050円（税込）（送料340円）
- ◆**参考書** **丸沼**『中国名詩選』松枝茂夫（選訳）岩波文庫 上 735円（税込）（送料260円）、
丸沼『中国名詩選』松枝茂夫（選訳）岩波文庫 中 945円（税込）（送料260円）、
丸沼『中国名詩選』松枝茂夫（選訳）岩波文庫 下 1,029円（税込）（送料340円）
丸沼『中国名文選』興膳宏著 岩波新書 777円（税込）（送料260円）
- ◆**成績評価基準** 最終日の筆記試験で評価する。
- ◆**E-Mail** :

◆『伊勢物語』とその世界

〔国文学演習〕

開講単位：1単位 担当者：阿部 好臣

- ◆**学習目標** 『伊勢物語』は、平安時代の物語ばかりではなく、日本文学の伝統的な柱として存在し続けている。これを材料に、作品の〈読み〉の方法、調査方法（先行論文や注釈書のありかた、その他の資料とその調べ方など）、論文（レポート）の書き方を実践的に学び、文学の持つ広がりを楽しさを味わう。
- ◆**授業方法** 作品の概説と、歴史的な背景から始めて、作品の〈読み〉の多様性を知り、考えるべきポイントを知る。そして、それはどのような方法と材料から考えられるかを、講義する。そして、それを実践する。具体的には、各自の担当する章段を選び、調査し発表資料を作成し、それに基づいて報告、討議する。
- ◆**準備学習** 『伊勢物語』を読んで、自分が最も興味を持てた章段を決めておき、先行の注釈書類を出来るだけ多く集めて集成する。それを各言葉ごとに列挙して、その差異を検討し、出来れば先行論文なども参考にして、問題点について考えておく。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	『伊勢物語』の概説、歴史的な背景などから始めて、演習報告の方法・ツールなどについて講義し、既に準備された材料の提示の仕方、報告資料の作成方法などについて講義する。
2日目	各自の口頭発表とその質疑
3日目	各自の口頭発表とその質疑

- ◆**教科書** **丸沼**『影印校注古典叢書6 伊勢物語』小林茂美 新典社 1,785円（税込）（送料340円）
丸沼『字典 かな一出典明記一』小林茂美 笠間書院 399円（税込）（送料230円）
- ◆**参考書** 授業時に指示する。なお、『新編日本古典文学全集 竹取物語 伊勢物語 大和物語 平中物語』所収の参考文献などを活用すること。
- ◆**成績評価基準** 報告－50% レポート－50%
- ◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◻アメリカ文学の諸相

〔英米文学特殊講義〕

開講単位：2単位 担当者：岩城 久哲

- ◆**学習目標** アメリカ文学の諸相：短編小説、演劇、詩などを通して、アメリカが創り上げた文学の魅力を探る。
- ◆**授業方法** 講義を中心に据えますが、ときにコメントなどを求めます。1日を5つに分け、それぞれの作家と作品を理解します（但し、3日目は4人の作家と作品およびテストです）。
- ◆**準備学習** とりあげる作家とその作品を読んでおいてください。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	短篇小説の系譜：E. A. ポー, A. ピアス, O. ヘンリー, J. D. サリンジャー, M. トウエイン
2日目	演劇の系譜：E. オニール, T. ウィリアムズ, A. ミラー, E. オルビー
3日目	詩の系譜：W. ホイットマン, E. ディキンソン, J. ケルアック, E. A. ポー

- ◆**教科書** 当日資料配布 特定の教科書を使いません。担当者がプリントなどを準備します。
- ◆**参考書** 丸沼『アメリカ文学史入門』 研究社 2,415円（税込）（送料340円）
- ◆**成績評価基準** コメントなどの参加度（50%）、最終日に行うテスト（50%）
- ◆**E-Mail** :

◻英語の音声現象の基礎理解

〔英語音声学〕

開講単位：2単位 担当者：森 晴代

- ◆**学習目標** 1. 日本語との違いを意識し、英語の発音の特徴及び発音記号を理解する。
2. 英語のスペルと発音のずれに意識を置き、正確な発音を目指す。
3. 発音記号からスペルに変換できる能力をつける。
- ◆**授業方法** 英語音声学の観点から母音、子音の説明を行い、項目ごとに小テストを課して習熟度を確認します。テキストには専門用語が数多く出てくるので、前もって読んでおいてください。必要に応じてプリントを配布し補足説明します。クラス全体の人数を見ながら8名から10名のグループを作り、発音練習の取り組みやプリント作成など協力しながら進めていきます。全員参加型の授業を目指します。
- ◆**準備学習** たった三日間で一つの学問を習得することは至難の技です。授業は必然的に内容が詰め込まれ、プリントの枚数や発音練習が多くなります。最終目的は発音記号を正確に読める力をつけることです。辞典を引くとき発音記号を意識して見るようにしておきましょう。授業には必ず辞典を持参してください。
- ◆**授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕**

1日目	コミュニケーションにおける音声、発声器官の名称説明、Phonicsに関わるプリント配布及び解答 英語の母音について（前舌母音、中舌母音、後舌母音、二重母音）、発音練習（単語、文） 母音確認プリント配布、解答 小テスト
2日目	英語の子音について（阻害音、鼻音、接近音、子音連続）発音練習（単語、文） 子音の確認プリント配布、解答 小テスト
3日目	母音、子音の補足説明、 語強勢と文強勢の若干の説明、文章音読 小テスト 試験

- ◆**教科書** 丸沼『A Way to Better English Pronunciation-英語の発音、リスニング、スピーキングへの近道』
英潮社フェニックス 2009年 池田紅玉、森晴代著 2,310円（税別）（送料260円）
- ◆**参考書** 丸沼『英語の音声を科学する』 川越いつえ著 大修館書店 新装版 CD付 2,520円（税別）（送料340円）
* 授業では使用しません
- ◆**成績評価基準** 平常点（20%）、小テスト（20%）、試験（60%）
- ◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

□アメリカ人 vs 日本人の考え方 【異文化間コミュニケーション概論 A】

開講単位：2単位 担当者：曾根 進

- ◆**学習目標** 英語コミュニケーションを理解する上では、その国（アメリカ、カナダ、etc.）をささえる国民の生活社会事情、あるいは文化を理解することで、異文化への理解力が深まる。その上で相手国の人々との間のコミュニケーションに意志伝達内容を豊かにする。この授業は人間の心の底に流れる考え方を読んでみる。特に、日本人 vs アメリカ人の心の接点と言葉の内容を検討してみる。
- ◆**授業方法** 授業ではアメリカ文化とアメリカ人の考え方を中心に読み、英語力をつけてもらうことになる。最初は文化の基礎的な理解からスタートし、その後で異文化間の価値観などに触れることになる。なお、テキストの他にプリント教材を使用し、授業の初日に配付する。
- ◆**準備学習** 受講希望者は予めテキスト全体を読み終えておくこと。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	説明 Cultural Patterns (PP.2-6), Print No.1 Chapter 6 (PP.29-33), Print No.2
2日目	Chapter 11 (PP.54-57) Chapter 13 (PP.64-69) 映画"Witness 目撃者"
3日目	Chapter 16 (PP.81-85) The New Worker, Print No.3 試験と解答

- ◆**教科書** **教材**『異文化間コミュニケーション概論 0478』通信教育教材(教材コード000415) 2,400円(送料込)
〈この教材は市販の Exploring Hidden Culture by Paul Stapleton 日本とアメリカ深層文化へのアプローチ(金星堂)と同一です〉
当日資料配付 Print No.1, No.2, No.3 (初回の授業で配布)
- ◆**参考書** 英和辞典を持参すること。
- ◆**成績評価基準** 小テスト2回(40%)、授業活動の発表(20%)、テスト(40%)
- ◆**E-Mail** :

□コーパス言語学の基礎を学ぶ 【英語学演習 A】

開講単位：1単位 担当者：久井田 直之

- ◆**学習目標** 英語学習や英語学で身近になりつつあるコーパスを紹介する入門書を通して、内容を理解し、それを実際に応用できるようにするための基礎知識と応用力の習得を目指します。日本語の文献を利用しながら、英語の文献も読むので、英語の原文を読む読解力の育成も目指します。
- ◆**授業方法** 受講生に、和訳や要約、問題点や疑問点などを発表してもらう輪読形式で行います。受講生数に応じて、担当箇所を事前に決めるか、授業時に指名するか、グループ発表にするかを決めます。テキストの予習と、追加配布する資料(英語と日本語)の予習、授業内容に関する課題に事前に取り組んでもらい、授業時に発表してもらいます。**課題の提出は e-mail の添付ファイルで事前に提出してもらう予定です。**
- ◆**準備学習** 日本語の文献を参考に、英語の文献を読んで内容を概ね理解できる英語力とともに、自宅のパソコンで課題に取り組めるインターネット環境にあることが必要になります。予習したことを理解できているかを確認するための課題を出しますので、予習と課題をセットに取り組んでもらいます。難しい内容でも諦めずに取り組む積極的な姿勢で授業に臨んでもらえればと思います。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイダンス 参考文献紹介 第1章 コーパス言語学への招待 第2章 コーパスとはなにか *追加資料を読んで、和訳を確認や課題の解説を行い、授業内容の確認のための演習問題に取り組めます。 (以降、受講生の様子を見て、進度調整します)
2日目	第3章 さまざまなコーパス 第4章 コーパスの作成 第5章 コーパス検索の技術 *追加資料を読んで、和訳を確認や課題の解説を行い、授業内容の確認のための演習問題に取り組めます。 (以降、受講生の様子を見て、進度調整します)
3日目	まとめ 演習問題 試験(最後の1時間)

- ◆**教科書** **丸沼**『ベーシックコーパス言語学』石川慎一郎著 ひつじ書房 4月刊行予定
事前資料送付 課題などについての授業のガイダンス用資料は事前郵送します。
- ◆**参考書** 授業時に紹介します。
- ◆**成績評価基準** 発表(30%) 課題(20%) 平常点(10%) 試験(40%) 三日間の出席を前提に評価します。
- ◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◻古い英語に触れる（古英語入門）

〔英語学演習 B〕

開講単位：1単位 担当者：秋葉 倫史

◆**学習目標** 本演習では、古い英語の特徴を知ること为目标とする。通時的に、英語はその特徴によって古英語・中英語・近代英語・現代英語に分類されるが、ここでは、最も古い区分（450-1100年頃）である古英語について焦点を当てる。古英語について書かれた（現代英語の）テキストを読みながら、当時の英語とそれが使用された背景を学習する。また、古英語と現代英語を比較することで、英語の通時的变化について理解を深める。

◆**授業方法** テキストを輪読形式で進める。学生を指名し、音読、和訳を発表してもらい、その後解説を加える形をとる。また、適宜プリントを用いて、当時の実際の英語と現代英語を比較し、英文法がどのように変化したのかについて考察を行う。

◆**準備学習** 輪読形式を進めるため、事前にテキストを読み、和訳を用意しておく必要がある。また、授業内容をより理解するために、指定した参考書や「英語史」に関する入門書等を読み、英語史の概略的な知識を事前に学習することが望ましい。授業で扱った項目については、必ず復習して次の授業に備えること。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1. ガイダンス 2. Old English (p.1-3) 3. Some Features of Old English (p.3-10) 4. 古英語の格変化
2日目	1. 古英語の名詞・動詞 2. 語順の変化 3. 文法の変化（完了形の発達・否定の発達）
3日目	1. The Story of Old English (p.10-20) 2. 古英語期の外面史 3. Casting the Runes (p.20-25) 4. 試験

◆**教科書** **事前資料送付** 事前にプリントを配布します。（David Crystal（1993）「クリスタル：英語史入門」金星堂（Chapter 1））

◆**参考書** 丸沼『英語史入門』橋本功 著 慶應義塾大学出版会 2,520円（税込）（送料340円）

◆**成績評価基準** 試験（60%）、平常点（40%）を総合的に評価します。ただし、全出席を前提とする。

◆**E-Mail**：

◻Pride and Prejudice を読む

〔英米文学演習 C〕

開講単位：1単位 担当者：太田 美智子

◆**学習目標** Jane Austen の代表作 *Pride and Prejudice* を読みます。原作に触れることで作品世界を深く理解し、読解力を高めること、また作家とその時代についての理解を深めることを目的とします。

◆**授業方法** 輪読形式でひとりひとりに音読したうえで訳してもらいます。初日は積極的に手を挙げて下さい。初日に2日目、3日目の担当者と発表箇所を決めます。ハイライトの数章をとりあげますが、事前にプリントを配布します。毎回、文法、単語を中心とした小テストを行います（持ち込み不可）。

◆**準備学習** 丁寧に辞書を引いて予習して下さい。必ずノートをとって下さい。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイダンス 作品精読 小テスト
2日目	作品精読 映画との比較 小テスト
3日目	作品精読 小テスト

◆**教科書** **事前資料送付** プリントを事前に配布します。

◆**参考書** 授業中に適宜紹介します。

◆**成績評価基準** 発表（15%）受講姿勢（40%）小テスト（15%×3回＝45%）ただし、受講人数によって多少変動する。（例えば少人数の場合、ひとりが担当する発表が多くなるため、発表の評価指数が高くなるなど）

◆**E-Mail**：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

□日系アメリカ人の小説を読む

〔英米文学演習 D〕

開講単位：1単位 担当者：堀切 大史

- ◆**学習目標** 日系アメリカ人作家 Hisaye Yamamoto の小説 'Seventeen Syllables' (1949年) を読み、英語文学作品の読解力および批評力を高めることを目標とします。
- ◆**授業方法** 受講生には、輪読形式によるテキストの音読と日本語訳、および作品に関するコメントをしてもらいます。また、発表者以外の受講生からの積極的な発言も期待します。なお、授業初日に受講生を確認した後、2日目以降はあらかじめ分担当所を決めます。
授業最終日に、テキストの日本語訳の小テストを行います。また、スクーリング終了後に、日本語2000字程度のレポート(小論文)を提出してもらいます。提出期限については、授業初日にお知らせします。
- ◆**準備学習** 英語辞典を丁寧に引きながら、テキストをよく読んでおいて下さい。また、授業では作品全体に触れながら議論することもあるので、授業初日までにテキスト全体を読んでおいて下さい。
- ◆**授業計画** (1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分)

1日目	ガイダンス テキストの精読と批評と議論(8～11頁を読む予定)
2日目	テキストの精読と批評と議論(12～15頁を読む予定)
3日目	テキストの精読と批評と議論(16～19頁を読む予定) まとめと小テスト

- ◆**教科書** **事前資料送付** 事前にプリントを送付します。
- ◆**参考書** 英語辞典
- ◆**成績評価基準** 発表(30%) 授業参加(20%) 小テスト(20%) レポート(小論文)(30%)
毎回出席することを前提として評価します。
- ◆**E-Mail** :

□17世紀前半のイギリス・フランスにおける哲学・思想〔西洋思想史Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：瀧田 寧

- ◆**学習目標** 本講義では、フランシス・ベーコンやルネ・デカルトが提起したいくつかの問題に触れ、それらについて自らも考えてみることを通じて、17世紀前半のイギリス・フランスにおける哲学・思想への理解を深め、その理解した内容を自分なりに説明できるようになることを目標とする。
なお、2010(平成22)年度の春期(2期)東京スクーリング「瀧田担当：西洋思想史Ⅱ」において単位を認定された方は、内容が重複するので受講不可。
- ◆**授業方法** プリント配布したテキストを読み、解説を加える。但し、哲学書は一読して直ちに理解できるものではないので、講義では同じ文章を繰り返し読む。その際、皆さんにも順番に読んでいただく。また1日目と2日目の講義後にはコメントを書いていただく。なお、授業は講義形式で進めるので、質問や意見等は休み時間か授業後に受けることにするが、特に重要だと判断した「講義後コメント」は、最終日までの授業の中で紹介することもある。
- ◆**準備学習** ベーコンやデカルトの主要著作や関連するキーワードだけでも自分なりに調べておくと、授業への参加意欲も高まるのではないのでしょうか。特にデカルトの『方法序説』には何らかの形で触れておくことをお勧めします。
なお、デカルトは17世紀後半の哲学史に大きな影響を与えているので、本講義で扱う範囲ではありませんが、「哲学基礎講読」の教材に収録の解説論文(Ⅰ、Ⅲ)を読むと、デカルト以降の展開も見えてくると思います。
- ◆**授業計画** (1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分)

1日目	・ガイダンス。 ・17世紀前半の哲学・思想の流れを、本講義に関係する範囲を中心に、年表(プリント配布)を用いて解説する。 ・ベーコンの年譜を見た後、彼の著作の一部を読みながら、彼が主張する学問の目的や方法を考察する。
2日目	・ベーコンの著作の一部を読みながら、彼の「イドラ」論と、それに関連する他の哲学者の思想を考察する。 ・デカルト哲学の概略を解説する。 ・デカルトの『方法序説』の一部を読みながら、デカルトにおける学問の目的や方法を考察する。
3日目	・デカルトの『方法序説』や他の主要著作の一部を読みながら、デカルトにおける「考える」ことの意味を考察する。 ・デカルト以降の哲学史のうち、上記の内容に関連する思想の一つを紹介する。 ・論述試験。

- ◆**教科書** **当日資料配布** 当日プリントを配布する。
- ◆**参考書** 講義の中で紹介する。但し本講義の後半で取り上げるデカルトの『方法序説』は、主として、野田又夫訳(中公クラシックス W9, 中央公論新社, 2001年)、部分的には山田弘明訳(ちくま学芸文庫, 2010年)を用いて紹介する。
- ◆**成績評価基準** 平常点(講義終了後に書いていただくコメント)と試験により、総合的に評価する。
- ◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆比較倫理を考える

〔倫理学特殊講義〕

開講単位：2単位 担当者：上 憲治

◆**学習目標** 本講義は日本人としての私たちの生き方を模索するところにある。日本的倫理の問題は明治開国からの継続的テーマである。我々は欧米的生き方との葛藤の中で矛盾を孕んで生きている。それは社会現象にも反映し、疑問視されている場面も多い。そこで欧米の生き方の本質と我々日本人の生き方の本質を捉え、私たちが水に戻った魚のように生きられるところを覚悟したいというところにある。

◆**授業方法** 受講者の学習を促進できるよう、レポート作成を取り入れた方法で展開する。教員は提出レポートを評価し、受講者の状況を把握しながら進めていきたい。

◆**準備学習** 受講者は開講前にテキスト読み、重要事項を章単位でレポートにまとめておいていただきたい。このレポートは授業時に裏面などを活用して記録などに活用していただきたい。レポートは授業後に集め、後日変換する予定である。参考図書についても読了して置いていただきたい。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1 授業の方法説明 2 講義の趣旨、概要説明 3 最近の日本の精神性への動向	4 日本精神の概要 5 テキスト精読とレポート作成
2日目	1 西洋精神の特徴1 2 西洋精神の特徴2 3 日本的精神性1	4 日本的精神性2 5 テキスト精読とレポート作成
3日目	1 日本精神と西洋精神の対比 2 私たちの生き方1 3 私たちの生き方2	4 テキスト精読とレポート作成 5 試験

◆**教科書** 丸沼『哲学の現場 日本で考えるということ』末木文美士 トランスビュー 2,310円(税込)
(送料340円)

◆**参考書** 丸沼『木を見る西洋人 森を見る日本人』リチャード・E・ニスベット(ダイヤモンド社) 2,100円(税込)
(送料340円)
丸沼『偶然を生きる思想』野内良三 日本放送出版協会 1,018円(税込)(送料340円)

◆**成績評価基準** レポート点50%+試験50%=100%、出席回数が3分の2以上で評価する。

◆**E-Mail** :

◆日本史特講 I

〔日本史特講 I〕

開講単位：2単位 担当者：鈴木 哲

◆**学習目標** 卓越した「文化力」を権力の源泉とし、長期にわたる平和的状況を実現した時代が、どのような経緯から衰退していったのかを考察します。その上で、「文」の時代から「武」の時代への歴史的転換期に見られる時代的特徴について注目してみたいと思います。

◆**授業方法** 貴族が主役であった「文」の時代から、武士が主役となった「武」の時代へと展開するなかで、文・武それぞれの世界で様々な変容が生じてきました。それらの変容と深く結びついた事件や人物を取り上げ、各事件が及ぼした歴史的影響や、各人の果たした歴史的役割などについて考えてみたいと思います。

◆**準備学習** 保立道久『平安王朝』(岩波新書、1996年、定価680円)を事前に通読し、平安時代後半期の歴史的展開を全体的に理解しておいてください。それと平行して日本史辞典や日本史用語集等を参考にして、平安時代の基本的な歴史用語についても必要な知識を準備した上で講義に臨んでください。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	・平安時代研究の意味 ・荒廃する平安京 ・自立する地域と貴族政治 ・武装化する悪僧
2日目	・坂東の兵乱と棟梁 ・奥羽の兵乱と源氏の台頭 ・平泉王国の成立
3日目	・治天の君の出現 ・保元の乱と武者の世 ・平治の乱と平清盛の政権

◆**教科書** [当日資料配布] 当日にプリントを配布する。

◆**参考書** 授業中に随時指示する。

◆**成績評価基準** 試験結果と受講状況を総合的に評価する。試験(80%)、受講状況(20%)。

◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

□政府の経済活動を考える

(財政学総論)

開講単位：2単位 担当者：野田 裕康

- ◆**学習目標** 財政学とは政府すなわち、国および都道府県など地方公共団体の経済活動を考察する学問である。本講義では財政学の歴史、理論、政策の各局面を基礎からわかりやすく説明していく。スミス、ワグナー、ケインズ、マスグレイブによる財政学の歴史的な意義を理解し、一般的な財政理論としてIS/LM分析の意味と財政政策による経済上の効果を習得し、我が国の歳入としての租税・公債及び歳出としての予算編成を正確に認識することが本講義の目的である。
- ◆**授業方法** 基本的に、講義形式により時限毎にテーマを定めて授業を進めていくが、受講者の質問や関心も適宜取り入れ、双方向の学習を心がけたい。また、必要に応じて資料も配布する。なお、夏期スクーリング「財政学」受講者は同一内容のため受講不可。
- ◆**準備学習** 政府の経済活動たる財政学は、多様な関心を有する国民のあらゆる視点からの関連づけが可能である。従って、授業時に配布した資料や講義ノートから敷衍して、自分に合った財政学のテキストを復習用として参照し、さらに、我が国の財政政策の理解においては各府省のHP等も利用されたい。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	財政学の意義、財政の3機能、古典学派、歴史学派、重商主義、自由主義、帝国主義、市場の失敗、公共財、フィiscalポリシー ※まず、財政学の社会科学における意義とその機能を基本から学び、今日の財政学の役割を理解する。 続いて、財政学の歴史的な生成・発展段階を重商主義から現代まで考察していく。
2日目	三面等価理論、有効需要理論、乗数理論、流動性選好理論、所得仮説、45度分析、IS/LM分析、ケインズの罠、クラウディングアウト、総需要・総供給分析 ※ケインズ財政学の伝統的な基礎理論として、国民所得決定の理論から、財政政策と金融政策の効果までを数学的、視覚的に理解する。
3日目	予算機能、予算原則、一般会計、補正予算、ゼロベース予算、予算循環、所得・消費・資産課税、公債理論 ※我が国の予算編成過程を時系列に分析し、予算の持つ意義や日本の予算策定の問題点を具体的に指摘しつつ、歳入における租税制度と公債制度、及び、歳出におけるスリム化や財政再建と東日本大震災後の日本財政の現状について学ぶ。

- ◆**教科書** 当日資料配布 特に使用しない。授業で用いる資料がある場合には当日配布する。
- ◆**参考書** 丸沼『図説日本の財政(平成23年度版)』西田安範編著 東洋経済新報社 2,415円(税込)(送料390円)(購入しなくとも図書館利用可)
- ◆**成績評価基準** 最終試験60%、授業中のミニテスト(2回)20%、平常点20%の割合で、毎回出席を前提として評価する。
- ◆**E-Mail** :

□保険の基本を知り、理解するために

(保険総論)

開講単位：2単位 担当者：蟻川 滋

- ◆**学習目標** 保険の基本・本質を学ぶとともに保険業界を取り巻く社会経済環境の激変するなかで保険業界も変貌を遂げようとしている姿を学びます。また、少子高齢社会にあつて、民間の生命保険、損害保険と年金、医療などの公的保険との関係についても学びます。
- ◆**授業方法** 講義を中心としますが、受講者からの質問を受けたり逆に質問したり、双方向の授業を行います。また、課題をまとめる力を養うため、新聞記事等を要約するレポート作成を行います。なお、「報告課題」の書き方のポイントにも言及します。
- ◆**準備学習** 保険についての予備知識は一切必要ありませんが、保険・年金・医療に関する情報は日頃から関心を持つよう心がけてください。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	・ガイダンス(保険について知っていること調べを含む) ・保険を理解するための視点 ・保険の仕組み ・保険の役割 ・なぜ生保と損保に分かれているのか ・保険の生成と発展
2日目	・自助努力と保険 ・生保の基本モデル ・生保の普及背景と概要 ・金融機関としての生保 ・損保の特徴 ・損保の基本モデル ・損保の概要 ・マスメディアの報道を読み解く(レポート提出)
3日目	・少子高齢社会と生損保 ・公的保険と私的保険 ・基本保険用語の確認 ・テスト

- ◆**教科書** 当日資料配布 当日プリント等配付。
- ◆**参考書** 丸沼『保険の知識』(日経文庫)真屋尚生著 日本経済新聞出版社 871円(税込)(送料260円)
- ◆**成績評価基準** テスト、授業への取組み(レポート提出)により総合的に評価します。
- ◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆教職観を形成（再構成）する

〔現代教職論〕

開講単位：2単位 担当者：杉森 知也

◆**学習目標** 本講は、教職課程の入門的科目に位置づくものである。したがって、高度な理論を提示するのではなく、教職についての基本的事項（教職の意義、教員の役割、職務等）を押さえることが中心となる。また、それらに加えて、教員養成の原理と方法およびその課題について理解し、近年の政策動向の中で新たに求められつつある「教師の力量」について国際的動向も含めて把握しながら、自らの教職観を形成（再構成）する。

◆**授業方法** 履修人数にもよるが、原則的に講義形式でおこなう。適宜、グループディスカッションも取り入れたい。現職教員が参加できるのであれば、学生との交流の機会を設けたい。

◆**準備学習** ①教員（現職でなくてもよい）にヒアリングをおこない、現場での苦労とやりがい等についてできる限り具体的に話を聞き、レポートを作成する。②①ができない場合は、「開かれた学校づくり」が重視されるようになった背景、および実例について参考書やインターネット等を使用して調べ、レポートを作成する。以上の①②のいずれかについて、A4（40字×36行）×1枚以上で記述して、最後の授業で提出すること。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイダンスー教師との出会いを丁寧に振り返るー 教師の職務 教師の地位と身分 教職課程の仕組みと内容ー「教育職員免許法」を中心にー
2日目	教師のやりがいとバーンアウト 教職観の変遷 価値多様化社会の中の専門職ー「反省的实践家」としての専門職集団づくりー 新しい教師の力量ー世界の教師との比較、OECDの政策提言から世界的動向を見出すー
3日目	学校・教師の課題ー現職教員との交流・教師を取り巻くデータをもとにー 教師へのヒアリングから見えるものーレポートについてのフィードバックとしてー 授業内試験（60分）

◆**教科書** 〔当日資料配布〕指定しない（授業時にプリントを配布する）。

◆**参考書** 丸沼『最新 教育キーワード』第13版 江川政成ら編、時事通信社
上記の本は品切れのため図書館等を利用してください
丸沼『学校を変える地域が変わる』佐藤晴雄、教育出版、2,310円（税込）（送料340円）
丸沼『日本教育新聞』日本教育新聞社
その他は、授業時に指示する。

◆**成績評価基準** 授業内試験（30%）、平常点（40%）、レポート（30%）で、総合的に評価する。授業内試験は、講義についての基本的事項について問う。平常点は、授業への参加姿勢を評価する。

◆**E-Mail** :

◆書法の基礎

〔かな書法〕

開講単位：2単位 担当者：山本 まり子

◆**学習目標** 基本的事項について学習し、それらを踏まえ、創作も行う。後半は漢字についても少しふれる。毛筆による実践を通して体系的に学び、理解を深めたい。

◆**授業方法** 平安時代の書写とされる名筆のいくつかを中心に講義・実践を行う。それらをもとに、各自、「提出作品」を制作する。「提出作品」の内容は担当者作成のプリントによる。当日は、プリント・教科書等（その他、必要なものはプリントに記載）、忘れ物のないよう万全を期するように。

当日は、書道用具一式（仮名用半紙を含む）も用意のこと（当日使用の仮名用半紙の枚数は100枚で十分である）。下記「授業計画」の通り、「1日目」午前中、まず、近くの書道用品店へ全員で出向き、文物を前に学習を行う。その際、用具・用材の購入可能である。

◆**準備学習** 詳細は事前に送付されるプリントに記載。受講前に必ず目を通し、予習を行なっておくように。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	・ガイダンス ・書道用品店見学 ・文房四宝（筆・墨・硯・料紙）・印泥等に関する基礎的事項 ・単体の基本 ・連綿の基本
2日目	・散らし書きの基本 ・創作 ・「寸松庵色紙」の鑑賞と臨書 ・書簡文
3日目	・午前：各単元における清書を和綴じの上、提出。 ・午後：講義形式の後、筆記試験（教科書・プリント等、持込可）

◆**教科書** 通材『かな書法手本 0981』通信教育教材（教材コード000239）600円（送料込）
※教科書は必携である。手引内購入方法等を確認し、授業時に必ず持参すること。
※『かな書法教本 0981』通信教育教材（教材コード000240）は使用しないため、購入の必要はありません。

〔事前資料送付〕事前に資料を送付する。

◆**参考書** 当日、適宜、紹介する。

◆**成績評価基準** 受講状況（授業中の課題への取り組み方、積極性等）50%、成果物30%、授業内テスト20%

◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆国際社会の中の日本国憲法

〔法学通論〕

開講単位：2単位 担当者：遠藤 清臣

- ◆**学習目標** 国際的にも、国内的にも社会の構造や価値観が大きく変わりつつある。社会の価値観と法との関係を考察し、現代における日本国憲法の解釈を身につけることを目標とする。
- ◆**授業方法** 科目の性質上、講義形式をとらざるを得ないが、講義の進捗の度合いや参加人数をみて、可能な限り、受講者との意見交換を行いたい。
- ◆**準備学習** 特に必要としない。できる限り、講義を聴くことに集中してもらいたい。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1 日目	①法の本質と法の性質 ③日本国憲法の制定 ⑤社会意識の変化と法	②法の下での平等について ④日本の法の歴史
2 日目	①日本法の種類 ③国際法と国際私法 ⑤基本的人権の体系 ⑦外国人と基本的人権	②成文法と不文法 ④権利の意義と制約 ⑥日本国民の意義
3 日目	①社会権としての教育基本権 ③民主主義と政治体系 ⑥裁判制度	②法の理想と現実 ④二院制と議院内閣制 ⑥試験

- ◆**教科書** 指定しない。〔当日資料配布〕プリントを配布する（講義当日）。
- ◆**参考書** 教材『法学 0021』通信教育教材（教材コード000394）1,700円（送料込）
丸沼『現代法学入門』三浦隆、石川信編著 北樹出版 3,045円（税込）（送料390円）
『ポケット六法』、またはその他の軽易な六法
（上記はいずれも必要に応じて用意すればよく、講義初日に持参する必要はない。）
- ◆**成績評価基準** 筆記試験の成績に、講義中の質疑応答を含めて総合的に評価する。
- ◆**E-Mail：**

◆理念と展開

〔国語科教育法Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：品川 利幸

- ◆**学習目標** 「理念と展開」を骨子に据え、関係法規を照らしつつ『国語科教育法Ⅱ』などで説かれる内容を、具体的に『国語総合』の教科書の上に確かめ、それらがどのように反映されているかを据え、国語教育の現場で求められる指導力とは何かを考察する。春期は、現代文教材を中心として学習指導の実際を想定した具体的内容から国語科教師として必要な事項について確認したい。
- ◆**授業方法** 『国語科教育法Ⅰ』巻末の「国語教育関係法規」などから教育課程の意義と編成の方法について捉える。高校1年生の現代文の指導を想定した学習指導案の作成など現場に即応した内容を軸に、国語科指導の核となる話すこと・聞くこと、書くこと、読むことの事柄を『国語科教育法Ⅰ』『国語科教育法Ⅱ』をもとに確認していきたい。具体的にはジャンル別の学習指導案の作成と模擬授業を演習形式にて行い、その適否について考察を加える。また、読書指導、作文指導、ディベートなど現代文の全般に亘る事柄についても考察したい。
- ◆**準備学習** 高校1年で学ぶ『国語総合』から現代文を中心に小説、評論文、随想文、韻文のそれぞれの指導法について学習指導案の作成を想定した学習計画を立てておく。事前課題として『国語総合』24～35頁「羅生門」を4時間で配当する前提で、本時を第1時間目とする学習指導案を作成し、スクーリング初日に提出しなさい。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1 日目	(1)ガイダンス、教育課程の意義と編成の方法 (2)国語科教育の目標と内容 (Ⅰ・7～17頁など) (3)学習計画、年間計画の立案 (4)学習指導案の作成 (Ⅰ・46～50頁など) (5)表現教育、文学教育 (Ⅱ・28～127頁など)、パネルディスカッション (ビデオ視聴)
2 日目	(1)小説の指導 (Ⅰ・52～61頁など) (2)評論文・論説文の指導 (Ⅰ・57～61頁など) (3)随想文の指導 (Ⅰ・62～66頁など) (4)詩歌の指導 (Ⅰ・67～71頁など) (5)作文の指導 (Ⅱ・28～73頁など)
3 日目	(1)読書指導 (Ⅱ・182～229頁など) (2)音声言語教育について (Ⅱ 230～277頁など) (3)ディベートについて (ビデオ視聴) (4)教育実習を想定して (Ⅰ・181～188頁など) (5)まとめテスト (60分)

- ◆**教科書** 教材 H24 新教材『国語科教育法Ⅰ 0931』通信教育教材（教材コード000469）※価格未定
（価格は『部報』4月号に掲載）〈この教材は市販の『新版 中学校・高等学校 国語科教育法』野地潤家・湊吉正著（おうふう）と同一です〉
教材『国語科教育法Ⅱ 0992』通信教育教材（教材コード000444）3,050円（送料込）
〈この教材は市販の『新訂 国語科教育学の基礎』森田信義 他著（溪水社）と同一です〉
丸沼『国語総合（改訂版）』（高校1年教科書）教育出版 835円（税込）（送料390円）
〔当日資料配布〕プリントを配布する。
- ◆**参考書** 任意に、国語科用語辞典を備えたい。補助教材として、その都度プリント等を配布する。
- ◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提に、授業への取組み（30%）、提出物（20%）、試験（50%）により総合的に評価する。
- ◆**E-Mail：**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆英語科教育法 I

〔英語科教育法 I〕

開講単位：2単位 担当者：佐藤 恵一

- ◆**学習目標** 英語教師として授業を進めていくうえで心得ておくべき事柄を授業全般にわたり再考する。
また教師として、生徒とどのように対応すべきかや教材・教具についても触れて言語活動につなげる一助とする。
- ◆**授業方法** 様々な観点から授業を進めていく上で、注意すべき点を質問形式で学生に問いながら確認していく。
また教師としての姿勢・教具・教材等の扱いはどう捉えるかを考え、実際に各スキルを取り上げ事例を挙げて考察していく。
- ◆**準備学習** 各自、上記の内容に関するものを文献等で確認し授業で対応できるよう準備をすること。
特に今回の英語教育法の授業では、現場で直接経験することなので机上の論に終わらないよう、教歴経験のある方の話を伺ったりする機会が準備段階であればなお良い。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイダンス 授業全体からどう進めるかを考える。教師と生徒間・板書・指名・文法用語・教案を進めるにあたって等々、教師が通常の授業で直面する指導などを中心に質問形式で考える授業をおこなっていく。
2日目	教師の姿勢・教具・教材について 英語教師としてどうあるべきかを考える機会を設け、学生どうして考えてもらう。また教材・教具をどう捉えるべきかをフラッシュカードや教科書を例に話し合いをもつ。
3日目	英語教師として背景的知識を持つことは重要なことである。 英国の歴史・日本の英語教育史・教授法等について（グループで）、ウォームアップとしてまとめたものを発表してもらい、それらに補足しながら講義を進めてまとめる。 まとめと課題レポート

- ◆**教科書** **当日資料配布** ガイダンスで必要なプリントを担当者より配布。
また必要に応じプリントを配布。
- ◆**参考書** **通材**『英語科教育法 I 0996』 通信教育教材（教材コード 000257） 1,000円（送料込）
丸沼『グローバル時代の英語教育』 成美堂 2,625円（税込）（送料 340円）
- ◆**成績評価基準** 授業参加（学習意欲・発表・グループ）と最終課題試験で総合的に評価。
- ◆**E-Mail** :

◆未来に向けた生涯学習 For Future

〔生涯学習論〕

開講単位：2単位 担当者：上原 義正

- ◆**学習目標** 生涯学習は、まだまだ若い分野です。わたしたちは、身近な施設たとえば生涯学習センターやミュージアムその外（ほか）に接し、日ごろの行為・行動・思考もまた生涯学習に該当するとあまり気づいてはいないかもしれません。日常生活、あるいは非日常生活において、生涯学習は潤いをもたらす、学習形態なのです。絵を見る、版画を彫る、歌を口ずさむ、本を読む、運動をする、睡眠をとる、料理をする、etc. この講座では、ちょっとした身近な学習形態から生涯学習論を学ぶ姿勢を涵養し、生涯学習を継続的に学び実践するモチベーションを高めます。英語も使います。辞書はもってくることを。
- ◆**授業方法** 指定のテキストを順次参照することを20分間、何がポイントかを受講生自身が作成する、これらをフェーズ1とします。フェーズ2では、生涯学習施設、実践、実際に行われている生涯学習の事業について紹介を行う、非営利と営利の区別を行う、とします。
- ◆**準備学習** 指定テキストを必ず予習してくることを。予習ということは、プロになるための下準備。ふつうは半年前から確りしておくことが理想的ですが、みなさんの手元にシラバスが届いて、書籍も購入できた段階で開始してください。調べてわかったこと、わからないことの区別をつけること。わからないのに、「できる」としない、「できない」「わからない」をはっきりさせること。そして、無駄な仕事・用事は自分でつくらない、こと。これらを用意して、準備学習を開始してください。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1. 生涯学習、社会教育、生涯教育の区分…生涯学習、社会教育、生涯教育の区分についての概要を知らせます。 2. 生涯学習の形態…生涯学習の概念を整理した上で、生涯学習の形態に関する知識を深めます。たとえば、博物館、生涯学習センターの担う役割から具体的な生涯学習の新たな形態を紹介します。
2日目	1. 生涯学習政策と計画立案・事業展開…生涯学習政策を具体的に推進するための手法、Plan-Do-Check-Actionという教育経営学的な手法、4M+1 (Man, Material, Money) +I (Information)、生産性=技術×人的資本(人的資源)×知識の総和、いくつもの客観的な「エビデンス」に基づいた判断から、事業展開の要(かなめ)を分析し、提供します。電卓をもってくることを。商流、物流、行政文書、これらについて詳しく説明します。健康教育についても説明しますので、かなり精度のよい辞書、コンピューターを用意しておくこと。 2. 社会教育主事とキュレーター…社会教育主事とキュレーターに關連することを説明します。
3日目	1. グループで計画する生涯学習…感性を大事に、計画してください。 2. プレゼンテーション…上記1でまとめた計画案をグループごとに発表してもらいます。Active Learningをします。決められた時間内で発表のこと。自分はよくても周りが迷惑しないように発表すること。 3. テストをします。テストで出す項目を聞く人に対しては不可を出す用意をしています。(余計なことは聞かないこと。)

- ◆**教科書** **通材**『生涯学習論 2001』 通信教育教材（教材コード 000436） 3,050円（送料込）
〈この教材は市販の『生涯学習概論』 佐藤晴雄著（学陽書房）と同一です〉
丸沼『健康教育への招待』 国立教育政策研究所、東洋館 3,360円（税込）（送料 390円）
- ◆**参考書** 授業中に指示します。
- ◆**成績評価基準** 試験 100%（口頭諮問、ノートの作成、態度、プレゼン）
- ◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

2期・東京

1 開講日程

日	程	授業時間	備考
5月2日	水	9:30～18:30	※時間内に昼休みを設けます。
5月3日	木	9:00～18:30	
5月4日	金	9:00～16:00 <試験も含む>	

2 開講講座 ※以下の32講座中1講座を選択してください

講座名	担当者名	備考
哲 学	長谷川 武雄	
英 語 D	茂木 健幸	
英 語 E	山下 登子	
英 語 基 礎	天野 暁子	
国文学基礎講義	高 榮蘭	
英語学概説 A	山岡 洋	
宗教学基礎講読 A	小林 紀由	
民 法 II	山川 一陽	
商 法 II	大久保 拓也	
税 法	黒川 功	
国文学講義Ⅳ(近世)	佐藤 至子	
イギリス文学史Ⅰ	小山 誠子	
放 送 英 語	アレックス ブラウン	
英語学演習 E	桑山 啓子	
英語学演習 F	田中 竹史	
英米文学演習 G	北原 安治	
英米文学演習 H	猪野 恵也	
英語音声学演習	山上登美子	
倫 理 学 概 論	真船 えり	
西 洋 史 特 講 I	後藤 秀和	
西 洋 経 済 史	上村 能弘	
貨 幣 経 済 論	続橋 孝行	

講座名	担当者名	備考
広告論	樋口 紀男	
国際金融論	谷川 孝美	
情報管理論	根本 忠明	
特別活動の研究	山岸 竜治	
教職総合演習／ 教職課題演習 A	金 泰勲	
教職総合演習／ 教職課題演習 B	関川 悦雄	
教職総合演習／ 教職課題演習 C	羽田 積男	
経済地理学	田村 和彦	
人文地理学概論	小倉 眞	
博物館教育論	浜田 晋介	

3 会場

名称	日本大学通信教育部 1号館及び 本学周辺校舎	【その他注意事項】 ① 自家用車・バイクでの通学を禁止します ② 指定された場所以外での喫煙を禁止します。 ③ 各自、ゴミは持ち帰ってください。 ④ その他、会場の使用上の注意を守ってください。
所在地	通信教育部 東京都千代田区三崎町2-2-3 (本館)	
交通案内	水道橋駅より徒歩5分 神保町駅より徒歩7分	

4 案内図は最終ページ参照

5 講義内容は次ページより

掲載順は「開講講座表」のとおりです。

なお、手引に掲載されている教科書・参考書の価格はあくまで手引作成時のものであり、出版社の都合で予告なしに変更される場合があります。

詳しくは書店にお問い合わせください。

◆哲学における「疑うこと」について

〔哲学〕

開講単位：2単位 担当者：長谷川 武雄

◆**学習目標** 哲学を学問の1つと見るならば、それはある特殊な知識・知識体系と言える。また他方、かつて言われてきたように、「学問の学問」「学問を基礎づけるもの」等と見るならば、あらゆる学問の基礎的分野を研究するもの、あるいは、あらゆる学問が目的とするものを研究する分野とも言える。今回の講義では、あらゆる学問の基礎を確実にするための「方法論」としての哲学を紹介する。

◆**授業方法** 基本的に「講義」を中心とするが、「疑うこと」という主題から言えることは、第一に「疑問を持つこと」、その疑問をいかに「解決できるか」を考えることである。この点から講義の中では、様々な疑問を提示し、どのように解決可能か・不可能か、そしてまたその疑問が「正しい疑問」であるかどうか、こうした点を念頭に置いて、講義に加え「疑問（質問）」を明らかにし、いかに解決するか思考し実践しながら講義を進める。

◆**準備学習** この講義内容は、知識を実践すること、つまり、最終的には「実際に行動すること」が目標となる。むやみやたらに「疑う」のではなく、十分な理由を持って疑うということを目指とするので、対極にある「信じること」の十分な理由を常に意識することを心掛けること。この「心掛け」が準備であり、それを実践し続けることである。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	[0] これからの講義について（内容・方法等全体的説明） [1] 哲学史における「懐疑」（古代哲学における懐疑：ピュロン主義哲学〈諸原理／諸方式／目的／主張と無主張／心理の「規準」〉／教父哲学における懐疑：アウグスティヌスのアカデミア派論駁より／16世紀フランス・モラリストの懐疑：モンテーニュ『エッセー』に見る古代懐疑主義の影響）
2日目	[2] デカルトの懐疑（デカルトの生涯／著書『方法序説』について：「疑うこと」から得たもの／著書『省察』について：「第一省察 疑いをさしはさみうるものについて」） [3] 「疑うこと」と「議論すること」（デカルトの「疑うこと」の意味〈方法的懐疑／方法的懐疑の破壊力〉／「議論すること」の意味〈上手に「疑う」こと／議論の形式化：全訂・結論・推論／議論を据える／議論の再構成する〉／哲学的懐疑主義と文脈主義）
3日目	[4] 議論の実際：「価値」の主張（価値について主張すること／価値的議論であることを特定する／何が「善い」か、何が「悪い」かー倫理的懐疑主義／「価値主張」における「正しくない」推論／倫理的懐疑主義への回答） [5] みんなで考えあう技術（「倫理的」問題を「論理的」に考える／「哲学的議論」とはどのようなものか〈哲学史に見られる様々な「疑問」から〉）

◆**教科書** 〔当日資料配布〕特に指定はしない（ただし、以下の参考書を一部講義で使用）。また必要に応じてプリントを配布。

◆**参考書** 丸沼『哲学思考トレーニング』伊勢田哲治 ちくま新書 545 882円（税込）（送料260円）

丸沼『方法序説』デカルト 岩波文庫 504円（税込）（送料260円）

◆**成績評価基準** 最終試験（50%）、授業時課題（主に論述）（30%）、授業時質疑応答・その他（20%）。最終的には、以下の全体を見わたし、「総合的に評価」する。

◆E-Mail：

◆文法再確認

〔英語 D〕

開講単位：1単位 担当者：茂木 健幸

◆**学習目標** 本授業では、比較的平易な長文を読むことで、文法的な再確認を行うことを目指しています。

◆**授業方法** 授業では、英文和訳が中心となります。それぞれのUnitでテーマとなる文法の説明をした後に、その文法を使用した文章を中心に本文の和訳を見ていきます。

◆**準備学習** 短期間の講義になりますので、予め本文を読んでおくことが求められます。読み直す時間も授業内でとりますので、辞書も必須となります。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	Unit4（単文・複文1）、Unit5（単文・複文2）、Unit6（補語：名詞節を導くthat節）、Unit7（接続詞）
2日目	Unit8（修飾語1）、Unit9（修飾語2）、Unit10（前置詞の目的語）、Unit11（関係代名詞）
3日目	Unit12（関係副詞）、Unit13（仮定法1）、Unit14（仮定法2）

◆**教科書** 丸沼『Premium Reader Pre-intermediate 英語リーディングとの出会い：準中級編』Robert Juppe 馬場幸雄 金星堂 1,995円（税込）（送料340円）

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 試験70%、平常評価30%（本教科書を用いた私の授業に参加したことのある方の単位認定はできません。）

◆E-Mail：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

□基礎英文法の向上を目指す

〔英語 E〕

開講単位：1単位 担当者：山下 登子

- ◆**学習目標** 英語学習において基礎となる文法力を見直し向上することで、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の四技能の総合的な習得につなげることを目標とする。
- ◆**授業方法** 初日にグループ分けを行いグループ活動を中心にした演習形式である。文法事項を確認した上で、グループで練習問題の答え合わせ・板書・発表を行う。授業時に問題点を確認できるように、また円滑にグループ活動ができるように、必ず予習を行うこと。各章ごとに確認の小テストを行う。学習範囲は Unit 1～7 (pp. 1～42) まで。その範囲で進められない箇所はレポート課題を課す。
- ◆**準備学習** 辞書などを参考にしながら分からない単語などの下調べを行い、事前に学習範囲の理解を行ってください。間違えたり分からないところがあっても、それを認識することでその後の学習につながります。
- ◆**授業計画** (1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分)

1日目	・ガイダンス ・Unit 1～3 /小テスト ・グループワーク
2日目	・Unit 4～6 /小テスト ・グループワーク
3日目	・Unit 7 /小テスト ・グループ発表 ・まとめ及び質疑・最終試験

- ◆**教科書** 丸沼『*English Ace* (コミュニケーションのための実践基礎英語)』 山本厚子ほか著 成美堂 1,995円(税込)(送料340円)
- ◆**参考書** 英和辞書(電子辞書可)
- ◆**成績評価基準** 予習・発表・受講状況(20%), グループワーク(20%), 小テスト(10%), 最終試験(50%)。欠席が全体の1/3以上を超える場合は失格とする。
- ◆**E-Mail** :

□基本的な英語力のアップを目指そう

〔英語基礎〕

開講単位：1単位 担当者：天野 暁子

- ◆**学習目標** 主人公ブラッドのストーリーを追いながら、実生活に役立つ英語の習得を目指します。英文の内容理解と合わせて、リスニング力を向上させましょう。会話文ではロールプレイを取り入れ、実際に音でのコミュニケーションを図ります。
- ◆**授業方法** リーディングはCDを聴きながら内容を確認し、ダイアログ(会話)は聴き取りとロールプレイ、ライティングは並べ替え問題などを行い、簡単な英作文にもトライしてみます。自分の言葉で理解することが大切です。間違いを恐れず、積極的に発表して下さい。各章毎に小テストを行います。
- ◆**準備学習** 簡単な文法項目は割愛することがあります。中学・高校の参考書等を事前に復習しておいて下さい。リスニング力と基本力アップに有効な音読を実践しておきましょう。
- ◆**授業計画** (1日目：480分, 2日目：510分, 3日目：360分)

1日目	ガイダンス(進度は受講生の習熟度・要望により変更する場合があります) Unit 1 Hello, I'm Bradley 現在形 Unit 2 Brad is my friend 否定形 Unit 3 I'd like you to meet Richard 過去形 小テスト・発表
2日目	小テスト・発表(学習箇所はUnit 11, 12 終了を目標としますので、おおよその予定です) Unit 4 A Job Advert 未来形 Unit 5 A New Apartment 形容詞 Unit 6 Come in and look at my new Flat 命令形 Unit 7 My Neighborhood 冠詞
3日目	小テスト・発表 Unit 8 Writing a CV 現在完了形 Unit 9 An Interview 疑問文と感嘆文 Unit 10 A Blog 話法～Unit 12 Dear Diary 動名詞 試験

- ◆**教科書** 丸沼『*Hello, I'm Bradley* -実生活で役立つ大学英語-』 南雲堂 平成24年3月中旬刊行予定
- ◆**参考書** 中型英和辞書を必ず持参して下さい。電子辞書も可。授業中の携帯辞書等(PCを含む)の使用は不可とします。その他は必要に応じて提示。
- ◆**成績評価基準** 平常点60%(小テスト、音読、ロールプレイ等授業への積極的な参加を含む)、筆記試験40%とし、総合的に評価します。無遅刻、無欠席が前提です。
- ◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

□文学における戦争をめぐる表象について

〔国文学基礎講義〕

開講単位：2単位 担当者：高 榮蘭

◆**学習目標** 80年代の初めは「核戦争の危機を訴える文学者の声明」が大きな反響を呼ぶなど、文学と「核」をめぐる議論が盛んに行われていた。この講義では、冷戦崩壊へと向かう1980年代に、上記の署名運動を契機としながら、戦争をめぐる文学表現に対する評価軸が再編されたことに注目し、文学における「戦争」表象の問題について考察する。

◆**授業方法** 講義形式で進めるが、受講生が準備学習の段階で用意した課題を紹介する時間を設ける。また、テーマの区切り毎に授業内容に関するレビューシートを書いてもらう。適宜視聴覚資料を利用する。

◆**準備学習** 1日目に、受講生が、「核」の記憶をテーマとする小説を紹介する時間を設ける。受講生は、自らが選んだ小説を必ず熟読し、1200字前後の分析を書いてきてください。なお、小説の分析を書く時には、取り上げる小説と関係のある単行本あるいは研究論文を参照し、その書名、あるいは、論文名を、分析文の最後に記してください。受講生自身が選んだ小説や参考文献は、1日目の授業に必ず持って来てください。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	近代以後、メディア環境と戦争が、文学の編成にいかに関わってきたのかについて考える。 受講生が準備学習として用意してきた小説と、それに関する分析文を紹介する時間を設ける。
2日目	核戦争の危機を訴える文学者の声明 および、その声明の呼びかけ人であった、小田実『HIROSHIMA』、大江健三郎『『広島からオヒロシマへー'82ヨーロッパの反核・平和運動を見る』を分析する。この問題を考えるために、1960年代から1970年代の間に発表された、原爆をめぐる小説を一緒に取り上げる。
3日目	2011年3月以後に発表された「核」をめぐる小説やエッセイなどを取り上げながら、1日目と2日目に行った講義内容を現在の文脈で捉えなおす。簡単なテストを行う予定である。

◆**教科書** なし。主としてプリントを使用する。
受講生がそれぞれ「準備学習」（上記の指示を参照すること）に使用した、小説や参考文献を必ず持参すること。

◆**参考書** 授業時に適宜指示する。

◆**成績評価基準** 平常点（50%）、授業内テスト（50%）
授業中に課すレビューシートへの参加度（内容についての採点を含む）が平常点の基準となる。

◆**E-Mail** :

□英語学の概略を理解する

〔英語学概説 A〕

開講単位：2単位 担当者：山岡 洋

◆**学習目標** 言語学の一分野としての英語学が、どのような学問分野であるか、その全体像を理解する。具体的には、英語学という学問の存在意義やその下位分類としてどのような学問分野が存在するかを説明する。本講座は、内容的には、本年度の夏期スクーリングで開講する「英語学概説」と合わせて、一つのまとまりとなるもので、今回はその全体の前半部分の話をする。

◆**授業方法** 授業形態としては、テキストに沿った教員側からの説明を基本として授業を進めていく。予習をしてくることを原則とする。教員側からの説明を基本とするが、学生側からの積極的な授業参加を期待する。そのため、質疑応答が活発になるように、教員側から常に学生側に質問を投げかけるようにする。

◆**準備学習** 下記に挙げる教科書や参考書に目を通しておくこと。3日間の短期スクーリングであるために課題などはあまり出せない。そのため、事前に予備知識を身に付けておくことが求められる。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ことばの仕組み 音声学 音韻論
2日目	形態論 生成文法
3日目	生成文法 自習 試験・解説

◆**教科書** 丸沼『日英語対照による英語学概論』西光義弘編、くろしお出版、1999年 2,625円（税込）
（送料390円）

◆**参考書** 丸沼『ことばの仕組みを探る：生成文法と認知文法』英語学モノグラフシリーズ1、原口庄輔・中島平三・中村捷・河上誓作 研究社 2,625円（税込）（送料390円）

◆**成績評価基準** 授業参加度（20%）、最終試験（80%）

◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

□新約聖書を学ぶ

〔宗教学基礎講読 A〕

開講単位：2単位 担当者：小林 紀由

- ◆**学習目標** この講座は新約聖書の学問的理解を目標とするものです。信仰の立場に立ち、信仰を導き育むものではありませんし、個人の人生観の形成に寄与するために主観的立場から読もうとするものでもありません。新約聖書はヘブル語聖書（いわゆる旧約聖書）的背景を無視して読むことは出来ませんし、その成り立ちや構造を知らずに読むこともできません。この講座ではそういった諸背景をふまえた上で新約聖書にもられた諸思想を理解することを目標としています。
- ◆**授業方法** 限られた時間の中ですが、まずは新約聖書を理解するための諸背景を講義することからはじめます。その上で、テキストを読み、それが何を意味しているのかを受講生のみなさんとの議論を通して出来るだけ明らかにしてゆくという手順をふみます。
- ◆**準備学習** 特にありません。新約聖書を準備して授業にのぞんでください。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	[新約聖書を理解するための基礎] ヘブル語聖書(旧約聖書)の伝統 諸福音書の成立、共観福音書の関係について イエス時代の社会
2日目	[イエスを理解するために] 課題1「貧しさをめぐって」(小課題作成提出) 課題2「神の国をめぐって」(小課題作成提出) 課題3「安息日、神殿など」(小課題作成提出)
3日目	[イエスを理解するために] 課題4「地上のイエスをどう読むか」(小課題作成提出) [パウロ書簡の理解] [パウロ書簡以外の理解] [まとめの講義]と総合的課題(課題5)の作成提出

- ◆**教科書** 新約聖書を準備してください。日本聖書協会のもの(口語訳、新共同訳)をお勧めしますが、「新改訳聖書」をお持ちであればそれでもかまいません。旧約聖書は要りませんが、合冊になっているものであればそれでもかまいません。一日の授業時間が長いので紙媒体で出版されているものをお勧めします。
- ◆**参考書** 授業時間中に指示します。特に準備する必要はありません。書店で何かを探すなどはなさらない方がよいと思います。
- ◆**成績評価基準** 小課題5編(100%)。毎回出席することを前提としています。
- ◆**E-Mail** :

□資本主義社会の枠組みとなる財産帰属制度

〔民法Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：山川 一陽

- ◆**学習目標** 民法Ⅱの対象は通常物権法と担保物権法とであるが、今回は通常物権法を学ぶ。いわゆる資本主義社会の枠組みとしての財産帰属法である。不動産取引に関する基本的な知識や動産取引における取引保護の諸問題などについて論じると同時に民法が認める各種の物権制度について概観する。理解しやすいような講義を心がけ、スクーリングの効果を上げたいと考えている。
- ◆**授業方法** いわゆる物権変動論を中心として講義を行う。基本的には講義形式で授業を進めることとしたい。授業計画に従って進行するので授業前には教科書を読んでおくことが要求される。※過去に山川の民法Ⅱ(通常物権法)を修得した学生は内容が重複するため受講できない。スクーリング単位の積み重ね方式希望の場合は平成24年度東京(秋期)に行われる民法Ⅱ(担保物件法)を受講すること。
- ◆**準備学習** 1回でもいいですから、教科書について一通り目を通しておいて下さい。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1 物権法の特徴 3 物権的請求権 5 4の問題に関する諸外国の制度とわが国の制度について	2 物権制度をめぐる諸原則 4 物権変動を目的とした行為がされた場合に物権変動はいつ生じるのか
2日目	1 不動産物権変動はいつ生じるのか 3 不動産物権変動と登記をめぐる諸問題 5 登記請求権	2 不動産物権変動と登記 4 登記の有効・無効
3日目	1 動産取引における信頼と取引保護 3 各種物権としての占有権 5 各種物権としての所有権	2 いわゆる即時取得をめぐる諸問題 4 占有権の機能など

- ◆**教科書** 丸廻『物権法講義 第2版』山川一陽 日本評論社 3,045円(税込)(送料390円)
- ◆**参考書** 特になし。
- ◆**成績評価基準** 試験と出席状況による。
- ◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

□企業組織法入門～会社法の基本を学ぶ～

〔商法Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：大久保 拓也

◆**学習目標** この講義では、現代社会で重要な役割を果たしている会社、特に株式会社に関する法知識の習得を目的とします。経済社会で重要な役割を担う企業組織（会社）について規律する会社法は、平成17年に全面改正（平成18年5月1日施行）され、実務に与える影響も大きいため、会社に関する法規制を基本から理解を目的とした講義を行います。

◆**授業方法** 講義形式で行います。講義においては、会社法制度の全体構造を理解し、会社法上の基本問題について、法的な解答を示すことのできる論理的思考力の習得ができることを目的とします。会社法には難解に思われる複雑な規律が設けられています。その理解のため、毎回出席をとりまします。また、ただ漫然と授業に出席しているだけでは知識が身につかないと思いますので、講義時に小テストを行い理解度をチェックします。そのため、予習・復習も必須となります。

◆**準備学習** 会社法は、経済活動に密接に結びついた法分野です。会社法に関する法分野を理解するためには、常に新しい経済の仕組みを理解していなければなりません。そのための最適の方法は、日刊新聞（日経新聞等）を読むことです。最近ではどのような経済問題があるのか、どのような新しい企業組織形態が誕生したのか、等について問題意識をもって毎日欠かさず読むことが必要です。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	会社制度の存在意義、株式会社、持分会社（合名会社・合資会社・合同会社）、株式会社における株主の地位、株式の内容 ※会社法制度の概要、会社についてはどのような規制が適用されるのか、どのような種類があるか、株主・株式等の会社法規制の基本構造を学びます。
2日目	株主間の利害調整、種類株式とその関連分野、会社の資金調達方法、募集株式発行の手続、社債、株式の流通、自己株式 ※株式制度、株主の地位、種類株式等株式に関する規律の概要および会社の資金調達方法として募集株式の発行や社債制度について学びます。
3日目	株主総会の権限、開催手続、決議の瑕疵、取締役の地位、義務・責任、監査役、会計参与、会計監査人、委員会設置会社 ※株式会社との機関、すなわち株主総会、取締役（取締役会）、監査役（監査役会）、会計参与、会計監査人、執行役（委員会設置会社）について学びます。

◆**教科書** 通材『商法Ⅱ 0143』通信教育教材（教材コード00379）3,050円（送料込）
〈この教材は市販の『会社法（第13版又は第14版）』神田秀樹（弘文堂）と同一です〉
〔当日資料配布〕 その他プリント教材を配布します。最新版の「六法」（平成24（2012）年版）。

◆**参考書** 丸沼『会社法判例百選（第2版）』江頭憲治郎ほか編 有斐閣 平成23年 2,279円（税込）（送料340円）

◆**成績評価基準** ①授業中に行う「小テスト」（20%）、②授業中にふれた重要な事項から出題する「試験問題」（80%）。

◆**E-Mail**：

□基礎理論

〔税法〕

開講単位：2単位 担当者：黒川 功

◆**学習目標** 具体的な税金問題を素材として、税法学の基礎理論を解明します。各人が自力で、税金問題への法的アプローチができるようにすることが目標となります。税法学は現代法の中心領域であり、その理解は激動の現代社会を生き抜く上で不可欠の素養となります。

◆**授業方法** 3日間で、ほぼ12のテーマが扱われますが、1つ1つ確実に理解することが最重要です。毎回要点を板書しますのでこれをノートし、板書後事例紹介等を織り込みながら説明しますからこれを理解し、短期間に効率的に税法理論を吸収できるように努力してください。随時、質問も受け付けます。

◆**準備学習** 予め『納税者の権利』を通読しておくことが望ましいです。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	①税法学の特質 ②税法の法的概念 ③税法の体系 ④税法法律関係の性質・納税者基本権
2日目	⑤租税法律主義 ⑥地方財政権と本来的租税条例主義 ⑦実質課税の原則 ⑧応能負担原則・応益課税論
3日目	⑨法と信義則 ⑩税務調査件の種類と法的限界 ⑪租税通脱犯の構造 ⑫源泉徴収制度（又は税務争訟制度） ⑬試験

◆**教科書** 通材『税法 0173』通信教育教材（教材コード000410）6,700円（送料込）
〈この本は市販の『税法学言論』第6版 北野弘久著（青林書院）と同一です〉

〔丸沼〕『納税者の権利』岩波新書 840円（税込）（送料260円）

◆**参考書** 丸沼『現代税法講義・5訂版』法律文化社 3,675円（税込）（送料390円）

〔丸沼〕『日本税制の総点検』勁草書房 2,310円（税込）（送料340円）

◆**成績評価基準** 論文式の筆記試験（90%）と平常点（10%）で評価を行います。

◆**E-Mail**：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆黄表紙と合巻の世界

〔国文学講義Ⅳ（近世）〕

開講単位：2単位 担当者：佐藤 至子

- ◆**学習目標** 近世文学のなかから、18世紀後半～19世紀の江戸で流行した絵入り小説の黄表紙（きびょうし）と合巻（ごうかん）について概説する。挿絵と文章を相互補完的に用いる表現技法や、時代の移り変わりに伴う主題・作風の変遷について理解を深めながら、商業出版の浸透や幕府の改革政治が文学にもたらした影響についても考察する。
- ◆**授業方法** 講義形式。代表的な作品を読み、解説する。1日目・2日目は、授業の終わりに用紙を配布し、講義の要点・感想を書いて提出してもらう。これを平常点とする。3日目は最終時間に教室内で小論文を書いてもらい、これを試験に替える。小論文の課題については1日目に説明する。
- ◆**準備学習** 時間があれば、黄表紙・合巻の作品や研究書を少しでも読んでおくといよい。
作品は日本古典文学大系『黄表紙 洒落本集』・新日本古典文学大系『草双紙集』など。
研究書は「参考書」欄を参照してほしい。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	物語る絵と視覚化することば（近世から現代まで、絵と文章による表現の広がり概観する） 安永期・天明期・寛政期の黄表紙（具体的な作品を読みながら、黄表紙の楽しみ方を学ぶ） 黄表紙の作者たち
2日目	黄表紙の手法 黄表紙から合巻へ（黄表紙と合巻の違い、黄表紙から合巻に変化した理由について学ぶ） 山東京伝の合巻・柳亭種彦の合巻（人気作者の作品を読み、その時代の流行や出版統制について学ぶ）
3日目	合巻の手法 幕末の長編合巻（古典文学を受容した作品、妖術物の展開、キャラクターの成立と継承などを論じる）

- ◆**教科書** なし。[当日資料配布] 1日目にプリントを配布する。
- ◆**参考書** 丸沼『江戸の本づくし』鈴木俊幸著 平凡社新書 819円（税込）（送料260円）
丸沼『江戸滑稽化物尽くし』アダム・カバット著 講談社学術文庫 966円（税込）（送料260円）
- ◆**成績評価基準** 平常点（50%）、小論文（50%）。毎回出席することを前提として評価する。
- ◆**E-Mail** :

◆イギリス文学史（18世紀末迄）を概観する

〔イギリス文学史Ⅰ〕

開講単位：2単位 担当者：小山 誠子

- ◆**学習目標** 英文学を専攻する上での基礎となるイギリス（主に England）における言語的・社会／文化及び宗教的歴史背景を確認し、時代思潮を意識しながら、各時代を代表する作品を出来る限り原文を鑑賞することで理解を深め、今後の専門研究へとつなげていきます。（※初めてこの講座（小山 担当）を受講する人のみを対象としています。既に受講したことのある人は他の教員によるこの講座を受講してください。）
- ◆**授業方法** 下記授業計画を目安として①時代背景・思潮及び②代表的作家／作品を確認し、さらに③実際の作品（後日受講申込者決定後に送付される資料及びテキスト後半<Texts>のうちの一部）を考察／鑑賞します。（受講者各自に一部和訳／要約を担当してもらい、その成果を平常評価の一部としますので指示に従い準備の上受講に臨んでください。）
- ◆**準備学習** 広範な範囲を3日間の短期集中で学習するので事前の準備が必要です。授業方法／計画を意識し、テキストに登場する作品／作家／年代及び関連事項を整理しながら全体の流れをある程度確認した上で受講に臨んでください。また、。作品鑑賞（上記授業方法参照）等に関する指示に従い予習をしておいてください。（最終試験では持ち込みは一切ありません。）

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	第1章 Anglo-Saxon England の文学 第2章 中世英語時代の文学 (The Canterbury Tales 等の中世の作品の一部鑑賞する予定です。) ※後日詳細は指示。
2日目	第3章 文芸復興時代の文学 (William Shakespeare を中心に) (具体的に展開する作品については後日詳細を指示します。) 第4章 第十七世紀の文学
3日目	第5章 第十八世紀の文学 全体のまとめ 試験

- ◆**教科書** 通材『イギリス文学史Ⅰ 0411』通信教育教材（教材コード000111）2,300円（送料込）
- ◆**参考書** 大学・社会人レベルの辞書（電子辞書可）を持参すること。
※ 携帯電話及びPCの授業中の使用は認めない。
- ◆**成績評価基準** 平常（予習状況及び授業への積極的取組／発表等を総合的に評価）…40%
試験…60%
- ◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆ Broadcast English

〔放送英語〕

開講単位：2単位 担当者：アレックス ブラウン

- ◆**学習目標** Students will improve listening and speaking skills by watching short news reports and discussing the content and issues of the news reports.
- ◆**授業方法** Students will develop listening skills by listening to CNN news reports from the CNN web site (www.cnn.com) (other materials may be used). Students will also learn vocabulary and expressions related to the news topics and discuss and give their opinions about the topics.
- ◆**準備学習** Students are asked to keep up to date with International News in the weeks leading up to the course.
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	Orientation News Report #1 News Report #2 News Report #3 News Report #4
2日目	Vocabulary Quiz #1 News Report #5 News Report #6 News Report #7
3日目	New Report #8 Review Vocabulary Quiz #2 Final Examination

- ◆**教科書** No text will be required. Students will be provided with handouts. Students are expected to bring a notebook and a folder to keep handouts in.
- ◆**参考書** Students should bring a dictionary to class.
- ◆**成績評価基準** Grades will be based on attendance, vocabulary quizzes and final examination.
- ◆**E-Mail** :

◆ どのように英語は発達したのか

〔英語学演習 E〕

開講単位：1単位 担当者：桑山 啓子

- ◆**学習目標** 平易な英文で書かれているテキストを読みながら、アングル族、サクソン族の使っていた言語がどのように発達し、現在の英語へと確立していったのかを学ぶ。英語の歴史を知らない人のための入門編。
- ◆**授業方法** 授業は予習をしてあることを前提に演習方式で行う。テキストを2～3ページくらいに区切り、学生一人一人が指定された箇所をまとめて発表する。授業の始めと終わりにその日読んだところのまとめの小テストをする。また、各時代の文献の資料を読み、テキストの内容にそったDVDを見てグループで現代英語との違いを話し合い発表する。必ず予習してからスクーリングに出席すること。
- ◆**準備学習** テキストは平易な英文で書かれているので授業計画に書かれている範囲を読んでおくこと。また参考文献にも目を覚しておくのが望ましい。テキストはOxford University PressのThe Oxford Bookworms Libraryの一冊なのでインターネットからアマゾンで買うこともできるし、洋書を扱う書店で注文して買うこともできるので、予め購入して予習しておくこと。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	(午前) ガイダンス Chap. 2 : The beginning of English 一内容の要約と説明 / Chap. 3 : Old English (午後) Chap. 3 : Old English / Chap. 4 : The Normans in England
2日目	(午前) Chap. 5 : Middle English / Chap.6: Modern English begins (午後) Chap. 6 : Modern English begins / Chap.7: Bringing order to English 本日の復習・まとめ
3日目	(午前) Chap. 7 : Bringing order to English (予備 Chap. 8 : Modern English grows) (午後) まとめ 試験

- ◆**教科書** 丸沼『The History of the English Language』Bright Viney (The Oxford Bookworms Library: Oxford University Press) 850円(税込)(送料260円)(ISBN: 9780194233972)
- ◆**参考書** 丸沼『図説 英語史入門』中尾・寺島共著 大修館書店 1,995円(税込)(送料390円)
丸沼『テイクオフ英語学シリーズ：英語の歴史』松波有編 大修館書店 1,680円(税込)(送料340円)
- ◆**成績評価基準** 発表(20%)、予習調べ・小テスト(30%)、最終試験(50%)
- ◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

□統語論演習

〔英語学演習 F〕

開講単位：1単位 担当者：田中 竹史

- ◆**学習目標** 本講座では、言語学・英語学の主要な分野の一つである統語論を中心に扱う Haegeman (2006) を取り上げ、具体的な言語現象とその分析を通じて、英語学の立論の仕方や基盤となる知識などを身に付ける事を目標とします。
- ◆**授業方法** Chapter 4 Refining Structures: From One Subject Position to Many から始め、テキストに沿った演習形式 (e.g., 受講者による担当部分の内容説明の後に教員による補足説明) で進めます。
- ◆**準備学習** 短期集中講座ですから、単位取得のためには十分な準備 (e.g., 英語学の基礎事項・用語確認、本文和訳・内容把握) が求められます。必ず予習を行い授業に臨むよう努めて下さい。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1 日目	初回ガイダンス 基礎知識確認など
2 日目	0 Introduction 1 Recapitulation 2 Mapping Form onto Meaning: A Problem 3 The VP-Internal Subject Hypothesis
3 日目	4 Subject Positions and Auxiliaries 5 Summary

- ◆**教科書** *Thinking Syntactically: A Guide to Argumentation and Analysis*. Liliane Haegeman. Oxford: Blackwell Publishing Ltd. (コピーを事前配布します)
- ◆**参考書** 英和辞書
英語学の入門書 (e.g., 『ファンダメンタル英語学』, 通材『英語学概説 0085』 通信教育教材 (教材コード 000400) 2,950 円 (送料込) <この教材は市販の『英語学入門』安藤貞雄他著 (開拓社) と同一です>)
- ◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、発表などの取り組みとレポートなどの課題により総合的に評価します。
- ◆**E-Mail :**

□『ジェイン・エア』卒論に役立つ演習

〔英米文学演習 G〕

開講単位：1単位 担当者：北原 安治

- ◆**学習目標** 卒論に役立つポイントを押さえながらフェミニズム小説の古典『ジェイン・エア』を読んでいきます。ソーンフィールドにパーサの兄メイスンがやってくる場面を読みます。今年は『ジェイン・エア』の演習を2回やりますが、それぞれちがったところを読みます。
- ◆**授業方法** 19世紀英国の女流作家シャーロット・ブロンテの『ジェイン・エア』の抜粋本の第8章から一日6ページほど読んでいきます。学生さんにひとりひとり当てていくので、かならずしも予定通りには進みません。辞書を引いて単語を一語一語調べる予習をしてもらいたいです。なお、卒論で悩んでいる学生さんにアドバイスを与えながら進めていきたいと思います。なお、1996年に映画化されていますので参考にして下さい。500円の名作DVDの『ジェイン・エア』(オーソン・ウェルズ主演、1944白黒版)もあるので、これも参考にするとよいでしょう。
- ◆**準備学習** 本文をノートに3～5行おきに手書きで写して、単語を調べておくこと。ノート検査をします。
- ◆**授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕**

1 日目	6ページ前後進むのが目安ですが、時間がかかり必ずしも読めないことがあります。
2 日目	6ページ前後進むのが目安ですが、時間がかかり必ずしも読めないことがあります。
3 日目	5ページ前後進むのが目安ですが、時間がかかり必ずしも読めないことがあります。 限定した部分の和訳、そして全体的内容を書く論述を組み合わせたテスト。持ち込みなし。

- ◆**教科書** **事前資料送付** 『ジェイン・エア』西崎注 北星堂書店 (ダイジェスト版です) をすでにお持ちの方はお使いください。絶版なので各自にプリントを郵送。86ページから101ページまで読む予定。
- ◆**参考書** **丸沼** 『ジェイン・エア』(上・下二冊本) 光文社古典新訳文庫 上859円(税込) (送料260円), 下919円(税込) (送料260円) 『ジェイン・エアを読む』中岡 洋著 開文社出版 (1995) 絶版 <この本は品切れのため図書館等を利用してください> 卒論を書く方は『ジェイン・エア』完全版を買っておけば良いでしょう。インターネットの書店アマゾンなどで、ノートン版 (Norton Critical Edition) を買われればよいでしょう。二千円ぐらいだと思います。ノートン版は紙の質がよいので書き込みやすいです。無いときはペンギン版やワールズ・クラシック版で良いでしょう。『Jane Eyre: An Authoritative Text, Contexts, Criticism』(Norton Critical Editions) (ペーパーバック) Charlotte Bronte (著), Richard J. Dunn (編集) 出版社: W W Norton & Co Inc ; 3版 (2000/10) 通信英文科 OG の HP も参照。「吉川はつよ」「ジェイン・エア」で検索。
- ◆**成績評価基準** 小テスト、試験などの総合評価。皆出席を望みます。ノートをしっかりととりノートなきものは不合格。ノートは本文、文法構造、和訳をしっかりと書くこと。
- ◆**E-Mail :**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◻ *Animal Farm* (1945) を読む

〔英米文学演習 H〕

開講単位：1 単位 担当者：猪野 恵也

- ◆**学習目標** George Orwell (1903-1945) による *Animal Farm* (1945) を読みます。和訳して物語を追って終わりにするのではなく、作品中の言葉に留意しつつ小説の技法に学んでいきます。
- ◆**授業方法** 学生による発表が中心。和訳して終わりにするのではなく、なぜこの言葉が使われているのか、またどんな意味づけができるのか考えていきます。
- ◆**準備学習** 発表箇所以外でもテキストの念入りな予習が必須。英和辞典ばかりではなく、英英辞典、例えば、*Concise Oxford English Dictionary* などを用いるとよい。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1 日目	George Orwell (1903-1945) の生涯などの紹介。 英文読解 (学生による発表中心)
2 日目	小テスト <i>Animal Farm</i> の映画を観る。 英文読解 (学生による発表中心)
3 日目	英文読解 (学生による発表中心) 最終試験

- ◆**教科書** **事前資料送付** 事前にプリントを配布。
- ◆**参考書** 授業中に指示する。事前に 1984 など George Orwell による他の作品を読んでおくとい。
- ◆**成績評価基準** 発表 (30%) 平常点 (10%) 最終試験 (70%) 三日間のスクーリングなので皆出席を前提します。各自スケジュールを確認してから受講して下さい。
- ◆**E-Mail :**

◻ 発音記号を見て発音する

〔英語音声学演習〕

開講単位：1 単位 担当者：山上 登美子

- ◆**学習目標** まず、英語の母音や子音の特徴を知り、発音記号を理解する。次に、間違いやすい音の対照練習により、正しい発音方法を習得する。さらに、発音記号を見て、単語が書けるようにする。特に、日本語にはない音を聞き取れるようにする。
- ◆**授業方法** CD を聞き、各音が単語の語頭、語中、語尾および英文で正しく発音できているかに注意を払いながら、発音練習をする。対照練習では聞き取りテストを行う。「まとめのプラクティス」に書かれている問題に挑戦し、実力を試す。
- ◆**準備学習** テキスト第1章「英語発音の基礎」(p.1-p.29) に書かれている発音方法を読み、口の形を見ながら、単語や英文を発音してみる。単語や英文でうまく発音できない部分にマーカーで印をつけておく。第IV章「まとめのプラクティス」Exercise 1-3 (p.58-p.67) に出てくる単語の意味と発音を辞書で調べておく。
- ◆**授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕**

1 日目	ガイダンス 母音 1-19 (p.1-11) 授業内テスト
2 日目	母音 20-24 (p.12-14) 子音 1-11 (p.15-23) 授業内テスト
3 日目	子音 12-19 (p.24-29) まとめ 授業内テスト

- ◆**教科書** **丸沼**『英語発音・聴き取りの基礎』 杉野健太郎・Joseph Lauer 共著 朝日出版社 2,100円 (税込) (送料 340円)
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 授業中の発表 30% 授業内テスト 70%
- ◆**E-Mail :**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆モラル・フィロソフィにおける情念と道徳

〔倫理学概論〕

開講単位：2単位 担当者：真船 えり

- ◆**学習目標** 17世紀から18世紀のイギリスのモラル・フィロソフィにおける、道徳の起源、道徳の認識、理性と情念、などのテーマについての議論を考察し、倫理学の基本的課題について理解することを目標とします。また、情念と道徳に関して、現代の諸科学の実証的成果を受けて再検討が促されている議論を検討し、倫理学の基本的課題についての理解を深めます。
- ◆**授業方法** テキストを受講者で輪読しながら、倫理学の基本的概念や倫理思想史的背景について担当者が解説し、モラリストのあいだで見解の異なるテーマについて皆で議論します。
- ◆**準備学習** 教科書と事前配布プリントを読み、問題意識をもつことが望まれます。

◆授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1 ガイダンス：倫理学について；善きエートスの研究；「エートス」について 2 18世紀イギリスのモラル・フィロソフィにおける自然と人間 3 人間の本性（1）：自然状態と道徳——ホッブズ；自然的な情愛と徳——シャフツベリ 4 人間の本性（2）：徳の起源と社会の本性——マンデヴィル；良心と自己愛——バトラー
2日目	1 感情と理性（1）：道徳感覚と道徳の認識——ハチスン 2 感情と理性（2）：道徳感情と道徳判断——ヒューム 3 道徳の起源——徳と悪徳の識別は生得的原理によるか後天的原理によるか 4 理性と情念——理性と情念は対立するか
3日目	1 道徳の認識と理性——リード 2 情念と道徳——現代の諸科学の実証的成果を受けての省察 3 議論とまとめ 4 試験

- ◆**教科書** 丸沼『イギリスのモラリストたち』 柘植尚則著 研究社、2009年 2,625円（税込）（送料340円）
事前資料送付 上記の教科書以外の授業資料は事前にプリントを配布します。

- ◆**参考書** 特に指定しません。

- ◆**成績評価基準** 平常点（50%） 試験（50%）。
授業内の課題に関する議論及びミニレポートによる平常点と最終回の試験により総合的に評価します。

- ◆**E-Mail：**

◆ヨーロッパ近世・近代の家畜と食肉

〔西洋史特講Ⅰ〕

開講単位：2単位 担当者：後藤 秀和

- ◆**学習目標** 人類は動物を家畜として農耕や交通手段に利用することでその生活領域を拡大してきた。また家畜の多くは食糧として我々に乳や肉、脂を提供してきた。では家畜の肉は「誰が」「どのように」生み出してきたのだろうか。この講義では家畜が「食肉」へと姿をかえる「場」に注目することで、18世紀から19世紀にかけての様々な変化や近代化において動物と人、食肉と人の関係がどのように変化してきたのか、その把握を目指す。
- ◆**授業方法** 基本的には講義形式。受講者数によっては一部演習方式を導入し、議論を深めることも考えている。また、受講者の興味関心や理解度を把握するため、講義の中でリアクションペーパーの提出を求める。また講義中の積極的な質問や意見表明を歓迎する。
- ◆**準備学習** 家畜飼育、その売買、屠畜と衛生、流通販売などの諸問題についての歴史研究はまだ始まったばかりであり、邦語文献による予習は難しいだろう。よって図書館などで下記参考文献にあたる他、例えば内澤句子『世界屠畜紀行』（角川文庫、2011年）などに目を通し、ひとまず現代の食肉生産の現場について予備知識を備えておくことが望ましい。
- ◆**授業計画〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕**

1日目	ヨーロッパにおける家畜と人間 * 環境と農業、政治体制、宗教などの視点から広くヨーロッパ史における人と家畜との関係について解説する。そして18世紀までの食肉生産がどのような場所で、誰によって担われていたのかを把握する。
2日目	同職組合から近代屠畜場へ：大規模化・機械化・不可視化・公衆衛生の専門職化 * 18世紀末以降、フランス革命や産業革命などの進展によって政治・経済・社会のシステムは大きく変化する。そうした変化は食肉生産のあり方にも大きな影響を及ぼした。2日目と3日目ではこれらの問題について具体的な史料を用いながら詳しく追求してゆく。
3日目	同職組合から近代屠畜場へ（続） * 2日目に続いて近代的な食糧生産の現場について考える。また映像資料を利用して現代屠畜場についての具体的なイメージも持たせたい。

- ◆**教科書** 教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。

- ◆**参考書** 丸沼『中世ヨーロッパの農村世界』 堀越宏一 山川出版社、1995年 765円（税込）（送料260円）
丸沼『食の歴史』1～3巻、J-L. フランドラン／M. モンタナーリ編、宮原信・北代美和子監訳 藤原書店、2006年 各巻6,300円（税込）（送料390円）
『農民のヨーロッパ』 ヴェルナー・レーゼナー著、藤田幸一郎訳 平凡社、1995年
〈上記の本は品切れのため図書館等を利用してください〉

- ◆**成績評価基準** 平常点（質問や発言、リアクションペーパーの記載状況）と試験によって総合的に評価する。

- ◆**E-Mail：**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆世界資本主義経済の生成と展開

〔西洋経済史〕

開講単位：2単位 担当者：上村 能弘

◆**学習目標** 資本主義経済は、ひとつのシステムとしての世界的な市場連関を前提としています。ここでは、主にロンドンを中核として成立した世界貿易の決済機構に焦点を当てながら、16世紀から19世紀前半までの資本主義経済の生成と展開を概観し、その経済史的・金融史的意義について考察します。

◆**授業方法** 講義形式で授業を進めますが、最終日の「まとめ」のなかで質疑と討論を行う予定です。

◆**準備学習** 特別な「事前学習」は、必要ありませんが、受講に当たっては、高等学校の世界史で扱われるような知識を、ごくおざっぱにでも持っているとう便利です。お時間があるようでしたら、お手許の世界史の教科書や参考書のうち、特に16世紀から19世紀前半までの部分を、ざっとでも眺めておくことをお勧めします。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	資本主義的「世界経済」の成立 ・前史——商品経済の歴史的意義 ・「拡張の16世紀」、「危機の17世紀」 ・大西洋地域における奴隷貿易
2日目	<産業革命>と世界市場 ・世界<産業革命> ・世界商品市場の成立と展開 ・世界金融市場の成立と展開
3日目	まとめ ・委託荷販売制度の意義と限界 ・質疑と討論

◆**教科書** 使用しません。

◆**参考書** 講義の進捗にあわせ適宜紹介します。

◆**成績評価基準** 試験（100%）。毎回出席していなければ解答できないような問題を作成し、出題します。

◆**E-Mail** :

◆貨幣経済モデルと国家財政の破綻

〔貨幣経済論〕

開講単位：2単位 担当者：続橋 孝行

◆**学習目標** 現在、経済も政治もおかしい。何がどうなっているのか。全体像を知りたいという学生の受講を望みます。リーマン・ショックからわずか4年経った現在、ユーロが危機に直面している。この二つの世界的危機に共通して言えるのは、これまでの貨幣経済モデルが危機に瀕していることで、従来の連続性のある景気循環と違う、大きな構造転換が起こりつつあるのは明らかである。その先に待ち受けているのは、世界経済の崩壊そして長期停滞なのかもしれない。授業は、教科書・藤本 訓利・関谷喜三郎『貨幣経済論 0747』を使って貨幣経済論の基礎を学んで、既述の諸問題を考えたいと思います。

◆**授業方法** 板書を中心とした授業ですが、教員が一方的に説明し続けることは避けたい。ときおり、学生からの質問を受けますし、逆に教員が学生に質問したりして、課題の理解を深めていきたいと思っております。

◆**準備学習** (1) 新聞の経済・政治面を読んでおきましょう。(2) 経済上の統計的数字を把握しておきましょう。(3) 図やグラフに親しんでおきましょう。(4) 現実の経済・政治と人間をイメージしておきましょう。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	マネー、証券化、グローバル化と市場経済：GDPとは何か？ GDPの計算方法・内閣府によるGDPの速報値・三面等価の法則—生産・分配・支出国民所得・消費関数・貯蓄関数・投資関数・総供給関数と45度線・GDPの決定—総供給・総需要関数・デフレ・ギャップと景気低迷・ISバランスとGDPの決定・IS曲線の導出
2日目	貨幣供給と中央銀行・貨幣と取引需要・貨幣、国債と投機的需要・貨幣供給、貨幣需要と利率の決定・LM曲線の導出・IS・LM曲線とGDPの決定・金融政策・財政政策の有効性・金融政策と流動性トラップ・貨幣数量説とマネタリスト・マネタリストのGDPの決定・パブルの発生と崩壊
3日目	深刻な不況の原因とその対策・授業全体のまとめ

◆**教科書** **教材**『貨幣経済論 0747』 通信教育教材（教材コード000440）1,500円（送料込）

◆**参考書** 資料を必要に応じて配布します。

◆**成績評価基準** 筆記試験、授業への取り組み（発表等）により総合的に評価します。

◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆広告コミュニケーション

〔広告論〕

開講単位：2単位 担当者：樋口 紀男

- ◆**学習目標** 失われた20年が続く中で、メディアの変容と市場の停滞によってマーケティングと広告は大きな変革を迫られているといえます。講義では、マーケティングと消費の2つの視点を軸に広告コミュニケーションを基礎から習得できるようにしていきます。
- ◆**授業方法** 基本的には教科書を中心にしますが、現実の動向や新しい理論に対応するためプリントを配布して講義を進めます。また、学生の皆さんの疑問点や意見を聞き、講義に反映させていきたいと考えています。
- ◆**準備学習** 広告論は学際的な学問であるため、社会学や心理学等々の関連領域が広くなります。それだけに、新しい言葉や概念が多様になりますので、授業の前後に言葉・概念の意味を正確の身につけるようにしてください。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	広告とは何か：広告の定義、広告の種類、広告の機能。 マーケティングと社会における広告の位置づけ。 広告とコミュニケーション、マーケティングとコミュニケーション。
2日目	広告の実施計画の立案：広告戦略の要素と広告戦略立案の手順について。 広告目標、コンセプト、セグメンテーション、ターゲット、ポジショニングについて。 媒体戦略：メディアとは何か、メディアの種類と特徴、媒体計画立案など。
3日目	表現戦略：広告表現とは、情報とは、メッセージとは、マーケティングと表現戦略の関連、表現戦略と戦術。 現在の消費社会における広告表現の可能性について 3日間の総括として、広告の価値創造。

- ◆**教科書** 通材『広告論 0830』通信教育教材(教材コード000186) 1,600円(送料込)
〔当日資料配布〕講義プリント(授業時配布)
- ◆**参考書** 丸沼『わかりやすい広告論』石崎徹編著 八千代出版 2,835円(税込)(送料390円)
- ◆**成績評価基準** 平常点(40%)とテスト(60%)のウエイトで評価します。
- ◆**E-Mail** :

◆国際通貨制度の基礎を学ぶ

〔国際金融論〕

開講単位：2単位 担当者：谷川 孝美

- ◆**学習目標** 最近では、欧州の債務問題やユーロの通貨価値下落など国際金融に関する様々な事柄が話題になっています。この講義では、このような国際金融問題を考える上での基礎的概念や国際金融制度の歴史的な変遷などについて理解することを目標とします。
- ◆**授業方法** 授業計画にしたがって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では、基礎的な概念や国際金融制度について平易な解説をする予定です。なお、為替レート決定などの国際金融理論については取り扱いませんので注意してください。
- ◆**準備学習** 金融論およびマクロ経済学の基本的な知識があると、国際金融論をより深く理解できるでしょう。学習の準備として確認をしておくとういでしょう。また、外国為替レートなど海外市況や国際金融情勢などに、日頃から関心を持つことも大切です。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	国際金融の基礎 ①イントロダクション ②外国為替の仕組み ③外国為替市場と為替レート ④ 国際収支統計と対外取引
2日目	国際通貨制度 ①金本位制から国際金本位制 ② IMF 体制から為替フロート ③経済通貨同盟と欧州単一通貨ユーロ
3日目	国際金融市場とその他諸問題 ①国際金融市場 ②国際協調と BIS 規制 ③通貨危機と国際通貨制度改革 ④講義のまとめ

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕指定しない。当日プリント配布。
- ◆**参考書** 通材『国際金融論 0833』通信教育教材(教材コード000432) 1,950円(送料込)
丸沼『国際金融論をつかむ』橋本優子・小川英治・熊本方雄、有斐閣 2,205円(税込)(送料340円)
その他、授業時に適宜紹介します。
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組み、小テスト、最終試験等により総合的に評価します。
- ◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆情報ネットワークの活用と戦略

〔情報管理論〕

開講単位：2単位 担当者：根本 忠明

- ◆**学習目標** 本格的なネット時代を迎え、情報活用の成否が、国家・企業・個人まで、それぞれの命運を左右するようになってきている。本講義では、どのような情報活用と情報管理が求められているかを、事例をまじえて講義する。
- ◆**授業方法** 講義は、講義ノートと参考資料（新聞、雑誌、ネット資料）を配布すると共に、ビデオ映像を紹介することによって、情報活用のありかたを説明する。受講生自身にも、必要な資料を入手方法を説明する。
- ◆**準備学習** 講義で紹介した内容と受講生の身近に起きている世の中の出来事とが関連付けられるように、学習することを期待している。このため、講義に関係する出来事について、ネット検索できるようにしておく。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス（ネット検索と情報収集） ・経営情報の全体システム ・マネジャーの意思決定支援のシステム ・OA・POSのシステム ・営業支援のシステム
2日目	<ul style="list-style-type: none"> ・SIS－競争優位のシステム ・SIN－企業間システムの競争と協調 ・SIS事例－金融ビックバンとSIS ・SIS事例－オープンスカイとSIS ・国家のIT戦略と電子政府
3日目	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークの革新－インターネットの仕組み ・ネットビジネスの台頭 ・ネット時代の暗号とセキュリティ ・ネット時代の知的財産権と無料配布 ・総括と課題提出

- ◆**教科書** **【当日資料配布】** 当日プリント（講義ノートと参考資料）を紙形式で、配布する。講義の最初に、すべての資料をファイル形式で配布する。
- ◆**参考書** 参考書・参考になるウェブサイトのリストを配布する。
- ◆**成績評価基準** 授業中のミニテストと総合レポートにより、総合的に評価する。
- ◆**E-Mail** :

◆特別活動の多角的研究

〔特別活動の研究〕

開講単位：2単位 担当者：山岸 竜治

- ◆**学習目標** 特別活動をめぐって、教育課程上の位置づけ、「学習指導要領」における目標や内容、そしてその指導法等を理解し、教員として特別活動という教育活動をこなせるようになることを学習目標とします。特別活動は集団活動なので、「集団」についての理解も深めたい、と考えています。
- ◆**授業方法** プリントを配付したうえで講義を行います。また、映像資料も複数もちいて理解を深めたい、と考えています。ただし、受講生の人数による部分があるとお考えください。人数が少なめのばあいは、グループワークやディスカッションを積極的にとりいれて、受講生の直接的参加度をたかめたい、と考えています。
- ◆**準備学習** ①教科書に（さっとでよいので）目を通しておいてください。
②「学習指導要領」とは何か、レポート用紙に1～2行で記述できるようにしておいてください。
③小・中・高校の教育課程の領域を記せるようにしておいてください。
④性的マイノリティーについての自分の考えをまとめておいてください。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	<ul style="list-style-type: none"> ①イントロダクション（「学習指導要領」とは何か、教育課程とは何か等） ②ガイダンス（授業計画の確認、成績評価基準の確認、講師自己紹介） ③教育課程と特別活動、特別活動の構成等 ④教育計画と特別活動、特別活動の実態等
2日目	<ul style="list-style-type: none"> ①個別指導と集団指導、生徒理解と生徒指導 ②学級活動をめぐって（その目標、内容、指導法等） ③生徒会活動をめぐって（その目標、内容、指導法等） ④学校行事をめぐって（その目標、内容、指導法等）
3日目	<ul style="list-style-type: none"> ①特別活動と生徒指導 ②特別活動と進路指導 ③特別活動と学校のマイノリティー ④まとめ（講師の反省点、受講生への要望等）

- ◆**教科書** **【丸沼】『中学校学習指導要領解説 特別活動編』** 文部科学省 ぎょうせい 2008年 114円（税込）（送料340円）
【当日資料配布】 その他、当日にプリントを配付します。
- ◆**参考書** 授業中に適宜提示します。
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組み、授業内テストにより総合的に評価します。
- ◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◇子どもたちの学習権と公教育

〔教職総合演習／教職課題演習 A〕

開講単位：2単位 担当者：金 泰勲

※当該科目は教育職員免許法施行規則の一部改正に伴い、平成24年度までの開講となります。また、入学年度及び入学形態によって充当科目が異なりますので、「部報」3月号にて詳細を確認の上、申し込んでください。

◆**学習目標** 現在、学校教育は危機的状況と言われている。日本でもいじめや不登校の児童・生徒は増え続けている。こうした状況のなかで、「フリースクール」などのオルタナティブな教育が注目を浴びている。本演習では、諸外国におけるオルタナティブ教育を取り巻く教育制度や教育行政の実情や、2007年度から法制化されたLDやADHDのための特別支援教育について取り上げ、これらを通して公教育の問題点やあり方を明確にすることにある。

◆**授業方法** 本演習のテーマは「子どもたちの学習権と公教育」とする。主に、いじめ、不登校や特別支援教育などを中心に、受講者の発表に基づき、討論を行う。研究能力・思考力・表現力・判断力・批判力を育み、中学校や高等学校における「総合的学習時間」が担当できるように、その指導法などを考えながら進める。

◆**準備学習** 本演習に参加する受講者は日本をはじめアメリカ、イギリス、フランス、デンマーク、オランダなどの欧米諸国、及び日本をはじめ日本と文化的に類似した韓国や台湾のオルタナティブ教育を取り巻く教育制度や教育行政の実情について予備学習をしていただきたい。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイダンス。受講者の数によってはグループ分け。 インターネットや文献などによる調査 発表のレジュメの作成。受講者による発表。
2日目	受講者による発表およびディスカッション。
3日目	受講者による発表。 最終レポート作成。 全体討論。 まとめ。

◆**教科書** なし。〔当日資料配布〕演習中、資料として配布する。

◆**参考書** 演習中、受講者の調査発表の内容などに応じて紹介する。

◆**成績評価基準** 調査発表（40%）、討論への参加（30%）、教職への情熱（15%）、教員としての資質（15%）

◆**E-Mail**：

◇情報社会時代に生きる子どもと学校・家庭・地域社会

〔教職総合演習／教職課題演習 B〕

開講単位：2単位 担当者：関川 悦雄

※当該科目は教育職員免許法施行規則の一部改正に伴い、平成24年度までの開講となります。また、入学年度及び入学形態によって充当科目が異なりますので、「部報」3月号にて詳細を確認の上、申し込んでください。

◆**学習目標** 授業の題目は「情報社会時代に生きる子どもと学校・家庭・地域社会」とする。この授業は「総合的な学習の時間」に対応すべく、子どもと学校・家庭・地域社会の相互関係及びその新たな関係について検討することを目標とする。

◆**授業方法** 受講者はかつて自分の居住した地域社会について実際に調査する。ねらいはその地域の学校のありようが情報社会時代とそれ以前とを比較してどう変化し、それに伴って子どもの学びや遊びなどがいかに変容したかを知ることである。調査した成果を整理して、演習形式で発表・討議していただく。

◆**準備学習** 受講者は下記の課題例を参考に自分のテーマを決めて、それについて実態調査によるか、インターネットなどで情報を収集する。発表概要を予め作っておく。本スクーリング中には若干修正して、A4版（1,200字）×5or6枚＝A3版×3枚程度に清書する。テーマに自信のある方は清書しておいても結構です。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	・講義ガイダンス ・情報社会時代以前の学校とその後の学校との比較 ・課題の例：①学校環境の変容Ⅰ—遊び空間や時間における子どもの変容。②学校環境の変容Ⅱ—遊び仲間における子どもの変容。③学校環境の変容Ⅲ—核家族化・少子化・高齢化に伴う子どもの変容。④子どもの問題行動の出現と環境変容との相関関係。⑤情報社会時代下の子どもの生き方・倫理の変化など。これらの例を参考に自分のテーマを設定する。初日に当方のガイダンスに合わせて修正する。なお、テーマは特定の地域に絞り込み、具体的な課題にすること、発表・討議は受講者数によっては午後より行う予定である。
2日目	・演習形式で発表・討議を行い、それを通して自分のテーマを深く掘り下げ、子どもたちの悩みや課題の所在を浮き彫りにする。 ・懇親会を兼ねた反省会を予定している。
3日目	・2日目と同様の予定。（全員が必ず3日の間で1回は発表する）。

◆**教科書** 使用せず。

◆**参考書** 使用せず。

◆**成績評価基準** 調査成果の発表や討議への貢献度とレジュメ（発表要旨）内容との総合評価

◆**E-Mail**：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆国際理解教育の実践に挑戦する（アメリカ編）〔教職総合演習／教職課題演習 C〕

開講単位：2単位 担当者：羽田 積男

※当該科目は教育職員免許法施行規則の一部改正に伴い、平成24年度までの開講となります。詳細については、『部報』3月号にて詳細してください。

◆**学習目標** この授業は、主として中学や高校において総合的な学習の時間を担当できる能力を養うため、国際理解教育を、主としてアメリカを教材として取上げ、実践的な指導ができるように本格的な模擬授業を導入して学生に国際理解教育とは何かを学ばせ、その展開ができるように導くことを目標とする。

◆**授業方法** アメリカを教材とし国際理解教育に関心をもつ学生を主たる対象として、新教育基本法、新学習指導要領、総合学習の時間の意義、国際理解教育とは何か、教材研究のあり方などについて説く。次いで学生各自の50分の模擬授業とこれに対する批評と討論によって授業をすすめる。あわせて演習型の授業の方法を模索する。

◆**準備学習** 参考書を参照して、自身の授業テーマを選定し、模擬授業用のB4判2枚以上の発表資料30部を用意して授業に臨むこと。この発表資料はいわゆる学習指導案や教案・時案ではなく、あくまで授業内容についての補足的な説明や資料のためのものとする。模擬授業の対象者は、中学生・高校生と仮定する。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1. 授業ガイダンス 新教育基本法 新学習指導要領 総合的な学習の時間について 2. 国際理解教育とは アメリカを教材とする意義 3. 模擬授業のすすめ方 模擬授業のテーマ（発表順番は、学生の発表内容によって整理する） 4. アメリカの学校・大学
2日目	1. アメリカの自動車 2. アメリカ人の食生活 3. アメリカの大都市 4. アメリカの家族
3日目	1. アメリカの映画 2. アメリカのスポーツ 3. 各自が自由に選んだテーマ（参考書のテーマ以外でよい） 4. まとめ アメリカを通して世界をどう教えるか。

◆**教科書** 使用しない。

◆**参考書** 丸沼『中高生のためのアメリカ理解入門』渡部淳編 明石書房 1,575円（税込）（送料390円）
模擬授業のテーマを選定する際に参照し、授業へは必携のこと。

◆**成績評価基準** 試験は実施しない。模擬授業の内容、資料、授業への発言度や貢献度などを総合的に評価。

◆**E-Mail** :

◆転換期の産業と経済を考える〔経済地理学〕

開講単位：2単位 担当者：田村 和彦

◆**学習目標** 経済のサービス化・ハイテク化が進行している産業の立地展開について解説をする。グローバル化の進展が続いている。国内産業の空洞化も進行している。アジア諸国の経済力が増加しつつある現在、国際的・国内的にも空間的な経済格差が問題となっている。この点に言及してみたい。経済の成熟化の観点から論じてみる。

◆**授業方法** 講義方式。専門科目なので上記の産業・経済の動向は既に了解しているという前提で講義を進める。したがって、教科書の進行は早い。

◆**準備学習** 中華人民共和国が日本を抜いて世界でGDP2位となった。先進資本主義諸国はBRICsへの投資や資本の参入を進めている。産業の流動化である。経済情報の収集に注意を払い、最新の情報と経済の動向に注目すべきである。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	『経済地理テキスト』。I. 経済地理学の意義と定義について。成熟社会について。I. 第1章—第3章。
2日目	I. サービス化・情報化社会の定義について。I. 第3章—II. 第4章。
3日目	サービス化・情報化社会の定義（後半）。ソフト化・ハイテク化の定義について。II. 第4章—第5章。 試験。

◆**教科書** 教材『経済地理 0973／経済地理学 0974』通信教育教材（教材コード000233）2,000円（送料込）

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 試験：100%

◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

環境と地域社会

〔人文地理学概論〕

開講単位：2単位 担当者：小倉 眞

- ◆**学習目標** 人文地理学の分析視点に基づいて、環境（自然・社会）の特徴・変動とこれに対応しながら展開する世界の地域社会の状況について分析・整理し、地域がもつ特質・内容を位置づけるとともに、地理学の基本的性格について学習する。
- ◆**授業方法** 配布するレジュメおよび資料（統計・地図・写真等）を用いて授業を進める。授業は基本的には講義形式で行なうが、受講者数によっては特定テーマについての討論を設定する事もある。
- ◆**準備学習** 地理事項に関する基本的知識はできるだけ事前に学習しておくこと。また、世界の環境問題や都市構造と都市化問題、食糧問題などに関する情報も取得しておくことを希望する。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	1. 地理学の基礎として、地理的知識の拡大と世界の空間認知について検証する ① 地域の設定とは ② 地理学の歴史について ③ 世界地図の特徴 2. 自然環境と地域社会成立の特徴について考える ① 部族社会とテリトリー ② 日本における水利社会の特徴 ③ 日本の農業と農村
2日目	1. 自然条件と人口分布の関係、食糧生産の実態について検証する ① 気候分布のメカニズム ② 世界の人口増加と人口分布 ③ 食糧生産と人口収容力 2. 自然資源の偏在と工業化・工業地域の立地移動について考える ① 工業原料の分布とイギリス・ドイツの工業立地 ② 日本の工業立地の特徴 ③ 工業立地型
3日目	1. 都市構造と都市化について考察する ① 都市構造理論 ② 都市化のメカニズムと日本の都市化 2. 自然保全と村おこしについて考える ① 中山間地農村の事例 3. まとめ テスト

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕授業初日にプリント配布。
- ◆**参考書** 〔通材〕『人文地理学概論 0975』通信教育教材（教材コード000422）1,300円（送料込）
地図帳、地理資料など。その他は必要に応じて授業中に紹介する。
- ◆**成績評価基準** 筆記試験（80%）と平常点（小レポート含む）（20%）により評価する。
- ◆**E-Mail** :

博物館における教育を学ぶ

〔博物館教育論〕

開講単位：2単位 担当者：浜田 晋介

- ◆**学習目標** 博物館で行われている教育活動について、どのような目的をもって、どのような内容で行われているのかを、その概念とともに説明します。また、各地の博物館で行われている教育活動が、具体的にどのように行われているのかを、事例を挙げながら解説し、現代求められている博物館教育について論じます。
- ◆**授業方法** 下記の教科書を主に使用しながら、講義形式で進めていきます。また、適宜映像資料を交えながら、現在行われている博物館での教育活動を紹介・解説しながら、博物館での教育活動を実施するにあたっての留意点や着目点についても論じていきます。受講人数が少ない場合は、教育活動の立案をシュミレーションする方法に変更する場合があります。
- ◆**準備学習** 事前に教科書を通読しておいてください。特に第5章、第6章、第7章、特論は重点的に読んでください。また、近隣の博物館や美術館、動植物園などで行われている、教育普及活動（講座・講演会・イベントなど）について、どのようなものがあるか、タイトル・開催館名・実施期間・内容（文字の上下制限なし）を事前に調べておいてください。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	これからの授業の進め方、博物館の概念と博物館教育の変遷、博物館における学びの特性、学校教育と博物館教育、生涯学習と博物館教育、博物館教育の種類
2日目	博物館での教育1 企画展：形態（常設展示／企画展示／巡回展示／野外展示）と方法（調査研究／記念・顕彰／参加型）による教育、博物館での教育2 調査研究：各館園の取り組み
3日目	博物館での教育3 講座・講演会、博物館での教育4 イベント：さまざまなイベント（展覧会を利用／歳時記の利用／学校教育との連携／自立支援など）、博物館での教育4 博物館の存在：情報公開の流れのなかで（バックヤードの公開プログラムなど）、博物館教育の組み立ての留意点、テスト

- ◆**教科書** 〔通材〕平成24年度新教材『博物館教育論 2015』通信教育教材（教材コード000479）※価格未定
（価格は『部報』4月号に掲載）
〈この教材は市販の『博物館展示・教育論』小原 巖編（樹村房）と同一です〉
- ◆**参考書** 〔丸沼〕『展示論』日本展示学会編 雄山閣 0,000円（税込）（送料000円）
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組み（提出物・授業態度など）とテストにより総合的に評価します。
- ◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

1期・名古屋

1 開講日程

日	程	授業時間	備考
5月26日	土	9:30～18:30	※時間内に昼休みを設けます。
5月27日	日	9:00～18:30	
5月28日	月	9:00～16:00 <試験も含む>	

※ 開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので参加してください。

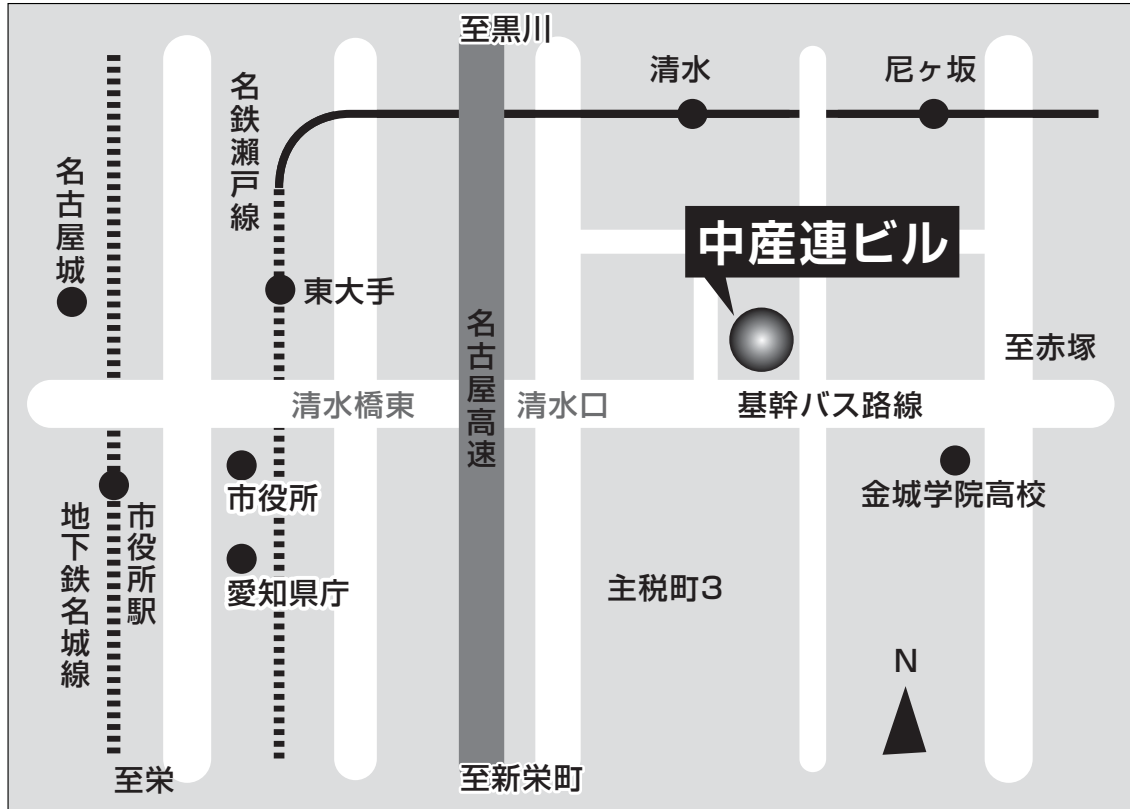
2 開講講座 ※以下の3講座中1講座を選択してください。

講座名	担当者名	備考
英文法	吉良 文孝	
哲学演習	宮原 琢磨	
国際経済論	須藤 裕之	

3 会場

名称	中産連ビル	【その他注意事項】 ① 自家用車・バイクでの通学を禁止します。 ② 指定された場所以外での喫煙を禁止します。 ③ 各自、ゴミは持ち帰ってください。 ④ その他、会場の使用上の注意を守ってください。
所在地	名古屋市東区白壁三丁目 12-13	
交通案内	名古屋駅より ○市バス（新出来町線）： 名古屋駅前松坂屋2階バスターミナル7番のりばから 基幹バス「光ヶ丘」「猪高車庫」行き→「清水口」（約25分・200円）下車徒歩5分 ○名鉄バス（本地ヶ原線）： 名鉄バスセンター3階4番のりばから 基幹バス「栄・市役所」経由「引山」「四軒家」ほか→「清水口」（約35分・200円）下車徒歩5分	

4 案内図



5 講義内容は次ページより

掲載順は「開講講座表」のとおりです。

なお、手引に掲載されている教科書・参考書の価格はあくまで手引作成時のものであり、出版社の都合で予告なしに変更される場合があります。詳しくは書店にお問い合わせください。

◆英文法洗い直し

〔英文法〕

開講単位：2単位 担当者：吉良 文孝

◆**学習目標** 普段何気なく口にしたり耳にすることば（文法現象）も、なぜそういう表現をするのかと問われると、その説明に窮することが少なくありません。また、一般に等価表現とされている表現も、まったく等価というわけではなく、そこには微妙ながらも、厳然たる意味の違いがあるものです。「ことば」は一筋縄ではいきません。

本講座では、一見すると常識化したような文法現象をいくつかとりあげ、意味と（形の）観点から、その1つ1つに説明を加えるという、いわば、「常識化した文法現象の洗い直しの作業」を試みます。

具体的には、テンス、アスペクト、モダリティに関するいくつかの文法現象をとりあげます。

◆**授業方法** 講義科目ではありますが、こちらからの一方通行にならないよう、受講者の皆さんが当該領域における先行研究論文・著書（の一部）を読むなどして、部分的に演習形式をとりいれます。

◆**準備学習** 教科書として『英文法解説（改訂3版）』を指定しています。下記授業計画でとりあげられている文法項目について、予め、同書当該項目に目を通しておくこと。そういった事前学習が授業内容のより早い、そして深い理解に結びつきます。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	テンスに関する問題：はじめに、「テンス (Tense)」と「時 (Time)」に関して、両者の位置づけやその違いなどについての概略的な説明をする。次に、その内容確認のために Quirk et al.(1985)にある該当箇所を輪読する。そのあと、テンスが問題になる文法現象を1,2とりあげ論ずる。
2日目	アスペクトに関する問題：はじめに、アスペクト（相）と動詞の意味特性（アスペクト特性）に関する概略的な説明をする。次に、アスペクトが問題になる、「知覚動詞構文」、「before 節中の過去完了」といった文法現象を1,2とりあげ論ずる。
3日目	モダリティに関する問題：はじめに、モダリティの分類の始まり、「主観的モダリティ」と「客観的モダリティ」の意味合いに至るまで、モダリティについての鳥瞰図的な解説をする。続いて、モダリティにまつわるいくつかの文法現象をとりあげ論ずる。最後に、授業内試験。

◆**教科書** 丸沼『英文法解説（改訂3版）』江川泰一郎著 金子書房 1,785円（税込）（送料390円）
 当日資料配布 プリント配付。

◆**参考書** 授業内で、適宜、紹介する。

◆**成績評価基準** 平常点（予習状況、授業内での発表）30%、最終日試験 70%

◆**E-Mail**：

◆哲学演習

〔哲学演習〕

開講単位：1単位 担当者：宮原 琢磨

◆**学習目標** ヨーロッパ近代精神史—オネット・オム (honnête homme) の思想的系譜—オネット・オムとは、ルネサンス（人間の発見）の時代のフランスにおいて成立し、展開したユマニスム（人間主義）の基本概念のひとつである。本演習は、16世紀のモンテーニュ、17世紀のパスカルとアルノー、そして18世紀のルソーのテキストからオネット・オムの思想を読み解き、「人間とは何か」という哲学の根本の問題の理解を深めることを目標とする。

◆**授業方法** モンテーニュの『エッセー (Essais)』とパスカルの『パンセ (Pensées)』とアルノーの『論理学、別名思考の技法 (La logique, ou l'art de penser)』とそしてルソーの『エミール (Emile)』との本テーマに関わる章節を講解しながら質疑応答を通じて、その思想的理解を深める。

◆**準備学習** 上記の4つのテキストについて、予め目を通して授業に臨むのが良い。授業で使用するテキストの抜粋は、授業前に配付する。なおテキストは訳本を使用する。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	—モンテーニュとオネット・オムの思想— I. 講義。ルネサンスとは何か、ルネサンス期の社会状況、モンテーニュの生涯、『エッセー』の成立とその内容について、『エッセー』の特質など。 II. テキスト読解と質疑応答。特に、第1巻第1章、第4章、第8章、第20章、第25章、第26章、その他。 III. モンテーニュとオネット・オムの思想。討論。
2日目	—パスカルとアルノー— I. 講義。17世紀（科学革命の世紀）の社会状況、デカルト哲学の成立、パスカルの生涯、パスカルとアルノーとの出会い、ポール・ロワイヤル修道院の活動など。 II. テキスト『パンセ』、『論理学、別名思考の技法』の読解と質疑応答。 III. パスカルとアルノーにおけるオネット・オムの思想について、討論。
3日目	—ルソーと18世紀（啓蒙思想の世紀）— I. 講義。啓蒙主義の世紀の社会状況（科学の発達と産業革命、市民革命について）、ルソーの生涯、ルソーの思想的意義など。 II. 『エミール』の読解と質疑応答。 III. ルソーの人間観について、討論。 IV. 本演習の総括と反省。

◆**教科書** 事前資料送付『エッセー』『パンセ』『エミール』（中公バックス、中公クラシックス）
 通材『哲学基礎講読 0091』通信教育教材（教材コード000042）3,650円（送料込）

◆**参考書** 授業中に各々指示する。

◆**成績評価基準** 出席、平常点、小レポートなどの総合評価。

◆**E-Mail**：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆国際経済の変遷と今を理解しよう

〔国際経済論〕

開講単位：2単位 担当者：須藤 裕之

- ◆**学習目標** 本講義の最終的な目標は、履修者が国際経済に関わる歴史や理論を概観、理解することによって、今日的な国際経済社会のあり方を考えるための基礎的知識を獲得することにあります。より具体的には、第一に、近代資本主義成立から今日に至るまでの世界経済の発展とその変容の歴史、第二に、自由貿易の利益や貿易政策をめぐる理論の内容やその意義についての学習と理解です。
- ◆**授業方法** 講義する内容は、通信教育部テキスト『国際経済論』第1章、第2章に沿ったものとしますが、限られた時間をより有意義なものとするために、具体的な授業の進め方として、担当者が独自に作成した「書込み式のプリント」を配布し、これを中心に進めていきます。その際、履修者の理解を深めるために、最新の統計データや参考資料などもプロジェクター等を用い、あわせて提示していきたいと思えます。
- ◆**準備学習** 限られた時間で歴史から理論と国際経済に関わる大変多くの事象や概念について勉強することになりますので、履修者には、あらかじめ通信教育部テキストの第1章～第2章を読んでくること、そして重要用語（教材でゴシック体になっている用語）を可能な限り自ら予習してくる、また極力難解な講義は避けるつもりですが、理論編での理解に必要な基礎的な経済学、特にミクロ経済学の知識を関連図書等で予習してきて欲しいと思えます。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	<近代資本主義以降の世界経済の発展と変容の歴史> ※特に、第二次世界大戦以降を中心に、世界経済の発展や変化を概観し、貿易（国際分業）や国際機関の果たしてきた役割や貿易政策（自由貿易・保護貿易）の意味、そして近年のグローバリゼーションや南南格差などといった今日の問題についても考えたいと思えます。
2日目	<国際貿易の理論と政策1> ※リカードの比較生産費説やヘクシャー＝オリーの要素賦存説など基礎的な貿易理論から理解を進め、近代貿易理論の理論的発展について整理、検討して行きたいと思えます。
3日目	<国際貿易の理論と政策2>～まとめ ※前半は、貿易理論の応用として関税政策の効果や開放経済における経済成長理論について講義します。後半はこれまでのまとめと試験を行なう予定です。

- ◆**教科書** **通材**『国際経済論 0737』通信教育教材（教材コード000281）1,950円（送料込）
当日資料配布 当日配布プリント
- ◆**参考書** **丸沼**『グローバリゼーションの光と影』加藤義喜・青木一能編著 文真堂 2001年 3,150円（税込）（送料390円）をはじめ、通信テキストにのっている参考文献。※ただし、購入や持参は必須ではありません。
- ◆**成績評価基準** 成績評価基準は、テスト結果70%、平常点30%とします。講義全体への理解度を確かめるテスト結果が評価の中心であることはもちろんですが、各回テーマごとに課す復習用課題の提出などの平常点も加味します。
- ◆**E-Mail** :

1期・神戸

1 開講日程

日	程	授業時間	備考
5月26日	土	9:30～18:30	※時間内に昼休みを設けます。
5月27日	日	9:00～18:30	
5月28日	月	9:00～16:00 <試験も含む>	

※ 開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので参加してください。

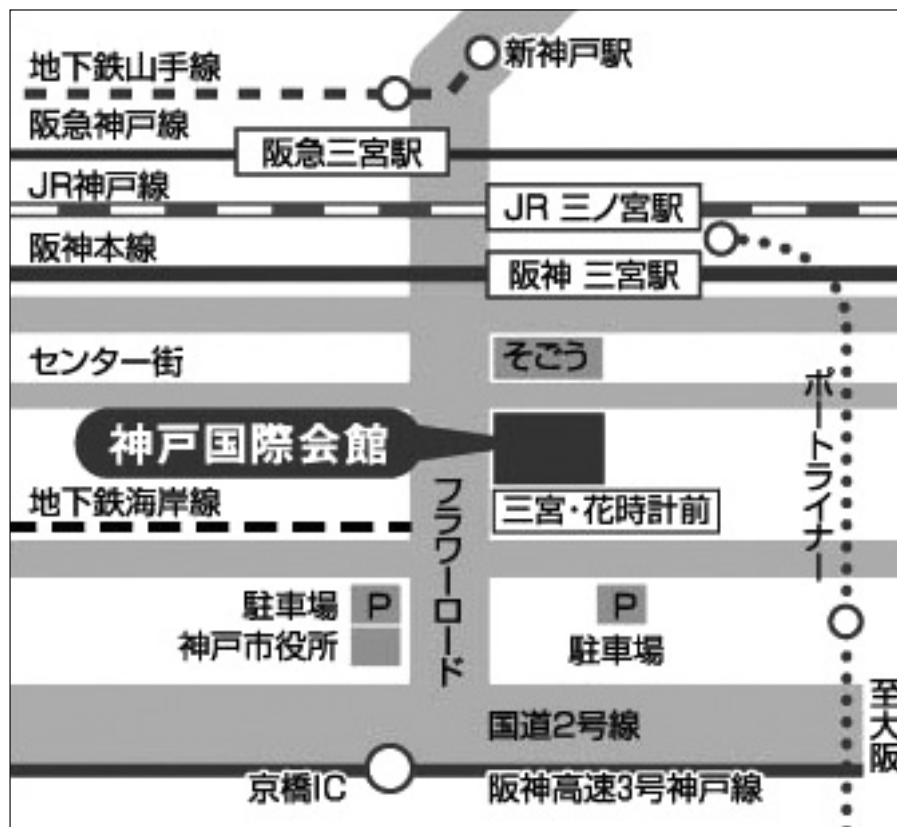
2 開講講座 ※以下の3講座中1講座を選択してください。

講座名	担当者名	備考
英語 F	猪野 恵也	
商法 Ⅲ	丹羽 重博	
国文学概論	山崎 泉	

3 会場

名称	神戸国際会館	【その他注意事項】 ① 自家用車・バイクでの通学を禁止します。 ② 指定された場所以外での喫煙を禁止します。 ③ 各自、ゴミは持ち帰ってください。 ④ その他、会場の使用上の注意を守ってください。
所在地	神戸市中央区御幸通8丁目1番6号	
交通案内	JR三宮駅から徒歩5分 阪急電車三宮駅から徒歩3分 阪神電車三宮駅から徒歩2分 神戸市営地下鉄山手線三宮駅から徒歩5分 神戸市営地下鉄海岸線三宮・花時計駅から直結	

4 案内図



※スクーリング会場は「神戸国際会館」の4階になります。

4階へは「東エレベータ」を使用してください。

また、「東エレベータ」は地下階から乗ることはできません。地下から会場へ行く場合は、エスカレータで1階に上がり「東エレベータ」を利用してください。

5 講義内容は次ページより

掲載順は「開講講座表」のとおりです。

なお、手引に掲載されている教科書・参考書の価格はあくまで手引作成時のものであり、出版社の都合で予告なしに変更される場合があります。詳しくは書店にお問い合わせください。

◆基礎的な英文法の習得と英文読解

〔英語 F〕

開講単位：1単位 担当者：猪野 恵也

- ◆**学習目標** 基本的な英文法の習得を目指し、英文読解に役立てることを目指します。
- ◆**授業方法** 各英文法の事項について説明し、その後演習問題を解いていきます。英文読解を優先的に学習します。文法の説明の際、ポイントをしっかりとノートにとること。
- ◆**準備学習** 授業で取り扱う英文法の事項について、文法書を用いて予習し、分かるところと分からないところをはっきりさせておくこと。事前配布プリントの予習。語学の学習は本来毎日の学習の積み重ねが重要であるので、授業で扱う文法の予習と事前配布プリントの予習しておくこと。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	品詞及び句と節、五文型、不定詞、動名詞の説明及びそれぞれの英文法の項目についての問題演習
2日目	小テスト 分詞、分詞構文、関係代名詞、関係副詞、仮定法の説明及びそれぞれの英文法の項目についての問題演習
3日目	小テスト 各英文法の項目についての復習及び問題演習 最終試験

- ◆**教科書** **事前資料送付** 事前プリント配布。
- ◆**参考書** 中型の英和辞典（「プログレッシブ英和中辞典」、「ジーニアス英和辞典」など）
英文法書（「Forest 総合英語」、「基礎からの新総合英語」など）
- ◆**成績評価基準** 小テスト（20%） 授業への参加・貢献（20%） 最終試験（60%） 短期のスクーリングなので皆出席を前提とする。
- ◆**E-Mail** :

◆手形・小切手に関する法的紛争事例の解決

〔商法Ⅲ〕

開講単位：2単位 担当者：丹羽 重博

- ◆**学習目標** 経済社会に多数流通している有価証券の中でも、特に中心となる約束手形に関し、多くの事例を検討しながら授業をすすめる。
また、図解しながら授業を行なうことにより、最終的には学生諸君が自ら事例問題の解決が出来るようになることを目標とする。
- ◆**授業方法** 手形・小切手の実物を見たうえ、手形法・小切手法の条文と当座勘定規定とを比較し、法規制と実務の取り扱いの違いなどを一緒に検討する。
- ◆**準備学習** 授業の開始前に、教科書を3回読んでおくことをおすすめします。その際、引用されている条文は、六法で必ず確認すること。
- ◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	手形・小切手制度 手形小切手の経済的機能 銀行取引と手形・小切手
2日目	統一手形用紙・手形交換・取引停止処分 有価証券の意義・種類 手形行為の種類・意義・特性
3日目	約束手形について 振り出し（基本手形の各要件の問題点） 白地手形 各種の裏書（善意取得制度）

- ◆**教科書** **通材**『商法Ⅲ 0144』 通信教育教材（教材コード000314） 2,850円（送料込）
- ◆**参考書** 六法（必ず持参すること）
図沼『手形小切手判例百選（第6版）』 有斐閣 2,310円（税込）（送料340円）
- ◆**成績評価基準** 平常点（授業中の質疑応答）および授業の中で触れた重要な事項から出題されるテストの評価で成績判定する。
- ◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆ 『雨月物語』を読む

〔国文学概論〕

開講単位：2単位 担当者：山崎 泉

- ◆ **学習目標** 近世文学を代表する作品の一つである上田秋成の『雨月物語』を講読することにより、古典文学の魅力の一端に触れることを目標とします。
- ◆ **授業方法** 主に講義形式で行います。まず、上田秋成の伝記及びその作品について概説した後、『雨月物語』を読み進めていきます。必要に応じて視聴覚資料も活用し、多角的な視点から作品への理解を深めていきます。
- ◆ **準備学習** 教科書に一通り目を通しておいて下さい。授業においては原文を中心に読み進めていきますので、現代語訳に頼らずとも原文のみで作品の内容が把握できるように予習をしておいて下さい。
- ◆ **授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	近世の小説について、上田秋成の人と作品、『雨月物語』作品講読（1） ※上田秋成が登場するまでの近世小説の流れについておおまかに説明した後、上田秋成の伝記及び作品に関する概説を行い、『雨月物語』の中でも特に有名な「浅茅が宿」から講読に入ります。
2日目	『雨月物語』作品講読（2） ※前日に引き続き、『雨月物語』を読み進めていきます。「浅茅が宿」と並ぶ代表的な章である「吉備津の釜」「蛇性の姪」を講読した後は、巻之一から順に作品を読み進めていきます。
3日目	『雨月物語』作品講読（3）、映像化作品鑑賞 ※前日に引き続き、『雨月物語』を読み進めていきます。また、溝口健二監督による映像化作品（『雨月物語』〔昭和28年（1953）、大映〕。ヴェネチア国際映画祭銀獅子賞受賞）を併せて鑑賞し、秋成の原作との比較検討を行います。

- ◆ **教科書** 丸沼『改訂版 雨月物語 現代語訳付き』上田秋成著 鶴月洋翻訳 角川学芸出版（角川ソフィア文庫）820円（税込）（送料260円）
〔当日資料配布〕当日、プリントを配布します。
- ◆ **参考書** 授業時に紹介します。
- ◆ **成績評価基準** 平常点（20%）、試験（80%）
全て出席することを前提として評価します。
- ◆ **E-Mail** :

2期・札幌

1 開講日程

日 程		授 業 時 間	備 考
6月2日	土	9:00～18:30	※札幌会場のみ授業時間が他会場と異なりますのでご注意ください。 ※時間内に昼休みを設けます。
6月3日	日	9:00～18:30	
6月4日	月	9:00～15:30 <試験も含む>	

※ 開講式をスクーリング初日の8時50分から行いますので参加してください。

2 開講講座 ※以下の3講座中1講座を選択してください。

講 座 名	担 当 者 名	備 考
体育実技 A	北村 辰夫	
英語学概説 B	吉良 文孝	
商学総論	佐藤 稔	

3 会 場

名 称	NTT北海道セミナーセンタ	【その他注意事項】 ① 自家用車・バイクでの通学を禁止します。 ② 指定された場所以外での喫煙を禁止します。 ③ 各自、ゴミは持ち帰ってください。 ④ その他、会場の使用上の注意を守ってください。
所 在 地	札幌市中央区南22条西7丁目	
交通案内	札幌市電「幌南小学校前」 徒歩3分 地下鉄南北線「幌平橋駅」 徒歩15分 タクシー 札幌駅から約20分	

4 案内図



5 宿泊及び食事について

会場周辺には飲食店及びコンビニエンスストアはありません。

NTT 北海道セミナーセンタには、売店がありますが、土・日は営業していません。また、会場内に宿泊施設及びレストランがありますが、利用するためには3日前までに予約が必要となります。詳しくは以下にお問い合わせください。なお、予約の際には「日本大学スクーリング受講生」であることを必ず伝えてください。

問い合わせ先：011-552-8400

※会場駐車場は限りがあり、他の利用者との共用です。例年、車で来場し、駐車できない事態が発生していますので、車での来場はやめるようにしてください。

6 講義内容は次ページより

掲載順は「開講講座表」のとおりです。

なお、手引に掲載されている教科書・参考書の価格はあくまで手引作成時のものであり、出版社の都合で予告なしに変更される場合があります。

詳しくは書店にお問い合わせください。

◆生涯スポーツの知識と実践

〔体育実技 A〕

開講単位：1単位 担当者：北村 辰夫

◆**学習目標** 高齢社会を迎え、健康、体力の維持増進の必要性が益々重要になってきている。運動、スポーツの実践を通して、その楽しさ、重要性を認識し、生活習慣まで発展することをねらいとする。

◆**授業方法** 基本的には体育館内で実施するが、天候が良ければウォーキングも実施する（心拍数をチェック）。スポーツを実施するにあたり知識を高める。小グループでスポーツを体験。年齢、体力相応に維持増進について認識を高めてもらう。

◆**準備学習** 1日20分以上の連続歩行と、軽い柔軟運動の実施を心がけてきてください。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイダンス ・スポーツと健康（講義） ・準備運動、体力づくり ・準備運動、バスケットボール（班別でゲームを行う）
2日目	・加齢による心拍数とスポーツ（講義） ・準備運動、ウォーキング（心拍数チェック） ・準備運動、ソフトバレーボール
3日目	・ウエイトトレーニングの基本（講義） ・準備運動、バレーボール ・準備運動、バドミントン

※施設・用具等により授業計画の一部が変更になる場合があります。

◆**教科書** なし。

◆**準備用品** 体育実技に適した運動着と、室内用、外用の運動靴を用意する。

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（受講態度・服装含む）及び自己の体力に合った運動の理解によって総合的に評価します。

◆**E-Mail** :

◆学校文法と統語論、意味論、語用論

〔英語学概説 B〕

開講単位：2単位 担当者：吉良 文孝

◆**学習目標** 統語論（Syntax）、意味論（Semantics）、そして語用論（Pragmatics）を鳥瞰図的に概観することによって、当該領域にかんして英語英文学の専攻学生が当然身につけておくべき知識・素養を身につけることを本講座の学習目標とします。と同時に、ことば（英語、日本語の）難しさ、神秘さ、そして面白さを実感すること、これも目標とします。

◆**授業方法** 相当分のプリントを用意します（当日配付）。本講座は講義科目ではありますが、こちらからの一方通行にならないよう、受講者の皆さんが当該領域における先行研究論文・著書（の一部）を読むなどして、部分的に演習形式をとりいれます。

◆**準備学習** 特段の準備は必要ありませんが、通信教育教材『英語学概説 0085』（安藤貞雄・澤田治美編）の当該箇所を読んでおくと学習内容をより速く、深く理解できるでしょう。部分的に同教科書の内容に即して話を進めますが、当該箇所を全く読んでいなくても、まっさらな状態でも理解できるよう（これ以上は易しく説明できないくらいに）分かりやすく説明をします。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	統語論：学校文法（伝統文法）、アメリカ構造言語学、そして生成文法（「句構造規則」から「Xバー理論」まで）を鳥瞰図的に説明します。続いて、関連内容を記述した文献（論文など）の一部を輪読形式で読みます。
2日目	意味論、語用論：これらの領域に関しては、概説的な説明をすることと定める。続いて、統語論、意味論、語用論にまたがるいくつかの文法現象（例えば、受動態、動詞のアスペクト特性と進行相・完了相の問題、モダリティにまつわる諸問題など）をとりあげ、時間の限り論ずる。
3日目	2日から続くトピックスを扱い論ずる。そして最後に、授業内試験。

◆**教科書** 丸沼『英文法解説（改訂三版）』江川泰一郎著 金子書房 1,785円（税込）（送料390円）
〔当日資料配布〕プリント配付。

◆**参考書** 授業内で、適宜、紹介する。

◆**成績評価基準** 平常点（予習状況、授業内での発表）30%、最終日試験 70%

◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

現代商業の体系

〔商学総論〕

開講単位：2単位 担当者：佐藤 稔

◆**学習目標** 現代商業の体系、商業の基本的諸問題について理解する。

◆**授業方法** テキスト及び基づく講義形式。

◆**準備学習** テキストを通読しておくこと。

◆**授業計画**〔1日目：480分，2日目：510分，3日目：360分〕

1 日目	商業概念の変遷と概念の多様性 商業の研究対象と研究方法の変遷 諸外国における商業の研究特性
2 日目	流通の生成と発展 流通の取引対象である商品の概念 流通機能の意義
3 日目	諸学者による流通機能分析の特性 需給統一の機能の意義 需給統一機能の諸要素

◆**教科書** **通材**『商学総論 0811』 通信教育教材（教材コード000356） 3,250円（送料込）

◆**参考書** 特に指定しない。

◆**成績評価基準** 授業への参加，レポートの提出及び最終試験など総合的に評価。

◆**E-Mail**：

2期・福岡

1 開講日程

日 程		授 業 時 間	備 考
6月2日	土	9:30～18:30	※時間内に昼休みを設けます。
6月3日	日	9:00～18:30	
6月4日	月	9:00～16:00 <試験も含む>	

※ 開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので参加してください。

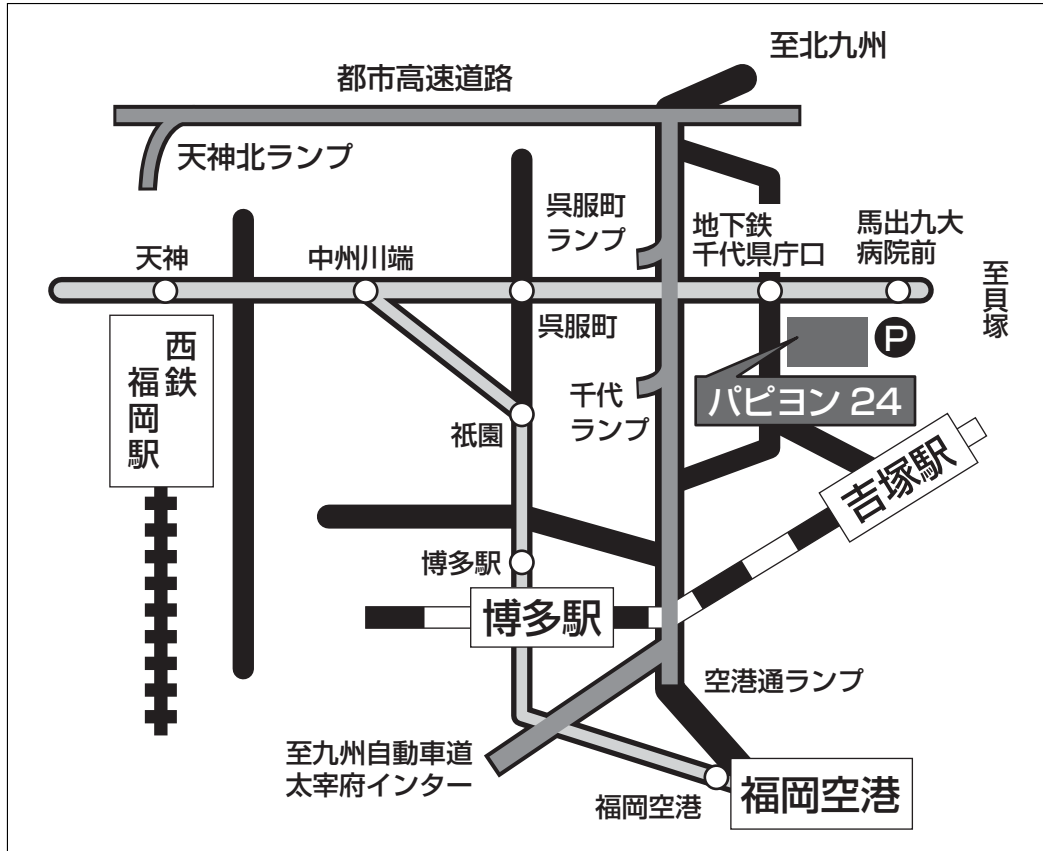
2 開講講座 ※以下の3講座中1講座を選択してください。

講 座 名	担 当 者 名	備 考
行 政 学	関根二三夫	
英米文学演習 J	高橋 利明	
東 洋 史 概 説	高綱 博文	

3 会 場

名 称	パピヨン24	【その他注意事項】 ① 自家用車・バイクでの通学を禁止します。 ② 指定された場所以外での喫煙を禁止します。 ③ 各自、ゴミは持ち帰ってください。 ④ その他、会場の使用上の注意を守ってください。
所 在 地	福岡市博多区千代 1-17-1	
交 通 案 内	地下鉄 千代県庁口下車すぐ 西鉄バス 千代町バス停前 JR 吉塚駅下車徒歩 10分	

4 案内図



5 講義内容は次ページより

掲載順は「開講講座表」のとおりです。

なお、手引に掲載されている教科書・参考書の価格はあくまで手引作成時のものであり、出版社の都合で予告なしに変更される場合があります。詳しくは書店にお問い合わせください。

行政を基礎から学びましょう

〔行政学〕

開講単位：2単位 担当者：関根 二三夫

◆**学習目標** 20世紀に入り顕著になってきた行政の多様化、複雑化に伴う行政国家化は、議会政治との軋轢を生じさせることになりました。行政が持ち機能面や制度面の特徴を、国家との関連において把握し、国家と行政とが如何なる関係にあるのかを学びます。

◆**授業方法** 講義形式で行います。講義においては、受講生の行政に関する問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が、如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。受講に際しては、予習や復習が必要になります。

◆**準備学習** 内閣や大統領を頂点とする行政部で、どのようなことが行われているか。また、内閣や大統領と議会との関係はどのようになっているかなどを、メディアの記事などを参照して考え、問題点を把握するように各自心掛けてください。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	行政の概念、行政学の変遷、ロレンツ・フォン・シュタインの行政学、科学的管理法と行政学、政治と行政（二分論・連続論・関連論） ※行政とは如何なるものか、行政学の変遷、シュタイン行政学の特徴、アメリカ行政学の特徴、政治と行政との関係を学びます。
2日目	現代国家と行政、行政組織、官僚制、公務員制、行政管理 ※立法国家から行政国家への変遷、組織原則、部門化、ラインとスタッフ、官僚制の概念や発達の根拠、公務員制の沿革、スポイルズシステムやメリットシステム、行政管理の原則や機能、コミュニケーションやリーダーシップについて学びます。
3日目	行政統制、情報公開、オンブズマン制度、行政相談、地方自治 ※外在的統制、内在的統制、情報公開とプライバシーの保護、オンブズマン制度やわが国の行政相談、地方自治の沿革について学びます。

◆**教科書** 通称『行政学 0221』 通信教育教材（教材コード000084）2,700円（送料込）

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 試験70%、平常点30%

※試験同様、質問や小テストへの解答等平常点も重視しますので、受講に際しては欠席をしないように注意してください。

◆**E-Mail**：

ホーソン・ワールドへの誘いー「雪少女」という愛の想像力〔英米文学演習 J〕

開講単位：1単位 担当者：高橋 利明

◆**学習目標** Nathaniel Hawthorne (1804-1864)の「雪少女」(“The Snow-Image : A Childish Miracle” [1850])は、想像力の重要性を我々読者に喚起する作品である。雪という物に愛にもとづく共感的な生命を吹き込む行為は、作品内の幼い姉弟のもつ〈無垢〉によって惹起される。彼ら2人の無垢なる共感的な力こそが、この作品の想像力の価値を如実に訴えているのだ。授業では、この愛の想像力について理解を深めることをねらいとする。

◆**授業方法** 輪読形式で、学生諸君に次々と音読と読解を提示してもらい、さらには問題点などを議論したい。適宜、関連のビデオを見て理解の一助とする。最後の試験では、英文和訳と2,000字程度の小論文を課す。

◆**準備学習** 作品全体を「精読」すること。心を真っ新にして辞書を丹念に調べ、「雪人形」について自分なりのイメージを想像しましょう。

◆**授業計画**〔1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分〕

1日目	ガイダンス 学生による発表、問題点についての議論 (p.7～p.14 I.3) ※ビデオ鑑賞 (ホーソン関連)
2日目	学生による発表、問題点についての議論 (p.14 I.4～p.22 I.3) ※ビデオ鑑賞 (ホーソン関連)
3日目	学生による発表、問題点についての議論 (p.22 I.4～p.25 I.33) 最終試験

◆**教科書** 事前資料送付 事前にプリント配付。

◆**参考書** 授業時に適宜指示する。

◆**成績評価基準** 毎回の出席を大前提として、授業への取り組み(発表など)・試験(含、小論文)により総合的に評価します。

◆**E-Mail**：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆人物・映像で見る一現代中国の歴史

〔東洋史概説〕

開講単位：2単位 担当者：高綱 博文

- ◆**学習目標** 中国4000年の歴史において、20世紀の戦争と革命、近代化で何が変わり、何が生まれたのかを考える。
- ◆**授業方法** はじめに中国の歴史と社会、風土と民族などについて概観します。近現代中国の政治指導者である孫文・張学良・蔣介石・毛沢東・鄧小平に関する映像を視聴し、それを踏まえて中国近現代史を講義します。
- ◆**準備学習** 孫文・張学良・蔣介石・毛沢東・鄧小平について世界史辞典または人物辞典などで、その生涯・政治活動・政治思想などに調べておくことが望ましい。

◆授業計画（1日目：480分、2日目：510分、3日目：360分）

1日目	テーマ1：中国の概観（地理・風土・民族など） テーマ2：中国史と中国の歴史書 テーマ3：中華帝国の誕生と繁栄（ビデオ視聴を含む） テーマ4：中華帝国の動揺と解体
2日目	テーマ5：辛亥革命と孫文（ビデオ視聴を含む） テーマ6：満洲事変・西安事変と張学良（ビデオ視聴を含む） テーマ7：日中戦争と蔣介石（ビデオ視聴を含む）
3日目	テーマ8：中華人民共和国と毛沢東（ビデオ視聴を含む） テーマ9：改革開放と鄧小平

- ◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 授業中に配布します。
- ◆**参考書** 『シリーズ 中国近現代史』岩波新書①～④、2010～2011年刊。
①～③各巻 861円（税込）（送料260円）、④ 840円（税込）（送料260円）
- ◆**成績評価基準** 試験（70%）、小テスト・レポート（30%）。毎回出席することを前提として評価します。
- ◆**E-Mail**：

3期・東京

1 開講日程

日 程		授 業 時 間	備 考
6月9日	土	13:00～18:30	※日曜日は時間内に昼休みを設けます。
6月10日	日	9:00～16:30	
6月16日	土	13:00～18:30	
6月17日	日	9:00～16:00 <試験も含む>	

2 開講講座 ※以下の12講座中1講座を選択してください。

講 座 名	担 当 者 名	備 考
経 済 学	田村 和彦	
西 洋 古 典	大住有里子	
考 古 学 入 門	小泉 龍人	
民 法 V	岡島 芳伸	
刑 法 II	岡西 賢治	
国文学基礎演習	武藤 純子	
アメリカ文学史	鈴木 孝	
社会政策論	今井 拓	
商 品 学	鄭 舜玉	
中小企業論	山本 篤民	
英語科教育法II	岡田 善明	
体 育 実 技 B	吉本 利明	※体育実技のみ会場及び授業時間が異なります。詳しくは「体育実技の受講について」(p80～82)を参照してください。 なお、体育実と3期開講の他講座との重複申込はできません。

3 会 場

名 称	日本大学通信教育部 1号館及び 本学周辺校舎	【その他注意事項】 ① 自家用車・バイクでの通学を禁止します ② 指定された場所以外での喫煙を禁止します。 ③ 各自、ゴミは持ち帰ってください。 ④ その他、会場の使用上の注意を守ってください。
所 在 地	通信教育部 東京都千代田区三崎町2-2-3 (本館)	
交通案内	水道橋駅より徒歩5分 神保町駅より徒歩7分	

4 案内図は最終ページ参照

5 講義内容は次ページより

掲載順は「開講講座表」のとおりです。

なお、手引に掲載されている教科書・参考書の価格はあくまで手引作成時のものであり、出版社の都合で予告なしに変更される場合があります。

詳しくは書店にお問い合わせください。

□経済学【マクロ】

〔経済学〕

開講単位：2単位 担当者：田村 和彦

◆**学習目標** 経済に関する知識は日常生活に不可欠となっている。経済について考えるための基礎知識を提示する。各自経済ニュースには関心を持ってこの講義に臨んで欲しい。経済のグローバル化が進行し、アジア諸国の経済発展が著しい。同時に、国内的には、経済における格差が大きな問題となっている。この点に言及してみたい。国民所得の観点からこれらの諸問題を考えてみたい。

◆**授業方法** ※この講座は田村和彦師「経済学 ミクロ」と積み重ね受講できます。

◆**準備学習** あらかじめ、各自現在の経済問題に関心を持つこと。

◆**授業計画**〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	イントロダクション 経済学とは何か
2日目	現代資本主義経済とは何か
3日目	国民所得概念について
4日目	国民所得の決定 ケインズ経済学的手法 試験

◆**教科書** 丸沼『経済学』 瀬川浩・田村和彦共著 桜門書房出版部 2,940円(税込)(送料340円)
必ず購入し、予習しておくこと。

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 試験：100%

◆**E-Mail**：

□ギリシャ神話を読む

〔西洋古典〕

開講単位：2単位 担当者：大住 有里子

◆**学習目標** 西洋文化の理解にギリシャ神話は欠かせません。ギリシャ神話を Kirkup のわかりやすく美しい英文で読み、楽しみましょう。

◆**授業方法** 皆さんにひと段落ごとに読んでいただき、その箇所の内容を伝えてもらいます。意味の分からないところなど、予習段階で生じた質問も出してください。疑問点を理解しながら、神話を味わって参りましょう。

◆**準備学習** 授業前にテキストを読んでいらしてください。わからない単語の意味は辞書で調べてください。単語の意味を調べても内容の分かり難いところなどを、授業で質問してください。

◆**授業計画**〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	ガイドランス Chapter 1 Three Flower Legends; 1. Venus and Adonis 2. Apollo and Hyacinthus 3. Clytie and Apollo Chapter 2 Two Animal Legends; 1. Callisto 2. Diana and Actaeon
2日目	Chapter 3 Two Tree Legends; 1. Philemon and Baucis 2. Apollo and Daphne Chapter 4 Two Monsters; 1. The Sphinx 2. Medusa
3日目	Chapter 5 Two Heroes; 1. Perseus and Andromeda 2. Theseus and the Minotaur Chapter 6 Two Love Stories; 1. Echo and Narcissus 2. Orpheus and Eurydice
4日目	Chapter 7 Cupid and Psyche Introduction 試験

◆**教科書** 丸沼『The Glory That was Greece by James Kirkup』 山田耕士 註解 成美堂 2011年 第31刷
発行 1,029円(税込)(送料260円)

◆**参考書** 丸沼『ギリシャ・ローマ神話 付インド・北欧神話』 ブルフィンチ作 野上弥生子訳 岩波文庫 945円(税込)(送料340円)

◆**成績評価基準** 授業への参加と試験から総合的に評価します。

◆**E-Mail**：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

□世界の考古学を知る

〔考古学入門〕

開講単位：2単位 担当者：小泉 龍人

- ◆**学習目標** 過去への好奇心から芽生えた考古学の学問的な成り立ちについて学ぶ。おもに旧世界を中心とする学界で形成されてきた考古学の主要な方法論について基礎的な知識を身に付ける。同時に、オリエント地方（シリア、エジプト、トルコ）における発掘現場風景をスライドで見ながら、世界の考古学調査のあらましを知る。
- ◆**授業方法** 毎回プリントを配布し、パワーポイントを使って講義を行う（「授業計画」の内容は若干の変更もあり得る）。講義終了時に、出席確認および復習をかねて、講義内容についてのリアクションペーパー（B6用紙1枚程度）を作成してもらう。時間がない場合には、持ち帰って仕上げたものを次回授業開始前に提出してもらう。
- ◆**準備学習** 世界地図を広げて、オリエント地方にある主要な西アジア諸国やエジプトなどの地理的な位置や、著名な世界遺産について確認しておくといい。余力があれば、「授業計画」の内容に関連する概説書などをあらかじめ読んでおくとう理解の助けになるだろう。
- ◆**授業計画**〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	過去への好奇心－古典期の好古家と聖書の年代観－ 人類の太古－地質学と進化論－ オリエントの遺跡発掘－シリア・エジプトの発掘現場－
2日目	古代文字の解読－ヒエログリフと楔形文字－ 人類進化と考古学的分類－C. トムセンの三時代法－ 発掘の幕開け－ポンペイとトロイア－
3日目	科学的発掘の先駆者－P. リヴァースとF. ペトリ－ 考古学的方法論の形成－O. モンテリウスの型式論－ 考古学の黄金期－ツタンカーメンと「ウルの王墓」－
4日目	科学的発掘と文化編年－M. ウィラーとG. チャイルド－ サラット・テベ遺跡－ティグリス川上流域の緊急発掘調査－ 試験

- ◆**教科書** 使用しない。〔当日資料配布〕毎回プリントを配布する。
- ◆**参考書** とくに指定しないが、適宜プリントにて知らせる。
- ◆**成績評価基準** 試験（60%）、授業態度・リアクションペーパー（40%）
- ◆**E-Mail**：

□相続のシステムを学ぶ

〔民法V〕

開講単位：2単位 担当者：岡島 芳伸

- ◆**学習目標** 今回は、民法Vのうち、後半部分である民法第5変の相続分野について学ぶこととする。相続制度の基礎を理解することを第一目標とし、これを通じて、家族法全体の考え方を理解することを第二目標とする。
- ◆**授業方法** テキストにそって講義形式によって授業を進めていくが、私の方から質問することもある。受講生からの質問の時間も設ける予定である。
なお、各日終了時毎に同日の重要事項を確認していく。
- ◆**準備学習** 親族法の基本概念は理解していることを前提に講義するので、テキストの第2部第1章まで（約30頁）は予め読んでおくこと。また、各階の講義予定分のテキストを読み、わからない部分をチェックしておいてほしい。
- ◆**授業計画**〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	相続の歴史と意義 相続の開始 相続人
2日目	相続欠格と廃除 遺産分割 相続財産の範囲
3日目	遺産共有 相続の放棄と承認 財産分与
4日目	相続人の不存在 遺言 遺留分

- ◆**教科書** 〔教材〕『民法V 0137』通信教育教材（教材コード000059）2,400円（送料込）
- ◆**参考書** 指定の六法は必携。その他については必要に応じ、適宜指示します。
- ◆**成績評価基準** 全回出席していることを前提に、記述式試験により評価する。
- ◆**E-Mail**：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆犯罪ごとの成立要件を学ぶ

〔刑法Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：岡西 賢治

◆**学習目標** それぞれの犯罪の解釈論を中心としながら、現在の犯罪の特色や発生状況をふまえた知識が習得できるようにする。また、犯罪とすべき行為がどのようなものか、政策論的な考え方もできるようにする。

◆**授業方法** 講義形式による。加えて、事例問題や時事問題などを題材として討論することもありうる。

◆**準備学習** 基本的な用語や概念についてはあらかじめ予習しておく。必要に応じて判例などを紹介するが、その場合には事実関係をよく読んでおくようにする。

◆**授業計画**〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	①総論と各論の関係、②犯罪の分類、③生命・身体を害する罪
2日目	④人身の自由を侵す罪、⑤精神的自由・生活の平穩を害する罪、⑥性犯罪、⑦財産犯罪
3日目	⑧公共の平穩を害する罪、⑨国民の健康を害する罪、⑩経済犯罪
4日目	⑪偽造犯罪、⑫社会生活感情を侵す罪、⑬公務員による罪、⑭公務を害する罪、⑮国家の存立を危うくする罪、⑯試験

◆**教科書** 通材『刑法Ⅱ 0152』通信教育教材（教材コード000396）2,200円（送料込）
六法（平成24年版のもの）

◆**参考書** 講義において指定する。

◆**成績評価基準** 試験による。

◆**E-Mail**：

◆歌舞伎の名作を読み解く

〔国文学基礎演習〕

開講単位：1単位 担当者：武藤 純子

◆**学習目標** 歌舞伎の名作である「菅原伝授手習鑑（すがわらでんじゅてならいかみ）―寺子屋（てらこや）の場―」と「双蝶々曲輪日記（ふたつちようちようくるわにっき）―引窓（ひきまど）の場―」の作品分析を通して、文献調査、資料作成など国文学研究の基礎的手法を身につける。

◆**授業方法** 受講者全員の口頭発表と質疑応答で主に進める。発表日には人数分の資料を印刷して持参すること。開講するとタイトなスケジュールとなるので、事前に各自十分な準備学習をしておくことが重要である。

◆**準備学習** 『現代語訳歌舞伎名作集』を通読した後、上記2作品本文および関連する部分を熟読し、2作品それぞれについてA4判1枚（縦書き）に予習資料を作成する。①受講者名 ②作品名 ③主要な登場人物の経歴・人柄 ④難解語句 ⑤疑問点 ⑥感想 ⑦参考文献をまとめる。以上、準備学習として作成したA4判資料合計2枚をコピーして授業初日1時間目に武藤に提出する。

◆**授業計画**〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	演習入門と歌舞伎についての講義 受講生による発表と質疑
2日目	受講生による発表と質疑 第一週目の講評
3日目	受講生による発表と質疑
4日目	受講生による発表と質疑 第二週目の講評・まとめ

◆**教科書** 丸沼『現代語訳 歌舞伎名作集』河出文庫 1,260円（税込）（送料340円）および配布資料

◆**参考書** 授業中指示するが、事前に各自調査し、本またはコピーを持参することが望ましい。

◆**成績評価基準** 準備学習（20%）、発表内容（60%）、質疑への参加度（10%）、小レポート（10%）

◆**E-Mail**：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

□アメリカ文学をより楽しむための基礎知識

〔アメリカ文学史〕

開講単位：2単位 担当者：鈴木 孝

- ◆**学習目標** 16世紀後半から20世紀初頭までのアメリカ文学の歴史を、アンソロジー形式でまとめられたテキストを利用して概観し、その流れを把握していくことを目標とします。
- ◆**授業方法** テキストで扱われている作家について、生い立ちや作品の特徴などに関する講義を、配付資料も利用しながら行ったあと、その理解度を確かめる小テストを随時行います。テキストのしっかりした予習だけでなく、その読解から生まれる旺盛な好奇心を期待します。(2011年度東京スクーリング(春期第3期)受講者は同一内容のため受講不可。)
- ◆**準備学習** 講義中心の授業となるので、事前に配付される資料、並びにテキストに記載された引用文については必ず前もって目を通しておいて下さい。また、可能であれば、テキスト巻末にある「例文の翻訳書」の中で入手しやすいものについては、それらを通読しておいて下さい。
- ◆**授業計画**〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	* 植民地時代から Nationalism へ 2. [Captain] John Smith 3. William Bradford 4. Anne Bradstreet 5. Jonathan Edwards 6. Benjamin Franklin 7. Charles Brockden Brown
2日目	* Nationalism から Romanticism (American Renaissance) へ 8. Washington Irving 9. James Fenimore Cooper 10. William Cullen Bryant 11. Edgar Allan Poe 12. Ralph Waldo Emerson 13. Henry David Thoreau 14. Nathaniel Hawthorne 15. Herman Melville 16. Walt Whitman 17. Emily Dickinson
3日目	* Realism, Naturalism 18. Mark Twain 19. Henry James 20. Stephen Crane 21. Theodore Dreiser (23. Sherwood Anderson)
4日目	* Chicago Renaissance, Modernism, Lost Generation 他 23. Sherwood Anderson 22. Carl Sandburg 24. Robert Frost 25. Langston Hughes 26. William Carlos Williams 27. F. Scott Fitzgerald 28. Ernest Hemingway

- ◆**教科書** 丸沼『*An Outline of American Literature* (アメリカ文学概観)』井上謙治編著 南雲堂 1,260円(税込)(送料260円)
*『アメリカ文学史0414』通信教育教材とは別の教科書ですのでご注意ください。
- ◆**参考書** 教科書47ページ参照。その他授業中に紹介します。
- ◆**成績評価基準** 平常点(50%)、試験(50%)の総合評価。但し欠席、遅刻のない学生のみを対象とします。
- ◆**E-Mail** :

□福祉国家の諸類型と社会政策の課題

〔社会政策論〕

開講単位：2単位 担当者：今井 拓

- ◆**学習目標** 現代の資本制社会は、福祉国家の形成によって特徴づけることが可能です。しかし、各社会のありようは、社会政策の基本的な目標と機能に応じ、大きく異なり、自由主義(アメリカ型)、保守主義(ドイツ型)、社会民主主義(スウェーデン型)等の諸類型により分析され、研究されてきました。本講においては、福祉国家の諸類型の特徴を解説し、日本の社会政策の特徴と課題について考察していきます。
- ◆**授業方法** 各テーマについて1時間20分の講義を行います。受講者は、各講義の最後10分間で講義を受けて大事なと思った要点や質問・意見などのリアクションペーパーを記述し、提出します。
- ◆**準備学習** 参考書『よくわかる社会政策』の序、社会政策と日本社会の現状、Ⅰ. 社会政策の考え方、Ⅱ. 賃金と社会政策、Ⅲ. 労働時間、Ⅳ. 雇用・失業、Ⅴ. 労使関係 を通読しておくこと。また参考書『福祉政治』も通読することが望ましい。さらに、疑問や質問をまとめておくこと。
- ◆**授業計画**〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	第1講 社会政策とは：資本主義の基本的な矛盾・特徴と社会政策の目的・機能、第2講 福祉国家とは：福祉資本主義の3つの世界、第3講 福祉国家の成立と後退
2日目	第4講 アメリカ型福祉国家Ⅰ：特徴と成立過程、第5講 アメリカ型福祉国家Ⅱ：新自由主義による批判と社会政策の後退 第6講 日本型福祉国家の成立過程、小レポート(論述課題)
3日目	第7講 日本の労働法制の特徴と問題点、第8講「日本的経営」の特徴と日経連による批判、第9講 日本型福祉国家の変質と再編
4日目	第10講 ドイツ型福祉国家の特徴と課題、第11講 スウェーデン型福祉国家の特徴と到達点、第12講 日本型福祉国家の特徴と社会政策の課題 論述試験

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕 レジュメ・資料を配布する。レジュメ・資料は毎日持参し、参照できるようにすること。
- ◆**参考書** 丸沼『福祉政治』宮本太郎 有斐閣 2008 1,575円(税込)(送料340円)
丸沼『よくわかる社会政策』石畑良太郎・牧野富夫編著 ミネルヴァ書房 2009 2,730円(税込)(送料390円)
その他講義中に示します。
- ◆**成績評価基準** ① 論述試験 ② 小レポート ③ リアクションペーパーの内容の総合
- ◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」]「学生証番号」]及び「氏名」]を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」]

◆商品の基本概念を学ぶ

〔商品学〕

開講単位：2単位 担当者：鄭 舜玉

◆**学習目標** 「商品の洪水」の現代において、我々は毎日数多くの商品を選択し使用している。今日の商品は従来のように物理的特性を提供するだけでなく、イメージや感動も提供するようになっている。

本講義では、このように我々の生活に密着した商品について、基礎的な知識から生産、流通、消費の段階にわたる商品の役割と意義を考察する。

◆**授業方法** 講義形式で、配布プリントとパワーポイントにて行う。質疑応答は毎回予定しており、積極的な発言を期待する。

◆**準備学習** 予習は求めないが、前回の講義内容は必ず復習しておく。また日ごろ日経新聞を読むようにする。

◆**授業計画**〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	1. ガイダンス 2. 商品の概念および適性 3. 商品の構成要素 4. 商品の分類
2日目	5. 商品の品質 6. 商品の表示 7. 商品の検査 8. 商品の評価
3日目	9. 商品の標準化およびネットワーク外部性 10. 商品の安全性 11. トレーサビリティ
4日目	12. 商品のパッケージ 13. 商品のデザイン 14. 商品と環境および社会 15. 総括 16. 試験

◆**教科書** 〔当日資料配布〕当日プリント配布。

◆**参考書** 〔教材〕『商品学 0821』通信教育教材（教材コード000401）2,450円（送料込）

〈この教材は市販の『現代商品論（第2版）』見目洋子（白桃書房）と同一です〉

〔丸沼〕『商品学と商品戦略』（KGU叢書）石持悦史著（白桃書房）3,570円（税込）（送料390円）

◆**成績評価基準** 授業への参加・貢献（平常点）30%、筆記試験70%

◆**E-Mail**：

◆中小企業の経済・社会的役割を学ぶ

〔中小企業論〕

開講単位：2単位 担当者：山本 篤民

◆**学習目標** 日本の企業数の99%以上は中小企業であり、常用雇用者・従業者の約70%が中小企業で働いている。しかし、中小企業は、大企業と比べると新聞やニュースで取り上げられる機会が少ないこともあり、その経営の実態や日本の経済・社会のなかで果たしている役割が必ずしも理解されていない。本講義では、「中小企業論」研究を踏まえるとともに、中小企業の経済・社会的な役割について学んでいく。

◆**授業方法** 講義では、中小企業の実態を理解するために、文献だけではなく映像資料なども活用していく。受講生の問題関心や意見を講義に反映させるために、講義中に質疑応答を行う。積極的に発言してもらいたい。また、講義内容の理解度を確認するために、小レポートを書いてもらうことも予定している。

◆**準備学習** 『中小企業白書』や参考書の欄に記した書籍を一読することを勧めたい。また、日頃から経済動向や企業経営に関心を持って新聞やニュースをみてもいい。

◆**授業計画**〔1日目・3日目：300分、2日目：390分、4日目：360分〕

1日目	①「中小企業論」の学習方法についての説明。②「中小企業論」研究のテーマ。③中小企業の定義と数量的な把握。④中小企業が直面する課題。「中小企業論」研究がこれまで何を問題としてきたかを理解するとともに、研究対象となる「中小企業」を把握する。
2日目	①戦後復興期の中小企業。②高度経済成長期の中小企業。③減速経済期の中小企業。④90年代不況期以降の中小企業。戦後日本経済の変遷をたどりながら、中小企業の発展過程を明らかにする。また、それぞれの時代における中小企業の経営課題を明らかにする。
3日目	①「産業集積論」と中小企業。②都市型集積と中小企業。③産地集積と中小企業。④商店街と中小企業。中小企業の存立に関わる集積論について理解する。また、地域の経済や社会のなかで中小企業が果たす役割について学んでいく。
4日目	①経済民主化型の中小企業政策。②中小企業基本法と中小企業近代化政策。③知識集約化政策。④競争政策型中小企業政策。戦後の中小企業政策の変遷を整理しながら、それぞれの時代における中小企業の実態を把握する。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕指定しない。当日プリント配布。

◆**参考書** 〔丸沼〕『21世紀中小企業論』渡辺幸男・小川正博・黒瀬直宏・向山雅夫 有斐閣 2,310円（税込）（送料340円）

〔丸沼〕『現代中小企業の新機軸』永山利和編著 同友館 2,940円（税込）（送料390円）

◆**成績評価基準** 試験70%、小レポート30%。

◆**E-Mail**：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆英語科教育の指導理論と実践

〔英語科教育法Ⅱ〕

開講単位：2単位 担当者：岡田 善明

◆**学習目標** 英語科教育の意味と指導理論を学び、生徒の言語活動を促し実践的コミュニケーション能力を養いながら人間性豊かな国際人を育成するための教育実践を行うための教授法を学ぶ。特に生徒に対する教育的な指導法の在り方を考えていく。

◆**授業方法** テキストに基づいた講義と教授法に関する英語の論文の英語による内容の討論を行い、英語授業のための理論と新学習指導要領にある英語を用いて授業を行うための実践的コミュニケーション能力を養いながら、生徒に対する教育的な指導法を考える。

◆**準備学習** 授業で行うページを必ず予習し授業での英語の討論に備える。

◆**授業計画**〔1日目・3日目：300分，2日目：390分，4日目：360分〕

1 日目	オリエンテーション 「英語教育の目的と価値」、発音と文字指導 4技能の指導 文法指導と対照言語学の理解 論文読解と討論 1 Approaches to classroom investigation in teaching
2 日目	論文読解と討論 2 Exploring teachers' beliefs 論文読解と討論 3 Focus on the learner 論文読解と討論 4 Teacher decision making
3 日目	論文読解と討論 5 The role of the teacher 論文読解と討論 6 The structure of a language lesson
4 日目	模擬授業 試験

◆**教科書** **丸沼**『*Reflective Teaching in Second Language Classroom*』J.C. Richard & C. Lockhart
Cambridge University 1996 3,549円(税込)(送料340円)
(上記論文読解と討論で使用しますので書店等で注文し購入しておいてください。)

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 試験と授業参加(発表等)で総合的に評価

◆**E-Mail** :

体育実技の受講について

体育実技は他の科目と異なり日本大学文理学部総合体育館にて実施されます。以下の事項をよく確認してください。

① 日 程【雨天決行】

日 程	授 業 時 間
6月 9日 (土)	18:00 ~ 21:30
6月10日 (日)	9:00 ~ 17:00
6月16日 (土)	18:00 ~ 21:30
6月17日 (日)	9:00 ~ 17:00

※ 上記全日程の出席が必要です。

※ 3期開講他講座と授業時間・会場が異なります。

※ 体育実技と3期開講他講座との重複申込はできません。

② 実施会場

日本大学文理学部総合体育館及び百周年記念館

住所 東京都世田谷区桜上水 3-25-40

交通案内 京王線下高井戸駅及び桜上水駅下車徒歩約 10分

…次頁案内図参照

③ 持参物

運動のできる服装（トレーニングウェア等）

室内用運動靴

健康保険証

筆記用具

スクーリングの手引

スクーリング受講許可通知書兼領収書

④ 体育実技の集合場所・集合時間

日本大学文理学部総合体育館入口

(6月9・16日は17時45分から、10・17日は8時45分から受付開始)

※毎回、まず総合体育館入口に集合し、遅くとも授業開始5分前には出席確認を受けてください。

それから、更衣をし、受講会場に移動してください。

⑤ 受講について

体育実技は必修科目となっていますが、疾病その他身体障害の理由で実技自体の参加が困難であると思われる方は、受講申込前（受講届提出前）に教務課までお問い合わせください。

⑥ 注意事項

(1) 体育実技はジーンズや普段着での受講はできません。

(2) 文理学部周辺は住宅地で、付近に食事をする場所が少なく、また、当日、文理学部内の食堂は利用できない可能性があるため食事は事前に済ませるか、又は、持参することをお勧めします。

(3) 更衣室は文理学部総合体育館及び百周年記念館内にあります。ただし、更衣室内のロッカーは使用できないため、更衣後、荷物は受講会場へ持参してください。

(4) 貴重品は各自で管理してください。

(5) 体育実技は授業開始15分前から出席をとります。必ず遅れることのないようにしてください。

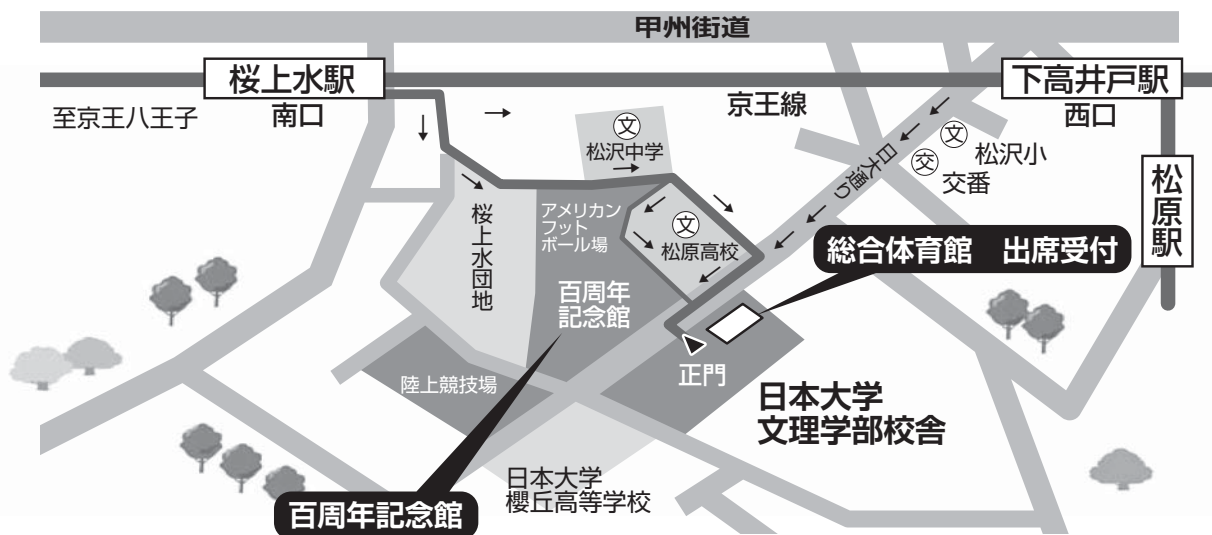
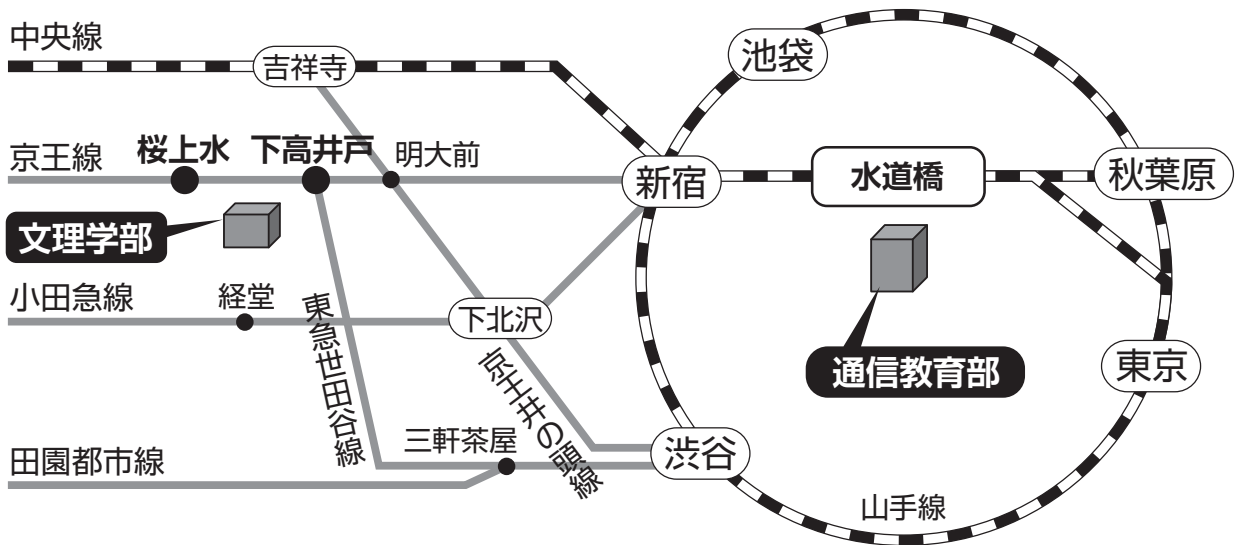
文理学部までの交通

○JR 水道橋駅より

JR 総武線・中央線各駅停車（新宿・中野方面）で新宿駅下車。京王線各駅停車，快速及び急行のいずれかにも乗り換え，下高井戸駅及び桜上水駅下車徒歩約 10 分。通信教育部から約 45 分。

○都営地下鉄新宿線神保町駅より

新宿・笹塚方面，笹塚駅下車。京王線各駅停車，快速及び急行のいずれかにも乗り換え，下高井戸駅及び桜上水駅下車徒歩約 10 分。通信教育部から約 40 分。



◆運動・スポーツに親しむ

〔体育実技 B〕

開講単位：1 単位 担当者：吉本 俊明

◆**学習目標** 高齢社会を迎え、健康・体力の維持増進の必要性は益々重要になってきています。この授業では、運動・スポーツの実践を通して、その楽しさ、重要性を認識し、生活習慣にまで発展させることをねらいとしています。

◆**授業方法** 天候に左右されない体育館での授業とし、小グループでいろいろなスポーツ（卓球やバドミントンなどのネット型球技）を体験しますが、年齢相応、体力相応の参加の仕方を理解してもらうようにします。また、体力測定を通して体力の現状を自覚し、維持増進についての認識を高めてもらうようにします。

◆**準備学習** 1日20分以上の連続歩行と、軽い柔軟運動の実施を心がけてきてください。

◆**授業計画**〔1日目・3日目：210分、2日目・4日目：480分〕※下記のすべての日程に出席すること。

1 日目	ガイダンス、グループ分け、準備運動、レクリエーション、体力測定、体力の維持増進についての解説
2 日目	班別スポーツ種目の展開（1）、班別スポーツ種目の展開（2）
3 日目	班別スポーツ種目の展開（3）
4 日目	班別スポーツ種目の展開（4）

◆**教科書** 特になし。

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み及び自己の体力に合った運動の理解によって総合的に評価します。

◆**E-Mail** :

夜間・(春期)

1 開講日程

授業時間	授業回数		月	火	水	木	金
18:30 }	①: 1回目	5月	① 21	① 22	① 23	① 24	① 25
	②: 2回目		② 28	② 29	② 30	② 31	② 1
	③: 3回目	6月	③ 4	③ 5	③ 6	③ 7	③ 8
	④: 4回目		④ 11	④ 12	④ 13	④ 14	④ 15
	⑤: 5回目		⑤ 18	⑤ 19	⑤ 20	⑤ 21	⑤ 22
	⑥: 6回目		⑥ 25	⑥ 26	⑥ 27	⑥ 28	⑥ 29
	⑦: 7回目	7月	⑦ 2	⑦ 3	⑦ 4	⑦ 5	⑦ 6
	⑧: 8回目		⑧ 9	⑧ 10	⑧ 11	⑧ 12	⑧ 13

〔備考〕授業は18:30～21:25の時間帯で合計8回、上記授業日程に行われ、すべての講義に出席が求められます。

2 開講講座

月 曜 日	
講座名	担当講師名
英 語 G	佐 藤 健 児
英 語 学 概 説 C	市 川 泰 弘
哲 学 基 礎 講 読	石 井 友 人
刑 法 I	野 村 和 彦
スピーチコミュニケーションI	アレックス ブラウン
経 済 史 総 論	貝 塚 亨
証 券 市 場 論	高 嶋 勝 平
博 物 館 資 料 論	大 塚 英 明

火 曜 日	
講座名	担当講師名
論 理 学	本 間 司
行 政 法 I	和 知 賢 太 郎
民 法 IV	根 本 晋 一
国 文 学 史 II	高 橋 啓 之
イギリス文学史II	岩 城 久 哲
西 洋 史 概 説	荒 木 洋 育
日 本 経 済 論	飯 島 正 義
会 計 学	林 徳 順
教職総合演習／教職課題演習 D	藤 原 政 行
博 物 館 展 示 論	濱 田 晋 介

水 曜 日	
講 座 名	担 当 講 師 名
心 理 学	野 村 康 治
英 語 H	石 川 勝
商 法 I	高 岸 直 樹
国 文 学 講 義 I (上 代)	加 藤 清
国 文 法	保 科 恵
異文化間コミュニケーション概論 B	曾 根 進
英 米 文 学 演 習 L	猪 野 恵 也
経 済 学 史	塚 本 隆 夫
地 方 財 政 論	佐 藤 恵 介

木 曜 日	
講 座 名	担 当 講 師 名
英 語 J	北 原 安 治
宗 教 学 基 礎 講 読 B	吉 岡 司 郎
日 本 史 入 門	八 馬 朱 代
国 語 学 演 習	鈴 木 浩
英 作 文 I	パトリック マッコイ
貿 易 論	松 原 聖
道 徳 教 育 の 研 究	杉 森 知 也

金 曜 日	
講 座 名	担 当 講 師 名
歴 史 学	高 草 木 邦 人
英 語 K	八 木 茂 那 子
英 米 文 学 概 説	佐 藤 秀 一
英 語 学 演 習 K	久 井 田 直 之
哲 学 特 殊 講 義	長 谷 川 武 雄
日 本 史 概 説	中 村 順 昭
経 営 学	櫻 井 徹
発 達 と 学 習	吉 田 宏 之
博 物 館 概 論	中 野 照 男

3 会 場

名 称	日本大学通信教育部 1 号館及び 本学周辺校舎	【その他注意事項】 ① 自家用車・バイクでの通学を禁止します ② 指定された場所以外での喫煙を禁止します。 ③ 各自、ゴミは持ち帰ってください。 ④ その他、会場の使用上の注意を守ってください。
所 在 地	通信教育部 東京都千代田区三崎町 2-2-3 (本館)	
交 通 案 内	水道橋駅より徒歩5分 神保町駅より徒歩7分	

◆論理学

(論理学)

火曜日

開講単位：2単位 担当者：本間 司

◆**学習目標** 古代の古典論理と近代の記号論理を理解して近世哲学者の思想を論理的試思索から理解することを目標とする。

◆**授業方法** 問題を解くこと、推論することが中心になります。

◆**準備学習** 準備は必要ありませんが、必ずこの教科のみのノートを毎回持参するように。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	論理学のアリストテレスによる体系化と慧遠理学の種類について。
2回目	古典名辞論理学における演繹推理について。名辞から命題の導出及び三段論法の真偽性について。
3回目	三段論法の図形における演繹推理について。及び仮言、選言、仮言選言の推論について。
4回目	近代記号論理の全体的理解及び命題論理の推論について。
5回目	命題論理の欠点の理解と述語論理化について。
6回目	述語論理の判定方法について。
7回目	非古典的論理（多値及び様相）の理解について。
8回目	論理のまとめ。カント及びヴィトゲンシュタインの解釈について。

◆**教科書** なし。

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 出席（40%）、テスト（60%）

◆**E-Mail** :

◆暗記科目から大学で学ぶ歴史学への跳躍

(歴史学)

金曜日

開講単位：2単位 担当者：高草木 邦人

◆**学習目標** 皆さんの周りには、「歴史」を題材とした映画、小説、ドラマなどが沢山あると思います。しかし、これらの「歴史」は大学で学ぶ「歴史学」とは異なります。というのも、「歴史学」には学問としての枠組みがあり、また一定の手続きもあるからです。本講義では、「歴史」を学問的な側面からとらえ、身の回りにある様々な物事の歴史性を考えることで、受講生の思考能力を養うことを目的とします。

◆**授業方法** 講義形式で行いますが、必要に応じて映像資料なども利用します。第1回は教科書を利用しながら、歴史学の特質について学びます。第2回以降は、フランス、ハプスブルク帝国、バルカン半島などの歴史を取り上げながら、「国家」、「学校」、「民族」、「言語」、「記憶」、「選挙」などといった私たちが普段当たり前のものと考えている物事を、歴史学の視点から学んでいきます。

◆**準備学習** 教科書を受講前までに必ず読んでおいて下さい。また、本講義は古代史から近現代までを扱う通史ではないので、高等学校の世界史Aの教科書などを事前に読んで、歴史の知識を蓄えながら、世界史の大まかな流れを把握しておいて下さい。さらに、本講義が扱うフランスや東ヨーロッパなどの歴史の本を読んでおくことも望ましいです。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	★「歴史学とは何か」 歴史学と歴史小説との違い、そして歴史学の可能性と限界などから、歴史学の特質を学びます。
2回目	★フランス革命が残した「もの」 革命時に生まれた国民国家、所有権、生存権といった概念から、「近代国家」を学びます。
3回目	★「フランス国民」になること 小学校の「無償・義務・世俗化」をめぐる社会対立から、「学校教育」の歴史性を学びます。
4回目	★ハプスブルクの言語と宗教の万華鏡 ハプスブルク帝国内の主要民族の1848年革命時における動向から、「民族」の多様性を学びます。
5回目	★役所と軍隊で利用できる言語 オーストリア＝ハンガリー二重帝国のアウスグライヒ体制から、近代における「言語」の重要性を学びます。
6回目	★近代ギリシア人の理想と現実 独立戦争時の主張から大ギリシア主義までの政治的・思想的展開から、民族の「歴史・記憶」を学びます。
7回目	★選挙における1票の価値 近代ルーマニアにおける普通選挙権導入をめぐる論争から、「選挙権獲得」の意義を学びます。
8回目	★まとめ 本講義の復習と学習到達度の確認（試験）を行います。

◆**教科書** 丸沼『歴史学ってなんだ？』小田中直樹 PHP 研究所 2004年 714円（税込）（送料340円）

◆**参考書** 講義中に適時紹介します。

◆**成績評価基準** 試験（70%）、平常点（30%）。平常点は、受講姿勢と授業中に配布するリアクション・ペーパーを参考に評価します。なお、全時間の出席を前提として評価します。

◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆心の科学的理解を目指す

〔心理学〕

水曜日

開講単位：2単位

担当者：野村 康治

◆**学習目標** 「心」の理解はともすれば主観的なものになりがちであり、主観的理解は思い込みや誤解を生むことがある。この授業では心理学が「心」という目に見えないものに関する問題にいかに取り組み、どのようなことを見出してきたかを説明する。心理学の基礎的知識を習得することで科学的な人間理解を目指す。

◆**授業方法** 授業は主として講義形式で行う。講義内容を必ずノートにとること。また、授業中に教員が質問をしたり、意見を求めることもある。ただ漫然と講義を聞くのではなく、「考えながら聴く」という態度で授業に臨んでほしい。

◆**準備学習** 心理学は様々な分野、様々な研究アプローチを有するが、心の働きを明らかにしようとする1つの学問である。授業で取り上げる心理学的問題は多岐にわたるが、いずれも関連した問題であることを意識しながら聞いて欲しい。そのためには、それまでの講義内容を復習してから毎回の授業に臨むことが重要となる。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	行動を支える体のしくみ
2回目	感覚のメカニズム
3回目	物理的世界と知覚世界
4回目	記憶のしくみ
5回目	人間の思考の特徴
6回目	行動の生起(欲求と動機づけ)
7回目	適応と不適応
8回目	行動の個人差(知能と性格)

◆**教科書** 通材『心理学 0035』通信教育教材(教材コード000016) 2,100円(送料込)

◆**参考書** 授業中に指示する。

◆**成績評価基準** 成績は試験結果を重視し、これに平常点を鑑みて評価する。

◆**E-Mail** :

◆『Chicken Soup for the Soul』を読む

〔英語 G〕

月曜日

開講単位：1単位

担当者：佐藤 健児

◆**学習目標** 全米中で感動の渦を巻き起こした『Chicken Soup for the Soul』の精読を通して、読解の方法を学ぶと共に、文法の知識が英文を読む(味わう)うえでいかに重要であるかを実感すること、それをこの授業の目標とします。なお、テキストは高校で学習した語彙・文法の知識があれば十分に読みこなすことのできるレベルです。受講する際の一応の目安にしてください。

◆**授業方法** 第1編“The Circus”(p.1)から輪読形式で読み進めていきます。指名された学生にはテキストの音読と和訳(説明)をしてもらい、その後、教員が内容(語彙、文法事項)の確認、解説をしていきます。また、江川泰一郎著『ニューアプローチ英文法』を使用し、英文法の核となるいくつかの重要な文法事項(品詞、句型、準動詞、関係詞など)を学習していきます。なお、受講者の様子を見ながら授業を進めていきますので、授業計画はあくまでも「参考」です。

◆**準備学習** 予習をする際は、辞書や注釈を参照しながらできるだけ丁寧に(文法や語彙の知識に基づいて)英文を「精読」するよう心がけてください。なお、授業ではExercises(練習問題)は扱いません。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	初回ガイダンス 英文法① 読解① The Circus
2回目	英文法② 読解② Puppies for Sale
3回目	英文法③ 読解③ The Flower
4回目	英文法④ 読解④ Bopsy
5回目	英文法⑤ 読解⑤ The Power of Determination
6回目	英文法⑥ 読解⑥ The Ultimate Sacrifice
7回目	英文法⑦ 読解⑦ What Happened?
8回目	英文法⑧/読解⑧ A Legacy of Love 試験

◆**教科書** 丸沼『ショート・ショート・ストリーズⅡ』高橋潔編 郁文堂 1,575円(税込)(送料230円)

丸沼『ニューアプローチ英文法』江川泰一郎著 東京書籍 550円(税込)(送料340円)

◆**参考書** 英和辞典(『ジーニアス英和辞典』・『ウィズダム英和辞典』など)

◆**成績評価基準** 授業への取り組み(予習状況・発表等)・試験により総合的に評価します。

◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

□基本から学ぶ英語

(英語 H)

水曜日

開講単位：1単位 担当者：石川 勝

◆**学習目標** 比較的易しい英文を文法的な説明を加えながら読み進めていく。初級から中級者にむいていると思われる。テキストの内容は、ヨーロッパを旅する大学生の体験談とその国の文化について語られている。

◆**授業方法** 基本的にテキストを訳す形をとる。授業中は指名して訳してもらうので、必ず事前に全訳しておくこと。

◆**準備学習** Unit5 から始める。P.37-38 と p.44-45 を1回目の授業の前に訳しておくこと。予習していない場合は単位を認めない。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	ガイダンス Unit 5 を読む
2回目	Unit 6 を読む
3回目	Unit 7 を読む
4回目	Unit 8 を読む 小テスト
5回目	Unit 9 を読む
6回目	Unit10 を読む
7回目	Unit11 を読む
8回目	Unit12 を読む 小テスト

◆**教科書** 丸沼『ジローのヨーロッパ旅行』 金星堂 1,890円(税込)(送料260円)

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 皆出席と予習が基本条件である。そのうえで2回の小テストで評価する。

◆**E-Mail** :

□英文の基本構造を理解する

(英語 J)

木曜日

開講単位：1単位 担当者：北原 安治

◆**学習目標** 五文型から初め、英文の構造を把握する初心者向けの講義。第16章から始めます。

◆**授業方法** 予習段階で英文を5行ほどの間隔でノートに写す。その英文の下にS(主語)、V(動詞)などを書いてもらい、訳を付ける。細かく板書するので訳が書き取れないということはない。予習の段階で必ず本文をノートに写してこること。各色のマーカーなど持ってくる。受講者の速度に合わせる。かならずしも授業計画どおりにはならない。本文のみやる。最終の試験日にノート検査をする。ノート無きものは不合格とする。第16章から始める。

◆**準備学習** 予習段階で英文を5行ほどの間隔でノートに写す。ノートの見開きの左のページに英文を写し、右のページに訳をつけても良い。単語を調べてこること。辞書を持ってくる。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	Ch. 16
2回目	Ch. 16
3回目	Ch. 16
4回目	Ch. 17
5回目	Ch. 17
6回目	Ch. 18
7回目	Ch. 18
8回目	Ch. 18 および試験

◆**教科書** 丸沼『A Well of Information～知識の泉～』 小泉和弘編、鳳書房 1,890円(税込)(送料340円)
(Tel/Fax (03) 3483-3723)

◆**参考書** 丸沼『ロイヤル英文法』 旺文社 1,890円(税込)(送料390円) この本は講義では使いません。

◆**成績評価基準** 試験、小テストなどにより総合的に評価します。皆出席を望みますが夜間は働いている方が多いので配慮はします。最終試験は訳などのふつうのテストを行います。試験の際、辞書は参照不可です。

◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆英語耳を作りコミュニケーション能力を伸ばす 〔英語 K〕

金曜日

開講単位：1単位

担当者：八木 茂那子

- ◆**学習目標** リスニング、スピーキング両面の基礎的能力の涵養を図ることまた英語圏のいろいろな話言葉を学習することにより英語による 'communication skill' の着実な向上を目指します。
- ◆**授業方法** Part 1 では演習形式により音声学上の説明と練習とその運用能力の習熟を期し、いろいろなトレーニングを行います。Part 2 では英語による日常生活に必要と思われる聴解と予備知識のための解説、それに続く英文テキストを通じ、より実際に近い形で、外国人とのコミュニケーションが取れるよう、実践演習を行います。
- ◆**準備学習** 授業前各課ごとの解説を読み、CD を聴いて〔II〕の練習問題を2度やって来て下さい。1回目は参照物なしで、2回目は辞書や参考書等を使い調べながら準備して下さい。
- ◆**授業計画〔各170分〕**

1回目	ガイダンス Part 1: Sounds of English 1～3課 Part 2: Varieties of Spoken English 20～21課 より適宜
2回目	Part 1: Sounds of English 4～7課 Part 2: Varieties of Spoken English 22～23課 より適宜
3回目	Part 1: Sounds of English 8～11課 Part 2: Varieties of Spoken English 24～25課 より適宜
4回目	Part 1: Sounds of English 12～13課 Part 2: Varieties of Spoken English 26～27課 より適宜
5回目	Part 1: Sounds of English 14～16課 Part 2: Varieties of Spoken English 28～29課 より適宜
6回目	Part 1: Sounds of English 17～19課 Part 2: Varieties of Spoken English 30～31課 より適宜
7回目	Part 2: Varieties of Spoken English 34～36課 より適宜 Oral Test
8回目	Part 2: Varieties of Spoken English 34～36課 より適宜 (Oral Test) 試験

- ◆**教科書** 丸沼『Better Communication』 関根王之著 (株)南雲堂 CD付き 1,235円(税込)(送料260円)
- ◆**参考書** 特になし。
- ◆**成績評価基準** 筆記試験50%+平常点(提出物、小テスト、発表、Oral Test他)50%による総合評価(受講者のレベルにより調整を加えることがあります。)
- ◆**E-Mail:**

◆英語言語学の世界を概観する 〔英語学概説 C〕

月曜日

開講単位：2単位

担当者：市川 泰弘

- ◆**学習目標** 本講は英語力を向上させながら、英語言語学へ第一歩を踏み出すことを目的とします。
- ◆**授業方法** テキストを読み進めながら英語学の本質をとらえ、理解してきます。従って、英文の訳や内容について受講生に質問をしながら、内容理解を深めていくので、概説というよりは演習的な部分が多くなります。
- ◆**準備学習** テキストを読み進めるので、必ず予習をしてください。講義では担当を決めて、その部分の日本語訳と内容について確認しながら進めます。ノートにまとめるようにしてみてください。
- ◆**授業計画〔各170分〕**

1回目	オリエンテーション・Why Study English Linguistics レポート
2回目	How English Has Changed over the Century (歴史言語学) レポート
3回目	How Words Are Made: Morphology (語彙論) レポート
4回目	How Words Mean: Semantics I (意味論 I) レポート
5回目	How English Phrases are formed: Syntax I, How English Sentences Are formed: Syntax II (統語論), レポート
6回目	How Sentences Mean: Semantics II, (意味論) How to communicate with Other People: Pragmatics (語用論) レポート
7回目	How English is Acquired: Psycholinguistics (心理言語学) と言語習得・認知言語学, レポート
8回目	オリエンテーション・Why Study English Linguistics レポート

- ◆**教科書** 丸沼『"First Steps in English Linguistics" 2nd Edition』 影山太郎ほか くろしお出版 1,680円(税込)(送料390円)
- ◆**参考書** 丸沼『英語授業改善のための処方箋：マクロに考えミクロに対処する』 金谷 憲著 大修館書店 1,890円(税込)(送料340円)
丸沼『"Teaching by Principles - An Interactive Approach to Language Pedagogy (3^d Edition)"] Brown, H.D. Longman 4,525円(税込)(送料390円)
- ◆**成績評価基準** 8回の講義なので、3回以上欠席した場合は単位認定できない可能性があります。発表・レポートなどで総合的に判断します。詳細は第1回目の講義で説明します。
- ◆**E-Mail:**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

□アメリカ文学のダイナミックな営み 〔英米文学概説〕

金曜日

開講単位：2単位 担当者：佐藤 秀一

- ◆**学習目標** 代表的な作家と作品を通し、アメリカ文学の全体像を捉える。アメリカ文学の伝統、特質を考察する際に「時間と空間」、「自然と文明」、「孤独と愛」、「夢と現実」、「静と動」といったテーマに目をむけ、そのための時代背景にも注目する。
- ◆**授業方法** 授業の進め方は主に講義形式になるが、必要に応じて議論をして、意見を求めることもある。授業内容の浸透を確認する quiz を2,3回行う予定。アメリカ文学の特色を実作品に即して考察していく。
- ◆**準備学習** 授業計画の中に取り上げられた作家の作品を読み、また、その時代的、文化的背景にもある程度目を通しておいて欲しい。
- ◆**授業計画〔各170分〕**

1回目	Introduction, ピューリタニズム, ピューリタン文学, Ann Bradstreet
2回目	アメリカのアダムたち, 独創的文学者 Edgar Allan Poe
3回目	Nathaniel Hawthorne『緋文字』, Herman Melville『白鯨』, 『タイピー』
4回目	Walt Whitmanの光と影, Emily Dickinsonの詩
5回目	Henry Jamesと幽霊, 『ある貴婦人の肖像』, 『ねじの回転』, Theodore Dreiserの悲劇
6回目	Mark Twain『ハックルベリーフィンの冒険』, Ernest Hemingway『武器よさらば』, 『日はまた昇る』
7回目	アメリカ黒人文学 Toni Morrison『青い目が欲しい』, Alice Walker『カラー・パープル』
8回目	ビートジェネレーション, Jack Kerouac『路上』

- ◆**教科書** 当日資料配布 授業当日プリント配布。
- ◆**参考書** 授業の中で適宜紹介します。
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組み、テストにより総合的に評価します。
- ◆**E-Mail** :

□『論理学、別名思考の技法』を読む 〔哲学基礎講読〕

月曜日

開講単位：2単位 担当者：石井 友人

- ◆**学習目標** 17世紀フランスのアルノー、ニコル共著『論理学、別名思考の技法』（指定の教科書）を読解し、「思考する」とはどのようなことであるのかを考えるとともに、同書の実史的な文脈を明らかにしていくことを目的とします。
- ◆**授業方法** 教科書と配布プリントにより講義形式で行いますが、受講される皆さんの意見を求めることがあります。また、必要に応じて、アルノーによるマルブランシュやライブニッツとの論争、あるいは、現代の哲学者によるアルノー理解にも言及することになります（尚、講読の進度によって、授業計画に変更を加える場合もある）。
- ◆**準備学習** 『論理学、別名思考の技法』の「前文」「第一部、観念について」および「第四部、方法について」に関して、は、全体に目を通して見て下さい。教科書に付された訳者による解説が、理解の助けとなるでしょう。
- ◆**授業計画〔各170分〕**

1回目	『論理学、別名思考の技法』の「前文」から、著者の問題意識を考える。 「第一部、観念について」を読む。観念とは何か？ デカルトとの関係。
2回目	「第一部、観念について」を読む。観念とは何か？ 哲学史的背景の説明（アリストテレスの学問観、及び存在のアナログアから数学的知識へ）。
3回目	「第一部、観念について」を読む。明晰な観念はいかにして得られるのか？ 記号についての考察を読解し、観念と言葉（名前）の関係について考える。
4回目	同上 記号に関する、パスカルとの比較。
5回目	「第四部、方法について」を読む。学的知識と蓋然的知識の区別。 学的知識の諸規則について。デカルトとの方法的差異。アルノー達に方法的懐疑はあるのか？
6回目	「第四部、方法について」を読む。論拠知と信念知の区別。 蓋然的知識の諸規則について。不確実であるとは、どのようなことか？
7回目	「第四部、方法について」を読む。私たちは、不確実な事柄（過去及び未来の出来事、奇蹟の判定など）について、どうすれば正しく思考を導けるのか？ ヒュームの奇蹟論について。
8回目	アルノーにおけるコギト。まとめ。 試験

- ◆**教科書** 通称『哲学基礎講読 0091』 通信教育教材（教材コード000042） 3,650円（送料込）
- ◆**参考書** 講義のなかで紹介します。
- ◆**成績評価基準** 皆出席を前提に、平常点と試験により総合的に評価。
- ◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

□諸宗教における神と実践

(宗教学基礎講読 B)

木曜日

開講単位：2単位

担当者：吉岡 司郎

- ◆**学習目標** 今日の世界で広く信じられ、社会に影響を及ぼし続けている諸宗教(ユダヤ教・キリスト教・イスラーム教・ヒンドゥー教・仏教)のそれぞれについて、その歴史・思想などについて正しく認識することを目指す。とくに、各宗教の(1)神についての見解、(2)宗教的目標、(3)目標を達成するための実践、の3点を中心に考察を進める。
- ◆**授業方法** 講義形式で行う。受講生を含めた社会一般の各宗教に対する理解は、必ずしもそれぞれの宗教を正しく捉えているとはいえない部分もあるので、講義においては、各宗教の要点をわかりやすく解説し、それによって各宗教に対する正しい認識が得られるよう配慮して進めたい。
- ◆**準備学習** 今回の授業内容は、下に指定した教材の第四章から第八章までにはほぼ相当するので、毎回の授業に先立って、教材の該当部分(事前に指定する)を通読し、要点・問題点を各自で把握した上で授業に臨むことを期待する。
なお、初回の授業に当たっては、同教材の第一章・第二章を通読しておいていただきたい。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	序論(1)神観念における諸宗教の対比、(2)各宗教の実践論 各宗教の個別的考察に先立って、今回中心主題とした2点における問題点の提示を行う。
2回目	ユダヤ教(1)ユダヤ民族の歴史、(2)選民思想、(3)聖典、(4)神、(5)メシア思想、(6)律法主義と実践 (唯一神教・民族宗教)
3回目	キリスト教①(1)イエス・キリスト、(2)キリスト教の歴史、(3)聖書、(4)ユダヤ教との対比する。 (唯一神教・世界宗教)
4回目	キリスト教②(1)教義の要点、(2)教会論、(3)カトリックとプロテスタント。
5回目	イスラーム教(1)成立過程、(2)聖典、(3)教義の要点、(4)実践論。 (唯一神教・世界宗教)
6回目	バラモン教・ヒンドゥー教(1)ヴェーダ、(2)多神教、(3)教義と実践、(4)ヒンドゥー教への変容、(5)ヴィシュヌ派とシヴァ派。 (多神教・民族宗教)
7回目	仏教①(1)ゴータマ・ブッダ、(2)三蔵、(3)教団(サンガ)、(4)初期仏教の教理と実践。 (神を立てない宗教・世界宗教)
8回目	仏教②(1)大乘仏教の成立、(2)大乘仏教の教理と実践、(3)大乘経典。

- ◆**教科書** **教材**『宗教学基礎講読 0092』通信教育教材(教材コード000044) 2,550円(送料込)
(この教材は市販の『世界の宗教』岸本英夫著(原書房)と同一です)
当日資料配布 その他、授業内容要旨・資料のプリントを当日配布する。
- ◆**参考書** 授業時に参考文献表を配布する。
- ◆**成績評価基準** 試験60%、レポート40%。レポートは4回目授業終了時にテーマを出題し、第6回授業時に提出とする。試験は持込可。
- ◆**E-Mail** :

□日本史研究の史料と研究方法

(日本史入門)

木曜日

開講単位：2単位

担当者：八馬 朱代

- ◆**学習目標** 日本史研究の基本は、史料に基づいて歴史を考察することである。各時代の様々な史料について、史料の利用方法や特色について説明した上で、古代・中世の諸問題について、史料を使って解説する。史学専攻の学生が卒業論文作成のために必要な日本史研究の基礎知識を習得することを目的とする。
- ◆**授業方法** 配布したプリントを使用する講義形式。日本史研究の基礎となる史料を説明し、それぞれの時代の政治、制度や事件などを取り上げ、史料を用いて解説していく。授業内で参考文献や史料を紹介するので、各自、図書館で実際に手にとってみるよう心がけてほしい。
- ◆**準備学習** 授業では日本史の史料や各時代の政治、制度、事件、宗教などを取り上げるので、日本史の通史的な理解が必要である。『日本の歴史』(講談社、集英社、小学館)や、『日本の時代史』(吉川弘文館)などから、関心のあるところを事前に読んで、日本史の理解を深めておくようしてください。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	歴史学とは 史料について 奈良時代の史料について
2回目	奈良時代の制度、政治、事件について 律令国家の制度、奈良時代に起きたいくつかの事件について、史料を使って学びます。
3回目	平安時代の史料と制度、政治、事件について 摂関政治や院政などの政治や事件、政治制度の変化について学びます。
4回目	古記録・絵巻物などからみる人々の生活 『小右記』などの古記録、『新猿蓑記』、『今昔物語集』などにみえる人々の生活について学びます。
5回目	鎌倉時代の史料と制度、政治、事件について 鎌倉幕府の制度や事件、上皇や天皇との関係について、史料を使って学びます。
6回目	室町時代の史料と制度、政治、事件について 南北朝の動乱や室町幕府の政治、事件などについて学びます。
7回目	古代・中世の寺院・神社について 神仏習合や国家と宗教との関係について学びます。
8回目	古代・中世の対外交流について 古代・中世における中国や朝鮮半島との交流について学びます。

- ◆**教科書** **当日資料配布** 使用しない。適宜プリントを配布する。
- ◆**参考書** 授業中に適宜紹介する。
- ◆**成績評価基準** 試験70%、平常点30%
※毎回出席することを前提として、総合的に評価します。
- ◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

行政の仕組みと諸活動

(行政法 I)

火曜日

開講単位：2 単位

担当者：和知 賢太郎

◆**学習目標** 行政法体系の概略を把握することが目標です。行政法 I では、「行政法とは」、「法律による行政の原理」、「行政を行う組織・活動」を中心とした行政法理論についてできるだけ平易に説明して、行政と行政法への関心を深めてもらい、行政法を支える理論の概要を把握してもらいたいと思います。

◆**授業方法** 主として講義が中心となります。毎回、それぞれのテーマに応じて講義ノート中心として、必要な資料（プリント）を配布します。講義内容はあらかじめパワー・ポイント原稿にしてありますので、プロジェクターを使用して講義を行います。

◆**準備学習** 原則として、毎週配布するプリントは次回の授業内容を含めたものになっています。講義時に講義ノートプリントに各自が補った内容を確認しながら、次回の講義の準備としてテキストや講義で紹介する参考書などを読む、というサイクルを繰り返して下さい。

◆授業計画〔各 170 分〕

1 回目	① ガイダンス ② 行政の概念、「法律による行政の原理」、法律による授権等
2 回目	① 行政法の特質・法源・行政上の法律関係 ② 行政の仕組み—行政主体と組織
3 回目	中央と地方の行政組織
4 回目	① 行政機関（行政庁とその他の行政機関、権限等） ② 行政立法（法規命令と行政規則）
5 回目	行政計画（行政計画と法律による行政の原理等）
6 回目	行政行為（1）行政行為の分類、行政行為と裁量、行政行為の附款、行政行為の効力
7 回目	① 行政行為（2）行政行為の瑕疵、行政行為の取消と撤回 ② 行政契約
8 回目	① 行政指導（類型、法的統制、行政手続との関係、要綱行政との関係等） ② 試験の実施

◆**教科書** **通材**『行政法 I 0122』通信教育教材（教材コード 000051）2,600 円（送料込）
当日資料配布 毎週プリントを配布する。

◆**参考書** 授業中に指示する。

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、講義ごと実施する小テスト（40%）、試験（60%）で総合的に判断します。

◆**E-Mail** :

債権各論の体系と基本論点

(民法Ⅳ)

火曜日

開講単位：2 単位

担当者：根本 晋一

◆**学習目標** 1 民法学における、債権各論の体系的な位置付を理解する。
2 債権各論の体系（全体像）を理解する。
3 1, 2 の理解および修得を前提として、債権各論に関する基本論点を理解する。

◆**授業方法** 講義形式を採用する。シラバス（学習計画）は凡その目安である。法改正や新判例、新論点を追加した場合、シラバスと進行に齟齬が生じる場合もある。なお、**根本「民法Ⅳ」スク2単位+根本「民法Ⅳ」スク2単位=「民法Ⅳ」1科目（4単位）完成は不可である。**

◆**準備学習** 前回講義における板書事項を、しっかりと読み直してくる。それが本講義における予習であり、準備学習である。

◆授業計画〔各 170 分〕

1 回目	学習目標の 1 および 2 民法の全体像（民法と広義の商法・財産法と家族法）・財産法の概要（物権法と債権法）など
2 回目	契約総論の体系と基本論点
3 回目	契約総論の体系と基本論点 契約各論の体系と基本論点（主に典型契約・非典型契約）
4 回目	契約各論の体系と基本論点
5 回目	契約各論の体系と基本論点
6 回目	契約各論の体系と基本論点（主に事務管理・不当利得・不法行為）
7 回目	契約各論の体系と基本論点
8 回目	調整と復習 筆記試験（但し、レポート試験の場合には実施しない）

◆**教科書** 指定しない。

◆**参考書** **通材**『民法Ⅳ 0135』通信教育教材（教材コード 000355）2,800 円（送料込）
丸沼『じつは身近な債権法—知って得する！ 契約、損害賠償制度 etc…の「基礎知識」』山川一陽著
日本加除出版株式会社 3,360 円（税込）（送料 340 円）
丸沼『債権各論講義（改訂版）』山川一陽著 立花書房 3,300 円（税込）（送料 390 円）
その他の文献については適宜紹介をする。

◆**成績評価基準** 筆記試験またはレポートの成績・授業態度等を、総合的に考慮する。

◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆企業法入門～企業活動を規律する諸法制 〔商法Ⅰ〕

水曜日

開講単位：2単位

担当者：高岸 直樹

- ◆**学習目標** 企業活動に関する諸法制への基礎的な理解を得ることを目的とします。商法総則・商行為法を中心に、民法、会社法、信託法、保険法等との接点、さらには、会計、登記、国際取引などの企業実務の基礎についても学んでいきます。これらを通じて、今後、企業活動の具体的場面において、適用される法規制を参照し、対応する力を養います。
- ◆**授業方法** 入門編から講義形式で行います。また、この講義では、毎回、論述式の小テストを行います。単なる知識の習得だけでなく、自分なりに考えを組み立て、展開することが求められます。まずは講義をしっかり聞き、「考え方」のポイントを学んでください。
- ◆**準備学習** 教科書の該当ページに目を通し、参照する条文を確認しておきましょう。また、新聞・テレビ等の経済ニュースに接しておきましょう。また、小テストは翌週に返却します。復習しておきましょう。

◆**授業計画〔各170分〕**

1回目	法体系のなかでの企業法制 企業とはなにかを理解し、企業法としての商法の意義、その立法構造を学びます。
2回目	商人と商行為 商行為とはなにかを知り、商人概念、商人資格の取得、そして、営業の意義について学びます。
3回目	営業の物的設備1 公示制度としての商業登記を学びます。また、商号の保護の必要性、名板貸について考えます。
4回目	営業の物的設備2 商業帳簿の意義と効果を学びます。また、営業譲渡の意義、第三者との関係を考えます。
5回目	営業の人的設備 企業取引の補助者として、支配人、代理商などを考えます。
6回目	企業と売買取引 企業の売買取引に関する特則について民法の規律と比較し学びます。
7回目	企業と金融取引 企業の資金決済、リスク回避のための取引などについて学びます。
8回目	講義のまとめと試験

- ◆**教科書** ① 丸沼『現代商取引法』藤田勝利 工藤聡一編 弘文堂 2,940円(税込)(送料340円)
② 丸沼『当日資料配布』当日プリント配付
③ 最新版の「六法」

- ◆**参考書** 随時指示します。

- ◆**成績評価基準** 1回目から7回目までの講義中に実施する小テスト50%、最終試験50%。授業に毎回出席することを前提として評価します。

- ◆**E-Mail:**

◆犯罪と刑罰の基礎理論を学ぶ 〔刑法Ⅰ〕

月曜日

開講単位：2単位

担当者：野村 和彦

- ◆**学習目標** 刑法学的なモノの考え方を身につけること、これを本講座の目標としたい。刑法学の任務は、現状を矛盾なく説明する点にあるのではなく、むしろ、あるべき刑法の姿を追究する点にこそある。たとえば、種々問題のある判例は変更されなければならない。判例は、これを理解することは大切だが、それを絶対化するのには間違っている。理想の刑法の姿を本講座では考えてみたいのである。
- ◆**授業方法** 講師が準備したレジュメをもとに授業を進める。対話形式を採り入れながらも、もっぱら講義を中心としたスタイルで講義を展開する。なるべく毎時間、質問タイムを設け、皆さんの前で質問にお答えしたい。
- ◆**準備学習** 毎日社会の中でどのような犯罪が起きているのかニュースをチェックしていただきたい。その事件が刑法の学習とどう結びつくのか、考えてみるとよい。また、面倒くさいかもしれないが、刑法典を読んでみることもおすすめする。全部で264条しかないから、民法に比べると楽だと思ふ。その際、一つ一つの条文がなぜ存在するのか、考えてみてほしい。

◆**授業計画〔各170分〕**

1回目	前半・何のために刑法を学ぶのか。 後半・「犯罪と刑罰は成文法で定めるべきである」という考え方について。
2回目	前半・見殺しは殺人罪に該当するのか。 後半・処罰されるのは、結果が悪いからなのか、行為が悪いからなのか。
3回目	前半・財布を盗ろうと他人のポケットに手を入れたところ、空だったとき、窃盗未遂罪か。 後半・結果さえ発生さえすれば、既遂犯として重い刑罰を受けなければならないのか。
4回目	前半・刑法はなぜ故意犯処罰を原則としているのか。 後半・過失犯が処罰される理由はどの辺にあるのか。
5回目	前半・重い暴行により相手が死亡したとき、なぜ傷害致死罪という重い犯罪が成立するのか。 後半・自分の思い描いたとおりに犯罪が実現しなかった場合、刑法はどう対処するのか。
6回目	前半・相手から殺されかかっているときに、刑法はなぜ反撃する権利を与えているのだろうか。 後半・相手を犠牲にすることによって身の危険を避けることを、なぜ刑法は認めているのだろうか。
7回目	前半・刑法39条は何のために設けられたのだろうか。 後半・警察のパンフレットを信用して行為したところ、それが違法だった場合、どうなるか。
8回目	前半・殺人を教唆した相手方が殺人行為に出なかった場合、教唆した者を処罰してよいか 後半・テスト(論述式)

- ◆**教科書** 丸沼『ホーンブック新刑法総論』船山泰範編著 北樹出版 2,730円(税込)(送料390円)

- ◆**参考書** 丸沼『講義刑法学総論』井田良 有斐閣 4,095円(税込)(送料390円)
丸沼『刑法総論の理論構造』井田良 成文堂 3,675円(税込)(送料390円)

- ◆**成績評価基準** 出席を前提として、試験によって成績を評価する。

- ◆**E-Mail:**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

□文学における「笑い」

〔国文学史Ⅱ〕

火曜日

開講単位：2単位 担当者：高橋 啓之

◆**学習目標** 本講義においては統一テーマとして「笑い」を中心とする。近世文学を中心として各時代における「笑い」と文学の関わりを概観しつつ、文学史を理解することを目的とする。

◆**授業方法** 講義を中心に行うが、適宜、映像資料などを加え、わかりやすく講義する。

◆**準備学習** 中世から近代に至る日本文学史を一通り概観しておくこと。

◆**授業計画〔各170分〕**

1回目	ガイダンス 中世以前の「笑い」と文学
2回目	中世文学における「笑い」－「なぞ」と「狂言」－
3回目	近世文学の概観－その風土と出版－
4回目	仮名草子・浮世草子の「笑い」
5回目	戯作と「笑い」－草双紙を中心に－
6回目	断本・滑稽本の「笑い」
7回目	芸能における「笑い」－「歌舞伎」と「話芸」－
8回目	川柳における「笑い」 テスト

◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 当日プリントを配付する。

◆**参考書** 授業中に指示する。

◆**成績評価基準** 皆出席を前提とし最終日のテストで評価する。

◆**E-Mail** :

□『万葉集』の相聞歌－古代の恋歌の世界を学ぶ－〔国文学講義Ⅰ（上代）〕

水曜日

開講単位：2単位 担当者：加藤 清

◆**学習目標** 現存最古の歌集である『万葉集』の歌、とりわけ恋歌について理解する。また、それ以前の歌謡世界から引き継がれた方法の意味について理解する。そして、新たに成立してきた『万葉集』の恋歌の姿をいくつか学び、恋愛を題材とした文学的営為とはどのようなものであったかを理解する。

◆**授業方法** 『万葉集』の中から相聞歌を取り上げ、古代の恋歌について学ぶ。方法は講読形式で行い、歌を訓みその特色について解説していく。

◆**準備学習** 古典作品理解の為の基礎的知識は身に付けておいて欲しい。また奈良時代の歴史事項も講義理解の助けとなる。

◆**授業計画〔各170分〕**

1回目	万葉集入門。古代和歌の基礎的知識を学ぶ。
2回目	「歌垣」とその歌。男女が歌を掛け合うことの意味を学ぶ。
3回目	「コヒ」歌の成立。実体的な歌の贈答からはなれた、恋を主題にした歌について学ぶ。
4回目	「笠女郎」の相聞歌。歌集編纂意識と恋歌の姿について学ぶ。
5回目	「寄物陳思」の相聞歌。心と景物を対応させた表現世界について学ぶ。
6回目	「東歌」の相聞歌。地方の恋歌の特色について学ぶ。
7回目	伝統歌の世界。長歌に詠われた悲恋物語について学ぶ。
8回目	万葉集以降の恋歌。まとめにかえて。

◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 当日にプリントを配布する。

◆**参考書** 必要に応じて紹介するが、市販の入門書などを事前に読んでおくとよい。

◆**成績評価基準** 皆出席を前提として、試験100%

◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

□文法を中心に古典文学を読む

〔国文法〕

水曜日

開講単位：2単位

担当者：保科 恵

- ◆**学習目標** 日本の古典文学（土左日記・竹取物語・伊勢物語など）を解釈する上で必要な文法事項を、実際の作品の表現に触れながら学んでいきます。古典の文法は現代の文法とは違いますが、共通するところもあります。その違いと共通性を踏まえて、自分で古典の文章を読むことができるようになることを目標にします。
- ◆**授業方法** 講義形式を中心に進めますが、随時指名して本文を読んだり課題に答えたりしてもらうことがあります。また、授業中に小テストを行ないます。ただし、受講者の数や進行状況によって、適宜授業の方法や内容を変更する場合があります。
- ◆**準備学習** 特別な準備は必要ありませんが、上記の3作品の文学史的な位置づけは理解しておいてください。また、古典の文章を読んで、わからないことに対して常に疑問を持つ姿勢を持つことを希望します。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	ガイダンス 古典文法についての概説。古典文法とはどういうものなのか。
2回目	文法によって古典の作品を読む1 土左日記における文法事項を解説する。
3回目	文法によって古典の作品を読む2 竹取物語における文法事項を解説する。
4回目	文法によって古典の作品を読む3 竹取物語における文法事項を解説する。
5回目	文法によって古典の作品を読む4 伊勢物語における文法事項を解説する。
6回目	文法によって古典の作品を読む5 伊勢物語における文法事項を解説する。
7回目	文法によって古典の作品を読む6 その他の作品における文法事項を解説する。
8回目	まとめ

- ◆**教科書** 丸沼『新講古典文法』原鉄雄 新典社 1,365円(税込)(送料340円)
〔当日資料配布〕その他プリントを配布する。

- ◆**参考書** 指定しない。

- ◆**成績評価基準** 平常点(20%)・小テスト(20%)試験(60%)。ただし授業に出席していることを前提にします。

- ◆**E-Mail** :

□ことばを調べ考える力をつける

〔国語学演習〕

木曜日

開講単位：1単位

担当者：鈴木 浩

- ◆**学習目標** ことばを研究するには実例を処理する能力をもつことが必要である。この授業では、実例の集めかたと、その読みとりかたとを実習し、自力で得た事実から立論できるようになることを目標とする。具体的には、現代日本語の敬語にかかわる現象について調査(用例収集)を実践し、その分析・記述を試行する。
- ◆**授業方法** グループによる調査・報告の実習と、全体の討議を中心に進める。受講生はあらかじめどんなことば(敬語にかかわるもの)について調べたいか、その候補を決めておき、自分なりの問題意識をもってのぞむ。授業ではそれをふまえて、小規模な調査を分担しておこない、その分析結果を口頭発表し、受講生全員でその内容について討議し、成果を共有する。これをもとに受講後文章化し、論文としてまとめる。
- ◆**準備学習** 各回について指定する課題をおこない、提出すること。課題はことばを研究する能力をやしなうためのものである。具体的な内容は、用例の収集と整理、先行研究の入手、発表資料の作成など、各回の学習内容に直結したものである。くわしくは各回で説明するが、初回分については、遅くとも一週間前には課題の案内を配布する。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	ことばを調べる方法の案内、調査内容の決定
2回目	紙媒体の資料をもちいた調査の実習、用例カードの作成、用例の評価
3回目	テキストデータをもちいた調査の実習、用例一覧の作成
4回目	分析の試行、発表資料のまとめかたと、先行研究の把握
5回目	分析結果の発表とその内容についての討議(1)
6回目	分析結果の発表とその内容についての討議(2)
7回目	分析結果の発表とその内容についての討議(3)
8回目	発表の総合と仮説の形成 学習のふりかえり

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕プリントを作成し、配布する。

- ◆**参考書** 授業内ではとくにもちいない。自習用として、雑誌『日本語学』19巻6号「特集『用例』を探す」(2000)などが参考になる。ほか、適宜紹介する。

- ◆**成績評価基準** 準備学習40%、発表・討議20%、参加行動15%、論文25%。

参加行動15%は、発言・質問など、授業内で受講生が自発的に行った学習行動に対して認めるものである。出席点ではないから、出席して受け身の態度でいる場合、この15%は得点できない。

- ◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

□ロマン派からグレアム・グリーンまで

〔イギリス文学史Ⅱ〕

火曜日

開講単位：2単位 担当者：岩城 久哲

◆学習目標 18～20世紀のイギリス文学史の魅力を探る。

◆授業方法 講義を中心に据えますが、ときにコメント等を求めることもあります。1日を2つのテーマで進行します(但し、8回目は1つのテーマとテストです)。

◆準備学習 とりあげる作家とその作品を読んでおいてください。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	ロマン派とJ. オースティン キーツ、シェリーなど；自負と偏見、分別と多感、エスなど
2回目	C. ディギンズとM. サッカレー オリヴァー・トゥイスト、クリスマス・キャロルなど；虚栄の市など
3回目	ブロンテ姉妹とG. エリオット ジェイン・エア、嵐が丘など；ダニエル・デロンダ、ミドルマーチなど
4回目	T. ハーディとJ. コンラッド テス、カスターブリッジの市長など；闇の奥、ロード・ジムなど
5回目	G. オーウェルとV. ウルフ カタロニア賛歌、動物農場など；ダロウェイ夫人、燈台へ、波など
6回目	J. ジョイスとH. ジェームズ ダブリンの人々、エリシースなど；デイジー・ミラー、ある淑女の肖像など
7回目	T. S. エリオットとD. H. ローレンス 荒地、四つの四重奏など；チャタレー夫人の恋人、息子の恋人など
8回目	G. グリーン 第三の男、権力と栄光など

◆教科書 特定の教科書を使いません。

◆参考書 丸沼『イギリス文学史入門』川崎寿彦 研究社 2,415円(税込)(送料340円)

◆成績評価基準 コメントなどの参加度(50%)、種々のテスト(50%)

◆E-Mail :

□English Composition I

〔英作文Ⅰ〕

木曜日

開講単位：2単位 担当者：パトリック マッコイ

◆学習目標 This course will focus on the writing process. There will be a review of paragraph and essay structure as well as a variety of other writing exercises.

◆授業方法 Students will work on accuracy, reviewing grammatical structures, and the development of expression through individual and group writing activities.

◆準備学習

◆授業計画〔各170分〕

1回目	Orientation: Getting To Know You
2回目	Chapter 1: Introduction
3回目	Chapter 2: Writing Paragraphs
4回目	Chapter 3: revising and Editing
5回目	Chapter 4: Writing An Essay
6回目	First Essay Due / Chapter 8: Comparison and Contrast Essay
7回目	Comparison and Contrast Essay 1 st draft/ Revisions / Student-Teacher Conferences
8回目	Second Essay Due / Chapter 11: Expressing Your Opinions

◆教科書 丸沼『Ready To Write More』Karen Blanchard and Christine Root (Longman) 2,824円(税込)(送料340円)

◆参考書

◆成績評価基準 100% Essay Average

◆E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

Speech Communication I (スピーチコミュニケーションI)

月曜日

開講単位：1単位 担当者：アレックス ブラウン

- ◆**学習目標** This course is aimed at improving communication skills with a focus on speaking and listening. Efforts will be directed at using English in a natural context and to develop fluency.
- ◆**授業方法** This course syllabus will be topic-based where students will learn vocabulary, language structures and functions commonly used in the various topics. Students will incorporate the language covered by performing group tasks and role plays. The course is open to all students, however the language and activities are set for pre-intermediate to intermediate language abilities.
- ◆**準備学習** There are no prerequisites for this course. Students will be graded on their efforts given during their time in the course.
- ◆**授業計画 [各 170分]**

1回目	Introductions/Icebreakers. Topic 1 and 2 vocab, structures, activities, tasks and role plays.
2回目	Topic 3 and 4 vocab, structures and grammar points and task orientated activities.
3回目	Topic Review. Introduce Topic 5 and work through the assigned activities.
4回目	Topic 6 Prepare content for a group presentation.
5回目	Group presentations. Introduce Topic 7 and work through the assigned activities.
6回目	Topic 7 continued. Introduce Topic 8.
7回目	Complete Topic 8. Preparation for tests
8回目	Written and oral tests (group format).

- ◆**教科書** No text will be required. Students will be provided with handouts.
Students are expected to bring a notebook, dictionary and a folder for notes
- ◆**参考書** Students should bring a dictionary to class.
- ◆**成績評価基準** Grades will be based on attendance, a final exam and a speaking test.
- ◆**E-Mail :**

北米人 vs 日本人の考え方 (異文化間コミュニケーション概論 B)

水曜日

開講単位：2単位 担当者：曾根 進

- ◆**学習目標** 英語コミュニケーションを理解する上では、その国(イギリス、アメリカ、etc.)をささえる国民の生活社会事情、あるいは文化を理解することで、異文化への理解力が深まる。その上で相手国の人々との間のコミュニケーションに意志伝達内容を豊かにする。この授業は人間の心の底に流れる考え方を読んでみる。特に、日本人 vs アメリカ人の心の接点と言葉の内容を検討してみる。
- ◆**授業方法** 授業ではアメリカ文化とアメリカ人の考え方を中心に読み、英語力をつけてもらうことになる。最初は文化の基礎的な理解からスタートし、その後で異文化間の価値観などに触れることになる。なお、テキストの他にプリント教材を使用し、授業の初日に配付する。
- ◆**準備学習** 受講希望者は予めテキスト全体を読み終えておくこと。
- ◆**授業計画 [各 170分]**

1回目	Chapter 1 Cultural Patterns, Print No 1 歌
2回目	Chapter 2 The Physical Environment, Print No 2
3回目	Chapter 3 Religion, Print No 3 小テスト
4回目	映画 "Witness 目撃者" テスト
5回目	Chapter 4 Politics, Print No 3
6回目	Chapter 5 Authority, Print No 4 小テスト
7回目	Chapter 6 Time, Print No 4
8回目	Chapter 1~6の再考と検討 テスト

- ◆**教科書** **通材** 『異文化間コミュニケーション概論 0478』 通信教育教材(教材コード 000415)
2,400円(送料込)
〈この教材は市販の『Exploring Hidden Culture by Paul Stapleton 日本人とアメリカ深層文化へのアプローチ』(金星堂)と同一です〉
[当日資料配布] プリントを配布する。
- ◆**参考書** 英和辞典(電子辞書)を持参すること。
- ◆**成績評価基準** 小テスト2回(40%)、授業活動の発表(20%)、テスト(40%)
- ◆**E-Mail :**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆英語学の基礎と実践—語彙と文法

〔英語学演習 K〕

金曜日

開講単位：1単位

担当者：久井田 直之

◆**学習目標** 英語学の中には、様々な理論が存在し、そのアプローチの方法も様々です。この授業では、特に、語彙と文法に焦点を当て、理論を学び、実例を通して、理解を深めることを目標とします。語の意味と文法には密接なつながりがあるので、英語教育や英語学習の視点も取り入れながら、最新の理論と実例を通して、英語学を学びます。

◆**授業方法** 受講生に、和訳や要約、問題点や疑問点などを発表してもらい輪読形式で行います。受講生数に応じて、担当箇所を事前に決めるか、授業時に指名するか、グループ発表にするかを決めます。配布する資料（英語と日本語）の予習と授業内容に関する課題に事前に取り組んでもらい、授業時に発表してもらいます。

◆**準備学習** 英文を読んで内容を概ね理解できる英語力とともに、自宅のパソコンで課題に取り組めるインターネット環境にあることが必要になります。予習したことを理解できているかを確認するための課題を出しますので、予習と課題をセットに取り組んでもらいます。難しい内容でも諦めずに取り組む積極的な姿勢で授業に臨んでもらえればと思います。

◆**授業計画**〔各170分〕

1回目	ガイダンス、参考文献の紹介、専門用語の解説、英語の語彙論の基礎
2回目	英語の語彙論の基礎（続き） プリントの和訳の確認、課題の解説等を行います。
3回目	英語の文法研究の基礎 プリントの和訳の確認、課題の解説等を行います。
4回目	英語の文法研究の基礎（続き） プリントの和訳の確認、課題の解説等を行います。
5回目	実例を通して、語彙論を学びます。 プリントの和訳の確認、理論を理解したうえで、課題を通して、実際の語彙研究を行ってもらいます。
6回目	実例を通して、文法研究を学びます。 プリントの和訳の確認、理論を理解したうえで、課題を通して、実際の文法研究を行ってもらいます。
7回目	語彙と文法の接点を考察します。英語学習や英語教育の視点から、語彙と文法を考察します。
8回目	まとめ、試験（最後の1時間）

◆**教科書** **事前資料送付** プリント使用（事前配布） 3回目以降に使用するプリントは1回目の授業時に配布します。特定の教科書は使用せず、英語文献からの引用やテキストの一部をプリントにし、授業で使用します。

◆**参考書** 授業時に紹介します。

◆**成績評価基準** 発表（30%）課題（20%）平常点（10%）試験（40%）毎回出席することを前提に評価します。

◆**E-Mail** :

◆*The Dead* を読む

〔英米文学演習 L〕

水曜日

開講単位：1単位

担当者：猪野 恵也

◆**学習目標** James Joyce (1882-1941) による短編集 *Dubliners* (1914) の最後を飾る *The Dead* を読みます。文学理論という知的枠組みをふりかざして作品を解釈するのではなく、文学作品は言葉による芸術ですから、言葉そのものに引っかかりつつ作品を読んでいきましょう。

◆**授業方法** 学生による発表が中心。英文を和訳し、物語を追っておしまいにするのではなく、なぜこの言葉が使われているのかなるべく考えていきます。

◆**準備学習** 発表箇所以外でもテキストの念入りな予習が必須。英和辞典だけでなく、英英辞典、例えば *Concise Oxford English Dictionary* を用いるとよい。

◆**授業計画**〔各170分〕

1回目	James Joyce の生涯など作者の紹介及び <i>The Dead</i> の映画を観る
2回目	作品の読解（学生による発表）
3回目	作品の読解（学生による発表） 小テスト
4回目	作品の読解（学生による発表）
5回目	作品の読解（学生による発表） 小テスト
6回目	作品の読解（学生による発表）
7回目	作品の読解（学生による発表） 小テスト
8回目	作品の読解（学生による発表） 最終試験

◆**教科書** **事前資料送付** 事前プリント配布。

◆**参考書** 授業中指示する。

◆**成績評価基準** 発表(30%) 平常点(30%) 最終試験(60%) 毎回出席することを前提としますので各自スケジュールを確認してから受講して下さい。

◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆反時代的考察 (シュトラウスとニーチェ) (哲学特殊講義)

金曜日 開講単位：2単位 担当者：長谷川 武雄

- ◆**学習目標** ヘーゲル哲学の終焉は哲学史にとっての大きな変化であり、それまでの思想への反発でもあると言える。また、ヨーロッパにおいて宗教(キリスト教)は常に日常生活と同時に学問(あえてそう呼ぶが)はこうした時代・分野に「反した思想家」とあると言える。哲学の一面として「反時代性」をあらためて考えてみる。
- ◆**授業方法** 講義中心とした授業となる。その補助手段として、講義の中では一般の問題についての、あるいは具体的問題についての、さらに講義内容の理解を確認するための質疑応答を繰り返しながら進める。また、理解を一定の枠組みで整理するための「論述」も講義課題の一部とする。
- ◆**準備学習** 哲学史において、近世から現代についてのおおまかな流れ、哲学傾向を調べておくこと。可能ならば、その中で特にヘーゲル哲学、及びヘーゲル以降の反ヘーゲル哲学についての一般的知識を得ておくこと(講義対象であるニーチェは特に)。また「キリスト教」についての一般的知識も得ておくこと。

◆**授業計画 [各 170分]**

1回目	[0] これからの講義について(全体の説明) [1] キリスト論(キリスト教の歴史<誕生から近代まで>/近代キリスト論<シュライエルマッハー/ヘーゲル>)
2回目	[2] キリスト論(近代キリスト論[続き]<シュトラウス/キルケゴール>)/「イエス伝」研究史(ライマールス/シュライエルマッハー/ブルーノ・パウアー)
3回目	[3] シュトラウスの著書『イエスの生涯』(シュトラウスの生涯/著書『イエスの生涯』について/『イエスの生涯』に見る「キリスト論」<正統派/合理主義的/折衷的/象徴的/思弁的>)
4回目	[4] 『イエスの生涯』に見る「福音書物語」の解釈(神話的解釈/福音書物語の解釈/「福音書物語」の神話的説明法<旧・新約聖書/「神話」の概念/神話的見解の反論と弁護>)
5回目	[5] ニーチェの著書『反時代的考察』(ニーチェの生涯/著書『反時代的考察』について/『反時代的考察』における3論文について)
6回目	[6] ニーチェのシュトラウス批判(「ダーヴィット・シュトラウス、告白者と著述家」について/「教養」ということについて(ヘーゲル/シュティルナー/ブルクハルト))
7回目	[7] ニーチェのシュトラウス批判[続き](ニーチェの「教養」観/「教養の俗物」としてのシュトラウス批判)
8回目	[8] まとめ(シュトラウスの支持者と反対者/ニーチェの支持者と反対者/「反時代的考察」の意義)

- ◆**教科書** 講義全体を網羅するような「教科書」はないので、特に指定はしない。必要な場合はプリントを配布する。またここで使用するシュトラウスおよびニーチェの作品については「参考書」に挙げておく。

- ◆**参考書** 『ニーチェ全集 第四集(反時代的考察)』理想社
『イエスの生涯 I, II』(全2冊) D.F.シュトラウス 教文館
(上記の本は品切れのため図書館等を利用してください)

- ◆**成績評価基準** 最終試験(50%)、授業時課題(主に論述)(30%)、授業時質疑応答・その他(20%)。最終的には、以上の全体を見わたし「総合的に評価」する。

◆E-Mail :

◆世界の中の日本史 (日本史概説)

金曜日 開講単位：2単位 担当者：中村 順昭

- ◆**学習目標** 日本史を自分の力で調べ、考える力を養う。古代から近現代までの日本史を概観しながら、これまでの研究の到達点や、研究の視角、方法を学ぶ。
- ◆**授業方法** 講義形式。日本史の流れについて東アジア世界との関わりを中心に、いくつかの重要なポイントに焦点を当てて、講義する。研究上の論争点や紹介しながら、さまざまな研究の視角を学ぶ。講義形式であるが、毎回、質問や感想を書いてもらい、その質問をもとに若干の討議も加えたい。
- ◆**準備学習** 高校までの日本史の知識を前提とするので、高校の日本史教科書や学習参考書などで下記の授業テーマについて、理解を整理しておくこと。また各社の『日本の歴史』シリーズなどから、特に自分の関心のある時期やテーマについて、読んでおくことが望ましい。

◆**授業計画 [各 170分]**

1回目	世界史と日本史。日本の範囲と地域の歴史(北海道と琉球)。東アジア世界と冊封体制。
2回目	倭国と中国・朝鮮、渡来人。仏教伝来。律令制と日本の天皇。
3回目	遣唐使と天平文化。蝦夷と隼人。国風文化と唐物、奥州藤原氏。
4回目	宋・高麗と平氏政権。元寇。倭寇と東シナ海の交易。
5回目	ヨーロッパ人の来航。豊臣秀吉の朝鮮侵攻。朱印船貿易。
6回目	鎖国と長崎・対馬・薩摩・松前。儒学と蘭学・国学。開国と幕末の動乱。
7回目	対外貿易と近代日本の経済。日清戦争、日露戦争。日韓併合と満州国。
8回目	日中戦争と太平洋戦争。まとめと質疑。試験。

- ◆**教科書** 指定しない。

- ◆**参考書** 丸沼『日本社会の歴史』上・中・下 網野善彦著 岩波新書
上 756円(税込)(送料260円)
中 756円(税込)(送料260円)
下 735円(税込)(送料340円) ※上・中・下3冊同時に購入する場合は送料340円
その他、授業中に紹介する。

- ◆**成績評価基準** 試験(70%)、質問・討議など授業への参加状況(30%)。毎回出席することを前提とし、欠席は減点となります。

◆E-Mail :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆西洋諸地域の歴史

〔西洋史概説〕

火曜日

開講単位：2単位

担当者：荒木 洋育

◆**学習目標** 中世から現代に至る西洋の歴史について、全体論、各地域の動向の二つの面から概観する。講義を通じて、受講者の方々が学問として「西洋史」を扱い、研究する際に出発点として必要になる程度の基本的知識について、「西洋」を構成する諸地域に関し一通り身につけることが本講義の目標となる。

◆**授業方法** 下記時代区分の枠内で、各回の中で更に細かく時期を区分し、総論＋各地域史の順序で説明しながら講義形式で授業を進める。毎回配布するプリントに基づいて授業を行うが、受講者の方々とコミュニケーションの時間を設定するので、質問等受講者の方々には能動的な受講姿勢を求めたい。

◆**準備学習** 特に準備学習を必要とするタイプの講義ではないが、受講前、受講後含め、興味を抱いた地域に関して、山川出版社『各国史』シリーズの中から選んで読んでおくと、授業内容の理解および更に進んだ知識の習得の上で役立つであろう。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	*ガイダンス、古代から中世へ／ローマ帝国の崩壊と各民族の動向
2回目	*西洋中世世界の隆盛／皇帝・教皇と封建社会、西洋中世国家の成立と競合
3回目	*中世末の流れと近世への移行（～1485年）／中世末の戦乱、社会変化とイタリア・ルネサンス、新航路の探索
4回目	*西洋近世国家の成立（～1648年）／宗教改革と宗教戦争、西洋世界の革新と拡大の開始
5回目	*近世国家の動揺と革命への流れ（～1791年）／絶対主義国家の興亡と「大西洋二重革命」
6回目	*近代国民国家の成立（～1870年）／工業化の進展と資本主義・自由主義の時代
7回目	*西洋世界の拡大と隆盛（～1929年）／帝国主義の広がりや国家間の抗争、第一次世界大戦
8回目	*統合に向かう西洋世界、試験／第二次世界大戦、「冷戦」秩序とその終焉、欧州世界の再統合の試み

◆**教科書** 〔当日資料配布〕各回ごとに、当日講師側がプリントを配布する。

◆**参考書** 全体論に関しては 丸沼『西洋世界の歴史』近藤和彦編 山川出版社 3,360円（税込）（送料390円）。各地域に関しては上記山川出版社の『各国史』シリーズなど。その他授業中に適宜指示する。

◆**成績評価基準** 平常点（40%）、試験（60%）。平常点に関しては、3分の2以上の出席を前提とし、質問など授業参加状況を対象として評価を行う。

◆E-Mail：

◆経済学はどのようにして構築されたのか

〔経済学史〕

水曜日

開講単位：2単位

担当者：塚本 隆夫

◆**学習目標** 私たちの社会は、どのようにして「科学としての経済学」を作り上げたのでしょうか。経済学の構築過程を歴史的にたどりながら、この問題を考えましょう。普遍性を持つといわれる経済学のなかに、歴史制約が存在することを理解します。

◆**授業方法** 授業テーマに沿ったレジュメ・資料を配布します。受講生の講義理解度を確認するために小テストを随時行います。パワー・ポイントと板書を使って、授業を進めます。授業では受講生に「質問」し、その回答に従って授業を進めます。受講生の理解度によって、授業進度を調整します。

◆**準備学習** 受講生が、ミクロ経済学とマクロ経済学、経済史についての基礎知識を習得していることを前提に、講義を進めます。

テキスト（『経済学史』）のはじめから古典派経済学までの範囲を読み込んで、講義に参加して下さい。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	①「経済学史とはどのような「科学・学問」なのか」 ②「科学としての経済学」とは、どのようなモノか
2回目	①市場経済システムの特質 ②16世紀の西欧社会の経済システム
3回目	①市場経済システムの形成 ②16世紀社会の「革命」
4回目	①イギリス重商主義：富とは何か、いかにして富を手に入れるのか ②重商主義の貿易理論 重商主義の功罪
5回目	①フランス重商主義とその破綻 ②コルベール主義の功罪 フランス重農主義の成立背景
6回目	①フランス重農主義 ②ケネーの「経済表」 富概念の転換
7回目	アダム・スミスの経済学 その1 「国富とは何か」 分業論、自由交換のメリット、見えざる手、労働価値説
8回目	アダム・スミス論 その2 経済成長戦略 資本蓄積論、投資戦略論、試験

◆**教科書** 〔通材〕『経済学史 0713／経済学説史 0714』通信教育教材（教材コード000160）2,150円（送料込）

◆**参考書** 丸沼『入門経済思想史 世俗の思想家たち』ハイルブローナー著 ちくま学芸文庫 1,575円（税込）（送料340円）

◆**成績評価基準** 平常点・小テスト・試験により、総合的に評価します。

◆E-Mail：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

□経済発展の理論的把握

〔経済史総論〕

月曜日

開講単位：2単位

担当者：貝塚 亨

- ◆**学習目標** 本講義では、経済史の基礎的な知識を習得しつつ、経済発展の諸法則の理論化について考察する。そのことによって、歴史は単なる繰り返しではないと同時に、歴史から学ぶことができるということを理解する。
- ◆**授業方法** 講義形式を基本とするが、グループワークや討議などでの学生の参加を望む。学生の希望・関心に応じて、ビデオ学習なども取り入れる予定である。
- ◆**準備学習** 歴史および経済に関する基礎的な知識を習得しておくこと。

◆**授業計画〔各170分〕**

1回目	ガイダンス 経済史学の方法と課題
2回目	原始共産制社会
3回目	奴隷制社会
4回目	封建制社会
5回目	市民革命と産業革命 経済発展における“Take Off”
6回目	19世紀までの資本制社会
7回目	20世紀の資本制社会
8回目	総括

- ◆**教科書** **通材**『経済史総論 0720』通信教育教材（教材コード000161）2,950円（送料込）
- ◆**参考書** 適宜指示する。
- ◆**成績評価基準** 試験（100%）。欠席は認めません。
- ◆**E-Mail** :

□為替レートの変動と日本経済

〔日本経済論〕

火曜日

開講単位：2単位

担当者：飯島 正義

- ◆**学習目標** 今日の日本経済は、世界経済の動向の影響を強く受ける状況となっています。今回の講義では、日本をめぐる貿易、国際収支、為替レートなどの国際的な側面について理解を深めていくことを目標とします。
- ◆**授業方法** 講義形式。当日配布するプリントを中心に授業を進めていきます。
- ◆**準備学習** 『日本経済論 0736』（旧通信教育教材）第2章「経済の国際化への対応」、金森・香西・加藤編『日本経済読本（第18版）』東洋経済新報社（新通信教育教材）第10章「貿易、国際収支と為替レート」、第12章「世界経済の動向と日本の役割」と関連するのでどちらかを事前に読んでおくことで授業がさらに理解しやすいと思います。

◆**授業計画〔各170分〕**

1回目	リーマン・ショック後の世界同時不況の影響が先進国の中で日本が最も大きかったのは何故か。
2回目	日本の貿易構造はどのように推移してきたのか。
3回目	日本の国際収支はどのように推移したのか、近年の特徴は。
4回目	開放体制への移行と日本経済の発展について、また貿易摩擦の発生について考える。
5回目	拡大する自由貿易協定（FTA）締結の動きと日本経済との関係を考える。
6回目	固定相場制から変動相場制への移行は日本経済にどのような影響をもたらしたか。
7回目	日本の直接投資はどのように推移してきているのか、現状はどうなっているのか。
8回目	これまでのまとめ、試験（筆記）

- ◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 当日プリントを配布します。
- ◆**参考書** 当日配布するプリントに記載します。
- ◆**成績評価基準** 平常点（授業への取り組み・確認プリントなど）30%、試験70%
- ◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆私のまちの財政分析

〔地方財政論〕

水曜日

開講単位：2単位

担当者：佐藤 恵介

- ◆**学習目標** 地方自治体の抱える借金は総額 200 兆円に達し、多くの自治体で地方税の増税や公共サービス削減による財政改革が避けて通れない状況にあります。各自の居住地または出身地の自治体の財政状況はどうでしょうか。本授業では、地方財政の役割や仕組みについて理解を深めるとともに、各自の居住地等の自治体の財政資料を材料として、市民目線での財政分析・評価のノウハウ習得を目指します。
- ◆**授業方法** 毎回、地方財政の役割・仕組みに関するプリントを配付して解説を行います。また、居住地等の自治体の決算カード・財政状況一覧表といった基本的な財政資料を各自でご用意いただき、その読み方、分析・評価の仕方を解説します。また、毎回、テーマへの理解を深めるため、ニュース番組等の映像教材（成功事例&失敗事例）を視聴し、そこどのような財政上の課題が示されているかを考えます。
- ◆**準備学習** 地方財政に関する新聞記事、ニュース等に目を通し、問題意識を高めることが望めます。
- ◆**授業計画〔各 170 分〕**

1 回目	「地方財政の仕組みと役割」地方財政を取り巻く状況、国と地方の役割分担等について解説し、地方財政の現状への理解を深めます。また、各自に分析の対象とする市町村を決めて頂き、必要資料の入手方法を説明します。
2 回目	「自治体の予算の仕組み」自治体の予算制度、会計の仕組みとともに、財政の情報が決算カード等にどのように反映されているのかを解説します。
3 回目	「地方財政健全化法」夕張破綻等を教訓として自治体の財政破綻を未然に防ぐために新たに作られた自治体財政健全化法の内容等を解説します。
4 回目	「自治体の歳入（1）」地方税収、地方交付税、国庫支出金といった主要な歳入項目について、その理論的な背景や具体的な仕組みについての解説を行い、どのような課題があるかを考えます。
5 回目	「自治体の歳入（2）」地方債（自治体の借金）の実態とその問題点等についての解説を行います。自治体の過大な借金が住民生活にどのような影響を与えるか実例を見ながら考えます。
6 回目	「公営事業会計」健康保険、介護保険等の社会保障を支える事業会計や、下水道、病院といった都市生活を支える企業会計の仕組みと実態をみまます。
7 回目	「外郭団体等」複数の自治体にまたがる広域行政の仕組みや、地方公社・第三セクターといった自治体の出資団体が自治体財政に与える影響を解説します。
8 回目	「財政評価のまとめ」自治体財政全体のなかで、各自の分析対象自治体の財政状況がどのように評価されるかを、第 1 回から 6 回までの勉強内容をもとに取りまとめを行います。

- ◆**教科書** 当日資料配布 当日プリントを配付します。
- ◆**参考書** 総務省『地方財政白書』（総務省ホームページで公開されている最新版を必要に応じて参照します）
- ◆**成績評価基準** 第 1～7 回に小テスト（各 10 点×7 回＝70 点）を、最終回にまとめのテスト（30 点）を実施し、合計点で評価します。

◆E-Mail：

◆世界をめぐるヒト・モノ・おカネの動き

〔貿易論〕

木曜日

開講単位：2単位

担当者：松原 聖

- ◆**学習目標** 国際貿易、国際収支、外国為替、海外直接投資に関する日本経済・世界経済の諸問題について、基礎的な知識と分析能力を養うことを狙いとしています。主なトピックは以下の通りです：（1）日本の対外取引の現状、（2）貿易の利益と国内問題、（3）貿易実務の基礎、（4）国際収支、（5）外国為替市場と為替レート、（6）海外直接投資と貿易構造。各トピックは独立したものではなく、相互に関連しています。
- ◆**授業方法** 講義においては理論の説明だけでなく、現実の統計データや新聞記事などを元に、日本経済・世界経済の学習計画に挙げた諸問題を説明します。講義当日の日本経済新聞朝刊を持参するとよいでしょう。各講義日の最後にその日の講義のまとめとディスカッションなどを行う予定です。質問・意見を歓迎します。
- ◆**準備学習** 普段から（経済）ニュースに目を通して、日本経済・世界経済に関する時事問題についての知識を深めておくと、講義の理解に役立ちます。講義で用いる経済学のツールは講義中でも説明しますが、事前に経済学の入門テキスト（参考書参照）に目を通しておくと、講義をさらに理解しやすくなります。
- ◆**授業計画〔各 170 分〕**

1 回目	①イントロダクション（講義の概観）②データでみる日本の貿易 ③本日のまとめとディスカッション④次回講義（比較優位の原理）概観
2 回目	①比較優位の原理Ⅰ：リカードの貿易理論②比較優位の原理Ⅱ：ヘクシャー・オリーンの貿易理論 ③本日のまとめとディスカッション
3 回目	①比較優位の原理Ⅱ：ヘクシャー・オリーンの貿易理論（つづき）②自由貿易と保護主義 ③本日のまとめとディスカッション
4 回目	①貿易の流れ（貿易実務入門）②本日のまとめとディスカッション
5 回目	①国際収支Ⅰ：国際収支表とは何か②国際収支Ⅱ：国際収支と国民所得勘定 ③本日のまとめとディスカッション
6 回目	①国際取引と外国為替市場②為替レートと産業調整 ③本日のまとめとディスカッション
7 回目	①為替レートと産業調整（つづき）②海外直接投資と貿易構造 ③本日のまとめとディスカッション
8 回目	①予備日：今までの復習とまとめ②試験

- ◆**教科書** 通材『貿易論 0822』通信教育教材（教材コード 000439）2,350 円（送料込）
- ◆**参考書** 丸沼『入門 国際経済』中北徹 ダイヤモンド社 2005 年 2,940 円（税込）（送料 390 円）
丸沼『日経文庫ベーシック貿易入門第 3 版』久保広正 日本経済新聞社 2005 年 1,050 円（税込）（送料 260 円）
丸沼『マンキュー入門経済学』N. グレゴリー・マンキュー著、足立ほか訳 東洋経済新報社 2008 年 3,360 円（税込）（送料 390 円）
- ◆**成績評価基準** 授業への取組（発言等）・試験により、総合的に評価します。
- ◆**E-Mail：**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

真の証券市場を理解するために

〔証券市場論〕

月曜日

開講単位：2単位

担当者：高嶋 勝平

- ◆**学習目標** ・教科書では学べない証券市場の現状と実態を学びます。
・知的レベルは平均的には中程度ですが、一部専門的なことについても学びます。
- ◆**授業方法** ・レジュメに沿った講義を基本としますが、証券市場に関するトピックスがあったときは当該事項についての解説、議論を行います。
・質疑応答は適宜行います。
・電卓は必携とします。
- ◆**準備学習** ・証券市場に関する新聞記事、雑誌記事をスクラップしておいてください。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	証券市場の概観と証券市場論の切り口
2回目	証券市場とその関係者（証券会社、金融当局、自主規制団体、証券取引所、投資家、資金調達者等）
3回目	証券会社の実態（業務実態の概観、発行市場と流通市場）
4回目	証券会社の実態（取扱商品：株式、債券、投資信託、その他新商品等）、中間試験
5回目	証券会社の実態（取引の実態、新取引手法トデリバティブ）
6回目	証券市場の変遷（証券取引法から金融商品取引法へ）
7回目	証券市場の課題（グローバル化とリスクマネジメント）
8回目	最終試験

- ◆**教科書** レジュメを事前または授業当日に配布する。
- ◆**参考書** 必要に応じて指示します。
- ◆**成績評価基準** 中間時と最終時にレポート形式の試験で判定します。
- ◆**E-Mail** :

株式会社を考える

〔経営学〕

金曜日

開講単位：2単位

担当者：桜井 徹

- ◆**学習目標** 本講義では、株式会社は、個人企業や合名・合資企業などの他の企業形態が存在する中で、なぜ現代社会の最大の経済主体となったのか：その本質と歴史、②株式会社の日本的特質が今日、米国型への移行が議論されているが、その問題点は何か、③巨大な株式会社は、その規模にふさわしい社会的責任を果たしているのかを学ぶ。
- ◆**授業方法** 毎回パワーポイントによるプレゼンテーションを中心に講義を進める。「实事求是」（事実に即して真理・真実を探究すること：『広辞苑』）の立場から、可能な限り多くの事実・データを使用する。重要な論点については、出席者との議論を通じて内容を深める。また、2回程度はレポートを提出していただく。
- ◆**準備学習** パワーポイント資料は、2回目以降はWebに登録しておくので、各自、ダウンロードして学習しておくこと。また、不明な用語も、教科書、参考書および経営学辞典などで調べておくことが望ましい。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	経済学と比較した経営学の特徴 ドイツ・アメリカおよび日本における経営学展開
2回目	企業の本質としての営利企業 非営利企業の種類とその展開
3回目	企業形態展開の理論的契機 企業形態展開の歴史過程
4回目	日本における企業形態の展開：江戸時代末期から明治・大正時代 現代日本における企業形態展開の国際的特徴
5回目	株式会社の本質：株式会社の有限責任制と社会的責任 株式会社における所有と支配の分離に関する論争：パーリー・ミーンズの所説を巡って
6回目	現代日本の株式会社の特質：株主構造、取締役会、資金調達 現代日本の株式会社の変化：コーポレート・ガバナンスの日本型・米国型・ドイツ型
7回目	株式会社のグループ化：系列化と企業集団 株式会社の多国籍企業化
8回目	巨大株式会社の社会的責任（CSR）：企業不祥事との関連において 最終試験

- ◆**教科書** 丸沼『転換期の株式会社 拡大する影響力と改革課題』細川孝・桜井徹編著 ミネルヴァ書房 2009年 2,940円（税込）（送料390円）
- ◆**参考書** 丸沼『企業形態論』小松 章 新世社 2006年 2,835円（税込）（送料390円）
- ◆**成績評価基準** 成績は次の基準で評価します。最終試験（60%）、レポート（20%）、講義時の発表（小テストを含む）＝平常点（20%）
- ◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

□会計学の基礎知識を学ぶ

〔会計学〕

火曜日

開講単位：2単位 担当者：林 徳順

◆**学習目標** 日常生活において会計学は重要である。例えば、投資家がある企業に投資するか否かを判断するとき、従業員が自分の勤めている会社の経営が順調であるか否かを判断するとき、経営者が自分の会社における今年度のもうけや現在持っている純資産を把握するときなどには、会計学の知識が必須である。本講義の目標は、初心者が会計に係る個別学問へ進むための会計学の基礎知識を身につけることである。

◆**授業方法** 基本的には講義形式で教科書に沿って講義し、必要に応じて受講者に課題を指示し、簡単なレポートを提出して頂くこともある。また、講義内容と関連のある新聞記事を取上げ、受講者の会計学に対する理解を深め、会計学的重要性を実感できる講義にしたい。

◆**準備学習** 会計学の準備学習として、簿記及び財務会計に関する知識を予習することを勧める。自分に適した簿記及び財務会計の入門書を読んで理解することは、本講義の内容理解に有益であり、学習効果を更に向上させることができる。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	本講義の授業方法、講義計画及び成績評価方法を説明する。現代社会と会計の役割について、会計の歴史、会計の分類、会計の役割について学習する。
2回目	簿記・会計の基礎概念について学習する。複式簿記の理論構造を理解し、その基本的手続きについて学習する。
3回目	株式会社の仕組み及び企業会計制度について学習する。株式会社の基本的な特質、分類及びその機関を理解し、企業会計のトライアングル体制について学習する。
4回目	損益計算書及び貸借対照表の仕組みについて学習する。損益計算書及び貸借対照表の意義及びその構造について学習する。
5回目	財務諸表の分析方法を学習する。財務諸表分析の意義、収益性分析の考え方及びその指標、安全性分析の考え方及びその指標について学習する。
6回目	会計の国際化及び会計の監査について学習する。会計の国際化の背景及びその動向について理解する。また、会計の監査の意義について学習する。
7回目	管理会計の意義及び体系、税務会計の意義及び課税所得の基本的な考え方について学習する。
8回目	税務会計における企業利益と課税所得の関係等について学習し、期末試験を実施する。

◆**教科書** 丸沼『はじめの会計学 第2版』日本大学会計学研究室編 森山書店 2,520円(税込)(送料390円)

◆**参考書** 丸沼『基礎 財務会計 第14版』五十嵐邦正著 森山書店 3,570円(税込)(送料390円)

◆**成績評価基準** 平常40%(レポートの提出及びその内容) 期末試験60%。毎回出席することを前提として評価する。

◆**E-Mail** :

□こころの発達と学習の心理学的基礎

〔発達と学習〕

金曜日

開講単位：2単位 担当者：吉田 宏之

◆**学習目標** 児童・生徒の発達に焦点を当て、発達の過程および学習の過程と主要な理論について学ぶ。また発達段階の理解を踏まえた上で、個々の生徒と向き合い、教育目標を設定していくための評定法と評価法などについてもとりあげる。

◆**授業方法** 講義を中心に進め、必要に応じてメディア教材等も使用する。なお授業内で小レポートを課すことを予定している。

◆**準備学習** 事前にテキストを読みこんでおくこと。なお、下記授業計画は目安であり、進行を変更する場合もあるので、確認すること。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	発達心理学とは？ 発達の概念 遺伝と環境
2回目	発達段階と発達課題 発達の理論
3回目	身体と運動機能の発達 幼児、児童及び生徒の心身の発達
4回目	学習の理論 幼児・児童及び生徒の学習の過程 学習のメカニズム
5回目	不適応行動の理解 欲求と欲求不満、適応と不適応行動
6回目	パーソナリティの理解 知能と学力の理解
7回目	教育評価 評価の方法とその種類
8回目	障害のある生徒の理解およびその心身の発達と学習の過程 試験

◆**教科書** 丸沼『発達と学習 0906』通信教育教材(教材コード000420) 2,750円(送料込)
〈この教材は市販の『教職をめざす人のための教育心理学』藤田圭一編著(福村出版)と同一です〉

◆**参考書** 授業内で適宜紹介する。

◆**成績評価基準** 受講状況(10%)、試験(70%)、授業への取り組み(小レポート等、20%)

◆**E-Mail** :

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆道徳の授業をどのように展開するか

〔道徳教育の研究〕

木曜日

開講単位：2単位

担当者：杉森 知也

- ◆**学習目標** 道徳教育に関する基礎的な理解をしたうえで、道徳の時間を遂行できる授業・教材研究の方法を習得する。授業・教材研究については、講義のほか、グループディスカッションや模擬授業・批評会をおこなう中で、実践に活かすための基本的な方法論を身につける。
- ◆**授業方法** 前半は、講義形式を中心におこなう。なお、45分の模擬授業を全員が必ず1回おこなうので、題材を深めて指導案を作成し授業をおこなうという一連の作業をおこなう。その途中段階で、グループディスカッションによって各々の授業計画をプレゼンテーションして、グループ内で指導案の内容について指摘しあう。また、現職教員が参加できるように、学生との交流の時間も設けたい。
- ◆**準備学習** 事前に、指定教科書のp.15～p.35を読んでおくこと。また、第2節「内容項目の指導の観点」のうち、1-(5)または3-(1)の内容についての模擬授業をおこなうので、どちらの項目で模擬授業をおこなうかを考え、それに関わる資料(読み物、映像、新聞など)を収集しておくこと。
- ◆**授業計画〔各170分〕**

1回目	ガイダンスー道徳の授業を振り返るー 道徳教育の歴史
2回目	新学習指導要領改訂の要点 道徳の目標・内容および指導上の留意点
3回目	道徳教育の実践に向けて①ー指導案作成の方法ー 道徳教育の実践に向けて②ー教材研究の方法と視点ー
4回目	道徳教育の実践に向けて③ー道徳の実践をDVDでみてるー 道徳教育の実践に向けて④ー指導案の作成作業と質問ー
5回目	道徳教育の実践に向けて⑤ー指導案のプレゼンテーションと意見交換ー
6回目	指導案の提出 模擬授業と検討会①
7回目	模擬授業と検討会②
8回目	模擬授業と検討会③

- ◆**教科書** 丸函『中学校学習指導要領解説 道徳編(平成20年9月)』文部科学省, 日本文教出版, 139円(税込)(送料340円)
〔当日資料配布〕このほか、プリントを適宜、配布する。
- ◆**参考書** 授業時に、口頭およびプリントで指示する。
- ◆**成績評価基準** 模擬授業(70%)、平常点(30%)で総合的に判断する。模擬授業は、当日の授業の様子も採点に入るが、主にみるのは指導案が綿密に計画づけられているかという点である。提出物の提出期限は、厳守のこと。指導案の作成と模擬授業ができない場合は、評価対象としない。平常点は、出席状況や授業への参加姿勢等で評価する。
- ◆**E-Mail :**

◆現代日本の教育・社会問題についての調査・研究〔教職総合演習／教職課題演習 D〕

火曜日

開講単位：2単位

担当者：藤原 政行

- ※当該科目は教育職員免許法施行規則の一部改正に伴い、平成24年度までの開講となります。また、入学年度及び入学形態によって充当科目が異なりますので、「部報」3月号にて詳細を確認の上、申し込んでください。
- ◆**学習目標** この授業では、「現代日本の教育・社会問題」というテーマを取り上げる。受講生の調査・研究能力の増進を図り、報告や発表・討論の仕方を身に付け、中学校・高等学校の「総合的な学習の時間」を担当することができる資質の育成を目指す。
 - ◆**授業方法** 受講生には、国際理解、情報、環境、福祉・健康等の現代日本の全体に関わる諸問題から、自ら取り組む課題を選び、これを各種の文献・資料やインターネット等によって十分調査・研究し、レジュメを作成して、発表していただく。最終日には、レポートを提出していただく。
 - ◆**準備学習** スクーリングが始まる前に、各自の取り組む課題を選択し資料を収集・整理しておくこと。学習指導要領の「総合的な学習の時間」の目標・内容の取扱い等について学習しておくこと。
 - ◆**授業計画〔各170分〕**

1回目	「現代日本の教育・社会問題」「教育改革と教育問題」等について検討する。
2回目	「総合的な学習の時間」の目標・内容・内容の取扱い等について検討する。
3回目	各自選択した教育・社会問題について、調査・研究に取り組む。
4回目	各自選択した教育・社会問題について、調査・研究に取り組む。
5回目	発表の準備をする。発表・討論をする。
6回目	発表・討論をする。
7回目	発表・討論をする。
8回目	発表・討論をする。

- ◆**教科書** 使用しない。〔当日資料配布〕授業中に印刷物を配布する。(USB等を持参すること。)
- ◆**参考書** 必要があれば授業中に指示する。
- ◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提に、受講状況・態度、発表内容、レポート、質疑応答等により総合的に評価する。
- ◆**E-Mail :**

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆博物館学芸員の素養を身につけよう

〔博物館概論〕

金曜日

開講単位：2単位

担当者：中野 照男

◆**学習目標** 博物館に関する基礎的な知識を理解し、専門的な学芸員としての能力を養うことを目的とする。博物館学が自指すもの、その学問的な方法、博物館の歴史をきちんと踏まえた上で、博物館の定義、機能と目的、博物館の歴史と現状、学芸員の果たすべき役割、博物館関連法案等を学び、今日の博物館や美術館の具体的な活動状況を観察することによって、博物館学芸員の基礎的な技術と知識を身につけることができる。

◆**授業方法** 講義内容をまとめたレジュメを当日、あるいは事前に配布し、それを用いて講義形式で授業を進める。さらに内容の理解を深めるために有効なスライドを適宜上映する。授業が一方向的な情報の伝達にならないように、毎回質疑応答の時間を設け、聴講者の疑問に速やかに答えるように工夫する。

◆**準備学習** 事前に配布されたレジュメを予習時にチェックし、事業担当者に質問すべき事項をあらかじめ用意して、授業に臨むこと。また、平素から博物館や美術館を自発的に訪れ、美術作品や文化財に触れる機会を多くもち、展示や文化財の保存に関心をもつように心がけること。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	欧州における博物館の出現とその展開。欧州におけるコレクションの形成の歴史をたどり、それらが市民によって活用されていく様子を、大英博物館やルーブル美術館を例に説く。
2回目	近代日本における博物館の誕生、日本における博物館・美術館の歴史。近代化を目指すに日本が、ナショナル・アイデンティティの確立のために、文化財や美術を利用した歴史をふりかえる。
3回目	博物館の定義、博物館の種類と区分、博物館の目的。博物館学が対象とする博物館や美術館の基礎的な概念を明確にする。
4回目	博物館の機能と活動。博物館がいかなる組織からなり、どのような機能を持って活動しているのかを、国内外の博物館を例に、具体的に述べる。
5回目	学芸員の役割と仕事。博物館活動を具体的に担う学芸員は、どのような専門性をもち、何を目指して、いかなる活動をするのか、いくつかの具体例を提示しつつ述べる。
6回目	日本の文化財行政と博物館、博物館関係の法令の歴史と現状。文化財を保護し、活用するために、わが国が文化財関係の法令をいかに整備してきたか、その歴史をたどる。
7回目	博物館学が対象とするもの、博物館学の手法、博物館学の歴史。学問としての博物館学は何を目指してきたのか、わが国の博物館学は独自性を保持できているのか、問い直す。
8回目	博物館の理想像、試験。博物館の理想的なあり方について、最近のいくつかの新しい博物館や美術館の活動を紹介しながら、模索する。最後に、授業内容に即した試験を実施する。

◆**教科書** 使用しない。〔事前資料送付〕講義内容をまとめたレジュメを事前に配布する。

◆**参考書** 講義時間中に、それぞれのテーマに即した参考文献を提示する。

◆**成績評価基準** 試験の成績を70%、授業への貢献度を30%で評価する。授業への貢献度に関しては、自ら積極的に質問し、授業の運営に参加したかどうかを重視する。

◆E-Mail：

◆博物館資料論

〔博物館資料論〕

月曜日

開講単位：2単位

担当者：大塚 英明

◆**学習目標** テーマを「博物館資料が語るもの」と設定し、多様化する博物館資料の保存と活用の在り方について検討するとともに、これを取り巻く今日的な課題を探り、基礎的な能力を構築する。

◆**授業方法** 上記の「学習目標」を視野に入れ、以下の項目を基軸に講義を基調として、必要に応じて質疑応答を行ない理解の深化を図る。

1. 博物館資料の概念を理解する。
2. 博物館資料の調査・研究を考える。
3. 博物館資料の保存と活用の在り方考える。

◆**準備学習** 我が国の国公立の博物館・美術館・資料館などの公開施設の内、1館を選定して当該館の所蔵する博物館資料を概観し、関心のある博物館資料について調べておくこと。また、館案内及び資料の映像を用意しておくこと。なお、授業内で各自の報告を予定している。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	博物館資料とは何か。博物館資料化へのプロセスを探る。
2回目	博物館資料の種類と分野。博物館資料（人文系）の収集。
3回目	博物館資料（人文系）の調査・研究と保存対応。
4回目	博物館資料（自然系）の収集。博物館資料（自然系）の調査・研究と保存対応。
5回目	質疑応答 課題について各自の報告を行なう。
6回目	画像形成と保存科学的調査の確保。
7回目	展示公開における博物館資料の存在と意義。
8回目	博物館資料の現状把握と今後の課題。

◆**教科書** 使用しない。〔当日資料配布〕授業内に関連資料等を配布する。

◆**参考書** なし。授業時に指示する。

◆**成績評価基準** 授業内報告（30%）、試験（70%）を基準に総合的に評価する。

◆E-Mail：

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生証番号」及び「氏名」を記入。例：「日本大学通信教育部 24121999 日大通子」

◆博物館の展示

〔博物館展示論〕

火曜日

開講単位：2単位

担当者：浜田 晋介

◆**学習目標** 博物館では何故展覧会を行うのか。また、その方法や留意点にはどのようなものがあるのか。現在各地で行われている各館園の事例を通して、その理論と実践を学びます。自らが展示を行う際に必要な知識を習得することを目的とします。

◆**授業方法** 下記の教科書を主に使用しながら、講義形式で進めていきます。また、適宜映像資料を交えながら、現在行われている博物館での展示を紹介・解説しながら、博物館での展示を実施するにあたっての留意点や着目点についても論じていきます。受講人数が少ない場合は、展示立案をシュミレーションする方法に変更する場合があります。

◆**準備学習** 事前に教科書を通読しておいてください。特に第4章、第5章は重点的に読んでください。また近隣の博物館や美術館、動植物園などで行われている、展覧会について実際に観覧し、タイトル・開催館名・期間・内容（字数の上下限の制限なし）をまとめておくこと。

◆授業計画〔各170分〕

1回目	これからの授業の進め方、展示の意味、展示の種類
2回目	展示を行う環境 - 温湿度、照明、虫・被害の防止 -
3回目	展示の計画から実践まで
4回目	展示の実際1 常設展示
5回目	展示の実際2 企画展示・巡回展示
6回目	展示の実際3 野外展示、展示の実際4 調査研究・記念顕彰型の展示
7回目	展示の実際5 市民参加型の展示
8回目	展示論のまとめと留意点、試験

◆**教科書** **通材** 平成24年度新教材『博物館展示論 2014』通信教育教材（教材コード000478）※価格未定（価格は『部報』4月号に掲載）

〈この教材は市販の『学芸員の仕事』神奈川県博物館協会編（岩田書店）と同一です〉

◆**参考書** **丸沼**『展示論』日本展示学会編 雄山閣 2,730円（税込）（送料340円）

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（提出物、授業態度など）と試験により総合的に評価します。

◆**E-Mail** :

VI 開講講座表

1 開講講座表

東京・1期
開講期間：4月29日(日)～5月1日(火)

【科目コード順・見やすいように1講座ごとに網掛けをしております】

開催地 コード	講座 コード	開講講座名	充 当 目 コ ー ド	科 目 名 (充 当 科 目)	受 講 方 式	担 当 者	制限・注意		
							配 当 学 年	カ リ キ ャ ム	受 講 条 件
79	A1	政 治 学	0023	政 治 学		関根 二三夫	1年		
79	A2	英 語	A	0041	英 語 I	石川 勝	1年		I～IVのいずれに該当させるか充当科目コードを必ず記入ください
				0042	英 語 II				
				0043	英 語 III		2年		
				0044	英 語 IV				
79	A3	英 語	B	0041	英 語 I	小田井 勝彦	1年		I～IVのいずれに該当させるか充当科目コードを必ず記入ください
				0042	英 語 II				
				0043	英 語 III		2年		
				0044	英 語 IV				
79	A4	英 語	C	0041	英 語 I	上島 美佳	1年		I～IVのいずれに該当させるか充当科目コードを必ず記入ください
				0042	英 語 II				
				0043	英 語 III		2年		
				0044	英 語 IV				
79	A5	東 洋 史 入 門	0096	東 洋 史 入 門 ※		綿貫 哲郎	2年		
79	A6	国 際 法	0124	国 際 法		渡部 茂己	2年		
79	A7	商 法	0140	商 法		根田 正樹	2年		
79	A8	民 事 訴 訟 法	0160	民 事 訴 訟 法		松本 幸一	2年		
79	A9	法学特殊講義 I・II	0190	法学特殊講義 I	※	山岡 永知	2年		I～IIのどの区分に該当させるか充当科目コードを記入ください
			0191	法学特殊講義 II					

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割し他講師担当の同一科目講座へ振り分けたり、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ御了承ください。「受講方式」欄※印の科目は、スクーリング併用試験方式の申込はできません。

開催地 コード	講座 コード	開講講座名	充 当 目 コ ー ド	科 目 名 (充 当 科 目)	受 講 方 式	担 当 者	制限・注意		
							配 当 学 年	カ リ キ ュ ム	受 講 条 件
79	AA	西洋政治史	0214	西洋政治史		渡邊 容一郎	2年		
79	AB	漢文学 I	0371	漢文学 I		丸山 茂	2年		
79	AC	国文学演習	0386	国文学演習 I	※	阿部 好臣	3年		国文学専攻のみ申込可 I～VIのどの区分に該 当させるか充当科目 コードを記入ください
			0387	国文学演習 II					
			0388	国文学演習 III					
			0389	国文学演習 IV					
			0390	国文学演習 V					
0391	国文学演習 VI								
79	AD	英米文学特殊講義	0431	英米文学 特殊講義		岩城 久哲	2年		
79	AE	英語音声学	0450	英語音声学		森 晴代	2年		
79	AF	異文化間 コミュニケーション 概論 A	0478	異文化間 コミュニケーション 概論	※	曾根 進	2年		英文学専攻のみ申込可 スクーリング1回の合 格で単位完成する科目 です
79	AG	英語学演習 A	0481	英語学演習 I	※	久井田 直之	3年		英文学専攻のみ申込可 I～IIIのどれに該当さ せるか充当科目コード を必ず記入ください
			0482	英語学演習 II					
			0483	英語学演習 III					
79	AH	英語学演習 B	0481	英語学演習 I	※	秋葉 倫史	3年		英文学専攻のみ申込可 I～IIIのどれに該当さ せるか充当科目コード を必ず記入ください
			0482	英語学演習 II					
			0483	英語学演習 III					
79	AJ	英米文学演習 C	0486	英米文学演習 I	※	太田 美智子	3年		英文学専攻のみ申込可 I～IIIのどれに該当さ せるか充当科目コード を必ず記入ください
			0487	英米文学演習 II					
			0488	英米文学演習 III					

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割し他講師担当の同一科目講座へ振り分けたり、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ御了承ください。「受講方式」欄※印の科目は、スクーリング併用試験方式の申込はできません。

開催地 コード	講座 コード	開講講座名	充 当 目 コ ー ド	科 目 名 (充 当 科 目)	受 講 方 式	担 当 者	制限・注意		
							配 当 学 年	カ リ ク リ ュ ム	受 講 条 件
79 AK	英米文学演習 D	英米文学演習	0486	英米文学演習 I	※	堀切 大史	3年		英文学専攻のみ申込可 I～Ⅲのどれに該当させるか 充当科目コードを必ず記入ください
			0487	英米文学演習 II					
			0488	英米文学演習 III					
79 AL	西洋思想史 II	西洋思想史 II	0513	西洋思想史 II		瀧田 寧	2年		
79 AM	倫理学特殊講義	倫理学特殊講義	0573	倫理学特殊講義	※	上 憲治	2年		
79 AN	日本史特講 I	日本史特講 I	0661	日本史特講 I		鈴木 哲	2年		
79 AO	財政学総論	財政学	0741	財政学総論		野田 裕康	2年		文理・経済・商学部のみ申込可
			0742	財政学					法学部のみ申込可
79 AP	保険総論	保険総論	0825	保険総論		蟻川 滋	2年		
79 AQ	現代教職論	現代教職論	0903	現代教職論		杉森 知也	2年		スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
79 AR	かな書法	かな書法	0981	かな書法	※	山本 まり子	2年		国文学専攻のみ申込可 スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
79 AS	法学通論	法学	0983	法学通論		遠藤 清臣	2年		哲学・史学専攻のみ申込可
			0984	法律学概論 (国際法を含む)					経済学部・商学部のみ申込可
79 AT	国語科教育法 II	国語科教育法 II	0992	国語科教育法 II	※	品川 利幸	2年		国文学専攻のみ申込可。 スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
79 AU	英語科教育法 I	英語科教育法 I	0996	英語科教育法 I	※	佐藤 恵一	2年		英文学専攻のみ申込可 スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
79 AV	生涯学習論	生涯学習論	2001	生涯学習論	※	上原 義正	2年		スクーリング1回の合格で単位完成する科目です

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割し他講師担当の同一科目講座へ振り分けたり、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ御了承ください。「受講方式」欄※印の科目は、スクーリング併用試験方式の申込はできません。

東京・2期

開講期間：5月 2日(水)～4日(金)

【科目コード順・見やすいように1講座ごとに網掛けをしています】

開催地 コード	講座 コード	開講講座名	充 当 目 科 目 コ ー ド	科 目 名 (充 当 科 目)	受 講 方 式	担 当 者	制限・注意		
							配 当 学 年	カ リ キ ュ ム	受 講 条 件
79	B1	哲 学	0011	哲 学		長谷川 武雄	1年		
79	B2	英 語	D	0041	英 語 I	茂木 健幸	1年		I～IVのいずれに該当させるか充当科目コードを必ず記入ください
				0042	英 語 II				
				0043	英 語 III		2年		
				0044	英 語 IV				
79	B3	英 語	E	0041	英 語 I	山下 登子	1年		I～IVのいずれに該当させるか充当科目コードを必ず記入ください
				0042	英 語 II		2年		
				0043	英 語 III				
				0044	英 語 IV				
79	B4	英 語 基 礎	0046	英 語 基 礎		天野 暁子	1年	D	英文学専攻は申込不可
79	B5	国文学基礎講義	0081	国文学基礎講義		高 榮蘭	条件参照		国文学専攻のみ1学年以上申込可 その他は2学年以上申込可
79	B6	英語学概説	A 0085	英語学概説		山岡 洋	2年		
79	B7	宗教学基礎講読	A 0092	宗教学基礎講読		小林 紀由	2年		
79	B8	民 法	II 0132	民 法 II		山川 一陽	2年		
79	B9	商 法	II 0143	商 法 II		大久保 拓也	2年		
79	BA	税 法	0173	税 法		黒川 功	2年		
79	BB	国文学講義IV (近世)	0336	国文学講義IV (近世)		佐藤 至子	2年		
79	BC	イギリス文学史I	0411	イギリス文学史I		小山 誠子	条件参照		英文学専攻のみ1学年以上申込可 その他は2学年以上申込可

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割し他講師担当の同一科目講座へ振り分けたり、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ御了承ください。「受講方式」欄※印の科目は、スクーリング併用試験方式の申込はできません。

開催地 コード	講座 コード	開講講座名	充 当 目 コ ー ド	科 目 名 (充 当 科 目)	受 講 方 式	担 当 者	制限・注意		
							配 当 学 年	カ リ ク リ ュ ム	受 講 条 件
79	BD	放送英語	0471	放送英語	※	アレックス ブラウン	2年		スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
79	BE	英語学演習E	0481	英語学演習I	※	桑山 啓子	3年		英文学専攻のみ申込可 I～Ⅲのどれに該当させるか 充当科目コードを必ず記入ください
			0482	英語学演習II					
			0483	英語学演習III					
79	BF	英語学演習F	0481	英語学演習I	※	田中 竹史	3年		英文学専攻のみ申込可 I～Ⅲのどれに該当させるか 充当科目コードを必ず記入ください
			0482	英語学演習II					
			0483	英語学演習III					
79	BG	英米文学演習G	0486	英米文学演習I	※	北原 安治	3年		英文学専攻のみ申込可 I～Ⅲのどれに該当させるか 充当科目コードを必ず記入ください
			0487	英米文学演習II					
			0488	英米文学演習III					
79	BH	英米文学演習H	0486	英米文学演習I	※	猪野 恵也	3年		英文学専攻のみ申込可 I～Ⅲのどれに該当させるか 充当科目コードを必ず記入ください
			0487	英米文学演習II					
			0488	英米文学演習III					
79	BJ	英語音声学演習	0497	英語音声学演習	※	山上 登美子	3年		英文学専攻のみ申込可
79	BK	倫理学概論	0533	倫理学概論		真船 えり	2年		
79	BL	西洋史特講I	0669	西洋史特講I		後藤 秀和	2年		
79	BM	西洋経済史	0724	西洋経済史		上村 能弘	2年		
79	BN	貨幣経済論	0747	貨幣経済論		続橋 孝行	2年		
79	BO	広告論	0830	広告論		樋口 紀男	2年		
79	BP	国際金融論	0833	国際金融論		谷川 孝美	2年		
79	BQ	情報管理論	0899	情報管理論	※	根本 忠明	2年		

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割し他講師担当の同一科目講座へ振り分けたり、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ御了承ください。「受講方式」欄※印の科目は、スクーリング併用試験方式の申込はできません。

開催地 コード	講座 コード	開講講座名	充 当 課 目 コ ー ド	科 目 名 (充 当 科 目)	受 講 方 式	担 当 者	制限・注意		
							配 当 学 年	カ リ キ ュ ム	受 講 条 件
79	BR	特別活動の研究	0942	特別活動の研究	※	山岸 竜治	2年		特別活動論 平成23年度1学年入 学生,平成24年度1 学年入学生,2学年編 入・再入学生及び科目 履修生のみ申込可
			0943	特別活動論					特別活動の研究 上記以外の学生が申込 可 スクーリング1回の合 格で単位完成する科目 です
79	BS	教職総合演習 / 教職課題演習 A	0948	教職総合演習	※	金 泰勲	2年		
			0950	教職課題演習					
79	BT	教職総合演習 / 教職課題演習 B	0948	教職総合演習	※	関川 悦雄	2年		下記「注意」参照
			0950	教職課題演習					
79	BU	教職総合演習 / 教職課題演習 C	0948	教職総合演習	※	羽田 積男	2年		
			0950	教職課題演習					
79	BV	経済地理学	0973	経済地理		田村 和彦	2年		商学部のみ申込可
			0974	経済地理学					法学部・文理学部・経 済学部のみ申込可
79	BW	人文地理学概論	0975	人文地理学概論		小倉 眞	2年		法学部・史学専攻・経 済学部のみ申込可
79	BX	博物館教育論	2015	博物館教育論		浜田 晋介	2年		

注意：※当該科目は教育職員免許法施行規則の一部改正に伴い、平成24年度までの開講となります。また、入学年度及び入学形態によって充当科目が異なりますので、『部報』3月号にて詳細を確認の上、申し込んでください。

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割し他講師担当の同一科目講座へ振り分けたり、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ御了承ください。「受講方式」欄※印の科目は、スクーリング併用試験方式の申込はできません。

地方1期・名古屋

開講期間：5月26日(土)～28日(月)

【科目コード順・見やすいように1講座ごとに網掛けをしています】

開催地 コード	講座 コード	開講講座名	充 当 科 目 コ ード	科 目 名 (充 当 科 目)	受 講 方 式	担 当 者	制限・注意		
							配 当 学 年	カ リ キ ュ ム	受 講 条 件
80	C1	英 文 法	0445	英 文 法		吉良 文孝	条件 参照		英文学専攻のみ1学年 以上申込可 その他は2学年以上申 込可
80	C2	哲 学 演 習	0581 0582	哲 学 演 習 I ※ 哲 学 演 習 II		宮原 琢磨	3年		哲学専攻のみ申込可 I～IIのどの区分に該 当させるか充当科目 コードを記入ください
80	C3	国 際 経 済 論	0737	国 際 経 済 論		須藤 裕之	2年		

地方1期・神戸

開講期間：5月26日(土)～28日(月)

【科目コード順・見やすいように1講座ごとに網掛けをしています】

開催地 コード	講座 コード	開講講座名	充 当 科 目 コ ード	科 目 名 (充 当 科 目)	受 講 方 式	担 当 者	制限・注意		
							配 当 学 年	カ リ キ ュ ム	受 講 条 件
28	C4	英 語	F 0041 0042 0043 0044	英 語 I 英 語 II 英 語 III 英 語 IV		猪野 恵也	1年 2年		I～IVのいずれに該当 させるか充当科目コ ードを必ず記入ください
28	C5	商 法	Ⅲ 0144	商 法 Ⅲ		丹羽 重博	2年		
28	C6	国 文 学 概 論	0321	国 文 学 概 論		山崎 泉	条件 参照		国文学専攻のみ1学年 以上申込可 その他は2学年以上申 込可

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割し他講師担当の同一科目講座へ振り分けたり、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ御了承ください。「受講方式」欄※印の科目は、スクーリング併用試験方式の申込はできません。

地方2期・札幌

開講期間：6月 2日(土)～ 4日(月)

【科目コード順・見やすいように1講座ごとに網掛けをしています】

開催地 コード	講座 コード	開講講座名	充 当 目 コ ー ド	科 目 名 (充 当 科 目)	受 講 方 式	担 当 者	制限・注意			
							配 当 学 年	カ リ キ ュ ム	受 講 条 件	
50	D1	体 育 実 技	A	0077	体 育 実 技 I	※	北村 辰夫	1年		I・IIのいずれに該当させるか充当科目コードを必ず記入ください スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
				0078	体 育 実 技 II					
50	D2	英 語 学 概 説	B	0085	英 語 学 概 説		吉良 文孝	2年		
50	D3	商 学 総 論		0811	商 学 総 論		佐藤 稔	条件参照		商学部のみ1学年以上申込可 その他は2学年以上申込可

地方2期・福岡

開講期間：6月 2日(土)～ 4日(月)

【科目コード順・見やすいように1講座ごとに網掛けをしています】

開催地 コード	講座 コード	開講講座名	充 当 目 コ ー ド	科 目 名 (充 当 科 目)	受 講 方 式	担 当 者	制限・注意			
							配 当 学 年	カ リ キ ュ ム	受 講 条 件	
99	D4	行 政 学		0221	行 政 学		関根 二三夫	2年		
99	D5	英米文学演習	J	0486	英米文学演習 I	※	高橋 利明	3年		英文学専攻のみ申込可 I～IIIのどれに該当させるか充当科目コードを必ず記入ください
				0487	英米文学演習 II					
				0488	英米文学演習 III					
99	D6	東 洋 史 概 説		0623	東 洋 史 概 説		高網 博文	2年		文理・経済・商学部のみ申込可
				0627	東 洋 史 概 論	法学部のみ申込可				

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割し他講師担当の同一科目講座へ振り分けたり、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ御了承ください。「受講方式」欄※印の科目は、スクーリング併用試験方式の申込はできません。

東京・3期

開講期間：6月 9日(土)・10日(日)
6月16日(土)・17日(日)

【科目コード順・見やすいように1講座ごとに網掛けをしています】

開催地 コード	講座 コード	開講講座名	充 当 目 コ ー ド	科 目 名 (充 当 科 目)	受 講 方 式	担 当 者	制限・注意	
							配 当 学 年	カ リ キ ュ ム
79	E1	経 済 学	0024	経 済 学 ※		田村 和彦	1年	
79	E2	西 洋 古 典	0087	西 洋 古 典 ※		大住 有里子	2年	
79	E3	考 古 学 入 門	0098	考 古 学 入 門		小泉 龍人	条件 参照	史学専攻のみ1学年以上 申込可 その他は2学年以上申 込可
79	E4	民 法 V	0137	民 法 V		岡島 芳伸	2年	
79	E5	刑 法 II	0152	刑 法 II		岡西 賢治	2年	
79	E6	国文学基礎演習	0376	国文学基礎演習 ※		武藤 純子	2年	国文学専攻のみ申込可
79	E7	アメリカ文学史	0414	アメリカ文学史		鈴木 孝	2年	
79	E8	社会政策論	0761	社会政策論		今井 拓	2年	文理・経済・商学部のみ 申込可
			0762	社会政策				法学部のみ申込可
79	E9	商 品 学	0821	商 品 学		鄭 舜玉	2年	
79	EA	中 小 企 業 論	0848	中 小 企 業 論		山本 篤民	2年	
79	EB	英語科教育法Ⅱ	0997	英語科教育法Ⅱ ※		岡田 善明	2年	英文学専攻のみ申込可 スクーリング1回の合格 で単位完成する科目 です
79	EC	体 育 実 技 B	0077	体 育 実 技 I		吉本 俊明	1年	I・IIのいずれに該当 させるか充当科目コード を必ず記入ください スクーリング1回の合格 で単位完成する科目 です
			0078	体 育 実 技 II				

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割し他講師担当の同一科目講座へ振り分けたり、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ御了承ください。「受講方式」欄※印の科目は、スクーリング併用試験方式の申込はできません。

夜間・(春期)

【科目コード順・見やすいように1講座ごとに網掛けをしております】

開講時期	講座コード	開講講座名	充 当 目 下 科 目 代 表 科 目 代 表 科 目 代 表	科 目 名 (充 当 科 目)	受 講 方 式	担 当 者	制 限 ・ 注 意		
							配 当 学 年	カ リ キ ュ ム	受 講 条 件
火	B1	論 理 学	0012	論 理 学		本間 司	1年		
金	E1	歴 史 学	0015	歴 史 学		高草木 邦人	1年		
水	C1	心 理 学	0035	心 理 学		野村 康治	1年		
月	A1	英 語	G	0041	英 語 I	佐藤 健児	1年		I～IVのいずれに該当させるか充当科目コードを必ず記入ください
				0042	英 語 II				
				0043	英 語 III		2年		
				0044	英 語 IV				
水	C2	英 語	H	0041	英 語 I	石川 勝	1年		I～IVのいずれに該当させるか充当科目コードを必ず記入ください
				0042	英 語 II				
				0043	英 語 III		2年		
				0044	英 語 IV				
木	D1	英 語	J	0041	英 語 I	北原 安治	1年		I～IVのいずれに該当させるか充当科目コードを必ず記入ください
				0042	英 語 II				
				0043	英 語 III		2年		
				0044	英 語 IV				
金	E2	英 語	K	0041	英 語 I	八木 茂那子	1年		I～IVのいずれに該当させるか充当科目コードを必ず記入ください
				0042	英 語 II				
				0043	英 語 III		2年		
				0044	英 語 IV				
月	A2	英 語 学 概 説	C 0085	英 語 学 概 説		市川 泰弘	2年		

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割し他講師担当の同一科目講座へ振り分けたり、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ御了承ください。「受講方式」欄※印の科目は、スクーリング併用試験方式の申込はできません。

開講 時期	講座 コード	開講講座名	充 当 目 コ ド	科 目 名 (充 当 科 目)	受 講 方 式	担 当 者	制限・注意		
							配 当 学 年	カ リ ク ル ム	受 講 条 件
金	E3	英米文学概説	0086	英米文学概説		佐藤 秀一	条件 参照		英文学専攻のみ1学年 以上申込可 その他は2学年以上申 込可
月	A3	哲学基礎講読	0091	哲学基礎講読		石井 友人	条件 参照		哲学専攻のみ1学年以 上申込可 その他は2学年以上申 込可
木	D2	宗教学基礎講読 B	0092	宗教学基礎講読		吉岡 司郎	2年		
木	D3	日本史入門	0095	日本史入門		八馬 朱代	条件 参照		史学専攻のみ1学年以 上申込可 その他は2学年以上申 込可
火	B2	行政法 I	0122	行政法 I		和知 賢太郎	2年		
火	B3	民法 IV	0135	民法 IV		根本 晋一	2年		
水	C3	商法 I	0141	商法 I		高岸 直樹	2年		
月	A4	刑法 I	0151	刑法 I		野村 和彦	条件 参照		法律学科のみ1学年以 上申込可 その他は2学年以上申 込可
火	B4	国文学史 II	0312	国文学史 II		高橋 啓之	2年		
水	C4	国文学講義 I (上代)	0331	国文学講義 I (上代)		加藤 清	2年		
水	C5	国文法	0355	国文法		保科 恵	2年		
木	D4	国語学演習	0381	国語学演習 I	※	鈴木 浩	3年		国文学専攻のみ申込可 I～IIIのどの区分に該 当させるか充当科目 コードを記入ください
			0382	国語学演習 II					
			0383	国語学演習 III					
火	B5	イギリス文学史 II	0412	イギリス文学史 II		岩城 久哲	2年		
木	D5	英作文 I	0447	英作文 I ※		パトリック マッコイ	2年		スクーリング1回の合 格で単位完成する科目 です
月	A5	スピーチコミュニケーション I	0453	スピーチコミュニケーション I		アレックス ブラウン	2年		英文学専攻のみ申込可

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割し他講師担当の同一科目講座へ振り分けたり、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ御了承ください。「受講方式」欄※印の科目は、スクーリング併用試験方式の申込はできません。

開講 時期	講座 コード	開講講座名	充 科 目 コ ー ド	科 目 名 (充 当 科 目)	受 講 方 式	担 当 者	制 限 ・ 注 意		
							配 当 学 年	カ リ キ ュ ム	受 講 条 件
水	C6	異文化間 コミュニケーション概論	0478	異文化間 コミュニケーション概論	※	曾根 進	2年		英文学専攻のみ申込可 スクーリング1回の合格で単位完成する科目です
金	E4	英語学演習	0481	英語学演習Ⅰ	※	久井田 直之	3年		英文学専攻のみ申込可 Ⅰ～Ⅲのどれに該当させるか充当科目コードを必ず記入ください
			0482	英語学演習Ⅱ					
			0483	英語学演習Ⅲ					
水	C7	英米文学演習	0486	英米文学演習Ⅰ	※	猪野 恵也	3年		英文学専攻のみ申込可 Ⅰ～Ⅲのどれに該当させるか充当科目コードを必ず記入ください
			0487	英米文学演習Ⅱ					
			0488	英米文学演習Ⅲ					
金	E5	哲学特殊講義	0571	哲学特殊講義		長谷川 武雄	2年		
金	E6	日本史概説	0620	日本史概説		中村 順昭	2年		法学部のみ申込可
			0621	日本史概説					文理・経済・商学部のみ申込可
火	B6	西洋史概説	0624	西洋史概説		荒木 洋育	2年		文理・経済・商学部のみ申込可
			0628	西洋史概説					法学部のみ申込可
水	C8	経済学史	0713	経済学史		塚本 隆夫	2年		文理・経済・商学部のみ申込可
			0714	経済学説史					法学部のみ申込可
月	A6	経済史総論	0720	経済史総論		貝塚 亨		条件参照	経済学部のみ1学年以上申込可 その他は2学年以上申込可
火	B7	日本経済論	0736	日本経済論		飯島 正義	2年		
水	C9	地方財政論	0743	地方財政論		佐藤 恵介	2年		
木	D6	貿易論	0822	貿易論		松原 聖	2年		
月	A7	証券市場論	0829	証券市場論		高嶋 勝平	2年		

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割し他講師担当の同一科目講座へ振り分けたり、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ御了承ください。「受講方式」欄※印の科目は、スクーリング併用試験方式の申込はできません。

開講 時期	講座 コード	開講講座名	充 当 科 目 コ ード	科 目 名 (充 当 科 目)	受 講 方 式	担 当 者	制限・注意		
							配 当 学 年	カ リ ク ル ム	受 講 条 件
金	E7	経 営 学	0841	経 営 学		櫻井 徹	条件 参照		商学部のみ1学年以上 申込可 その他は2学年以上申 込可
火	B8	会 計 学	0851	会 計 学		林 徳順	2年		
金	E8	発 達 と 学 習	0906	発 達 と 学 習 ※		吉田 宏之	2年		スクーリング1回の合 格で単位完成する科目 です
木	D7	道 徳 教 育 の 研 究	0940	道 徳 教 育 の 理 論 と 方 法	※	杉森 知也			道徳教育の理論と方法 平成23年度1学年入 学生, 平成24年度1 学年入学生, 2学年編 入・再入学生及び科目 履修生のみ申込可 道徳教育の研究 上記以外の学生が申込 可 スクーリング1回の合 格で単位完成する科目 です
			0941	道 徳 教 育 の 研 究					
火	B9	教 職 総 合 演 習 教 職 課 題 演 習 D	0948	教 職 総 合 演 習	※	藤原 政行	2年		下記「注意」参照
			0950	教 職 課 題 演 習					
金	E9	博 物 館 概 論	2010	博 物 館 概 論		中野 照男			
月	A8	博 物 館 資 料 論	2012	博 物 館 資 料 論		大塚 英明			
火	BA	博 物 館 展 示 論	2014	博 物 館 展 示 論		浜田 晋介			

注意：※当該科目は教育職員免許法施行規則の一部改正に伴い、平成24年度までの開講となります。また、入学年度及び入学形態によって充当科目が異なりますので、『部報』3月号にて詳細を確認の上、申し込んでください。

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割し他講師担当の同一科目講座へ振り分けたり、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ御了承ください。「受講方式」欄※印の科目は、スクーリング併用試験方式の申込はできません。

2 「開講講座表」の見方

【開催地コード】

スクーリングを開講する開催地のコード番号です。地方スクーリング会場を識別するために設けられています。地方スクーリング受講届の開催地コード欄（2桁）にはこの開催地コードを記入してください。

【曜日】

その講座の開講される曜日を記載しています。

【講座コード】

スクーリングで開講される講座のコード番号です。講座（担当講師）を識別するために設けられています。受講届の講座コード欄（2桁）にはこの講座コードを記入してください。

【開講講座名】

英語等は複数開講されていますので、講座名の後ろにアルファベット等を記載し各講座を識別しています。

【充当科目コード・充当科目名】

開講講座の単位修得により充当される科目名及びその科目のコード番号です。充当したい科目をこのコード番号によって申告してください。

受講届の充当科目コード欄（4桁）には、この充当科目コードを記入してください。

【受講方式】

スクーリング併用試験方式による受講を行う場合の申し込みの可否について表記してあります。申し込むことができない科目に※と記載されています。

【担当者名】

その講座の担当講師名を記載しています。

【制限・注意】

【配当学年】

その講座を申し込むことができるようになる学年が記載されています。表記学年達していない学年は申し込むことができません。

【カリキュラム】

その講座の受講対象の適用とするカリキュラム及び免許法過程の条件を記載しています。“不可”となる場合、該当するカリキュラムは対象外となります。該当カリキュラムによって科目名がことなる講座もありますので注意してください。

Ⅶ 学生生活

「千代田区生活環境条例」について

千代田区では、歩きタバコや吸いガラ・空き缶などのポイ捨てを禁止する「生活環境条例」が施行されています。

JR 水道橋及び通信教育部校舎周辺は、「路上禁煙地区」並びに「環境美化地区」に指定されています。スクーリング受講生は、条例を遵守してください。

受講にあたっての諸注意

1 学生証の携帯

学生証は学生としての身分を証明するものであり、常に携帯している必要があります。また、スクーリング受講、通学証明書発行及び通学定期券購入の際にも必要となります。

2 健康保険証の携帯

スクーリング中は、万一の病気や事故に備えて、健康保険証（または保険証に代わる資格証明書）を必ず携帯してください。

3 掲示板の閲覧

スクーリング期間中は、実施校舎の掲示板に重要な事項について掲示します。授業、卒業論文指導の日程、各種の行事等についての変更、注意事項等を伝達する場合は、スクーリング実施校舎に掲示します。来校の際は必ず確認してください。

4 貴重品等の管理及び紛失に関する注意

衣類、カバン、学生証、教材、貴重品等各自の所持品を身辺より手放さないよう注意してください。大学の施設内であっても、校舎内には学外者の往来も多数あり、係員の監視が十分に行き届かない場合があります。盗難や紛失には十分注意してください。

なお、盗難や紛失があった場合には、速やかに学生課まで申し出てください。

5 紛失及び落とし物の拾得

校舎内で所持品を紛失したり、他人の落とし物を拾得した場合は、速やかに学生課まで届け出てください。届けられた物品は学生課で保管します。

6 自転車・オートバイ等の車両による通学の禁止

スクーリング実施校舎周辺は、駐車・駐輪できる場所がありません。また、無断で駐車・駐輪すると違反になるばかりでなく、近隣の方の迷惑になるので、公共の交通機関を利用してください。なお、自転車による通学も禁止ですので、注意してください。

7 その他の注意事項

- ①授業中の教室の出入り及び授業中の廊下の往来は静粛にすること。
- ②所定以外の場所には立ち入らないこと。
- ③所定場所以外での喫煙（教室内喫煙、歩行喫煙、吸い殻の投げ捨て等）は禁止。

緊急時の避難行動の指針について

東日本大震災で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、学事日程に従いスクーリングを開講しておりますが、授業中に起きる不測の事態に備え、身の安全が確保できるよう、下記のとおり対応についての行動方針を示しますので、熟読の上、ご理解ご協力をお願いいたします。

記

1 学生の服装について

突発的な災害に備え、学生は普段から身を守る服装に心掛ける。

※例えば、帽子、長袖、安全な靴、タオルやマスク、学生証（身分証明書）の携行など。また、日頃から自分で準備しておくの良い物（懐中電灯、自宅までの帰宅経路の地図、携帯ラジオ等）を携行していることが望ましい。

2 避難について

① 地震発生時

- (1) 地震が発生し、教室内で強い揺れを感じた場合は、机の下に隠れ、身を守る姿勢を取る。
- (2) 教室外の場合は、その場で、頭を保護し、揺れに備えて身構える。釣り下がっている照明・機器等の下からは退避する。

② 避難時

- (1) 強い揺れが収まった場合、担当教員の指示に従い非常口などからあわてず整然とすみやかに避難場所に避難する。
- (2) 救護を必要とする者がいる場合、状況により救護活動を行う。
- (3) 緊急一斉放送が入った場合にはその指示に従う。

※緊急放送例：「揺れが収まりました！身の回りの安全を確認し、落ち着いて避難してください。」

－あわてて出口、階段に殺到しないように心掛けること。－

③ 避難場所

- (1) 避難場所では、担当教員または職員が学生の安否の確認を行うので、確認しやすい安全な場所で待機をしていること。
- (2) 避難場所は安全な場所を前提に「通信1号館学生ホール」や「西神田公園」とし、必要に応じて千代田区指定の避難所へ移動する。

④ あわてて帰宅をしない

強い地震の後には大きな余震が予測されるため、周囲の状況（何が起きたのか）、被害情報、余震情報、交通機関に運行状況等により判断し、帰宅が困難な場合は避難場所の通信1号館学生ホールで待機する。状況によっては一晩待つこともあり得る。また、必要に応じて千代田区指定の帰宅困難者支援場所に移動する。

- ④教室内への飲食物の持ち込みは禁止。
 - ⑤授業中及び試験中は携帯電話等の電源を必ず切ること。なお、試験中は時計としても使用不可。
 - ⑥教室内は冷暖房が完備されているが、個人差があるのでカーディガン等を持参して冷えすぎにも対処すること。
- なお、体調が優れない場合は、保健室（開室時間や場所は掲示板で確認）へ申し出ること。

「休暇依頼状（勸奨状）」と「出席証明書」の発行

1 休暇依頼状（勸奨状）

休暇依頼状は、スクーリングに出席するため勤務を休む必要がある場合に、大学から勤務先に対して発行するものです。日本大学通信教育部長名でスクーリングの開講期間等を明記した休暇依頼状と、文部科学省発行で通信教育の主旨等を記載した勸奨状の2通を発行します。なお、発行はスクーリングの受講許可後となります。

休暇依頼状（勸奨状）希望者は、送付先を明記した返信用封筒（定形・80円切手貼付）を添えて、巻末の「休暇依頼状（勸奨状）申込書」により庶務課あてに申し込んでください。

2 出席証明書

勤務先にスクーリングに出席したことを証明する書類が必要な場合には、大学として「スクーリング出席証明書」を発行します。各月の『部報』巻末の「証明書交付願」を使用し、教務課あてに申し込んでください。出席証明書の発行は、講義日程が終了した後となります。窓口で申し込む場合は、返信用封筒（定型・80円切手貼付）を添えてください。郵送での申し込みは、約10日間の日数を要します（手数料は1通につき300円）。

「学割証」の発行（長距離区間乗車時の学生割引制度）

1 申込方法

巻末の「学割証交付願」にて学生課へ郵送又は窓口で申請してください。
 ※郵送の場合は返信用封筒が必要です（あて名明記、80円切手貼付）

2 発行対象条件（全項目該当が条件）

- ① JR 各社（鉄道又はバス）を使用すること
- ② 片道 100km 以上乗車すること。

※ JR 以外の会社における学割証の適応可否は当該会社へ各自で問い合わせてください。

3 発行対象外（1つでも該当する場合対象外）

- ① 空路（飛行機）の利用
- ② 科目履修生

4 割引額

普通乗車券運賃の2割（特急券や指定席は割引対象外）

5 乗車日（有効期間）

乗車日は当該行事初日の10日前から最終日の5日後までの間で選択することができます。それ以外では学割証を利用できません。

6 発行枚数

原則として1枚です。(1枚で往復乗車券が購入できます)

また、往復乗車券の有効期間は以下のとおりです。

期間外になる場合には片道乗車券を2枚購入することになり、学割証も2枚必要です。

【往復乗車券有効期間】

片道の距離 (km)	101～200	201～400	401～600	601～800	801～1000
有効期間	4日間	6日間	8日間	10日間	12日間

7 発行所要期間

発行開始日以降で受付の2日後に発行します。(即日発行はできません)

郵送の場合も同様で、受付日の2日後にポストに投函します。郵送に要する日数を考慮して申請してください。

※急ぎの場合は速達で申請し、返信用封筒も350円分の切手を貼ってください。ただし、優先的な発行はいたしません(「郵送料>割引額」と、ならないように注意してください)。

8 発行日

	開催期日	発行開始日
東京スクーリング (春期) 第1期	4月29日(日)～5月1日(火)	4月19日(木)
東京スクーリング (春期) 第2期	5月2日(水)～5月4日(金)	
東京スクーリング (春期) 第3期	6月9, 10, 16, 17日(土・日)	5月16日(水)
地方(名古屋・神戸)スクーリング (春期) 第1期	5月26日(土)～5月28日(月)	
地方(札幌・福岡)スクーリング (春期) 第2期	6月2日(土)～6月4日(月)	
夜間スクーリング (春期)	5月21日(月)～7月13日(金)	①5月11日(金)※
		②6月8日(金)※

※夜間スクーリングの学割証の発行は、1か月ごとに区切ります。

9 使用方法

乗車当日にJR各駅の窓口にて学割証及び学生証を提示することで学生割引の切符(乗車券)が購入できます。

10 購入日

原則として乗車当日です。

学割証を利用した切符(乗車券)は事前の購入ができませんので、乗車当日に購入してください。新幹線等の座席を事前に確保したい場合は、特急券や指定席券のみを事前に購入し、乗車券は乗車当日に購入するのが良いでしょう。

11 禁止事項

学割証は下記のように不正に使用してはいけません。

不正使用者は以降学割証の発行が停止されるだけでなく、鉄道会社等の営業規則に基づき使用区間普通運賃の数倍の追徴金が課せられます。

また、大学に対しても割引特典取り消し等の処分がなされます。

他の学生及び大学に多大な迷惑をかけることになるため、不正使用は絶対に行わないでください。
 なお、学割証を使用しなかった場合は必ず学生課まで返却してください。

【不正使用一覧】

①記載事項の改変	④購入した乗車券を他人に譲渡すること
②記名人以外が使用すること	⑤鉄道外車等の規則に違反して使用すること
③有効期間外に使用すること	⑥その他、不正に使用すること

通学定期券の購入（通学証明書の発行について）

通学定期券は対象スクーリングを受講する正科生に限り購入できます。なお、購入には通学証明書が必要です。通学証明書の取扱いは以下の通りです。

1 通学証明書の発行

学生課窓口で発行します。窓口を設置してある所定用紙にて申請してください。郵送での発行や「ネット de 定期」の利用はできません。なお、発行には学生証及び「スクーリング受講許可通知書」が必要です。

2 発行対象スクーリング

東京スクーリング（春期）及び夜間スクーリング（春期）

※ 東京スクーリング（春期）では1期及び2期を受講する者に限り、3期は発行いたしません。

3 対象区間

通信教育部の最寄駅から自宅（又は滞在先）の最寄り駅までの最短経路

【通信教育部最寄駅】

鉄道会社	最寄駅
J R	水道橋駅
都営地下鉄	水道橋駅、神保町駅
東京メトロ	神保町駅、後楽園駅

※最短経路とは所要の時間が最短、交通費が最低、乗換が最少である等の合理的な経路を指します。

※途中経路や迂回経路は一切認められません。

4 購入可能な定期券

1か月定期券のみ

5 通学証明書発行期間

東京スクーリング（春期）	平成24年4月20日（金）～4月30日（月）
夜間スクーリング（春期）	平成24年5月15日（火）～7月6日（金）

6 使用方法

通学定期券取扱い駅の窓口にて定期券購入用紙に必要事項を記入し、学生証及び通学証明書を提示することで通学定期券が購入できます。

7 禁止事項

通学定期券や通学証明書を下記のように不正に使用してはいけません。不正使用者は以降通学証明書の発行が停止されるだけでなく、鉄道会社等の営業規則に基づき定期運賃の数倍の罰則金等が科せられます。また、大学に対しても通学定期券発行の指定から外されます。他の学生及び大学に多大な迷惑をかけることになるため、不正使用は絶対に行わないでください。

【不正使用一覧】

①通学証明書の記載事項を改変すること	④他人に譲渡・貸与すること
②スクーリング受講以外の目的で購入すること	⑤記名人以外が使用すること
③住所を偽って通学証明書の発行を受けること	⑥その他、不正に使用すること

東京スクーリング（春期）期間中の滞在先届

東京スクーリングを受講するためにホテル等の宿泊施設や知人宅等に滞在する受講生は、この手引巻末にある「滞在先届」（学生課窓口にも配布）を、受講する各期の初日までに学生課窓口提出してください。

※ 不測の事故発生時の対応に必要なので、必ず提出すること。

※ 窓口以外での受付はしません。

東京スクーリング（春期）宿泊施設の利用案内

東京スクーリングを受講する際に、宿泊施設の確保あるいは滞在にかかる経費は大切な問題です。大学では、皆さんが大学近隣の施設にできる限り低料金で宿泊できるよう、下記のとおり宿泊施設を紹介します。

なお、掲載の宿泊施設に予約する際には、必ず「日本大学通信教育部東京（春期）スクーリング受講生」であることを申し出てください。申し出がない場合には、通常料金となります。

1 学生会館

(株)共立メンテナンス

一日本大学通信教育部生のみ限定宿泊ー

〒101-8621 東京都千代田区外神田2-18-8 学生会館事務局

申込電話番号 (03) 5295 - 7791

受付時間 午前9時～午後6時 日大スクーリング担当

※ 土日・祝日の受付はしません。

① 申込方法

申込みに関しては、すべて電話で受け付けます。

全日程 4月16日（月）午前9時から

② 申込みの流れ

(1) エントリー 電話で期間（利用日と利用日数）・名前・連絡先（電話・携帯等）を伝えます。

(2) 抽 選 業者から、申込日又は翌日に電話で抽せんの結果を連絡します。宿泊できる場合には、その際、書類の送付先を聞かれます。

(3) 書 類 発 送 業者より入館書類（振込用紙・許可証・利用案内・地図等）が送られます。

(4) 振 込 み 業者より送付される案内書にしたがって、所定の金額を振り込みます。**(入金後のキャンセルはできません)**

(5) 入 館 指定会館にて入館証明証と引き換えに居室の鍵が渡されます。

※ エントリー時には、後で日程の変更がないよう注意してください。

※ 会館と部屋については、業者が決定します。(会場に通学できる範囲のものを数棟案内されます)

※ 居室数は少数です。満室になり次第締め切ります。

※ **入館は午後4時から午後7時の間に、退館は午前10時までです。時間外の入館や、退館時間の延長はありません。**

- 居室の設備 ベッド/机/イス/エアコン/電話/書棚/洋服タンス/電気スタンド/カーテン/テレビ/アンテナ/布団
- 共用の設備 食堂/バスルーム/洗面所/トイレ/ランドリールーム/防火・消火・放送設備など
- 共用の備品 アイロン/掃除機など

③ 費 用 1泊 5,040円(税込)

費用には、月曜～土曜日の食事代(朝夕2食)がサービスとして付いています。ただし、**日曜日・祝祭日は食事が提供されませんが、金額は変わりません。**

※ 居室の利用費、食事代(月曜～土曜)、電気代、布団リース費が含まれています。

※ その他の金額は、電話使用料が退出時に精算となります。

※ なるべく多くの学生が利用できるよう、利用日はスクーリング受講期間内にしてください。

2 ホテル

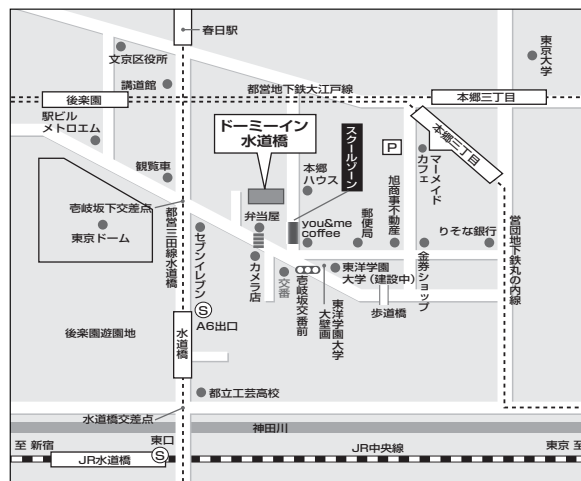
ドーミーイン水道橋

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-25-27

TEL (03) 3815-4790 FAX (03) 3815-4791

<http://www.hotespa.net/hotels/suidobashi>

タイプ	室数	料金(税・サ込)
プチシングル	7室	7,000円
シングル	35室	8,000円
スタジオツイン	18室	14,400円



交通案内 JR総武線「水道橋」駅東口下車徒歩7分、都営地下鉄三田線「水道橋」駅下車徒歩3分

客室設備 バス・トイレ・洗面用具・冷暖房・テレビ・電話・冷蔵庫・ドライヤー・机・コインランドリー・ビデオ・ズボンプレスサー・LANケーブルは無料貸出し。

クレジットカード 利用可 VISA UC DC MC JCB AMEX NICOS OMC UFJ Saison
AEON Diner's Club

朝食 1,100円(和洋食のバイキング)

※ 男女別人口炭酸泉大浴場「楽楽の湯」(サウナ付)

ヴィラフォンテーヌ神保町

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-30
 Tel (03) 3233-9990 FAX (03) 3233-9998
<http://www.hvf.jp>

タイプ	室数	料金 (税・サ込)
エコノミー	10室	8,500円 (通常 9,500円)
スタンダード	34室	8,500円 (通常 10,000円)
ヒーリング ルーム	26室	8,500円 (通常 11,500円)
ツイン	2室	15,000円



※ 連泊プラン：エコノミー，スタンダード，ヒーリングルーム 1名1泊あたり 8,000円

交通案内 JR「水道橋」駅東口下車徒歩7分，都営地下鉄新宿線・三田線・東京メトロ半蔵門線「神保町」駅A5番出口下車徒歩3分

客室設備 バス・トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・冷蔵庫・ドライヤー・机・コインランドリー（有料）あり。ズボンプレス機は貸出し。全室LAN回線無料（光ファイバー方式）。
 ※全室16㎡のゆとりの空間にダブルベットとゆったりサイズのバスルーム
 ※ヒーリングルームは低反発マット使用

クレジットカード 利用可 VISA MC JCB AMEX ダイナース

朝食 無料サービス（部屋食可）

ヴィラフォンテーヌ九段下

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-4
 Tel (03) 3222-8880 FAX (03) 3222-8868
<http://www.hvf.jp/>

タイプ	室数	料金 (税・サ込)
スタンダード	72室	9,000円 (通常 9,990円)
ヒーリング ルーム	60室	9,500円 (通常 10,490円)
レディース ルーム	12室	9,500円 (通常 10,490円)



※ 連泊プラン：スタンダードルーム，ヒーリングルーム，レディースルーム 1名1泊あたり 8,000円

交通案内 JR「水道橋」駅西口下車徒歩7分，都営地下鉄新宿線・三田線・東京メトロ半蔵門線「神保町」駅A2出口下車徒歩3分，
 東京メトロ東西線・半蔵門線・新宿線・「九段下」駅5番出口徒歩6分

客室設備 バス・トイレ・洗面用具・冷房・テレビ・電話・冷蔵庫・ドライヤー・ズボンプレス機・コインランドリーあり。全室LAN回線無料（光ファイバー方式）
 ※全室約16㎡のゆとりの空間にダブルベットとゆったりサイズのバスルーム
 ※ヒーリングルームは低反発マットレス使用。

クレジットカード 利用可 VISA DN MC JCB AMEX

朝食 無料サービス

東急ステイ水道橋

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-1-12
 TEL (03) 3293-0109 FAX (03) 3293-0109
 メールアドレス: suidobashi@tokyustay.co.jp
<http://www.tokyustay.co.jp/hotel/SUI/>

タイプ	室数/面積	料金 (税・サ込)
シングル A	120 室 / 15㎡	8,000 円 1 泊朝食付き (通常 9,500 円)



※日本大学通信教育部春期スクーリング受講生と予約の際申し出ること。
 ※電話・FAX・Eメールで24時間申込可能。
 ※喫煙又は禁煙部屋の希望を申し出ること。

交通案内 JR「水道橋」駅 東口から徒歩3分, 都営三田線 水道橋駅 A1 出口から徒歩4分,
 都営三田・新宿線 東京メトロ半蔵門線「神保町」駅 A5 出口から徒歩8分

客室設備 バス・シャワートイレ・洗面用具・冷暖房・液晶テレビ・電話・冷蔵庫・電子レンジ・
 洗濯乾燥機・ドライヤー・机・ナイトウエア・セーフティーボックス
 インターネット (LAN) は使用料・通信費無料
 ※ゆったりサイズのバスルーム

クレジットカード 利用可 VISA UC DN DC MC JCB AMEX

東急ステイ日本橋

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-7-9
 TEL (03) 3231-0109 FAX (03) 3231-0112
 メールアドレス: nihombashi@tokyustay.co.jp
<http://www.tokyustay.co.jp/hotel/NI/>

タイプ	室数/面積	料金 (税・サ込)
シングル B	39 室 / 15㎡	7,000 円 1 泊朝食付き (通常 8,900 円)



※日本大学通信教育部春期スクーリング受講生と予約の際申し出ること。
 ※電話・FAX・Eメールで24時間申込可能。
 ※喫煙又は禁煙部屋の希望を申し出ること。

交通案内 JR 総武快速線「新日本橋」駅 8 番出口から徒歩 1 分
 JR 山手線「神田」駅南口から徒歩 7 分
 東京メトロ日比谷線「小伝馬町」駅 A4 出口から徒歩 5 分
 東京メトロ銀座線「三越前」駅 A10 出口から徒歩 6 分

客室設備 バス・シャワートイレ・洗面用具・冷暖房・液晶テレビ・電話・冷蔵庫・電子レンジ・
 洗濯乾燥機・ドライヤー・机・ナイトウエア・セーフティーボックス・
 インターネット (LAN) は使用料・通信費無料
 ※ゆったりサイズのバスルーム

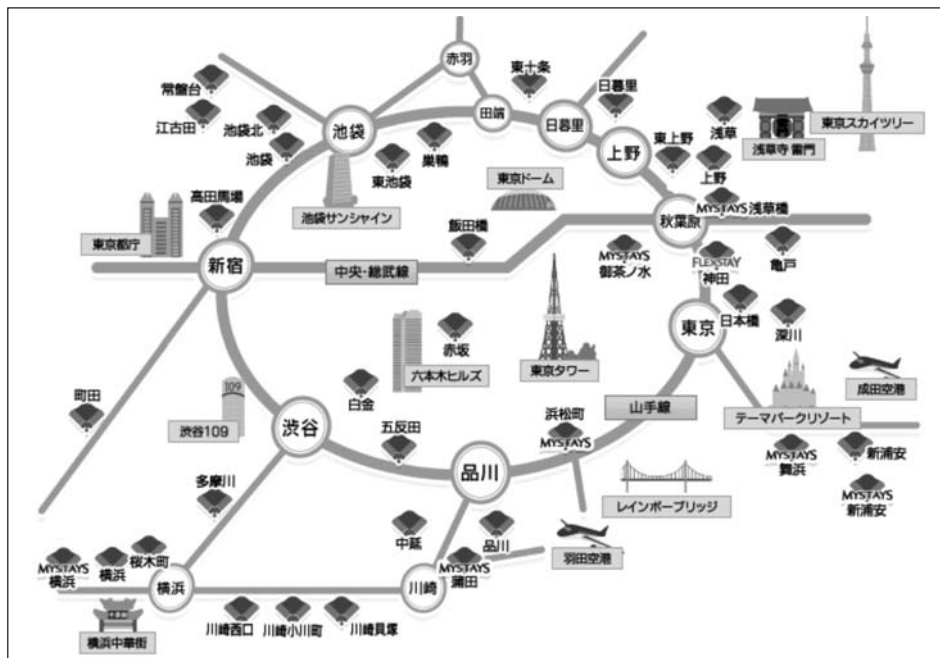
クレジットカード 利用可 VISA UC DN DC MC JCB AMEX

3 その他

ウィークリーマンション東京（高田馬場・飯田橋ほか東京23区内に30か所以上）

立地

- ・高田馬場・飯田橋など、東京23区内山手線沿線を中心に30か所以上のネットワーク。
皆様に快適な滞在空間をご用意しています。



料金

- ・おひとり様1泊あたり、7泊～29泊利用の場合4,400円より・30泊以上利用の場合3,900円よりご案内しています。（いずれも税込・光熱費別）
- ・1泊～6泊のご利用の場合は、シングル1泊7,200円～・ツイン1泊9,900円～（税込・光熱費含む）となります。ご滞在6泊以下のご予約については、チェックイン日の1週間前からの受付になります。
- ・日本大学スクーリング受講生である旨お伝え頂ければ、上記通常利用料金より5%割引。
（なお、他の割引との併用はできません。）

設備

- ・テレビ、電話、冷蔵庫、エアコン、ベッド及び料理道具等の生活必需品が完備。
- ・インターネット回線常時接続無料。（一部施設を除く）
- ・館内にはフロントがあり24時間有人管理体制。またエントランスは暗証番号付きオートロックシステムを採用しているため安心。
- ・中長期滞在者には、コインランドリー、電子レンジのレンタル及びコピー・FAX等のサービスがある。

申込

- ・予約、お問い合わせは電話にて下記予約センターまで。
- ・電話の際は日本大学スクーリング受講生である旨伝えること。

株式会社ウィークリーマンション東京
 予約センター 03-3434-3939（受付時間：9時～18時・年中無休）
 ホームページ <http://www.wmt.co.jp>

交通案内

～通信教育部までの交通～

〔東京駅乗継の場合〕

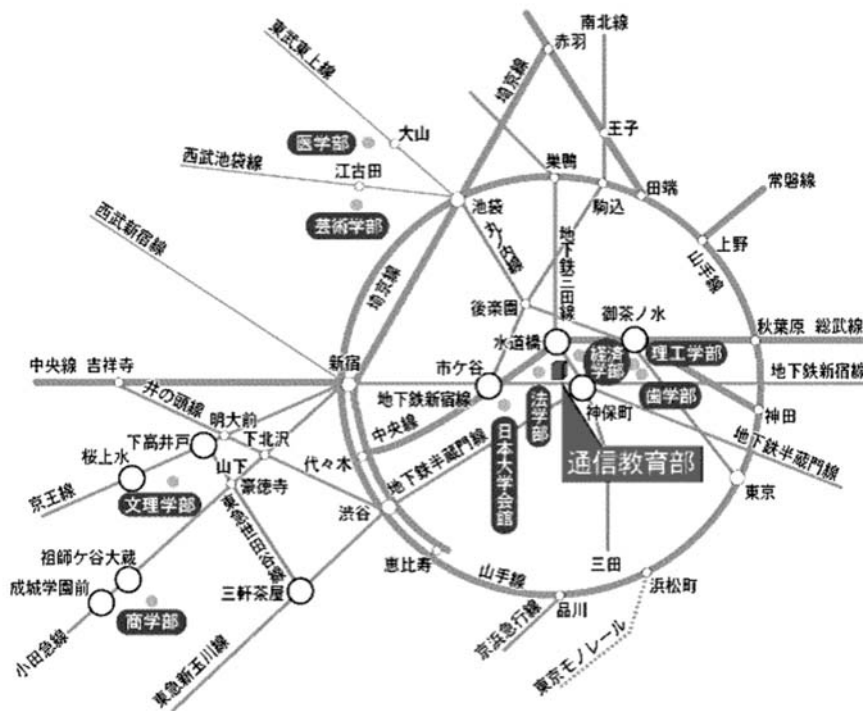
JR 中央線(1・2 番線から発車する電車いずれも可)に乗車, 御茶ノ水駅で JR 総武・中央線の各駅停車(新宿・中野方面) に乗り換え, 次の駅・水道橋駅下車徒歩約 5 分。東京駅から約 15 分。

〔上野駅乗継の場合〕

JR 山手線・京浜東北線(東京方面) に乗車, 秋葉原駅で JR 総武・中央線各駅停車(新宿・中野方面) に乗り換え, 水道橋駅下車徒歩約 5 分。上野駅から約 20 分。

〔羽田空港乗継の場合〕

東京モノレールで浜松町駅下車, JR 山手線・京浜東北線(東京・上野方面) に乗車, 秋葉原駅で JR 総武線・中央線各駅停車(新宿・中野方面) に乗り換え, 水道橋駅下車徒歩約 5 分。羽田空港駅から約 50 分。



Ⅷ 胸部X線検査について

肺結核等の感染症予防を目的として、「胸部X線間接撮影」を実施しています。大学では集団感染を防止する義務があるので、必ず受診してください。また、毎年受診が必要です。

1 対象者

昼間・夜間（春期）スクーリング受講生全員。ただし、次に該当する場合は受診を認めません。

- ① 平成24年度に教育実習又は介護等の体験を受ける者。
- ② 平成24年1月以降に胸部X線検査を受けていて、検査結果を証明できる物（コピーも可）を提出できる者。該当する場合は6月1日（金）までに学生課へ提出してください。
- ③ 妊娠等の理由により検査を受けることができない者。該当する場合は、6月1日（金）までに理由書を学生課へ提出してください。

2 受診日及び時間

平成24年5月29日（火）～6月1日（金）※4日間
10時00分～18時30分（13時～14時を除く）

3 場所及び受診方法

学生ホールに受付を設置します。事前申込は不要。各自都合の良い日・時間に受診してください。

4 受診料

無料（大学負担）

5 受診結果

全員に通知します。なお、受診・健康診断証明書は一切発行しません。

6 その他注意事項

女性は下着の金属類が写ってしまうため、白無地のTシャツ等を用意してください。その他、相談は学生課（03-5275-8921）まで。

Ⅸ カリキュラムについて

教育課程を一般的にカリキュラムと呼称しています。それぞれの学校が教育目標を達成するために編成された教育内容の履修体系のことであり、具体的には授業科目とその履修方法を示しています。

各自の履修科目が該当するカリキュラムに沿っていない場合には、いくら単位修得を重ねたとしても、求める資格や要件を充足するには至りません。

各自がどのカリキュラムに該当するのか、間違いなく確認した上で、この『手引』を熟読してください。

平成8年4月1日に本学でカリキュラムの改正が行われ、それ以降のカリキュラムをCカリキュラムと呼称しています。また、平成15年度からのカリキュラムをDカリキュラムと呼称します。

また、カリキュラム変更の他に平成10年に教育職員免許法が改正されたことによって平成12年4月1日以降本学に新たな教職課程が施行されました。これにより、同じCカリキュラムの中に異なる教育職員免許法に基づいた異なる教職課程を施行しています。

在学中にカリキュラム・教職課程の変更があっても、入学時に適用されたカリキュラム・教職課程はそのまま継続され、在学途中で変更されることはありません。正科生・科目履修生を問わず、これまで適用を受けてきたカリキュラムに変更なく、カリキュラムの名称のみを改めて説明することとします。

各自の適用カリキュラムについては次ページの表で確認してください。

【平成24年度のカリキュラム適用状況】

各自の学生（科目履修生）証番号は8桁で構成されていますが、そのうち3～5桁目を下表に照らし合わせて各自のカリキュラムを確認してください。

種別	入学年度	学生（科目履修生）証番号の 3～5桁目の表示		適用カリキュラム
		4月生	10月生	
正科生	平成12年度		**005***	Cカリキュラム新免許法課程
	平成13年度	**011***	**015***	
			016*	
	平成14年度	**021***	**025***	
		022*	**026***	
			027*	
	平成15年度	**031***	**035***	Dカリキュラム
		032*	**036***	Cカリキュラム新免許法課程
		033*	**037***	
			038*	
	平成16年度	**041***	**045***	Dカリキュラム
		042*	**046***	Cカリキュラム新免許法課程
		043*	**047***	
		044*	**048***	
	平成17年度	**051***	**055***	Dカリキュラム
		052*	**056***	
		053*	**057***	Cカリキュラム新免許法課程
		054*	**058***	
	平成18年度	**061***	**065***	Dカリキュラム
		062*	**066***	
		063*	**067***	
		064*	**068***	
	平成19年度	**071***	**075***	
		072*	**076***	
		073*	**077***	
		074*	**078***	
	平成20年度	**081***	**085***	
		082*	**086***	
		083*	**087***	
		084*	**088***	
平成21年度	**091***	**095***		
	092*	**096***		
	093*	**097***		
	094*	**098***		
平成22年度	**101***	**105***		
	102*	**106***		
	103*	**107***		
	104*	**108***		
平成23年度	**111***	**115***		
	112*	**116***		
	113*	**117***		
平成24年度	**114***	**118***		
	121*	**125***		
	122*	**126***		
	123*	**127***		
科目履修生	平成23年度	**110***	———	Dカリキュラム
	平成24年度	**120***	———	

スクーリング手続 チェックシート

このシートは、受講届の記入からスクーリングを受講するまでの確認用です。

チェック項目	参 照
◆受講届の記入	
<input type="checkbox"/> 申し込む受講届用紙の選択を間違えていませんか	巻末付録 〈受講届〉(はがき) Ⅲ-1 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> <input type="text"/> 内の必要事項の記入漏れはありませんか (講座コード・講座名・充当科目コード・学生証番号・氏名・電話番号)	Ⅲ-1 講座を申し込む Ⅵ-1 開講講座表
<input type="checkbox"/> 講座コード・講座名・充当科目コードは一致していますか	Ⅵ-1 開講講座表
<input type="checkbox"/> 希望科目の受講条件は満たしていますか (配当学年・適用カリキュラム・その他受講条件)	Ⅵ-1 開講講座表 Ⅵ-2 「開講講座表」の見方
<input type="checkbox"/> 申し込む開講時期は間違えて記入していませんか	V 開講日程及び時間割 Ⅵ-1 開講講座表
<input type="checkbox"/> 修得済科目を申し込んでいませんか	・単位照合票 ・単位修得状況確認 (在学生専用サポート)
◆併用 ※希望者のみ	
<input type="checkbox"/> スクーリング併用試験方式希望の場合は、受講届の「受講希望方式」欄に『併用』を記入していますか	Ⅲ-1 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> 希望する科目の履修登録は済んでいますか	I 受講手続の流れ 表紙 (履修登録締切日)
<input type="checkbox"/> 併用希望科目のリポートは、必要通数分を期限内に提出していますか	I 受講手続の流れ 表紙 (リポート提出締切日)
◆受講届の提出	
<input type="checkbox"/> 提出締切日に間に合いますか (郵送の場合は締切日消印有効)	表紙 (受講届提出締切日) Ⅲ-2 受講届を提出する
<input type="checkbox"/> 〈推奨〉 申込内容の控えはありますか (受講届のコピー)	
<input type="checkbox"/> 申込完了のメールは届いていますか (ホームページからの申込の場合のみ)	
<input type="checkbox"/> 〈推奨〉 特定記録郵便で発送しましたか	Ⅲ-2 受講届を提出する
◆受講料の納入	
<input type="checkbox"/> 受講許可通知書の内容に間違いはありませんか	Ⅲ-4 受講許可通知書を確認する
<input type="checkbox"/> 受講料の納入期限は厳守していますか	Ⅲ-6 受講料の納入

【購入方法】

(1) ～ (3) の方法で通信販売も可能です。

(1) 代金引換払（手数料 250 円が別途かかります）

本誌巻末の「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、下記宛に郵送又は FAX をしてください。

(2) 郵便為替（前納）

本誌巻末の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と価格 + 送料の合計金額分の定額小為替又は郵便為替を同封して下記へ郵送してください。

(3) 現金書留（前納）

本誌巻末の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と価格 + 送料の合計金額を同封して下記へ郵送してください。

不明な場合は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

※送料について

送料は書籍の総重量で変わります。それぞれの書籍の組み合わせにより送料が異なりますので、郵便為替・現金書留の場合、ご注文各書籍の送料の合計をお送りください。余った送料については、ご返金いたします。また、代金引換払の場合、書籍代 + 送料（実費） + 手数料（250 円）を受取時にお支払いください。

（書 店 名）（株）丸沼書店

（所 在 地）〒 101 - 0061

東京都千代田区三崎町 2 - 8 - 12

（電 話）（03）3261 - 4540

（F A X）（03）3261 - 0118

（営業時間）9：00 ～ 20：00（日曜日は休み）

通 材

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中
(提出先：会計課)

教材購入願

学 生 証 番 号				氏 名	フリガナ
連絡先電話番号 (携帯電話可)				- -	

(太線枠内にボールペンで記入してください)

	教材コード	科 目 名	金 額	スクーリング種別 講 座 名
1	0 0 0			
2	0 0 0			
3	0 0 0			
4	0 0 0			
5	0 0 0			
6	0 0 0			
合計科目		合計金額		
_____ 科目		_____ 円		



- ※ボールペンで記入してください。
- ※「教材コード・科目名・金額」は『部報』・『各種スクーリング手引』で確認し、必ず記入してください。
「教材コード」と「科目コード」は異なりますので、注意してください。
- ※「スクーリング種別」にはスクーリング・メディア授業において通信教育部教材を使用する場合にのみ記入してください。
- ※『スクーリングの手引』における各講座の「シラバスと使用教材」の教科書(参考書)欄で指定されているもの、例えば、「**通材**『教育カウンセリング論 0947……』』と記載されている教材を購入する場合は「教育カウンセリング論」を科目名として記入してください(受講科目ではなく指定された教材の科目名を記入)。

会計課領収印

「通信教育教材」の購入について

通信教育部発行の教材を購入する場合、「教材購入願」を使用し、以下の手続きにしたがって教材を入手してください。また「教材購入願」で購入できる教材は、通信教育部発行の教材のみです。スクーリング等で教科書・参考書に指定された市販教材（市販本）は丸沼書店又はお近くの書店で購入してください。

1 購入手続

① 窓口手続

「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口（本館1階）へ提出してください。（なるべく釣り銭のないようにして下さい）

② 郵送手続

現金書留又は為替が利用できます。

(1) 現金書留での購入

「教材購入願」と合計金額分の「現金」を現金書留封筒にて会計課あてに送付してください。**その際、必ず釣り銭のないようにしてください。**

注意：普通郵便の中に現金を封入することは、郵便法によって禁止されています。

また、郵便事故による補償もありませんので、必ず現金書留を利用してください。

(2) 為替での購入

「教材購入願」と合計金額分の「定額小為替」又は「普通為替」を会計課あてに送付してください。

注意：郵便事故防止のため、なるべく簡易書留や特定記録郵便を利用してください。

為替には何も記入せず送付してください。

2 教材購入対象者

- ① 面接授業（スクーリング）、メディア授業で「通信教育教材」を使用する場合
- ② 教材を紛失した場合
- ③ 学習する際に、参考として使用する場合
- ④ 教材が改訂された場合

3 注意事項

- ・手続後の変更・取り消しはできません。また、返金もしませんので注意してください。
- ・教材は大学に登録されている住所へ郵送し、**窓口ではお渡ししません。**
教材が手元に届くまでに約1週間要しますので、特にスクーリング、メディア授業で使用する場合は「受講許可通知書」を確認した後、速やかに購入手続きをしてください。
- ・「教材購入願」で入手した教材でレポート提出はできません。レポート+科目修得試験方式、スクーリング併用試験方式、メディア授業併用試験方式で単位修得する場合は、履修登録（履修届・追加科目履修届）で教材を入手してください。

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中
(提出先：会計課)

追加科目履修届

学 生 証 番 号	氏 名	フリガナ
連絡先電話番号 (携帯電話可)		- -

(太線枠内にボールペンで記入してください)

(平成 年度)

※「裏面」の注意事項を熟読の上、記入してください。

科目コード	科 目 名	単 位	
1			合計科目
2			_____ 科目
3			合計単位数
4			_____ 単位
5			
_____ 単位 × 1,500 円		合計金額 _____ 円	



- ※科目コードは『教材要綱』で確認し、必ず記入してください。
- ※「追加科目履修届」は大学が受理した日の学年で登録されます。
上級学年の科目を履修する場合は注意してください。
- 【裏面〈注意〉④※印 参照】
- ※新入生の登録は前期生は4月1日から、後期生は10月1日からになります。

会計課領収印

「追加科目履修届」提出上の注意

「1 学年指定配本」以外の科目や「履修届」で履修登録していない科目を、科目修得試験またはスクーリング・メディア授業併用試験方式で受験する場合は、この「追加科目履修届」用紙を提出してください。

- **追加履修費**
1 単位につき 1,500 円（例：4 単位科目は 4 単位× 1,500 円 =6,000 円）。
- **手続方法**
手続は随時受け付けています。必要に応じてそれぞれの履修登録締切日までに手続を行ってください。
 - ① **窓口による手続**（直接持参による納入）
追加科目履修届用紙と追加履修費（現金）を持参の上、通信教育部の会計課窓口へ提出し、手続を行ってください。
 - ② **郵送による手続**（郵便小為替による納入）
郵便局で追加履修費（現金）を「定額小為替」又は「普通為替」に換え（手数料が必要）、追加科目履修届用紙と一緒に簡易書留で会計課あてに送付してください。**送付する為替には何も記入しないでください。**
 - ③ **郵送による手続**（現金書留による納入）
追加科目履修届用紙と追加履修費（現金）と一緒に現金書留封筒で、会計課あてに送付してください。
※教材の受け渡しは郵送に限ります。**窓口での受け渡しは一切行いません。**
なお、教材が手元に届くのは、「追加科目履修届」受理後、7～10 日前後を要します。

〈注意〉

- ① **対象者・科目**
 - ・「1 学年指定配本」以外の科目
 - ・「履修届」による配本以外の科目
 - ・スクーリングでなければ履修できない科目や、教材を刊行していない科目は履修登録の対象になりません（例：総合科目・演習科目など、『学習要覧』に「※」印を記載の科目、及び教育実習・教育実践指導）。
 - ・D カリキュラム在籍者は、配当学科・学年にも注意してください。
 - ・正科生のみ。（科目履修生は使用できません）
- ② **履修登録の有効期間**
履修登録した科目（指定配本科目、履修届・追加科目履修届により配本を受けた科目）は、在籍期間中有効です。
- ③ **当該科目の所定単位で登録**
4 単位科目を、スクーリングまたはメディア授業で 2 単位修得している場合でも 4 単位として登録してください。（所定単位 4 単位の科目を、2 単位のみ登録することはできません）。
- ④ **その他**
「追加科目履修届」で登録し、配本された科目の教材は「教材購入願」で購入する必要はありません。
 - ・当年度の授業料を納入していない場合は、履修登録できません。
 - ・届出後の変更・取り消しはできません。また、返金も行いませんので、慎重に科目を選択してください。
 - ・記入に際しては、ボールペンを使用してください。※追加科目履修届は大学が受理した日の学年で登録されます。**現在の学年より、上級学年の配当科目を追加履修する場合は、学年進級時（前期生は 4 月 1 日、後期生は 10 月 1 日）から登録が可能となります。**
また、新入生の場合も同様で、前期新入生は 4 月 1 日から、後期新入生は 10 月 1 日からの受付となります。受付開始日前に到着した場合は、受理することができず、返送いたしますのでご注意ください。

日本大学通信教育部長 殿

学割証交付願

下記の事由のため、学割証の交付をお願いします。

記 平成 年 月 日 申請

学部		学科 (専攻)		学生証番号													
氏 名						年齢		歳									
現住所 〒 -																	
TEL ()																	
申請事由 (該当箇所に○を記入してください)																	
東京・地方スクーリング (春期)		開講地 ()		卒業論文面接指導 (月 日)													
夏期スクーリング (第		期)		総合面接試問													
東京・地方スクーリング (秋期)		開講地 ()		科目修得試験 (第 回)													
昼間・夜間スクーリング (曜日 時限)		その他 ()															
乗車区間		自		線		駅		至		線		駅					
乗車日 <small>学割証に印字されます</small>		行		年		月		日		帰		年		月		日	
必要枚数		枚 (1枚で往復乗車券購入可能。複数枚の場合は理由を明記すること) ※理由															
利用交通機関		鉄道・バス・その他 ()				受取方法			窓口・郵送								

【注意事項】

- ① 科目履修生には発行できません。
- ② 大学主催行事以外には使用できません。
- ③ 乗車区間が100kmを超える場合に限り使用できます。
- ④ 郵送の場合は、返信用封筒 (あて名明記, 80円切手貼付) を同封してください。
- ⑤ 1枚で往復乗車券が購入できます。ただし、学割証の有効期間内に限ります。
- ⑥ この交付願では通学定期券の購入はできません。定期券購入には通学証明書が必要です。

以 上

滞在先届 平成 24 年度 東京スクーリング (春期)

学 部	学科 (専攻)	学 生 証 番 号	氏 名
スクーリング期間中滞在先住所 (宿泊施設名, 知人宅名等もご記入ください。)			
〒 -			
_____ 方			
電 話 ()			
最 寄 駅 [_____ 駅]			
受講期間 第 1 期 ・ 第 2 期 ・ 第 3 期 (○で囲む)			
現 住 所			学生課受付印
〒 -			
TEL ()			

※ 本届によって得られた情報は、受講者が事故に遭遇した際など、緊急時において大学が各種対応をするために利用します。

キ リ ト リ

注意事項

- ※記入後にコピーしたものを添えて (計 2 部必要) 受講初日までに学生課窓口へ提出してください。
- ※郵送では受け付けません。



日本大学通信教育部長 殿

休暇依頼状（勸奨状）申込書

スクーリング受講のため休暇依頼状の発行をお願いします。

平成 年 月 日 申請

申 込 者	氏 名			
	学 部		学 科 専 攻	
	学 年		学 生 証 番 号	
	勤 務 先			
	所 属 部 署			
ス ク ー リ ン グ	種 別		開 催 地	
	受 講 期 間			
提 出 先	勤 務 先 名			
	役 職 名			
	役 職 者 氏 名			

<注意事項>

- *スクーリングの受講許可後発行します。
- *スクーリング開講期間のみの証明になります。
- *送付先を明記した返信用封筒（定形・80円切手貼付）を必ず同封してください。
- *勤務先名は正式名称を記入してください。



併せて提出するもの

全講座辞退→受講許可通知書

一部講座辞退→受講許可通知書

返信用封筒 (長形3号, 350円切手貼付)

平成24年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成24年度東京スクーリング(春期)第1・2期受講申込辞退願

1 学生証番号 _____

2 氏名 _____

3 連絡先電話番号 - -

4 辞退内容 全講座辞退 (許可通知書記載講座すべてを辞退)
(にチェック) 一部講座辞退 (許可通知書記載講座の一部を辞退する場合、
辞退講座のみを以下へ記入)

5 辞退内容

期	講座コード	辞退講座名
1期		
2期		

6 辞退理由(詳述)

※ 提出期限【教務課必着】4 / 19 (木)

※ (A)スクーリング受講許可通知書兼領収書及び
(B)スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ この辞退願は東京スクーリング第1・2期用です。
東京スクーリング第3期及び地方スクーリング第1・2期講座を辞退する場合は、それぞれの所定の辞退願を使用ください。

※ 一部講座辞退の場合、350円分の郵便切手(大学からの再送付時の速達郵便料)を貼付した、長形3号(A4判三つ折の用紙が入る大きさ)の返信用封筒(自己の郵便番号・住所・氏名を明記)を同封のこと

教務課受付印	会計課受付印



併せて提出するもの

全講座辞退→受講許可通知書

一部講座辞退→受講許可通知書

返信用封筒 (長形3号, 350円切手貼付)

平成24年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成24年度地方スクーリング(春期)第1・2期受講申込辞退願

1 学生証番号 _____

2 氏 名 _____

3 連絡先電話番号 - -

4 辞 退 内 容 全講座辞退 (許可通知書記載講座すべてを辞退)
(にチェック) 一部講座辞退 (許可通知書記載講座の一部を辞退する場合、
辞退講座のみを以下へ記入)

開催地 (開催地に○)	期	講座コード	辞 退 講 座 名
名古屋 神 戸	1 期		
札 幌 福 岡	2 期		

5 辞 退 理 由 (詳述)

※ 提出期限【教務課必着】5 / 16 (水)

※ (A)スクーリング受講許可通知書兼領収書及び
(B)スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

※ 一部講座辞退の場合、350円分の郵便切手(大学からの再送付時の速達郵便料)を貼付した、長形3号(A4判三つ折の用紙が入る大きさ)の返信用封筒(自己の郵便番号・住所・氏名を明記)を同封のこと

教務課受付印	会計課受付印



併せて提出するもの
スクーリング受講許可通知書

平成 24 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 24 年度東京スクーリング (春期) 第 3 期

- 1 学 生 証 番 号 _____
- 2 氏 名 _____
- 3 連絡先電話番号 - -
- 4 辞 退 内 容

開催地 (開催地に○)	期	講座コード	辞 退 講 座 名
東 京	3 期		

- 5 辞 退 理 由 (詳述)
- _____
- _____
- _____

- ※ 提出期限【教務課必着】5 / 30 (水)
- ※ (A)スクーリング受講通知書兼領収書及び (B)スクーリング受講料等振込依頼書と一緒に送付のこと。

教務課受付印	会計課受付印

郵便はがき

切手貼付

特定記録郵便
をお勧めします

101-8354

東京都千代田区三崎町2-2-3

日本大学通信教育部教務課
東京スクーリング(春期)第1・2期 係

差 出 人	住 所 〒
	氏 名

※ 郵便事故による受講届未着の場合、受講ができません。
特定記録郵便 [210円切手貼付] をお勧めいたします。

内を必ず御記入ください

平成24年 月 日作成

平成24年度東京スクーリング(春期)受講届(30) 第1・2期 東京用

期	開催地 コード	講座 コード	講座名	充 当 科 目 コ ー ド	受 講 希 望 方 式
1	7	9			
2	7	9			

※併用試験方式を希望する場合は、この欄に『併用』と明記してください。

なお、希望しない場合は、空欄のまま提出してください。

上記のとおり相違ありません。

学生証番号							
フリガナ							
氏名							
自宅電話番号							
緊急時電話番号							

※提出締切日 平成24年3月15日(木)【締切日までの消印有効】

※本票は東京スクーリング(春期)第1・2期用の受講届です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。

※書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください。

※本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

郵便はがき

切手貼付

特定記録郵便
をお勧めします

101-8354

東京都千代田区三崎町2-2-3

日本大学通信教育部教務課
地方スクーリング(春期)第1・2期 係

差 出 人	住 所 〒
	氏 名

※ 郵便事故による受講届未着の場合、受講ができません。
特定記録郵便 [210円切手貼付] をお勧めいたします。

内を必ず御記入ください

平成24年 月 日作成

平成24年度地方スクーリング(春期)受講届 (35) 第1・2期 名古屋・神戸・札幌・福岡用

期	開催地 コード	講座 コード	講座名	充 当 科 目 コ ー ド	受 講 希 望 方 式
1					
2					

※併用試験方式を希望する場合は、この欄に『併用』と明記してください。↑
なお、希望しない場合は、空欄のまま提出してください。

上記のとおり相違ありません。

学生証番号								
フリガナ								
氏名								
自宅電話番号								
緊急時電話番号								

- ※提出締切日 平成24年4月18日(水)【締切日までの消印有効】
- ※本票は地方スクーリング(春期)第1・2期用の受講届です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- ※書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください。
- ※本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

郵便はがき

切手貼付

特定記録郵便
をお勧めします

101-8354

東京都千代田区三崎町2-2-3

日本大学通信教育部教務課
東京スクーリング(春期)第3期 係

差 出 人	住 所 〒
	氏 名

※ 郵便事故による受講届未着の場合、受講ができません。
特定記録郵便 [210円切手貼付] をお勧めいたします。

内を必ず御記入ください

平成24年 月 日作成

平成24年度東京スクーリング(秋期)受講届〔33〕 第3期 東京用

期	開催地 コード	講座 コード	講座名	充当科目コード	受講希望 方式
3	7	9			

※併用試験方式を希望する場合は、この欄に『併用』と明記してください。

なお、希望しない場合は、空欄のまま提出してください。

上記のとおり相違ありません。

学生証番号							
フリガナ							
氏名							
自宅電話番号							
緊急時電話番号							

※提出締切日 平成24年4月18日(水)【締切日までの消印有効】

※本票は東京スクーリング(春期)第3期用の受講届です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。

※書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください。

※本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

郵便はがき

切手貼付

特定記録郵便
をお勧めします

101-8354

東京都千代田区三崎町2-2-3

日本大学通信教育部教務課
夜間スクーリング(春期) 係

差 出 人	住 所 〒
	氏 名

※ 郵便事故による受講届未着の場合、受講ができません。
特定記録郵便 [210円切手貼付] をお勧めいたします。

内を必ず御記入ください

平成24年 月 日作成

平成24年度夜間スクーリング(春期)受講届(20)

曜日	講座 コード	講座名	充 当 科 目 コ ー ド	受 講 希 望 方 式
月				
火				
水				
木				
金				

※併用試験方式を希望する場合は、この欄に『併用』と明記してください。

なお、希望しない場合は、空欄のままご提出してください。



私の申込は、上記のとおり相違ありません。

学生証番号							
フリガナ							
氏名							
自宅電話番号							
緊急時電話番号							

*提出締切日 平成24年4月18日(水)【締切日までの消印有効】

*各曜日から1講座ずつ申込みできます。

*書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください

*本票は上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

【校舎案内】



- JR 総武線・中央線（各駅停車）「水道橋」駅下車 徒歩 5分
- 都営地下鉄三田線「水道橋」駅下車 徒歩 6分
- 都営地下鉄三田線・新宿線，東京メトロ半蔵門線「神保町」駅下車 徒歩 7分



DISTANCE LEARNING DIVISION, NIHON UNIVERSITY

編集兼発行人 福田弥夫 〒101-8354東京都千代田区三崎町2-2-3 日本大学通信教育部